

平成 5 年度熊谷市埋蔵文化財調査報告書

西別府廃寺（第 2 次）

1 9 9 4

埼玉県熊谷市教育委員会

序 文

熊谷市は埼玉県北部の中核都市であり、歴史的にもゆかりのある土地であります。別府地区は、市域の北西部にあたり、東別府と西別府に分かれており、古代から多くの人々が生活の地としてきた所であります。縄文時代前期から遺跡がみられ、弥生時代の再埋葬が注目される横間栗遺跡、古墳時代後期の古墳群、律令期にはいと別府条里遺跡、西別府祭祀遺跡、当遺跡の西別府廃寺があります。

中世には別府城跡、西別府館跡などの存在が知られており、歴史的に重要な場所として栄えてきた所であります。特に当遺跡に関しては、東国初期寺院研究、また、幡羅郡について考える上で重要な遺跡であります。

本市教育委員会は、池田一三氏から委託をうけて、特別養護老人ホーム建設予定地の発掘調査を実施しました。

遺跡は、重要な文化遺産として、後世に残すことが第一に計られるべきですが、工事の性格上やむを得ず記録保存の方策をとることとなりました。

本書は、平成4年度に実施された西別府廃寺（第2次）の発掘調査の成果をまとめて報告するものです。

発掘調査によって得られた資料は、重要な文化遺産として、学術研究、学校や社会教育に資するものであると考えます。こうした調査・報告を契機として、多くの市民の人々が、埋蔵文化財保護について、より一層のご理解とご協力下さることを願ってやみません。

最後になりましたが、県文化財保護課、池田一三氏、ならびに地元別府地区の方々を初め、多くの方々からご指導・ご協力をいただきましたことに対して、深く感謝の意を表します。

平成6年3月

熊谷市教育委員会
教育長 関根幸夫

例 言

- 1 本書は、埼玉県熊谷市大字西別府字西方1599-5他に所在する西別府廃寺(第2次)の発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、特別養護老人ホーム建設に伴う事前記録保存のための発掘調査である。
- 3 発掘調査期間は、平成4年7月1日～11月16日である。
- 4 発掘調査の担当、本書の執筆・編集は、熊谷市教育委員会吉野 健が行なった。
- 5 発掘調査の組織は次のとおりである。

調査主体者	熊谷市教育委員会教育長	関根幸夫
調査担当者	熊谷市教育委員会社会教育課主事	吉野 健
事務局	“ “ 課長	坂巻 篤
	“ “ 課長補佐	翠田晴夫
	“ “ 係長	金子正之
	“ “ 主任	権田宣行

- 6 出土遺物は、熊谷市教育委員会で保管している。
- 7 発掘調査及び整理作業の参加者は以下のとおりである(敬称略、五十音順)。
新井すい子、池上八重子、井田真季子、風間安子、木暮ゆり、小林シズ、小林稔、小林芳明、五味ノリ子、齋藤嘉久子、田島智恵子、蜂須シゲ、蜂須ユキ、蜂須ろく、関根清子、中島良子、馬場初枝、平川トミ、平川ヨシ、蛭川カヨ子、堀江志げ子、松田良子、森和子。
- 8 本書の作成にあたり、下記の方々からご教示、ご協力を賜った(敬称略)。記して感謝いたします。
浅野晴樹、池田敏宏、井上喜久男、酒井清治、昼間孝志、山路直充。

凡 例

- 1 本文中、遺構の表記記号は、次のとおりである。
S J…住居跡、S K…土坑、S D…溝跡、S E…井戸跡、P…ピット、竪穴状遺構などその他の遺構…S X
- 2 各遺構の番号は、発掘調査時に付したものを原則として用いた。ただし、一部遺構名・遺構番号を整理作業の段階で変更したものもある。
- 3 遺構図中の遺物の表記記号は、次のとおりである。
●…土器、△…軒丸瓦、□…軒平瓦、▲…丸瓦、■…平瓦、◆…瓦塔、◇…鉄製品、○…石製品、☆…古銭
- 4 土層断面図中の表記記号は、次のとおりである。
S…川原石、P…土器、T…瓦、O…古銭
- 5 遺構挿図の縮尺は、次のとおりである。
遺構全測図1/200、住居跡・瓦溜り状遺構・基壇跡1/60、その他の遺構1/80
- 6 遺構図と写真図版の遺物番号は、挿図番号を示す。例えば、1-2は第1図の2の遺物を示す。
- 7 遺物実測図の縮尺は、次のとおりである。
瓦1/5、土器などその他1/4
- 8 遺物実測図の中で、中心線はすべて実線で示し、遺物観察表に残存率を示した。また、土師器の断面は白抜き、須恵器は黒塗り、灰釉陶器  とし、釉は  、煤は  、器面の変化は  、タールは黒塗で表現した。
- 9 遺物観察表の凡例は、次のとおりである。
法量の()付のものは推定値である。
色調は新版標準土色帖に拠った。

目 次

序 文	I
例 言	II
凡 例	II
目 次	III
挿図目次	IV
表 目 次	V
図版目次	V
第 1 章 発掘調査に至るまでの経過	1
第 2 章 遺跡の位置と環境	1
第 3 章 発掘調査の経過	5
第 4 章 遺跡の概観	5
第 5 章 遺構と遺物	7
1 瓦溜り状遺構	7
2 基壇跡	36
3 第 4 号住居跡	39
4 第 5 号住居跡	50
5 第 6 号住居跡	58
6 第 1 号竪穴状遺構	61
7 第 2 号竪穴状遺構	69
8 溝 跡	72
9 井戸跡	77
10 土坑・ピット	78
11 備蓄銭	111
12 グリッド・遺跡一括出土瓦	134
第 6 章 まとめ	136

挿 図 目 次

- | | |
|---------------------|--|
| 第1図 周辺遺跡分布図 | 第37図 第5号住居跡出土遺物(2) |
| 第2図 西別府廃寺位置図 | 第38図 第5号住居跡出土遺物(3) |
| 第3図 西別府廃寺全測図 | 第39図 第6号住居跡、第1・2・6～10・13・20・24・
25・32・35・38・39・112・141～146号土坑 |
| 第4図 瓦溜り状遺構 | 第40図 第6号住居跡出土遺物 |
| 第5図 瓦溜り状遺構出土遺物(1) | 第41図 第1号竪穴状遺構、第77～79・90・94・98・
101～103・106～109・119・120・137・162・
169～171・179・184～188・218号土坑 |
| 第6図 瓦溜り状遺構出土遺物(2) | 第42図 第1号竪穴状遺構出土遺物(1) |
| 第7図 瓦溜り状遺構出土遺物(3) | 第43図 第1号竪穴状遺構出土遺物(2) |
| 第8図 瓦溜り状遺構出土遺物(4) | 第44図 第1号竪穴状遺構出土遺物(3) |
| 第9図 瓦溜り状遺構出土遺物(5) | 第45図 第1号竪穴状遺構出土遺物(4) |
| 第10図 瓦溜り状遺構出土遺物(6) | 第46図 第2号竪穴状遺構、第4・8号溝跡、第85・
135・200～203・221号土坑、第1号井戸跡 |
| 第11図 瓦溜り状遺構出土遺物(7) | 第47図 第2号竪穴状遺構出土遺物 |
| 第12図 瓦溜り状遺構出土遺物(8) | 第48図 第4号溝跡、第36・37・67号土坑 |
| 第13図 瓦溜り状遺構出土遺物(9) | 第49図 第4号溝跡出土遺物 |
| 第14図 瓦溜り状遺構出土遺物(10) | 第50図 第6・7号溝跡、第14・15・28・33・34・138
～140・222・223号土坑、第1～4号ピット |
| 第15図 瓦溜り状遺構出土遺物(11) | 第51図 第2号竪穴状遺構、第4・8号溝跡、第1号
井戸跡、第49～53・55～58・66・81・84・135
・199～212号土坑 |
| 第16図 瓦溜り状遺構出土遺物(12) | 第52図 第1号井戸跡出土遺物 |
| 第17図 瓦溜り状遺構出土遺物(13) | 第53図 第2号井戸跡出土遺物 |
| 第18図 瓦溜り状遺構出土遺物(14) | 第54図 第73～77・79・80・87～111・119～131・172
～182・184・219・220号土坑、第2号井戸跡 |
| 第19図 瓦溜り状遺構出土遺物(15) | 第55図 第41～44・47～65・83・136・191～197号土坑 |
| 第20図 瓦溜り状遺構出土遺物(16) | 第56図 第31・45・46・86・160～171・185～190号土
坑 |
| 第21図 瓦溜り状遺構出土遺物(17) | 第57図 第40～42・58・59・61・66・68～76・80・136
・183・210～212号土坑 |
| 第22図 瓦溜り状遺構出土遺物(18) | 第58図 第29・30・110・113～118・147～162・213～
218号土坑 |
| 第23図 瓦溜り状遺構出土遺物(19) | 第59図 第11・12・16～19・21～23・26・27・132～
134号土坑、第5～16号ピット |
| 第24図 瓦溜り状遺構出土遺物(20) | 第60図 第3～5号土坑 |
| 第25図 瓦溜り状遺構出土遺物(21) | |
| 第26図 瓦溜り状遺構出土遺物(22) | |
| 第27図 基壇跡 | |
| 第28図 基壇跡出土遺物 | |
| 第29図 第4号住居跡・第136号土坑 | |
| 第30図 第4号住居跡出土遺物(1) | |
| 第31図 第4号住居跡出土遺物(2) | |
| 第32図 第4号住居跡出土遺物(3) | |
| 第33図 第4号住居跡出土遺物(4) | |
| 第34図 第4号住居跡出土遺物(5) | |
| 第35図 第5号住居跡・第82号土坑 | |
| 第36図 第5号住居跡出土遺物(1) | |

第61図 土坑出土遺物（1）
 第62図 土坑出土遺物（2）
 第63図 土坑出土遺物（3）
 第64図 第87・110号土坑出土古銭
 第65図 備蓄銭（1）
 第66図 備蓄銭（2）
 第67図 備蓄銭（3）
 第68図 備蓄銭（4）
 第69図 備蓄銭（5）
 第70図 備蓄銭（6）
 第71図 備蓄銭（7）
 第72図 備蓄銭（8）

第73図 備蓄銭（9）
 第74図 備蓄銭（10）
 第75図 備蓄銭（11）
 第76図 備蓄銭（12）
 第77図 備蓄銭（13）
 第78図 備蓄銭（14）
 第79図 備蓄銭（15）
 第80図 グリッド・遺跡一括出土瓦
 第81図 寺院関連遺構配置図
 第82図 出土瓦
 第83図 西別府廃寺出土瓦塔

表 目 次

第1表 土坑一覧表

第2表 備蓄銭一覧表（1）

第3表 備蓄銭一覧表（2）

第4表 出土瓦数量比

図 版 目 次

図版1 西別府廃寺航空写真

図版2-1 調査区西部遺構（土坑群）

2 調査区東部遺構（土坑群）

図版3-1 瓦溜り状遺構遺物出土状態（1）

2 瓦溜り状遺構遺物出土状態（2）

3 瓦溜り状遺構軒丸瓦・軒平瓦出土状態（1）

4 瓦溜り状遺構軒丸瓦・軒平瓦出土状態（2）

5 瓦溜り状遺構高坏出土状態

6 瓦溜り状遺構土層断面（東西）

7 瓦溜り状遺構土層断面（南北1）

8 瓦溜り状遺構土層断面（南北2）

図版4-1 瓦溜り状遺構

2 基壇跡検出状態

3 基壇跡版築（1）

4 基壇跡版築（2）

5 基壇跡

6 第4号住居跡遺物出土状態

7 第4号住居跡軒丸瓦出土状態

図版4-8 第4号住居跡軒平瓦出土状態

図版5-1 第4号住居跡平瓦出土状態

2 第4号住居跡

3 第5号住居跡遺物出土状態

4 第5号住居跡カマド付近遺物出土状態

5 第5号住居跡カマド遺物出土状態

6 第5号住居跡

図版6-1 第6号住居跡坏・甕出土状態

2 第6号住居跡

3 第1号竪穴状遺構遺物出土状態

4 第2号竪穴状遺構遺物出土状態

5 第24号土坑甕出土状態

6 第85号土坑遺物出土状態

7 第98号土坑板石塔婆出土状態

8 第218号土坑備蓄銭壺出土状態

図版7 瓦溜り状遺構出土遺物

図版8 瓦溜り状遺構出土遺物

図版9 瓦溜り状遺構出土遺物

図版10	瓦溜り状遺構出土遺物	図版16	第1号竪穴状遺構出土遺物
図版11	基壇跡、第4号住居跡出土遺物	図版17	第2号竪穴状遺構、第4号溝跡、第1号 井戸跡、土坑出土遺物
図版12	第4号住居跡出土遺物	図版18	土坑、遺跡一括出土遺物
図版13	第4・5号住居跡出土遺物	図版19-1	備蓄銭
図版14	第4・5・6号住居跡出土遺物	2	発掘調査風景
図版15	第5号住居跡、第1号竪穴状遺構出土遺物		

第1章 発掘調査に至るまでの経過

平成3年3月1日、池田一三氏から熊谷市教育委員会あてに、特別養護老人ホーム「永寿苑」建設予定地内における文化財の取り扱いについて協議があり、既に周知の遺跡、西別府廃寺（遺跡番号№59-3）であったため、その旨池田一三氏へ平成3年4月11日付け3熊教社収第1140号で回答がなされた。その後、熊谷市教育委員会と池田一三氏間で埋蔵文化財包蔵地の保存策について協議を重ねたが、計画の変更は不可能であると判断されたため、記録保存の措置を講ずることとなった。

発掘調査は、平成4年5月18日に池田一三氏と熊谷市教育委員会間で埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約を締結、これによって熊谷市教育委員会が委託金をもって調査を実施することとなった。

発掘調査に先立ち、池田一三氏から文化財保護法第57条の2第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出が提出され、埼玉県教育委員会から平成4年7月1日付け教文第3-110号で発掘調査の実施の指示通知があった。そして、熊谷市教育委員会教育長から文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘調査の通知が提出され、平成4年7月1日から発掘調査が開始された。

また、埋蔵文化財発掘調査通知に対して文化庁長官から、平成4年10月20日付け4委保記第5-2877号で受理した旨、通知があった。

第2章 遺跡の位置と環境

西別府廃寺は、埼玉県熊谷市大字西別府字西方1599-5他に所在しており、JR高崎線籠原駅の北方約3.0km、荒川から北へ約6.0km、利根川から南に約4.5kmの所に位置する。

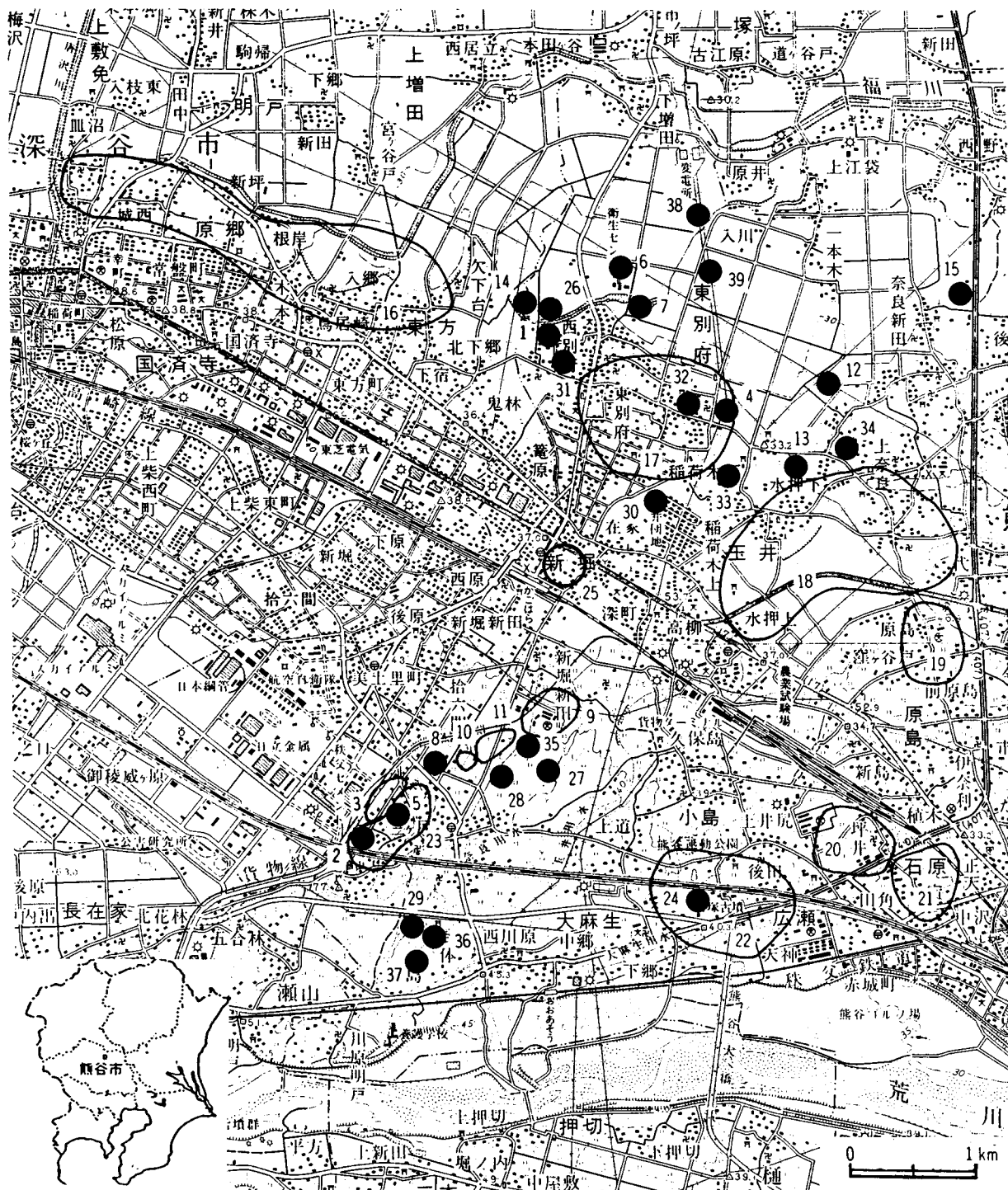
西別府廃寺の所在する西別府地区は、熊谷市の北西部にあたり、櫛挽台地の北端にある。この櫛挽台地は、寄居町末野付近を扇頂に、荒川の両岸に広がる洪積扇状地である荒川扇状地の荒川左岸側の一帯が、侵食されてできたものである。この櫛挽台地の北方には、利根川及びその支流により形成された沖積地である妻沼低地が広がる。この妻沼低地は、熊谷市の大半を覆っている沖積扇状地の新荒川扇状地（熊谷扇状地）と自然堤防が広がる地区に分けられる。本遺跡は、櫛挽台地の北縁、標高約33mを測る台地上に立地し更地となっていた。本遺跡の北側には比高差約3mをもって妻沼低地が広がる。この台地と低地との境には、湯殿神社裏の湧水堀から旧別府小学校跡地北側へと堀が続き、別府沼となる。

本遺跡の周辺において、旧石器時代の遺跡は、尖頭器が出土した籠原裏遺跡が知られている。

縄文時代の遺跡は、櫛挽台地上に発見されている。三ヶ尻林遺跡では前期の黒浜式の集落が検出されており、三ヶ尻天王遺跡では中期～後期にかけての集落が発見されている。また、西・東別府地区には中期の遺物が散見されるが、詳細は不明である。妻沼低地の寺東遺跡では、中期～後期の埋甕・敷石住居跡が検出されている。

弥生時代の遺跡については、中期に例が見られる。発掘ではなく偶然発見されたものであり遺構が明確ではないが、須和田期の壺が出土している三ヶ尻上古遺跡、同じく須和田期の再葬墓が13基検出されている横間栗遺跡がある。この横間栗遺跡では須和田期に先行する中期初頭の条痕文系土器が出土している。他には、石田遺跡が知られている。

古墳時代になると、古墳は台地・自然堤防などの微高地に形成され、集落は台地ばかりでなく、低地帯の自然堤防上にも営まれるようになる。櫛挽台地の三尻地区では、古墳時代後期以降奈良・平安時代へと継続的に集落が営まれたと考えられる遺跡が発見されている。鬼高期の住居跡が7軒検出された三ヶ尻天王遺跡、真間～国分期の住居跡が16軒検出されている三尻中学校遺跡、鬼高～国分期の住居跡が70軒以上検出されている樋ノ上遺跡、同じく鬼高～国分期の住居跡が50軒検出された上辻・下辻遺跡がある。妻沼低地の天神遺跡からは鬼高期の住居跡、新ヶ谷戸遺跡からは真間期の住居跡8軒が検出されている。

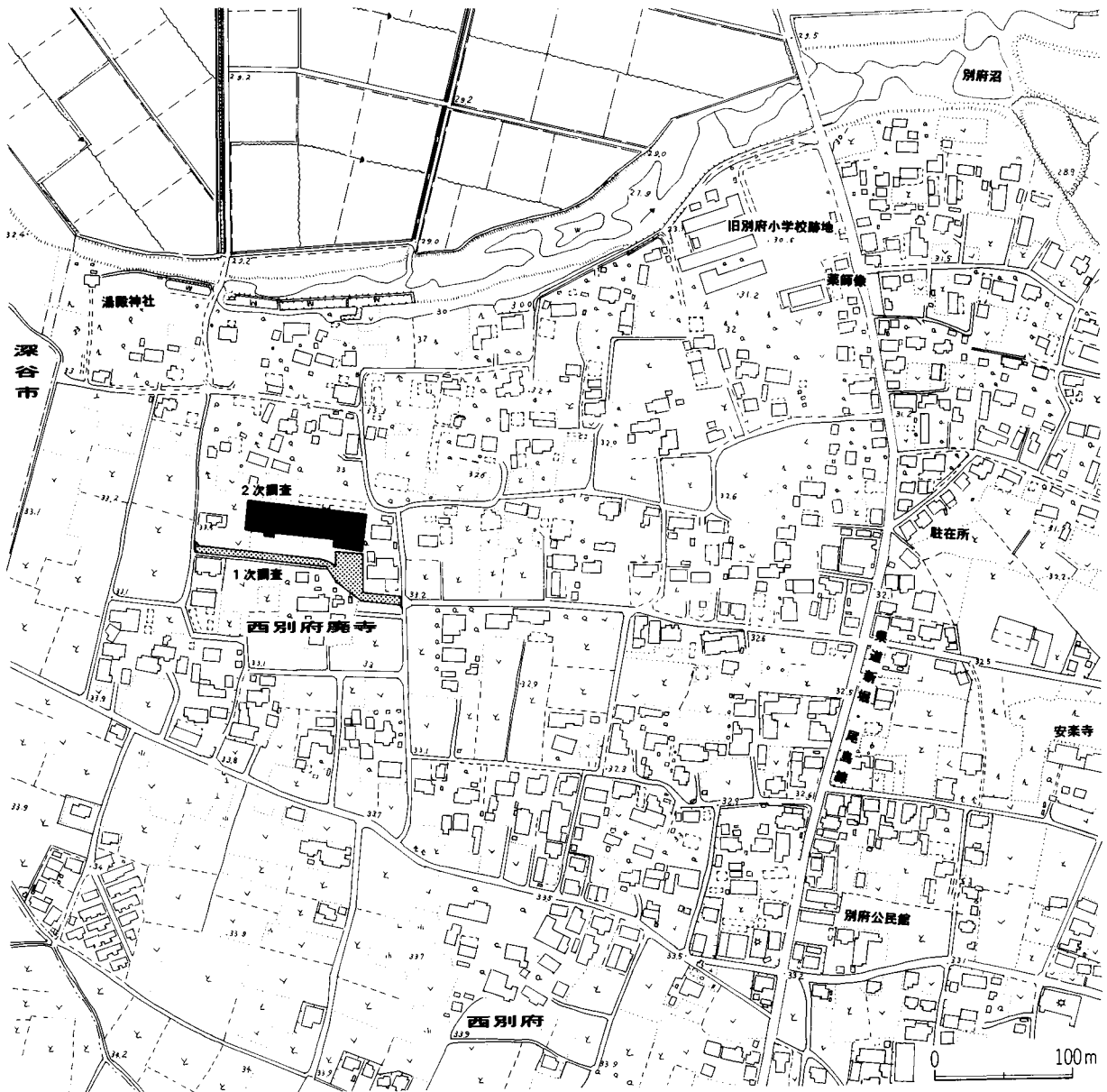


- | | | | | |
|------------|-------------|------------|-----------|-----------|
| 1. 西別府廃寺 | 9. 樋ノ上遺跡 | 17. 別府古墳群 | 25. 籠原裏遺跡 | 33. 玉井陣屋跡 |
| 2. 三ヶ尻林遺跡 | 10. 上辻遺跡 | 18. 玉井古墳群 | 26. 西方遺跡 | 34. 奈良氏館跡 |
| 3. 三ヶ尻天王遺跡 | 11. 下辻遺跡 | 19. 原島古墳群 | 27. 黒沢館跡 | 35. 東遺跡 |
| 4. 寺東遺跡 | 12. 天神遺跡 | 20. 坪井古墳群 | 28. 若松遺跡 | 36. 社裏遺跡 |
| 5. 三ヶ尻上古遺跡 | 13. 新ヶ谷戸遺跡 | 21. 石原古墳群 | 29. 社裏北遺跡 | 37. 社裏南遺跡 |
| 6. 横間栗遺跡 | 14. 西別府祭祀遺跡 | 22. 広瀬古墳群 | 30. 五反畑遺跡 | 38. 入川遺跡 |
| 7. 石田遺跡 | 15. 横塚山古墳 | 23. 三ヶ尻古墳群 | 31. 西別府館跡 | 39. 深町遺跡 |
| 8. 三尻中学校遺跡 | 16. 木の本古墳群 | 24. 宮塚古墳 | 32. 別府城跡 | |

第1図 周辺遺跡分布図

一方、古墳を見てみると、5世紀後半～末の頃には横塚山古墳がみられる。妻沼低地の自然堤防上に立地し、墳形は、帆立貝式前方後円墳である。6世紀に入ると、多くの自然堤防上に古墳が築造され始める。本遺跡周辺から見ると、深谷市の木の本古墳群、熊谷市では別府古墳群、玉井古墳群、原島古墳群、坪井古墳群、石原古墳群、広瀬古墳群、三ヶ尻古墳群、新ヶ谷戸1号墳が見られる。別府古墳群では農夫の埴輪が出土している。石原古墳群には、石室の壁を川原石で、天井石を緑泥片岩の板石で構築した古墳が存在した。広瀬古墳群には、上円下方墳で知られている宮塚古墳がある。三ヶ尻古墳群中には、川原石使用の胴張り型横穴式石室を有する古墳が存在し、新ヶ谷戸1号墳も同様の形態的特徴をもつ石室であった。7世紀後半の古墳としては、籠原裏遺跡の籠原裏古墳群が知られる。川原石使用の胴張り型横穴式石室を有する古墳であるが、特に注目すべきことは、八角形の墳形をもつ古墳が存在することである。この八角形の古墳は、終末期の古墳の様相を考える上で重要なものと考えられる。

古墳時代後期から奈良時代を中心とする遺跡で注目されるのが本遺跡の北西、湯殿神社裏の西別府祭祀遺跡である。神社裏の湧水の部分に集中的に遺物が検出され、土師器・須恵器の坏などの土器片多数と滑石製模造品約160点が発見されている。土師器には鬼高期のものもみられ奈良・平安時代と祭祀が続いていたと考えられる。滑石製模造品は、馬形・楕形・勾玉形・有孔円板形・有線円板形・剣形等が見られ、特に、馬形・楕形の模造



第2図 西別府廃寺位置図

品は県内でも珍しく水神を祀るときに使用されたものとみられている。

そして、本遺跡の西別府廃寺は、奈良時代・8世紀初頭に創建された県内でも古い寺院跡である。瓦は8世紀初頭～9世紀後半のものまで検出されており、平安時代までは存続していたと考えられる。遺構としては溝跡・基壇跡・瓦溜り状遺構等が検出されている。周辺に前方後円墳をもつ古墳群が存在することから、それらを形成した有力氏族によって建立された寺院と想定されている。

中世に入ると、三尻地区の台地上の三ヶ尻天王遺跡では、墓地群が検出され、低地の自然堤防上には、黒沢館跡・樋ノ上遺跡・若松遺跡が検出されている。黒沢館跡では、虎口跡・柱穴跡・土壇・集石遺構・土塁跡等が検出され、板石塔婆・内耳土器・土師質土器（かわらけ）等が出土している。樋ノ上遺跡・若松遺跡では、土葬墓・火葬墓・集石遺構・溝跡等が検出され、内耳土器・土師質土器（かわらけ）・白磁、青磁、常滑、瀬戸等の陶磁器・板石塔婆・石臼等が出土している。また、社裏北遺跡・五反畑遺跡では、中世墓地群が検出されている。本遺跡のすぐ北側の西方遺跡でも中世～近世の墓地群が検出され、土葬墓が幾重にも重なりあって検出されている。

また、城館跡をみると、西別府には西別府館跡、東別府には別府城跡、玉井には玉井陣屋跡、奈良には奈良氏館跡等がみられる。

参考・引用文献

- 大里郡市文化財担当者会「大里地域の遺跡Ⅰ」『埼玉考古』第29号 埼玉考古学会 1992
- 高山清司「三ヶ尻上古遺跡」『埼玉県土器集成』4 埼玉考古学会 1976
- 金子正之「横間栗遺跡（2次）」『埼玉県埋蔵文化財調査年報』昭和62年度 埼玉県教育委員会 1990
- 寺社下博「三尻中学校遺跡」『埼玉県埋蔵文化財調査年報』昭和55年度 埼玉県教育委員会 1982
- 金子正之『三尻遺跡群 黒沢館・樋ノ上遺跡』熊谷市教育委員会 1985
- 小川良祐他『樋ノ上遺跡－県立熊谷西高等学校関係埋蔵文化財調査報告』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第59集（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1986
- 金子正之『三尻遺跡群 上辻・下辻遺跡』熊谷市教育委員会 1984
- 中村倉司『下辻遺跡－県道三ヶ尻新堀線関係埋蔵文化財調査報告書』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第69集（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1987
- 利根川章彦他『新ヶ谷戸』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第9集（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1982
- 大場磐雄・小沢国平「新発見の祭祀遺跡」『史跡と美術』第338号 1963
- 増田逸郎他『横塚山古墳』埼玉県遺跡調査会 1971
- 『新編 埼玉県史』資料編2 埼玉県 1982
- 『新編 埼玉県史』資料編3 埼玉県 1984
- 『熊谷市史』前編 熊谷市 1963
- 『埼玉のかわら』埼玉県民俗工芸調査報告書第4集 埼玉県立民俗文化センター 1986
- 『埼玉県古代寺院調査報告書』埼玉県県史編さん室 1982
- 屋間孝志他「北武蔵における古瓦の基礎的研究Ⅰ」『研究紀要』（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1986
- 金子正之『三尻遺跡群 若松遺跡・黒沢遺跡・東遺跡』熊谷市教育委員会 1986
- 金子正之『三尻遺跡群 社裏遺跡・社裏北遺跡・社裏南遺跡』熊谷市教育委員会 1986
- 吉野健『西方遺跡』熊谷市教育委員会 1989
- 『埼玉の城館跡』埼玉県教育委員会 1986

第3章 発掘調査の経過

西別府廃寺は、特別養護老人ホーム「永寿苑」建設予定地にあたり、全面的に削平されることになるので、調査を実施した。建設予定地全体を調査区とし、重機により表土剥ぎを行なった。1辺5mのグリッド方式を用いて調査を行なうため、北西隅をA-1として南へ1・2・3…、東へA・B・C…とし、Aラインは、北から南へA-1・A-2・A-3…と呼称した。Bライン以東もAラインと同様に呼称し、グリッド設定を行なった。

重機による表土剥ぎの後にも、人力によって、表土剥ぎを行ないながら遺構確認面まで掘り下げ、遺構確認面の精査を行ない遺構を確認してから、各遺構ごとに調査を実施した。住居跡・土坑・ピット・井戸跡・溝跡等が検出され、遺構ごとに手掘りを行ない、遺物は写真撮影・実測を行なった後、遺物の取り上げを行なった。遺構も写真撮影・実測を行ない、最後に遺構の全体写真を撮影し、全測図の実測を行なった。

本調査によって、瓦溜り状遺構・基壇跡・住居跡・土坑・ピット・溝跡等の遺構が、また、土師器・須恵器・瓦・鉄製品・古銭・板石塔婆・土師質土器・陶磁器・砥石等の遺物が検出され、平成4年11月16日に現場での調査を終了した。

第4章 遺跡の概観

西別府廃寺は、熊谷市北西部、櫛挽台地の北縁に立地する。JR高崎線籠原駅から北へ約3.0km、荒川から北へ約6.0km、利根川から南へ約4.5kmに位置し、標高33mを測る。西別府祭祀遺跡の南西約200mにある。

今回の調査により、瓦溜り状遺構1基、基壇跡1基、住居跡3軒、竪穴状遺構2基、溝跡4条、井戸跡2基、土坑223基以上、ピット数十基が検出された。調査区の約半分が後世の攪乱を受けていた。

瓦溜り状遺構からは、複弁9葉蓮華文・複弁8葉蓮華文・単弁12葉蓮華文・単弁9葉蓮華文の軒丸瓦、三重弧文・四重弧文・均正唐草文の軒平瓦、丸瓦、平瓦の多数の瓦、土師器坏・高坏・甕・台付甕等、須恵器蓋・壺、鉄釘等が検出された。

基壇跡からは、複弁8葉蓮華文・単弁12葉蓮華文の軒丸瓦、三重弧文・四重弧文の軒平瓦、丸瓦、平瓦、土師器、須恵器等が検出された。また、版築の状態が読み取れた。

住居跡では、第4号住居跡からは土師器坏・甕・甑、須恵器坏・蓋、土錘、単弁9葉蓮華文軒丸瓦、四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦が検出され、土師器坏には「寺」等の墨書が見られるものがあった。第5号住居跡からは土師器坏・甕、均正唐草文軒平瓦、丸瓦、平瓦、羽口、鉄滓が検出され、製鉄関連の遺構の可能性が考えられる。第6号住居跡からは土師器坏・甕、鉄釘等が検出された。

竪穴状遺構では、第1号竪穴からは、土師器坏、須恵器坏・鉄鉢形鉢・壺、複弁8葉蓮華文軒丸瓦、四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦、瓦塔等が検出された。第2号竪穴からは、土師器坏、須恵器坏等が検出され、土師器坏の中には「淨」の墨書土器も見られた。

溝跡からは、土師器の他瓦が多数検出され、井戸跡からは、同様の遺物が、土坑群からも多数の瓦・土師器等の土器が検出された。そして、土坑の中から渥美の壺に966枚の古銭が入れられた備蓄銭が出土した。

基準点の座標は、Na1-X=+21030.00m、Y=-44820.00m、Na2-X=+21020.00m、Y=-44820.00m、Na3-X=+21020.00m、Y=-44790.00m、Na4-X=+21020.00m、Y=-44760.00m、Na5-X=+21000.00m、Y=-44760.00mである。



第3図 西別府廃寺全測図

第5章 遺構と遺物

1 瓦溜り状遺構（第4～26図）

本遺構は、調査区の南東部、D・E-5グリッド内に検出され、平面形は長方形に近い形を呈す。調査区域外に遺構は延びると考えられる。

規模は、東西辺2.6m、南北辺4.0mを測り、掘り込みの深さは、0.8mを測る。

出土遺物は、複弁9葉蓮華文・複弁8葉蓮華文（交叉鋸齒文縁含む）・単弁12葉蓮華文・単弁9葉蓮華文軒丸瓦、三重弧文・四重弧文・均正唐草文軒平瓦、丸瓦、平瓦、埴、土師器坏（墨書土器「水?」「寺工宋?」を含む）・高坏・甕、須恵器蓋、瓦塔、羽口、鉄釘等である。これらの遺物は、上から50cm内に中央を厚くして凸レンズ状に厚く堆積して出土した。

時期は、8世紀代におさまると考えられる。

土層説明（第4図）

A-A' 断面

1 茶褐色土（瓦包含）

2 暗褐色土（ローム粒子・微粒子若干）

3 暗灰褐色土（ローム粒子少量、焼土・炭化物若干、瓦包含）

4 暗灰褐色土（ローム微粒子若干）

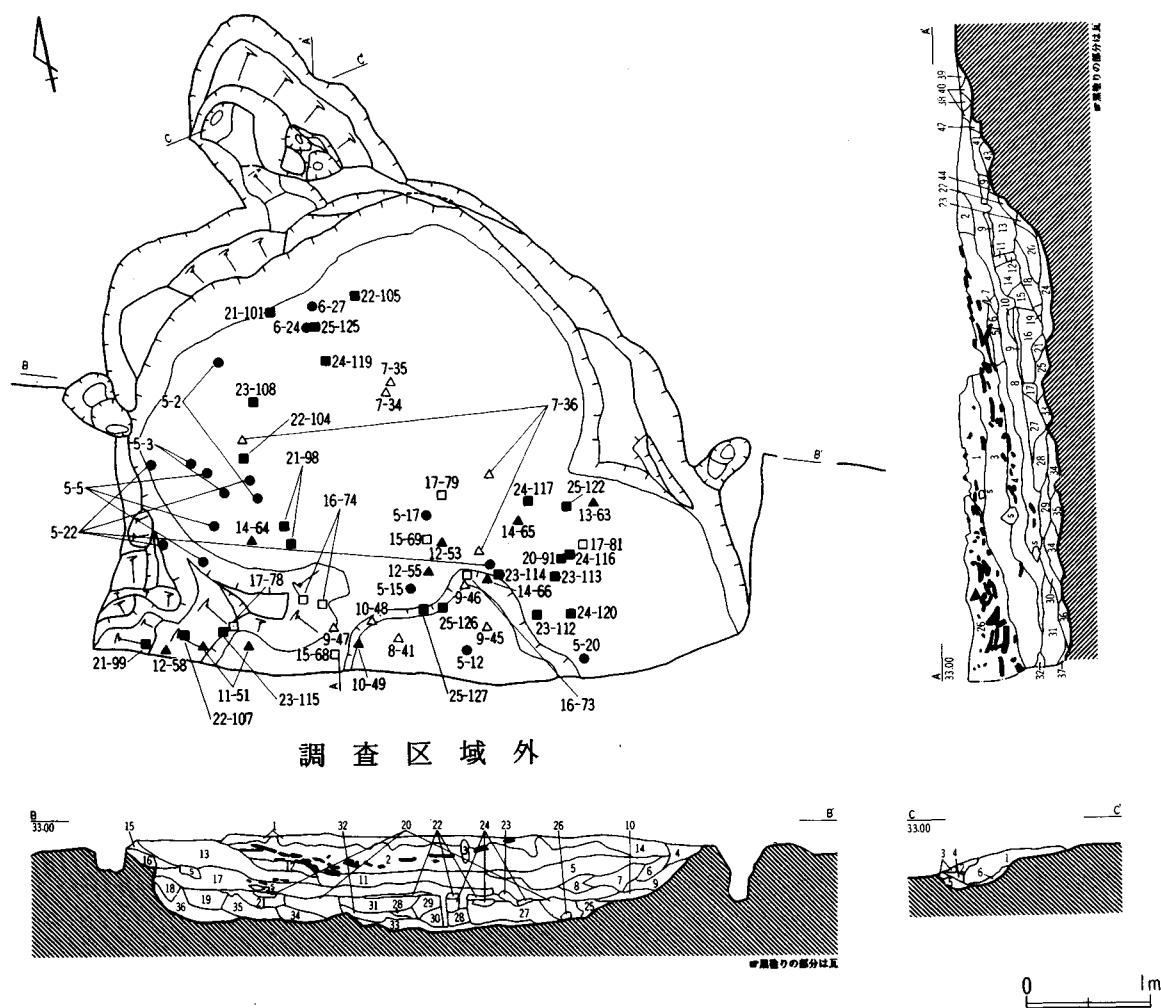
5 黒褐色土（茶褐色土混じる）

6 第3層にほぼ同じ

7 第3層にほぼ同じ（若干黄灰色帯びる）

8 暗茶褐色土（ローム微粒子若干）

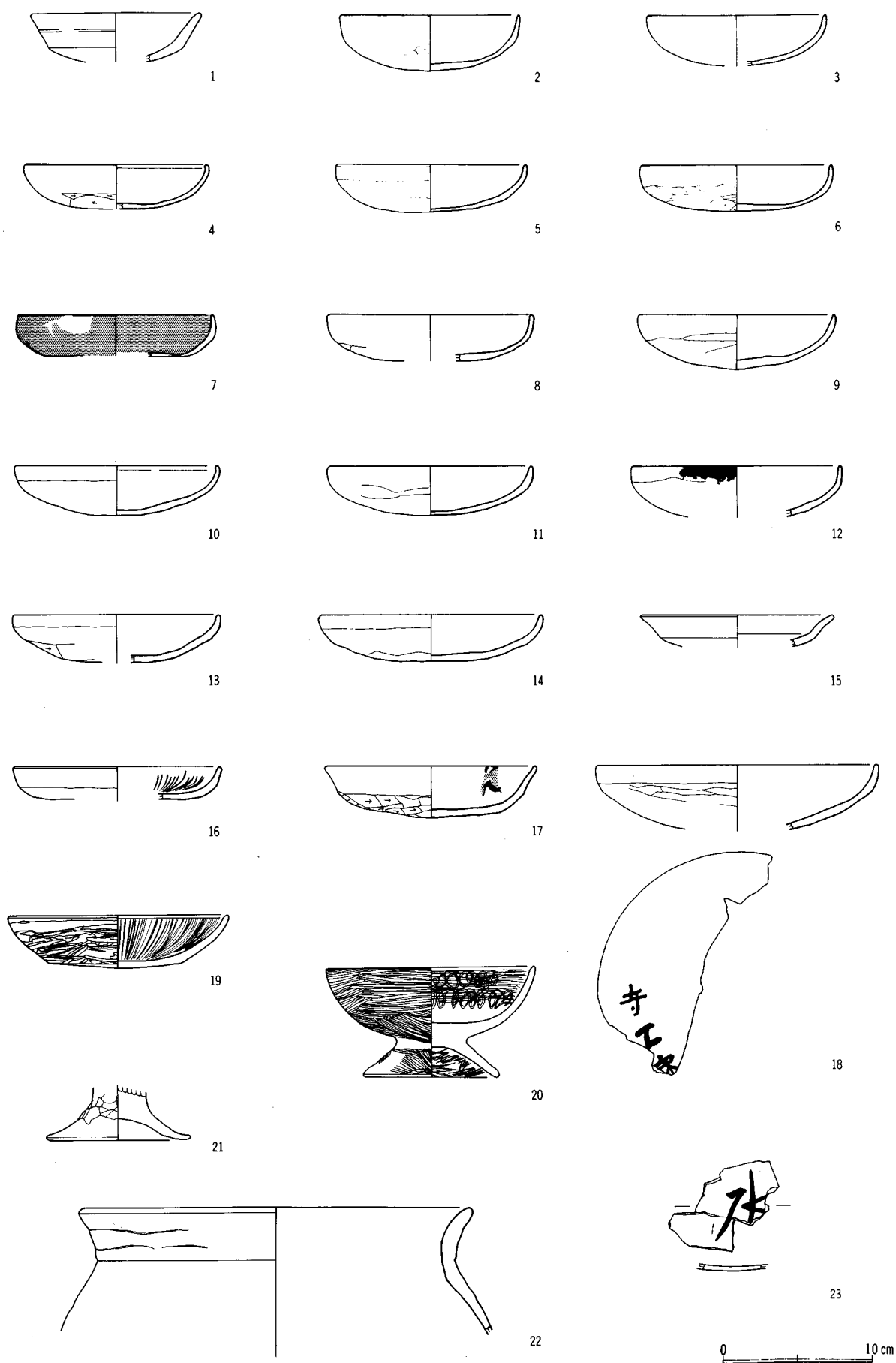
9 暗褐色土（ハードローム・黒色土混じる、かたくしまる）



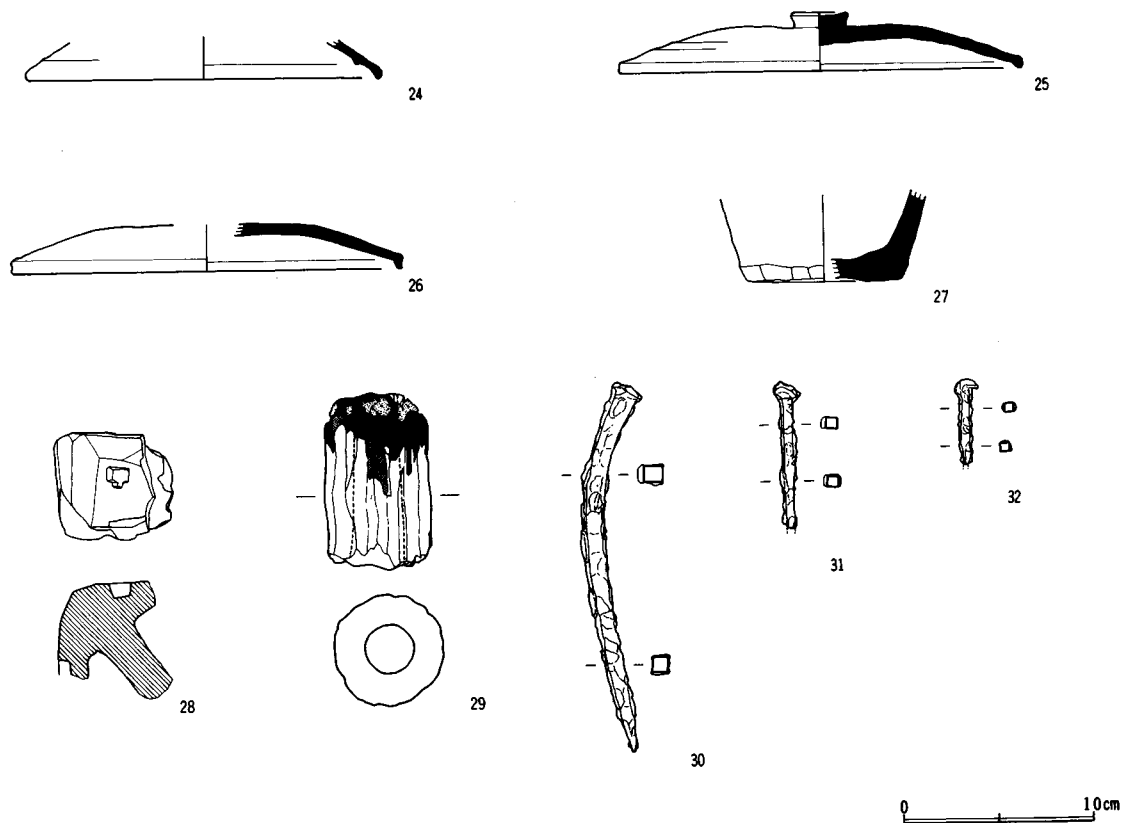
第4図 瓦溜り状遺構

10暗茶褐色土（ローム粒子・黒色土粒子・焼土）
11第8層にほぼ同じ
12暗褐色土（ローム粒子少量）
13暗褐色土（ロームブロック・粒子、黒色土粒子）
14第13層にほぼ同じ
15暗褐色土（ローム粒子若干）
16黒色土・ロームブロック・暗褐色土混合層
17暗褐色土（ローム粒子少量）
18暗褐色土（ロームブロック・粒子若干、黒色土多量）
19暗茶褐色土
20暗赤褐色土（ローム土・黒色土若干）
21第16層にほぼ同じ
22暗褐色土
23第20層にほぼ同じ
24暗赤褐色土（ロームブロック若干）
25第20層にほぼ同じ
26暗灰褐色土（小石少量、瓦多量）
27第16層にほぼ同じ
28暗褐色土（ローム粒子・黒色土少量）
29黒褐色土
30暗茶褐色土（ローム小ブロック少量、黒色土若干）
31第28層にほぼ同じ
32黒褐色土
33黒茶褐色土（ローム粒子若干）
34黒褐色土（黒色土混じる）
35黒褐色土
36暗黄灰褐色土（暗褐色土少量）
37暗褐色土
38暗褐色土
39暗褐色土
40暗黄褐色土
41黒褐色土（ローム粒子少量、かたくしまる）
42第9層にほぼ同じ
43黒灰褐色土（ローム粒子多量）
44暗褐色土（ローム土混じる）
B-B' 断面
1 茶褐色土
2 暗灰褐色土（瓦多量）

3 黒灰褐色土
4 暗褐色土（ローム粒子若干、ローム微粒子多量）
5 暗灰褐色土（焼土・炭化物ごくわずか）
6 暗茶褐色土（ローム微粒子若干）
7 黒褐色土（ローム微粒子若干、土器包含）
8 第6層にほぼ同じ
9 茶褐色土（地山付近にロームブロック・粒子多量）
10茶褐色土（ロームブロック大）
11暗灰褐色土（ローム微粒子・焼土・炭化物若干、土器・瓦包含）
12褐色土（ローム微粒子多量、瓦包含）
13暗褐色土（ローム微粒子・炭化物若干、瓦包含）
14灰茶褐色土
15第6層にほぼ同じ
16灰茶褐色土（ロームブロック・粒子）
17暗茶褐色土
18ハードロームブロック主体層
19暗褐色土（ローム粒子・黒色土粒子多量）
20黒色土とロームブロック・粒子混合層
21暗茶褐色土（ローム粒子・黒色土粒子少量）
22淡黄褐色土
23灰褐色土（ローム粒子少量）
24ロームブロック主体層
25暗赤褐色土（ロームブロック多量、黒色土少量）
26灰緑黄色砂質土ブロック主体層
27暗赤褐色土（ローム粒子少量、黒色土）
28黒褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）
29第27層にほぼ同じ
30暗褐色土（ロームブロック・微粒子）
31暗褐色土（ローム小ブロック・粒子少量、焼土・炭化物若干）
32暗赤褐色土（ローム粒子若干、炭化物）
33暗褐色土（ローム粒子）
34第32層にほぼ同じ
35第20層にほぼ同じ
36暗赤褐色土（ローム粒子若干）



第 5 図 瓦溜り状遺構出土遺物 (1)



第 6 図 瓦溜り状遺構出土遺物（2）

C-C' 断面

- 1 暗褐色土（ローム粒子ごくわずか）
- 2 暗黄褐色土
- 3 暗灰褐色土

4 暗黄褐色土（第 2 層より淡い）

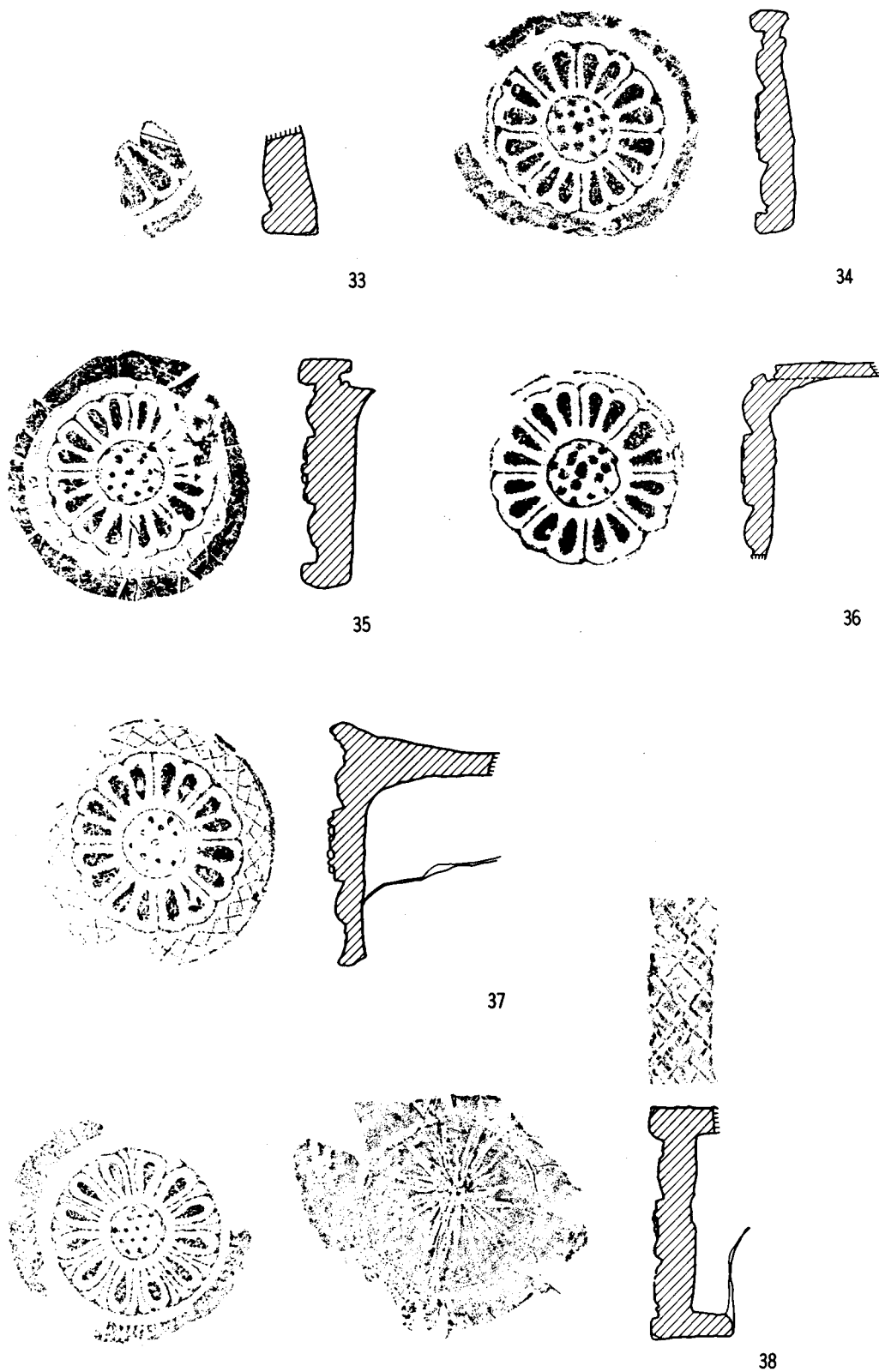
5 暗褐色土（ローム粒子若干）

6 ロームブロック層

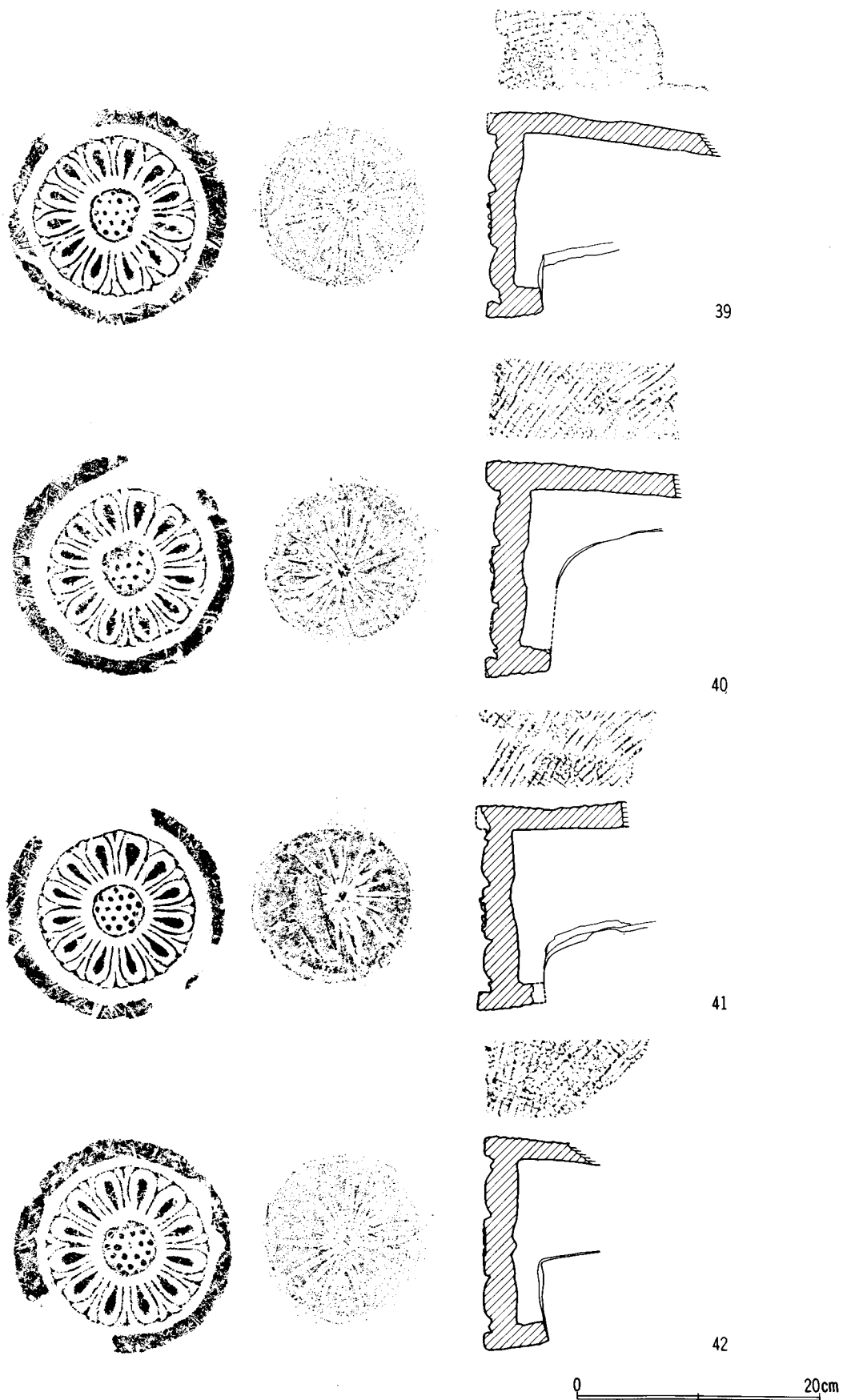
瓦溜り状遺構出土遺物観察表

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法、形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼 成	残 存 率	備 考
1	坏	口 径 11.5 残存高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。 口縁部逆「ハ」の字に外反して立つ。	中粒砂を含む。	外面：7.5YR-3/1黒褐色、 N-3/暗灰色 内面：10YR-8/4浅黄褐色、 7.5YR-3/1オリブ黒色	良好	50%以下	
2	坏	口 径 12.0 器 高 3.7	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部やや外反ぎみに立つ。	粗粒砂、中粒砂 を含む。	7.5YR-6/4にぶい橙色	良好	50%以下	灯明皿、煤付着。
3	坏	口 径 12.1 器 高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部やや直立する。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	5YR-6/6橙色	良好	50%以下	
4	坏	口 径 12.4 器 高 3.1	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部やや内湾ぎみに立つ。	粗粒砂、中粒砂 を含む。	7.5YR-6/3にぶい橙色 外面：10YR-6/2灰黄褐色 の部分あり。	良好	50%以下	
5	坏	口 径 12.8 器 高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	外面：5YR-5/4にぶい赤褐色 内面：7.5YR-6/4にぶい橙色	良好	60%	灯明皿、煤付着。
6	坏	口 径 12.9 残存高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、 下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	5YR-6/6橙色	良好	50%以下	
7	坏	口 径 13.2 器 高 2.9	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部平底。口縁部やや内湾ぎみに立つ。	中粒砂を含む。	7.5YR-6/4にぶい橙色	良好	50%以下	灯明皿、煤が内外面に付着して 大部分が黒い。
8	坏	口 径 18.9 残存高 3.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面下半ヘラケズ リ。 底部丸底。口縁部やや外反し立つ。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	5YR-6/6橙色	良好	50%以下	
9	坏	口 径 13.4 器 高 3.6	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部やや外反ぎみに立つ。	中粒砂を含む。	7.5YR-6/6橙色 口縁に黒い所あり。	良好	55%	灯明皿。

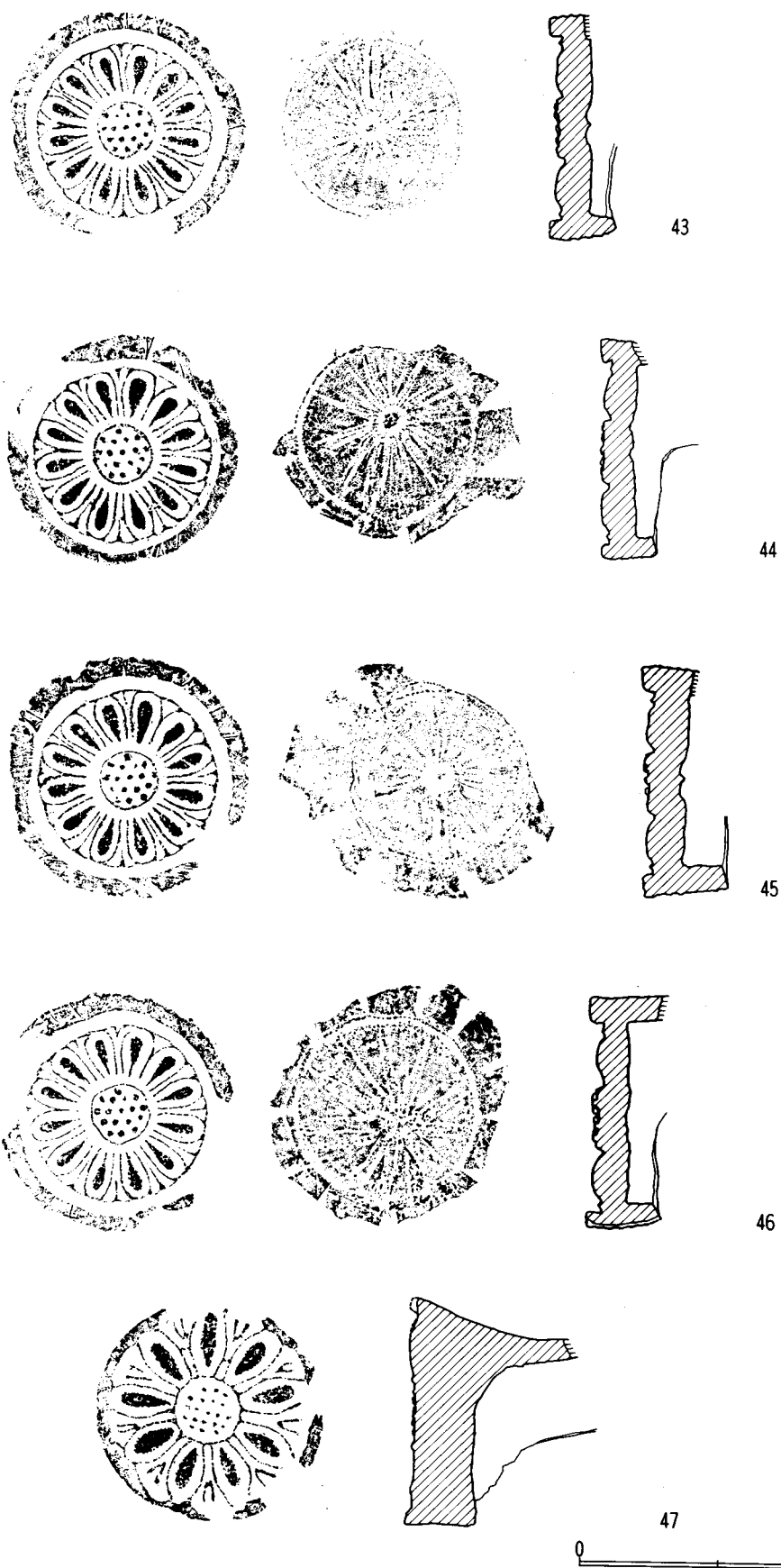
番号	器 種	法 量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
10	坏	口 径 13.7 器 高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部内湾する。	中粒砂を含む。	10YR-6/3にぶい黄褐色 外面：10YR-5/3にぶい黄褐色の部分あり。	良好	55%	灯明皿、煤付着。
11	坏	口 径 13.9 器 高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂、粗粒砂を含む。	7.5YR-6/4にぶい橙色	良好	50%以下	
12	坏	口 径 14.2 器 高 3.5	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底？。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	5YR-6/4にぶい橙色	良好	50%以下	灯明皿、煤付着。
13	坏	口 径 14.0 残存高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指圧痕、 下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	7.5YR-7/4にぶい橙色	良好	50%以下	
14	坏	口 径 14.6 器 高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、 下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	外面：5YR-7/6橙色 内面：5YR-6/6橙色	良好	50%以下	
15	坏	口 径 13.0 残存高 2.1	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 器高浅く、平底きみ。口縁部大きく開く。	中粒砂を含む。	外面：5YR-6/6橙色 内面：5YR-7/6橙色	良好	50%以下	
16	坏	口 径 14.0 残存高 2.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部 ヘラケズリ。 底部平底。口縁部外反して立つ。 内面に放射状暗文あり。	中粒砂を含む。	5YR-6/8橙色	良好	50%以下	
17	坏	口 径 14.2 器 高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部外反する。	粗粒砂、中粒砂を含む。	7.5YR-6/6橙色	良好	90%	灯明皿、口縁部内面に煤付着。
18	坏	口 径 19.0 残存高 4.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部やや外反して立つ。	中粒砂、粗粒砂を含む。	7.5YR-6/6橙色	良好	50%以下	底部外面に墨書「寺工宋？」
19	坏	口 径 14.8 器 高 3.6	口縁部から底部にかけて外面はヘラミガキが施 される。 内面はヨコナデ、放射状暗文あり。 底部平底。口縁部外反する。	中粒砂を含む。	5YR-7/8橙色 大部分5YR-1.7/1黒色	良好	97%	灯明皿。
20	高 坏	口 径 14.0 くびれ径 4.6 脚幅径 9.0 器 高 7.3	坏部内面ヨコナデ。外面ヘラミガキ。脚部外面 ヘラミガキ、内面ナデ後ヘラミガキ。 坏部口縁部内面らせん状の暗文を2重に施し、 平行に暗文を施す。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	2.5YR-4/8明赤褐色 坏底部内面：2.5YR-6/6橙 色	良好	70%	黒斑あり。
21	台付甕	台部径 9.6 残存高 3.6	台部外面上半ヘラケズリ、下半から内面ヨコナ デ。 底部は丸くやや突き出し、大きく「ハ」の字状 に開く。	中粒砂を少し含 む。	10YR-7/4にぶい黄褐色 5YR-6/8橙色	良好	台部のみ	
22	甕	口 径 26.4 頸部径 23.8 残存高 8.5	口縁部ヨコナデ、ヘラ工具痕。胴部上半横方向 ヘラケズリ。 「コ」の字口縁。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	外面：5YR-6/6橙色 内面：10YR-6/3にぶい黄 褐色	良好	口縁部付近 一部のみ	
23	坏		ヘラケズリ。	中粒砂を含む。	外面：5YR-6/6橙色 内面：5YR-5/4にぶい赤褐 色	良好	底部の一部 のみ	底部外面に墨書「水？」
24	蓋	口 径 18.8 残存高 2.0	ロクロ成形。 口縁端部は丸くかえりが付く。	中粒砂を含む。	7.5Y-7/1灰白色	良好	口縁端部の 一部	
25	蓋	口 径 21.2 つまみ径 3.0 器 高 3.1	右回転ロクロ成形。ロクロナデ。天井部ヘラケ ズリ。 偏平なつまみ。つまみとの接地ナデツケ。 口縁端部は下方に折り返り突出する。	中粒砂、粗粒砂、 白色針状物質含 む。	外面：10Y-6/1灰色 端部はN-3/暗灰色 内面：10Y-5/1灰色	良好	40%	
26	蓋	口 径 20.6 残存高 2.5	右回転ロクロ成形。ロクロナデ。天井部ヘラケ ズリ。 口縁端部は下方に折り返り突出する。	粗粒砂、白色針 状物質含む。	7.5Y-7/1灰白色 黒い部分あり。	良好	25～30%	
27	壺	残存高 4.8 底 径 8.2	ロクロ成形。底部付近外面面取り状にヘラケズ リ。 底部外面端部ヘラケズリ以外未調整。 肉厚。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	5B-5/1青灰色 外面に5PB-3/1暗青灰色の 部分あり。	良好	底部付近 一部のみ	
28	瓦塔 (軸部)		表面ヘラケズリにより、平滑にされている。 逆凸型の斗拱表現。	中粒砂と粗粒砂 を含む。	7.5Y-7/1灰色	良好	斗拱箇所	隅の部分残る。
29	羽 口	残存長 9.2 外 径 5.9 孔 径 2.6	棒に巻き、表面を指頭ナデ。 口部は黒色ガラス化、発泡化する。	中粒砂、少しの 粗粒砂と細礫を 含む。	7.5YR-7/8黄褐色 5Y-8/2灰白色 5PB-2/1青黒色	良好	基部欠損	
30	釘	全 長 19.4 基部最大幅 1～1.2	角釘。弓なりに曲がる形状。基部は断面方形を 呈し、先端部に向かって先細りになっている。 頭部は欠損しているようである。					
31	釘	残存長 7.6 基部最大幅 0.5～0.6	角釘。頭部は完存し、基部先端を欠損する。頭 部は端部を折り曲げて平たく鍛き出している。 方形を呈す。基部は断面方形を呈し、先端部 に向かって先細りになっている。					
32	釘	残存長 4.5 基部最大幅 0.4～0.5	角釘。頭部は完存し、基部先端を欠損する。頭 部は端部を折り曲げて平たく鍛き出している。 基部は断面方形を呈し、先端部に向かって先細 りになっている。					



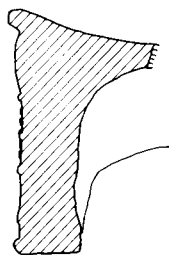
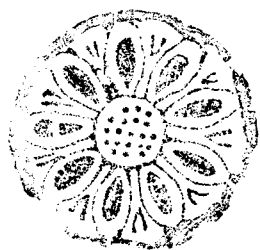
第7図 瓦溜り状遺構出土遺物（3）



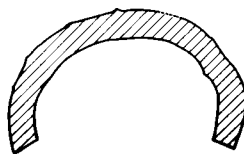
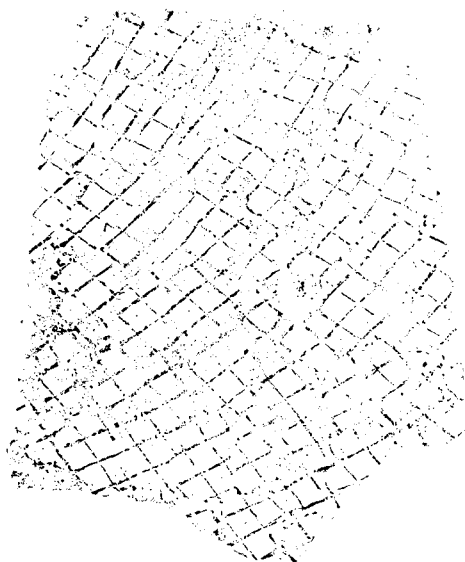
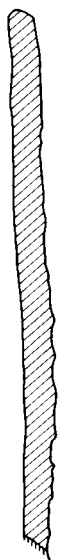
第 8 図 瓦溜り状遺構出土遺物 (4)



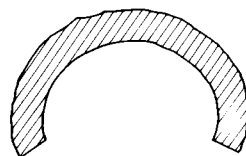
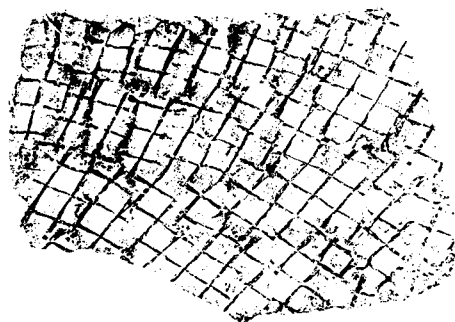
第9図 瓦溜り状遺構出土遺物（5）



48



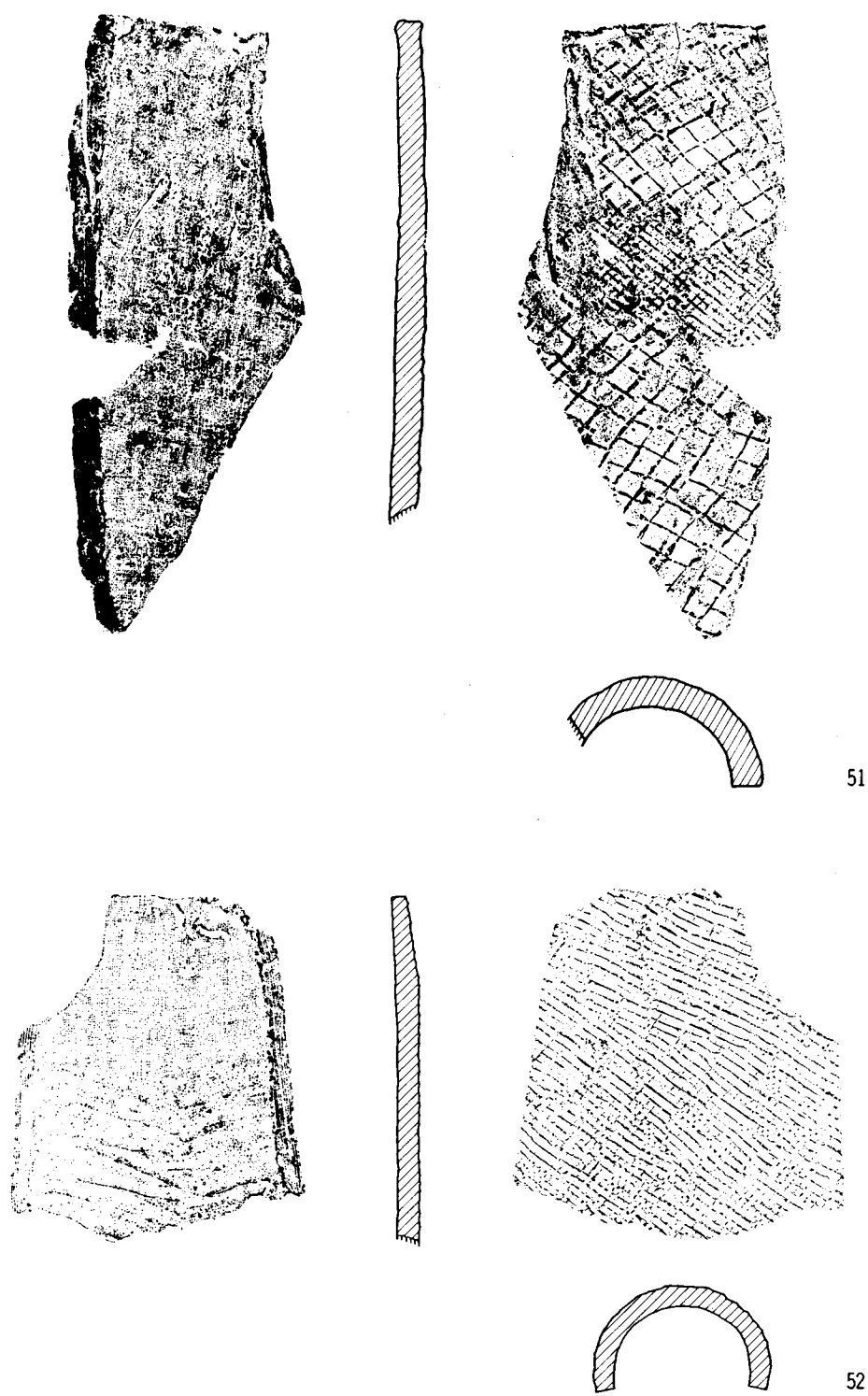
49



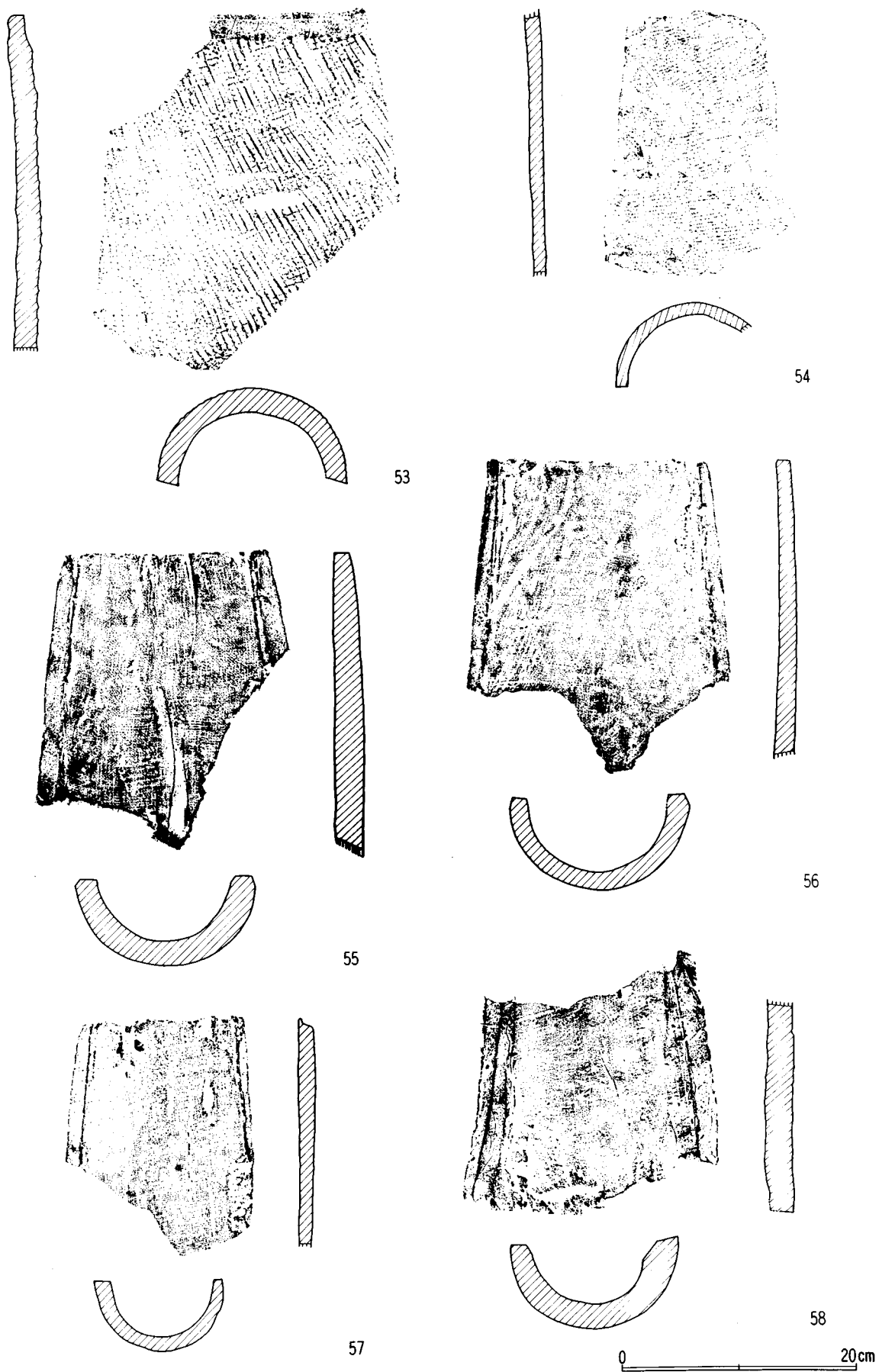
50

0 20cm

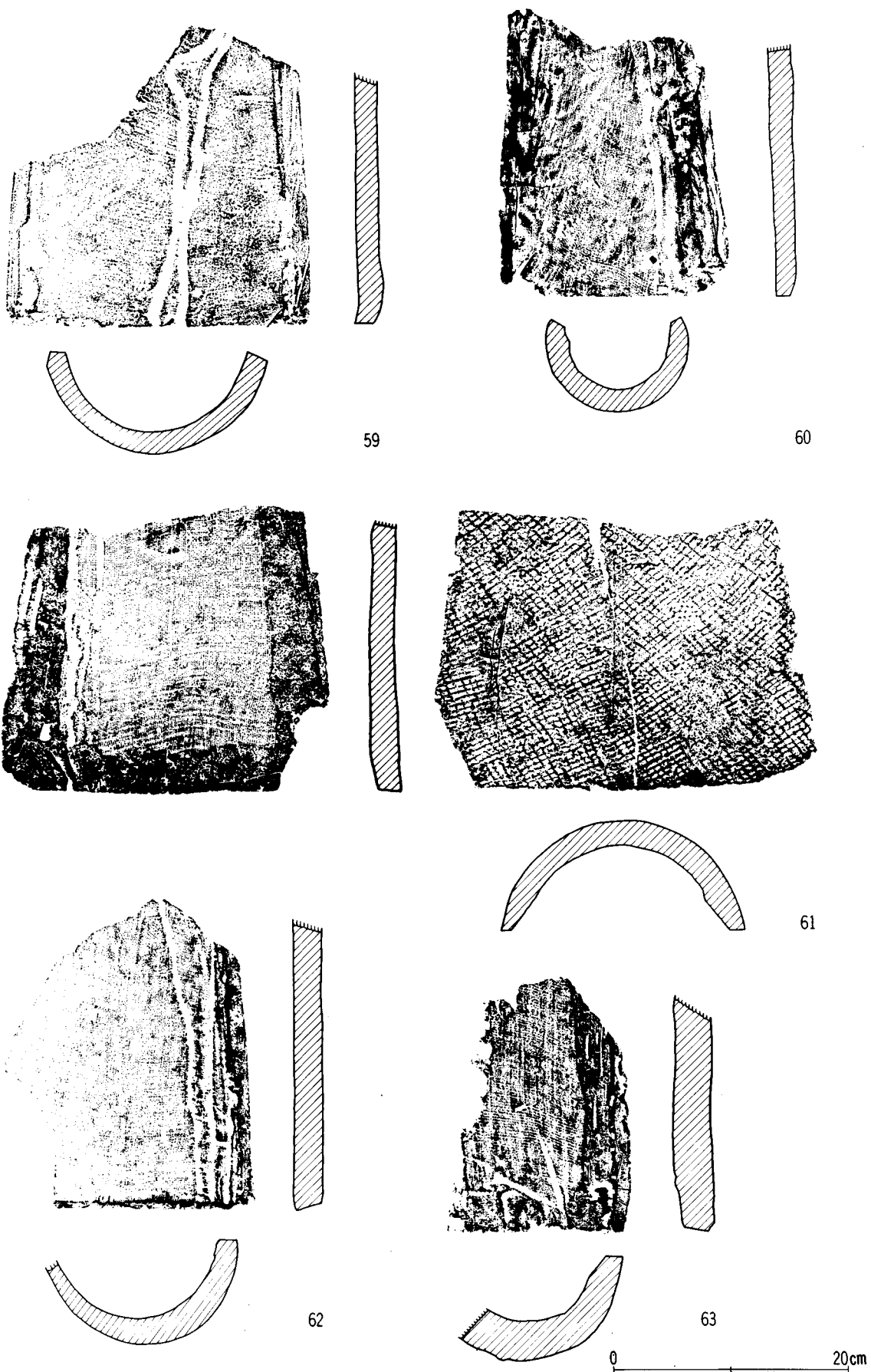
第10図 瓦溜り状遺構出土遺物（6）



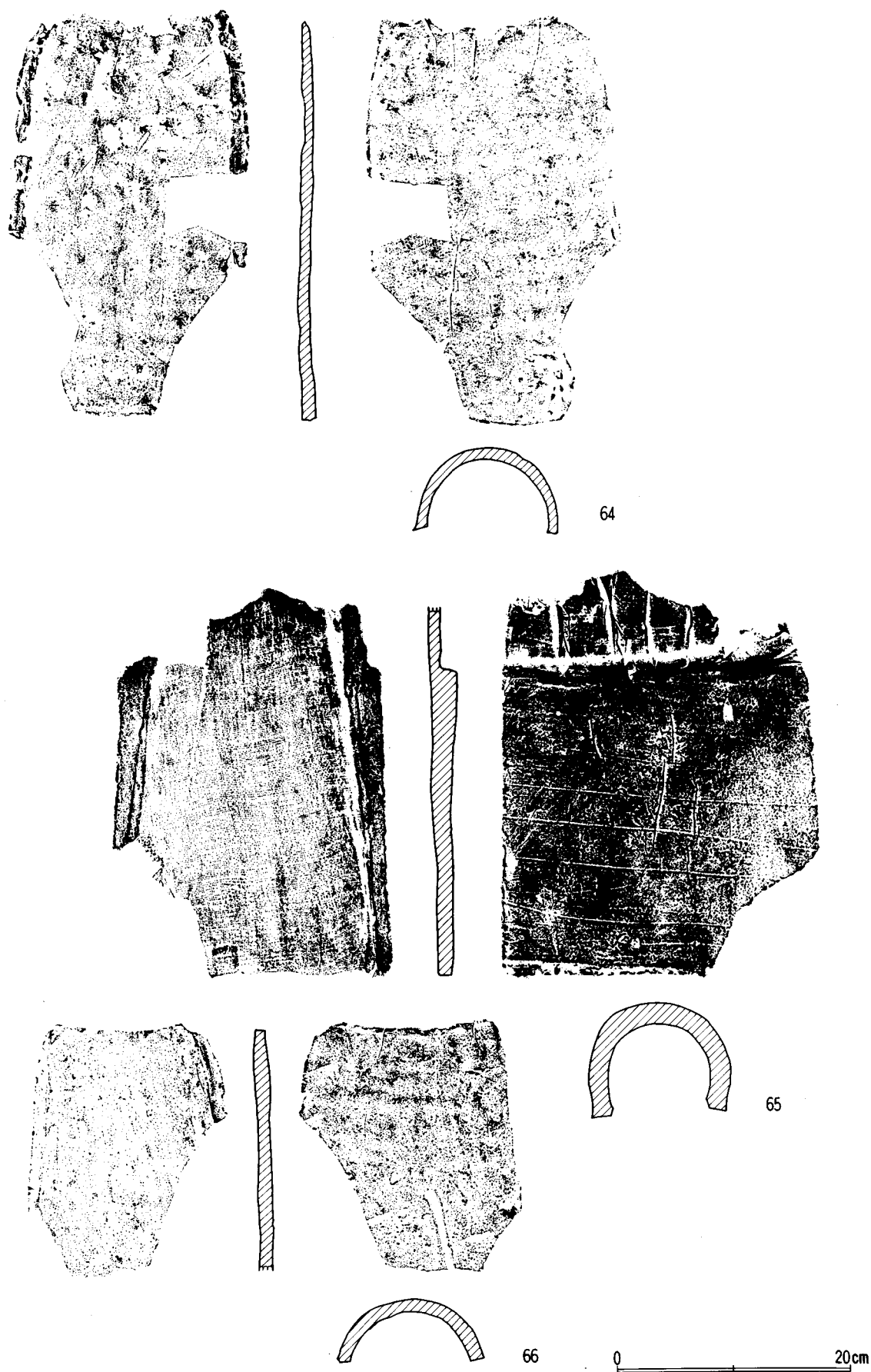
第11図 瓦溜り状遺構出土遺物（7）



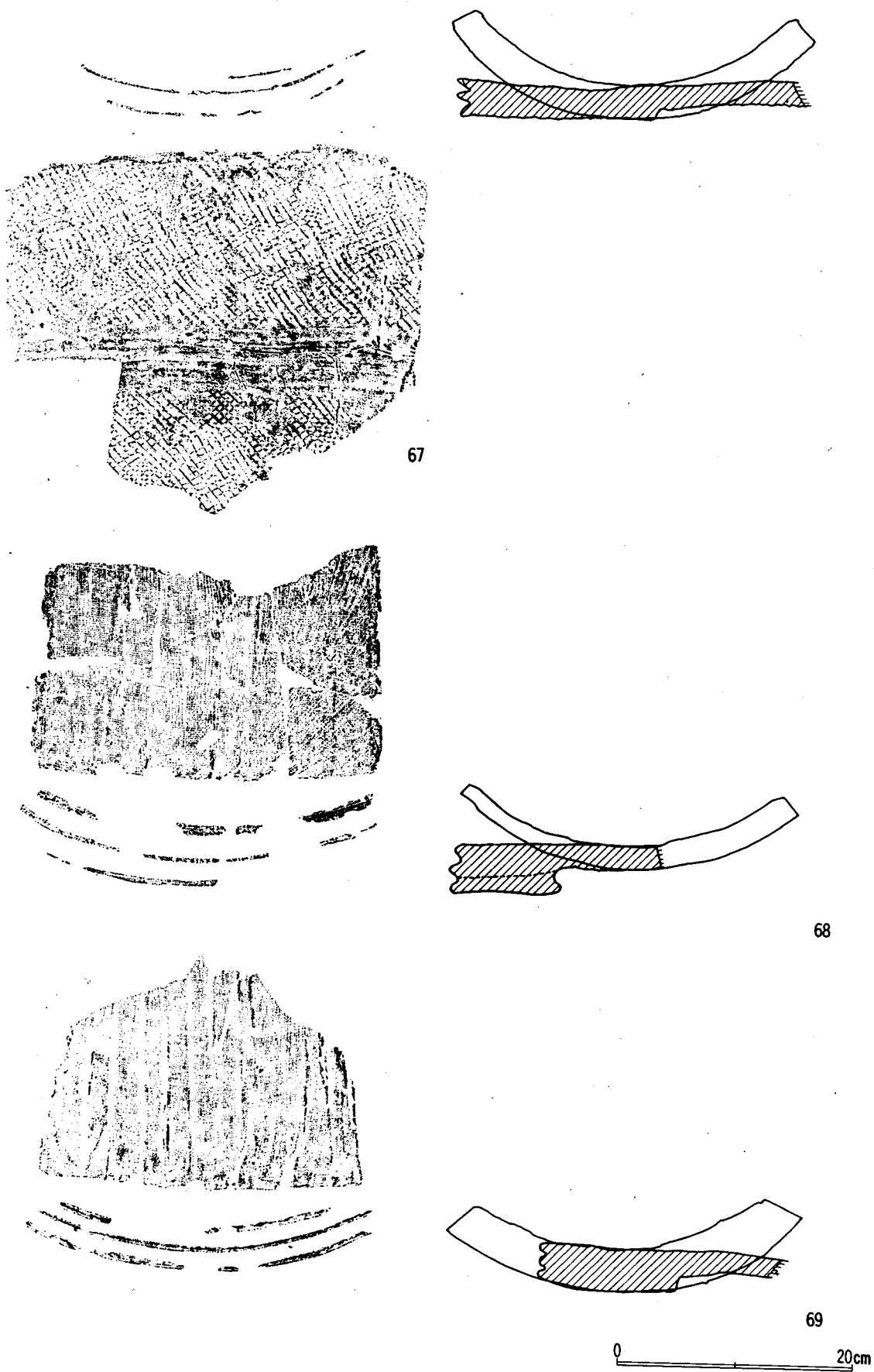
第12図 瓦溜り状遺構出土遺物（8）



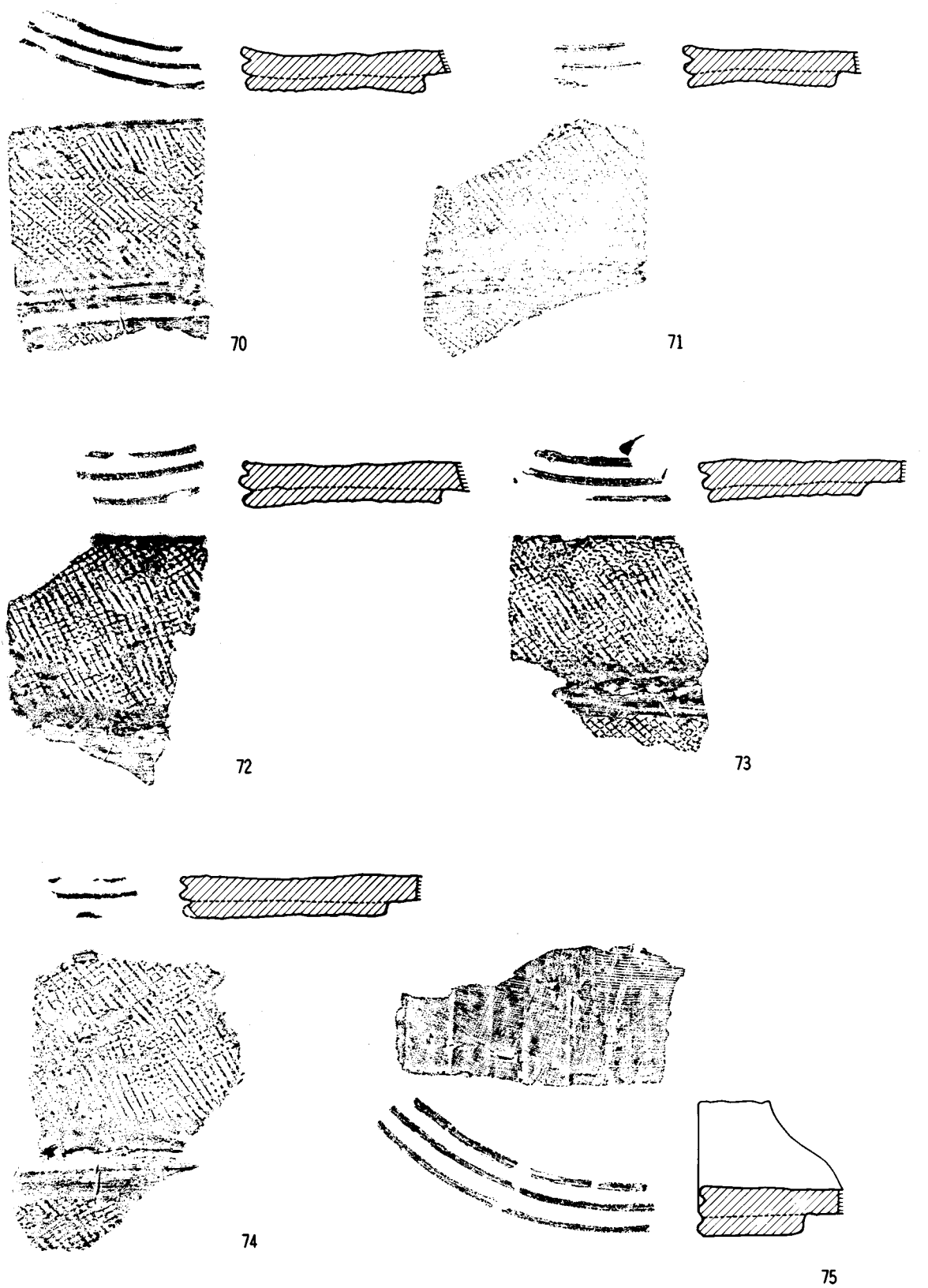
第13図 瓦溜り状遺構出土遺物（9）



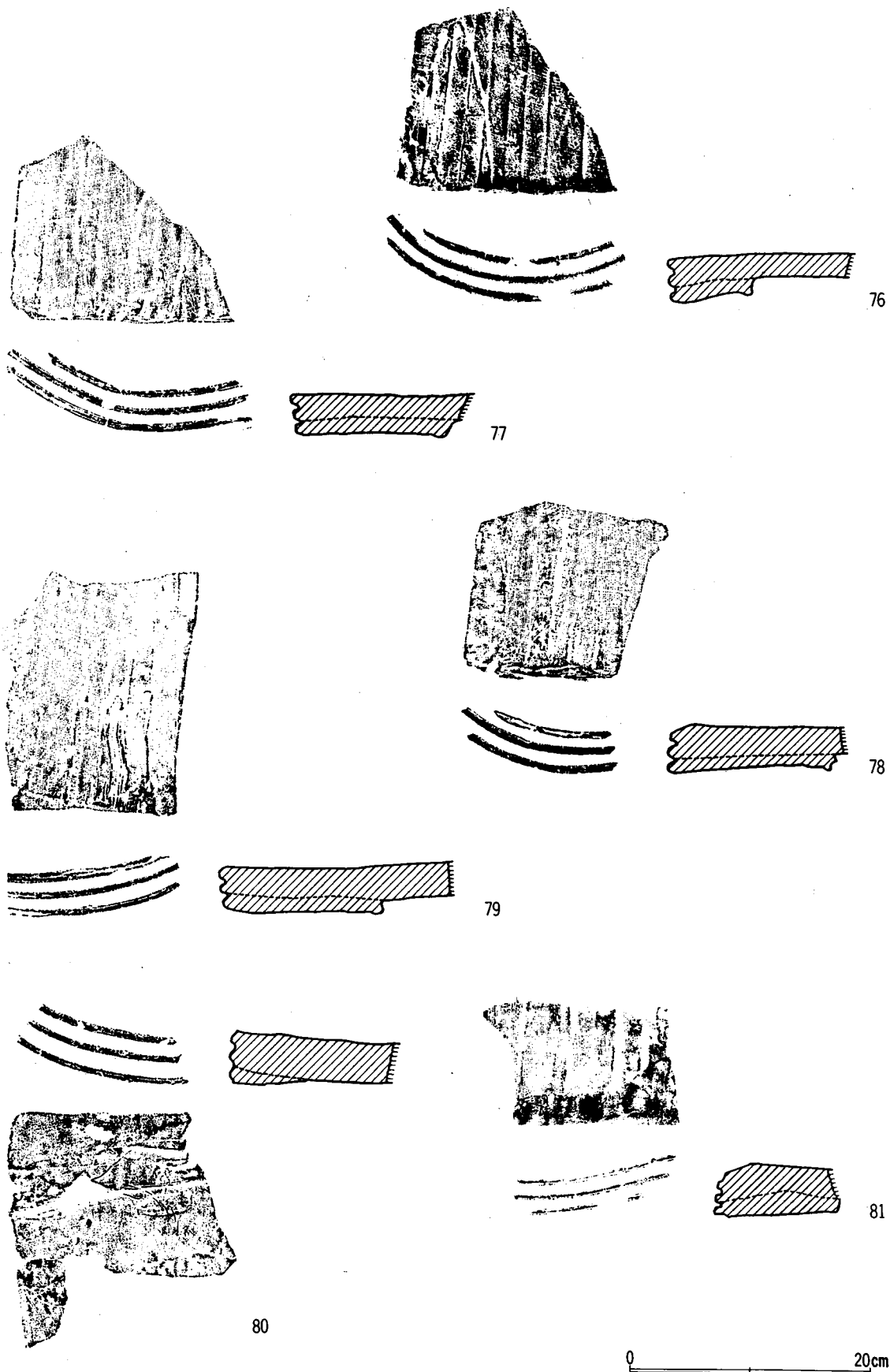
第14図 瓦溜り状遺構出土遺物 (10)



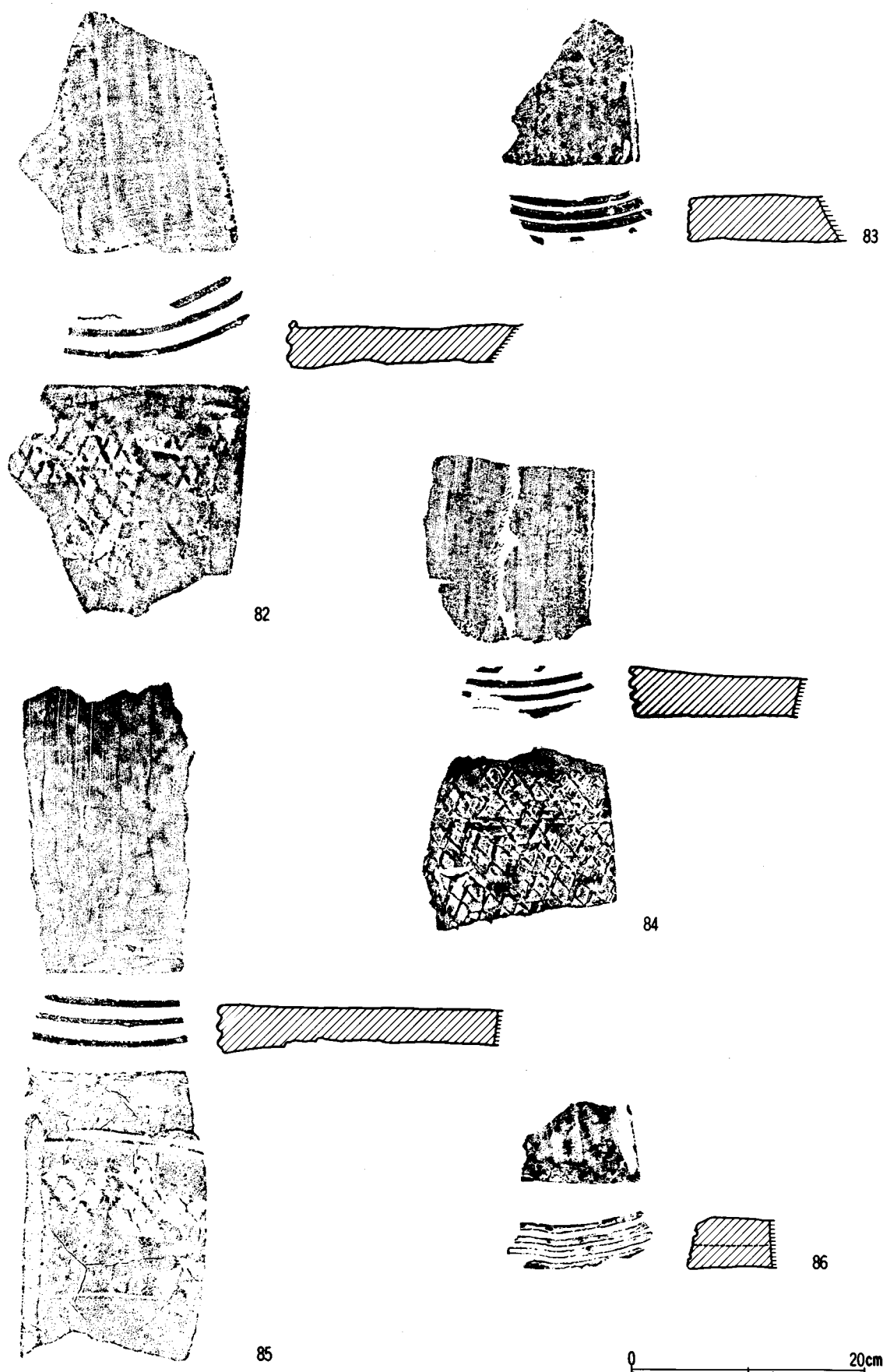
第15図 瓦溜り状遺構出土遺物 (11)



第16図 瓦溜り状遺構出土遺物 (12)



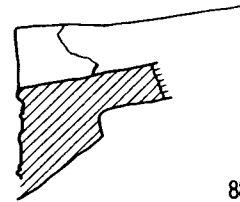
第17図 瓦溜り状遺構出土遺物 (13)



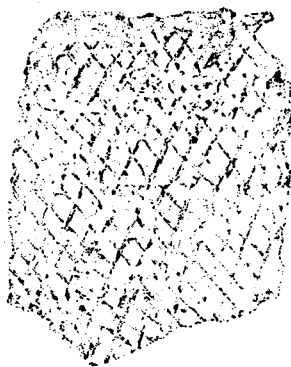
第18図 瓦溜り状遺構出土遺物 (14)



87



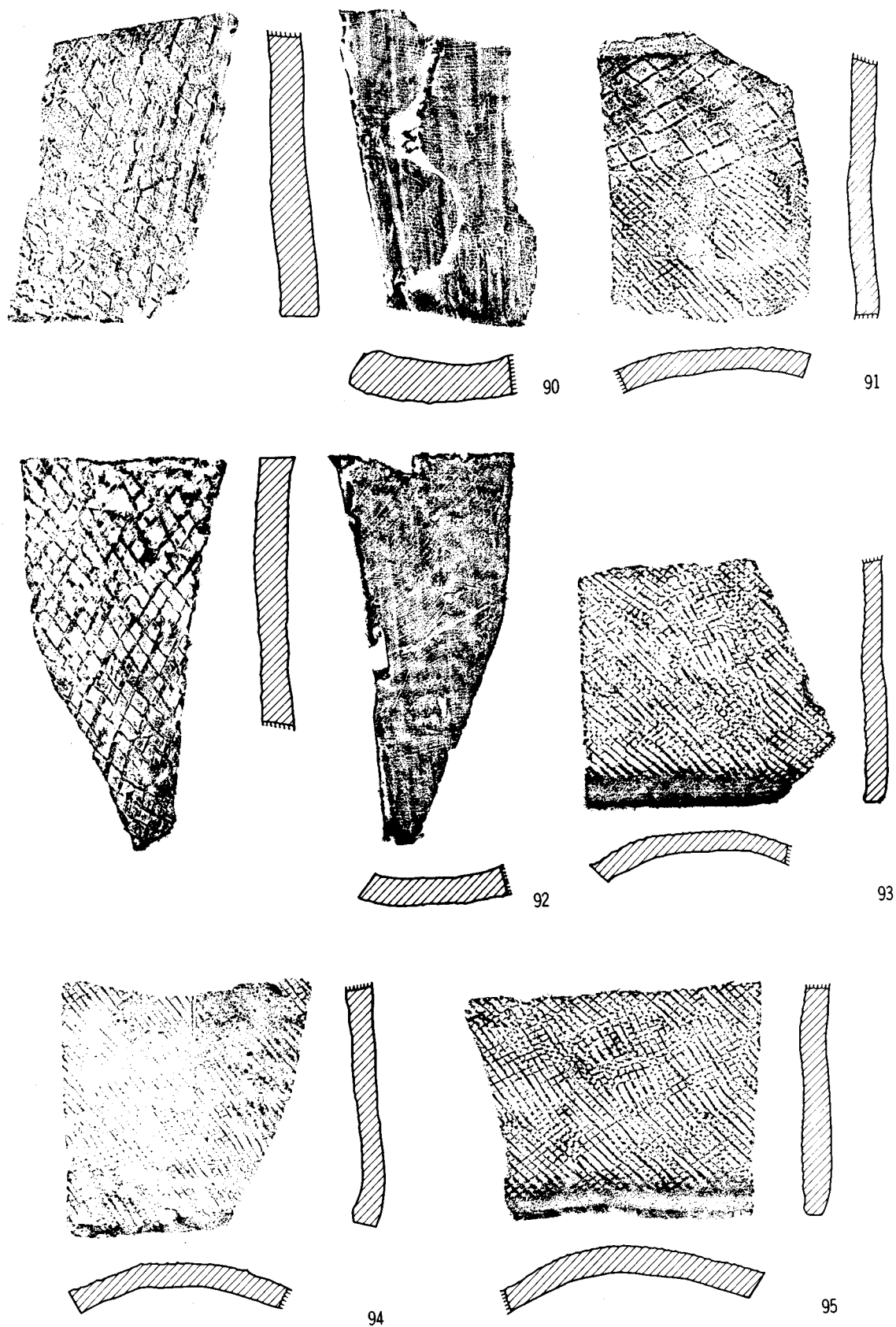
88



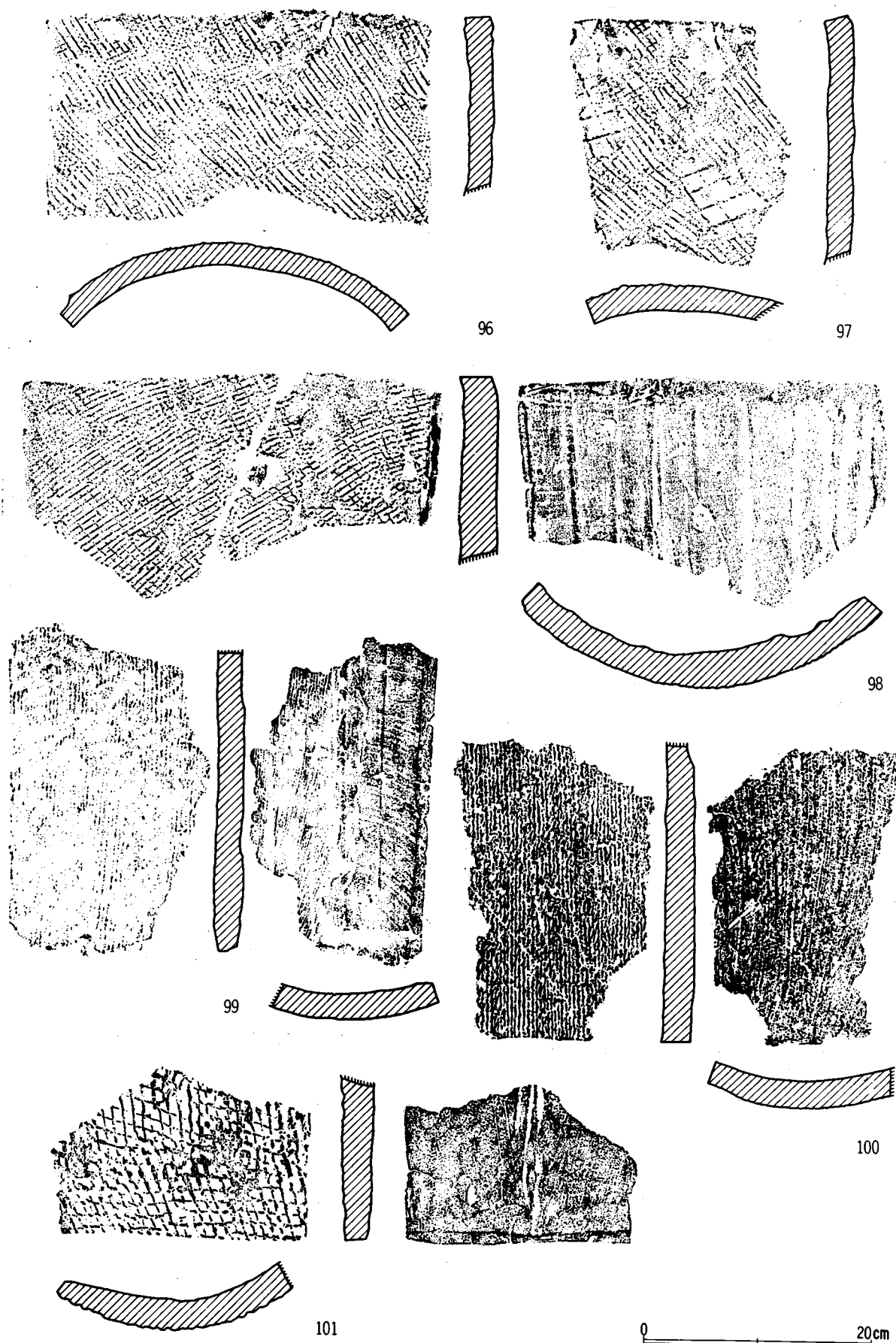
89

0 20cm

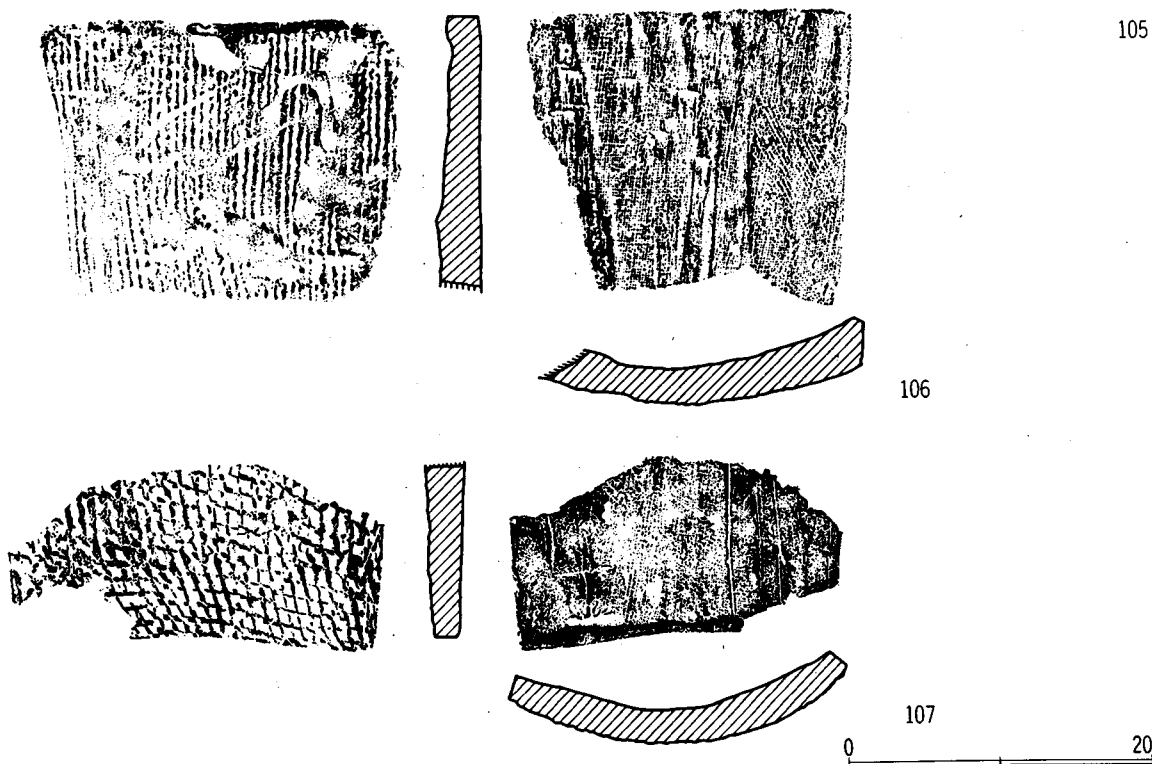
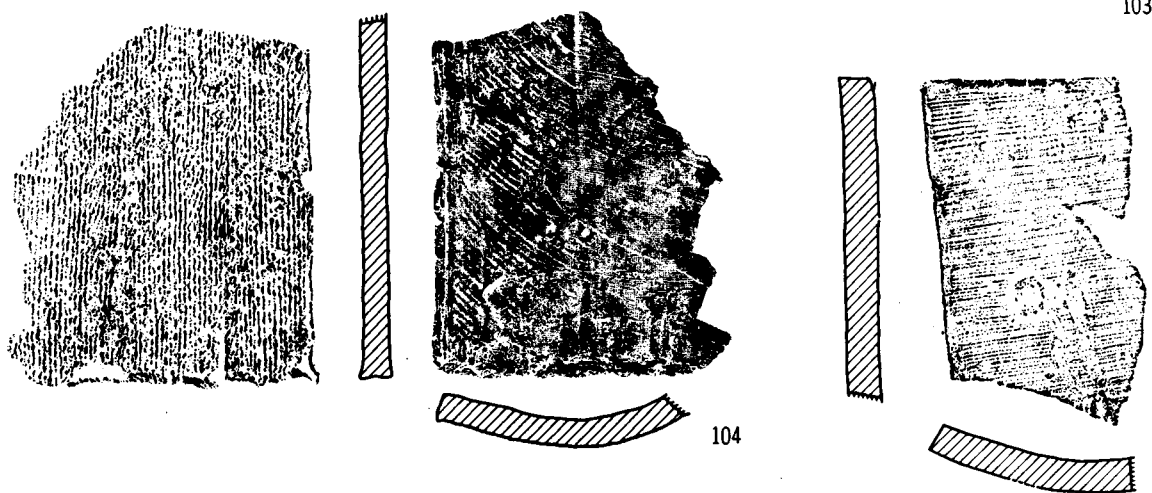
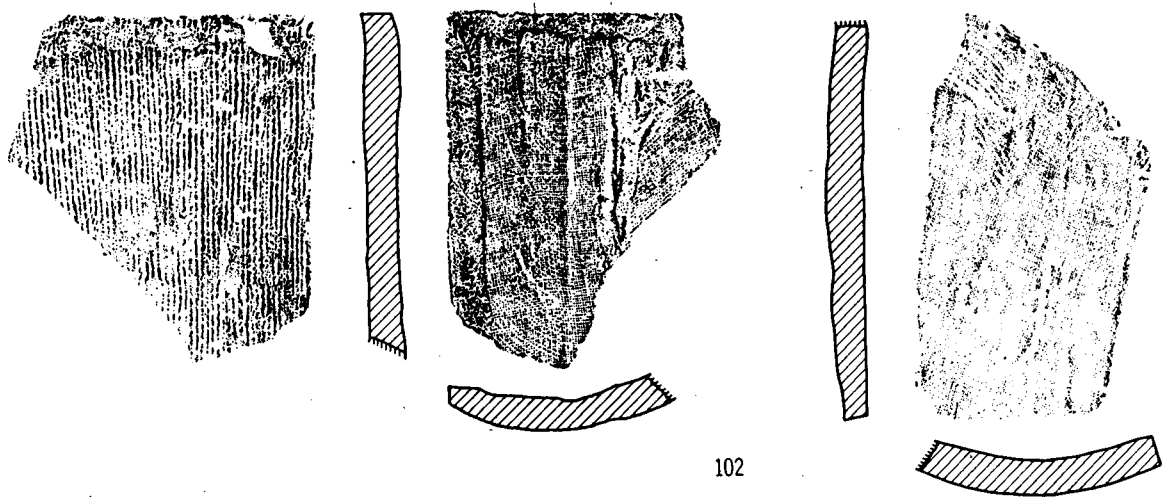
第19図 瓦溜り状遺構出土遺物 (15)



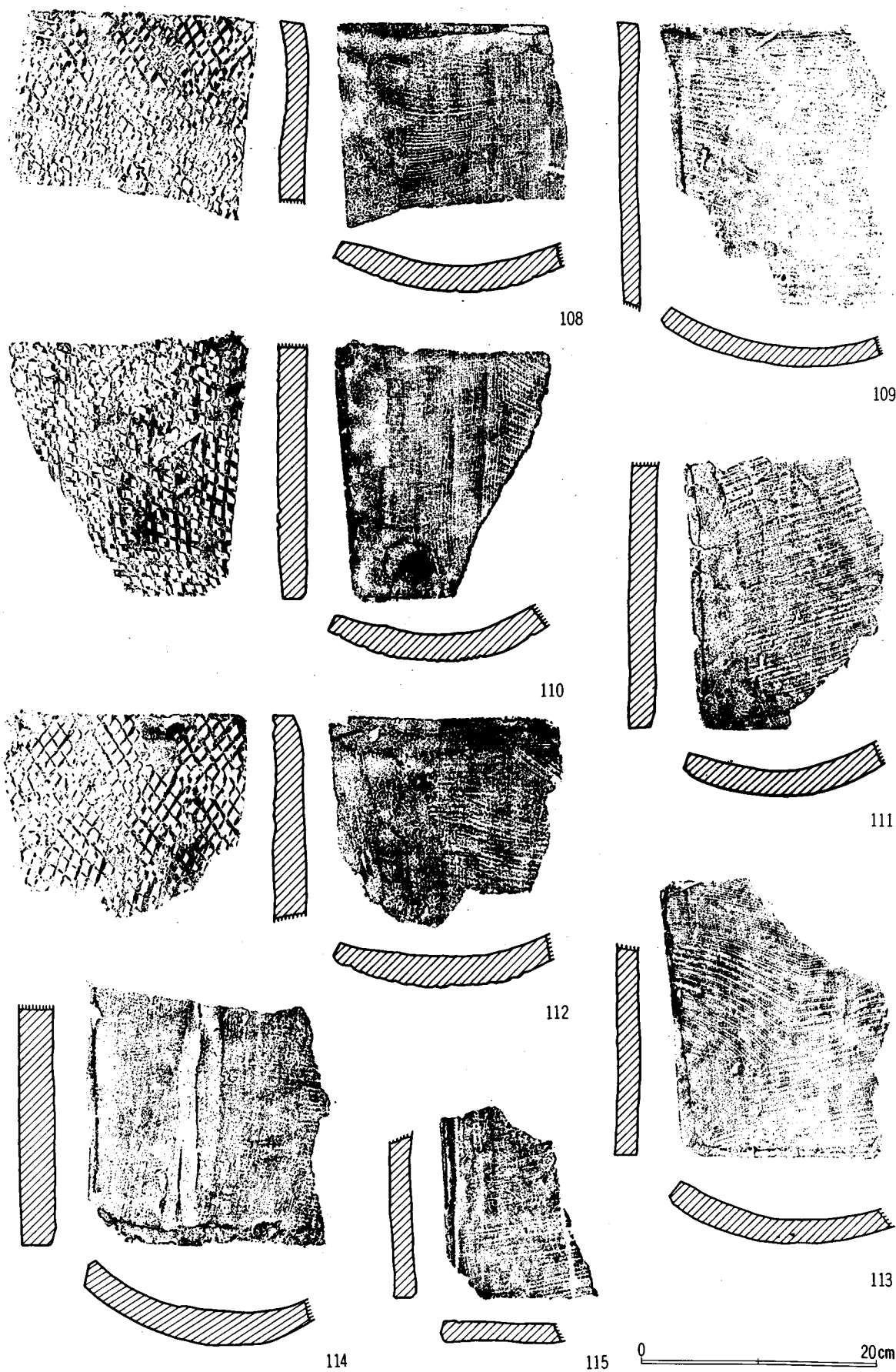
第20図 瓦溜り状遺構出土遺物 (16)



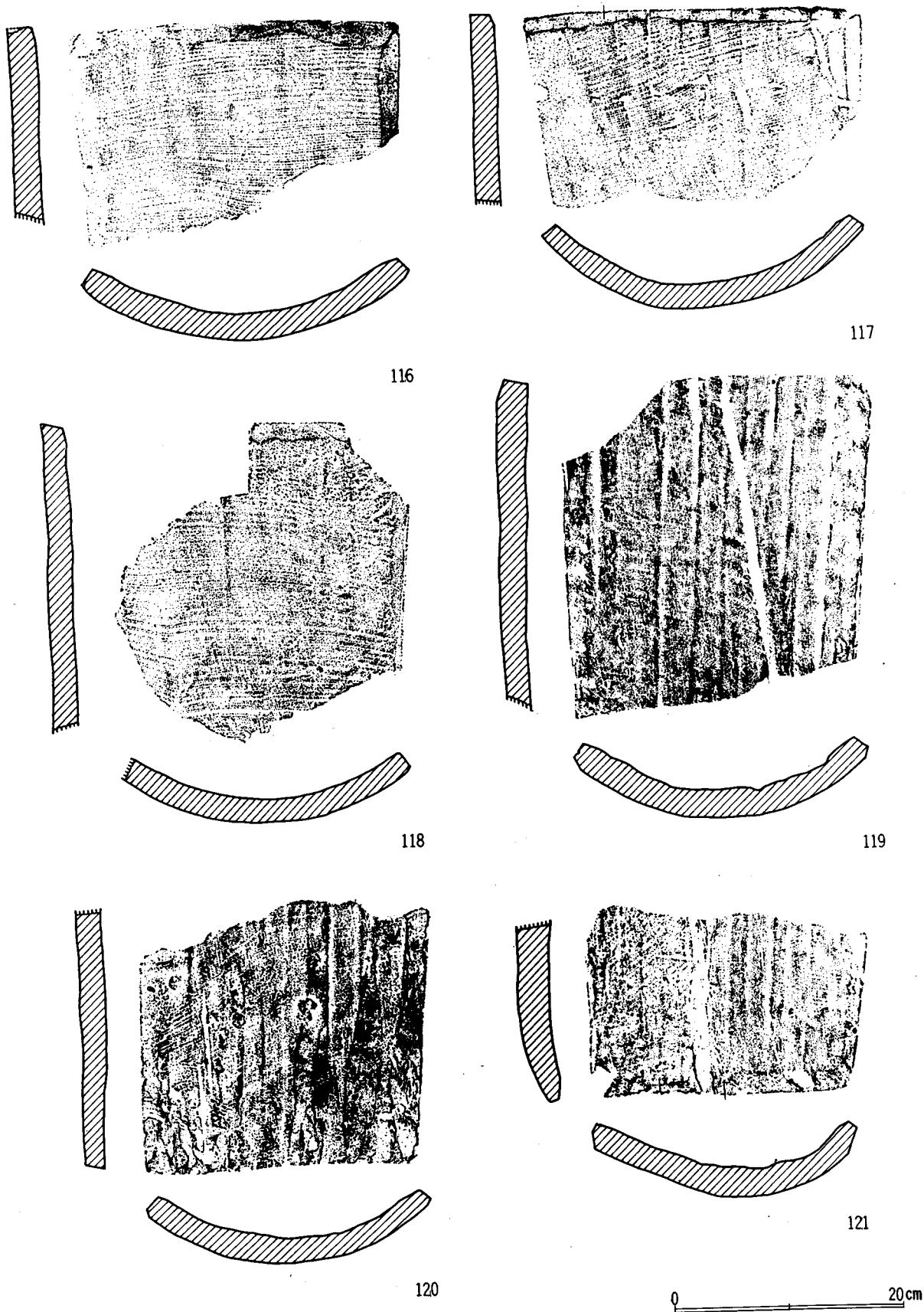
第21図 瓦溜り状遺構出土遺物 (17)



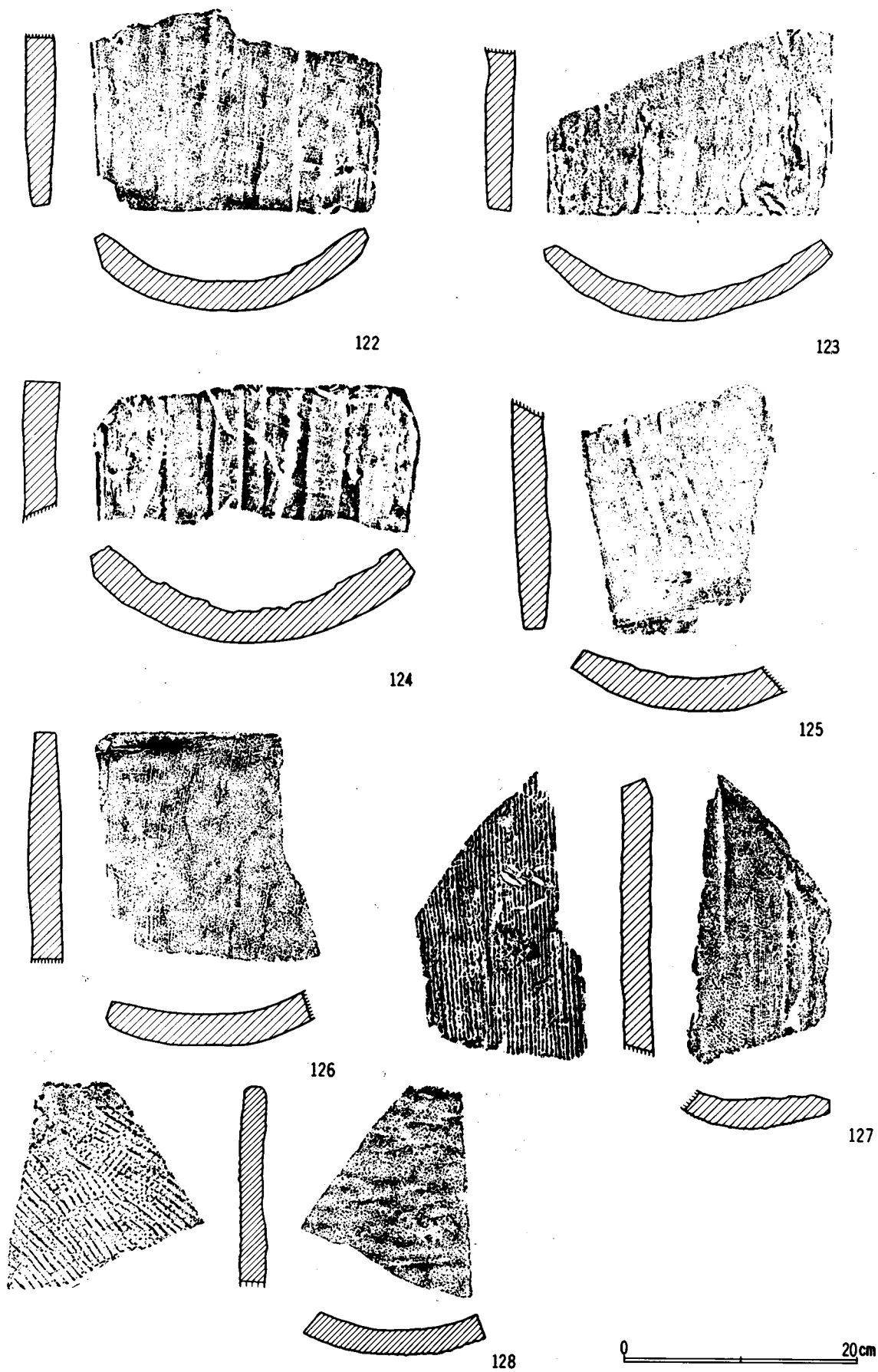
第22図 瓦溜り状遺構出土遺物 (18)



第23図 瓦溜り状遺構出土遺物 (19)



第24図 瓦溜り状遺構出土遺物 (20)



第25図 瓦溜り状遺構出土遺物 (21)

瓦溜り状遺構出土遺物観察表

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法、形 態 の 特 徴	布 目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
33	複弁9葉蓮華文 軒丸瓦	直径 (19.0)	瓦当面：中房不明、蓮子不明、蓮弁細隆線によって区画され肉薄、間弁なし、界線なし、周縁直立縁で端面が平坦でナデ。瓦当裏面：下部周辺ヘラケズリ、中央部ナデ。成形技法：不明。		中粒砂と少しの粗粒砂、細礫を含む。	10Y-7/1灰白色	良好		瓦当面大部分欠損。
34	複弁8葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.2~18.0	瓦当面：中房直径5.5cm、蓮子14個（1個中央、13個不規則に配置）、蓮弁細隆線（凸細線）で区画され肉厚で丸味もつ、間弁なし、界線なし、周縁直立縁で丸もち指頭瓦痕施される。瓦当裏面：ナデ。瓦当外周：ナデ。成形技法：印籠つぎ法。		粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面：5GY-7/1明オリブ灰色 内面：5B-5/1青灰色	良好	瓦当90%	
35	複弁8葉蓮華文 軒丸瓦	直径 18.0	瓦当面：中房直径6.2cm、蓮子14個（1個中央、13個不規則に配置）、蓮弁細隆線（凸細線）で区画され肉厚で丸味もつ、蓮弁先端と蓮弁を区画する縁の間に2ヶ所（下方）の危のキズがある、間弁なし、界線なし、周縁直立縁或いはやや外傾丸み帯び内壁には線刻樹文が施される。瓦当裏面：ナデ。瓦当外周：ナデ。成形技法：印籠つぎ法。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-4/灰色 10Y-7/1灰白色	良好	瓦当完存	
36	複弁8葉蓮華文 軒丸瓦	直径 (18.0)	瓦当面：中房直径5.5cm、蓮子14個（全てつおれた状態）、1個中央で13個不規則に配置、蓮弁細隆線で区画され肉厚で丸味もつ、間弁なし、界線なし、周縁欠損して不明、おそらく直立縁（丸味もつ）、内壁に線刻樹文が施される。瓦当裏面：ナデ。瓦当外周：ナデ。丸瓦部：凸ナデ、凹ナデ。成形技法：印籠つぎ法。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面：N-5/灰色 凸：10BG-6/1青灰色、10YR-7/3にぶい黄褐色 凹：10YR-7/3にぶい黄褐色	良好	瓦当70%	
37	複弁8葉蓮華文 軒丸瓦	直径 18.0~18.6 厚さ 1.8~2.3	瓦当面：中房直径5.7cm、蓮子14個（1個欠損）、蓮弁細隆線で区画されやや肉厚、間弁なし、界線なし、周縁内傾する三角形で交叉鋸歯文が全周する。瓦当裏面：ナデ。瓦当外周：ヘラケズリ。丸瓦部：凸縁方向ナデ、凹縁方向ナデ布目痕。成形技法：印籠つぎ法。		中粒砂、粗粒砂、細礫を含む。	瓦当面：7.5Y-7/1灰白色、 N-6/灰色 その他：7.5Y-7/1灰白色、 N-3/暗灰色	良好	瓦当完存	丸瓦部分残る。
38	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 18.0~18.5	瓦当面：中房直径4.2cm、蓮子17個、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦で斜格子（小）叩き目若干残る。ナデられている箇所あり。瓦当裏面：布紋り痕。丸瓦部：凸斜格子（大）叩き、凹布目痕。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂、少しの細礫を含む。	10Y-6/1灰色 N-5/灰色 N-4/灰色	良好	瓦当完存	
39	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.0~17.2	瓦当面：中房直径4.8cm、蓮子17個（1個欠損）、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。丸瓦部：凸瓦当外周斜格子（小）叩き以外ナデ、凹布目痕。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面凸：10Y-5/1灰色 凹：10Y-6/1灰色	良好	瓦当完存	丸瓦部分残る。
40	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.5~18.0	瓦当面：中房直径4.8cm、蓮子17個（7個欠損）、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。丸瓦部：凸斜格子（小）叩き、凹布目痕。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面凸：10Y-6/1灰色 凹：7.5Y-7/1灰白色	良好	瓦当完存	
41	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.0~17.5	瓦当面：中房直径4.7cm、蓮子17個、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。丸瓦部：凸斜格子（小）叩き、凹布目痕。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色	良好	瓦当完存	丸瓦部分残る。
42	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.9~18.2	瓦当面：中房直径5.0cm、蓮子17個（つおれている）、蓮弁断面台形に近い湾状、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右方向の間弁省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。丸瓦部：凸斜格子（小）叩き、凹布目痕。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	7.5Y-8/2灰白色	良好	瓦当完存	
43	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 16.2~16.8	瓦当面：中房直径4.5cm、蓮子17個、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-4/灰色	良好	瓦当完存	
44	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 16.5	瓦当面：中房直径4.8cm、蓮子17個、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂を含む。	N-5/灰色	良好	瓦当完存	
45	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.0~17.3	瓦当面：中房直径4.6cm、蓮子17個、蓮弁断面台形状呈す（下）、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。瓦当裏面：布紋り痕。瓦当外周：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面：N-6/灰色 凸：N-5/灰色	良好	瓦当完存	

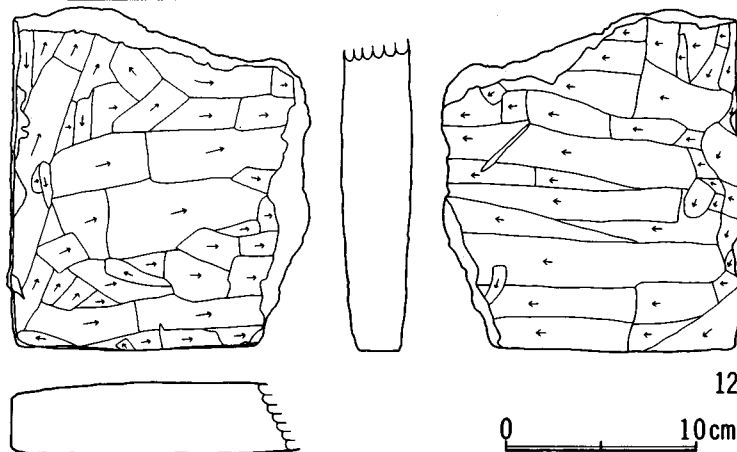
番号	器 種	法 量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼 成	残 存 率	備 考
46	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.0	瓦当面：中房直径4.7cm、蓮子17個、間弁「Y」字状-文様の割付が乱れ右斜め上は省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデ。 瓦当裏面：布紋り痕。 瓦当外周：斜格子（小）叩き。 成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂を含む。	10Y-7/1灰白色	良好	瓦当完存	
47	単弁9葉蓮華文 軒丸瓦	直径 16.5~17.0	瓦当面：細線を主体とした表現、中房直径4.4cmで四隅がややはって正方形になる、蓮子20個、蓮弁細線で区画しやや肉厚、間弁「V」字状、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でヘラケズリ。 瓦当裏面：ナデ。瓦当周辺：タテ方向ヘラケズリ（狭→広）。 丸瓦部：凸タテ方向ヘラケズリ（狭→広）、凹布目痕。成形技法：印籠つき法。		粗粒砂、中粒砂、赤褐色粒子、少しの細礫を含む。	N-3/暗灰色	良好	瓦当完存	丸瓦部分残る。
48	単弁9葉蓮華文 軒丸瓦	直径 16.3~16.5	瓦当面：細線を主体とした表現、中房直径4.3cmで四隅がややはって正方形になる、蓮子20個、蓮弁細線で区画しやや肉厚、間弁「V」字状、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でヘラケズリ。 瓦当裏面：下部周辺ヘラケズリ中央部ナデ。 瓦当外周：ヘラケズリ。 丸瓦部：凸ヘラケズリ、凹ナデ。 成形技法：印籠つき法。		粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	N-6/灰色	良好	瓦当完存	丸瓦部分残る。
49	丸 瓦	狭端 13.0 厚さ 1.4~2.0	凸：斜格子（大）叩き。 凹：布目痕、指ナデ。	7×7	粗粒砂を含む。	2.5Y-7/2灰黄色 凹：黒ずんでいる。	良好	狭端部側	
50	丸 瓦	狭端 13.5 厚さ 1.0~2.0	凸：斜格子（小）叩き。 凹：布目痕、指ナデ。	8×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸：N-5/灰色 凹：N-6/灰色	良好	狭端部側	
51	丸 瓦	厚さ 1.7~2.5	凸：斜格子（小）叩き、斜格子（大）叩き。 凹：布目痕。	8×7	粗粒砂、細礫を含む。	N-4/灰色 N-5/灰色	良好	狭端部側	
52	丸 瓦	厚さ 1.2~1.7	凸：斜格子（小）叩き。 凹：狭端部側幅約12cm布目痕、他は指ナデ。	8×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-7/灰白色	良好	狭端部側	
53	丸 瓦	厚さ 1.4~2.5	凸：斜格子（小）叩き。 凹：指ナデ。		粗粒砂と細礫を含む。	5B-6/1青灰色	良好	狭端部側	
54	丸 瓦	厚さ 1.0~1.1	凸：平行叩き圧痕とナデ。 凹：指ナデ。		粗粒砂と少しの細礫を含む。	7.5YR-7/6橙色	良好		
55	丸 瓦	狭端 13.5 厚さ 1.6~3.0	凸：タテ方向ナデ。 凹：布目痕、一部指ナデ。	9×9	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	凸：2.5YR-4/4にぶい赤褐色、N-5/灰色 凹：5YR-5/3にぶい赤褐色	良好	狭端部側	
56	丸 瓦	狭端 13.0 厚さ 1.2~2.0	凸：ヘラまたは木口状工具によるナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凸凹とも面取りヘラケズリ。	8×7	粗粒砂と中粒砂を含む。	5Y-7/1灰白色 凸：10YR-7/3にぶい黄褐色、7.5YR-7/6褐色あり。	良好	狭端部側	
57	丸 瓦	狭端 9.5 厚さ 0.5~1.5	凸：指ナデ。 凹：布目痕。	10×8	粗粒砂と少しの細礫を含む。	5B-2/1青黒色 外面に5B-5/1青灰色の部分あり。	良好	狭端部側	
58	丸 瓦	厚さ 2.0~3.0	凸：先端ヘラケズリ、指ナデ、指圧痕、一部に布目痕。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凹面取りヘラケズリ。		粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色	良好	広端部側	
59	丸 瓦	広端 18.0 厚さ 1.2~2.0	凸：指ナデとヘラナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：ヘラケズリ。	9×8	粗粒砂を含む。	N-5/灰色	良好	広端部側	
60	丸 瓦	広端 12.5 厚さ 1.2~2.1	凸：指ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凹面取りヘラケズリ。 広端部：凸面取りヘラケズリ。	9×9	中粒砂を含む。	N-3/暗灰色 凸：2.5GY-7/1明オリーブ灰色の部分が多い。	良好	広端部側	
61	丸 瓦	広端 22.0 厚さ 1.8~2.2	凸：斜格子（小）叩き。 凹：布目痕。 側端部：凹面取りヘラケズリ。 広端部：凹面取りヘラケズリ。	7×7	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸：N-5/灰色 凹：N-4/灰色 両面とも5Y-7/1灰白色の部分あり。	良好	広端部側	
62	丸 瓦	厚さ 1.2~2.5	凸：指ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凹凸とも面取りヘラケズリ。 広端部：凹凸とも面取りヘラケズリ。	9×9	粗粒砂、赤褐色粒子と少しの細礫を含む。	凸：7.5YR-6/4にぶい橙色 凹：10YR-6/4にぶい黄褐色	良好	広端部側	
63	丸 瓦	厚さ 1.5~3.5	凸：指ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凹面取りヘラケズリ。	8×9	粗粒砂、細礫、赤褐色粒子を含む。	7.5YR-7/4にぶい橙色	良好	広端部側	
64	丸 瓦	狭端 10.2 全長 34.0 厚さ 0.6~1.4	凸：指ナデ、一部に平行叩き残る。 凹：指ナデ。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸：7.5Y-5/1灰色 凹：7.5Y-6/1灰色	良好	70%	凸面ケール付着。
65	丸 瓦	厚さ 0.8~2.7	凸：ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端部：凹面取りヘラケズリ。	7×7	粗粒砂を含む。	N-5/灰色 外面にN-4/灰色 N-3/暗灰色の部分あり。	良好	80%	玉縁付。
66	丸 瓦	狭端 11.0 厚さ 0.7~1.3	凸：指ナデ。 凹：指ナデ。	なし	粗粒砂と少しの細礫を含む。	外面：N-5/灰色 内面：N-4/灰色	良好	狭端部側	

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
67	三重弧文軒平瓦	広端 31.4 厚さ 瓦当3.3 平瓦1.7~2.2	瓦当面：型挽き厚さ3.3cm。額：段額幅17.5cm、粘土板貼り付け成形、斜格子（小）叩き、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹ヨコナデ、凸斜格子（小）叩き。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫、長径10mmの礫を含む。	5B-5/1青灰色 凸：5B-4/1暗青灰色の部分あり。	良好	瓦当完存	
68	三重弧文軒平瓦	広端 32.0 厚さ 瓦当4.2 平瓦1.2~2.0	瓦当面：型挽き厚さ4.2cm。額：段額幅9.5cm、粘土板貼り付け成形、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、凸ヨコナデ。	5×7	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹：N-7/灰白色、一部がN-5/灰色 凸：N-7/・N-5/・N-4/灰色 瓦当面：N-7/灰色	良好	瓦当60%	朱付着。
69	三重弧文軒平瓦	広端 31.5 厚さ 瓦当3.4 平瓦2.0~2.9	瓦当面：型挽き厚さ3.4cm。額：段額幅12.3cm、粘土板貼り付け成形、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、瓦当端部ヨコヘラケズリ、凸ヨコナデ、瓦当端部ヨコヘラケズリ。	7×8	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹：N-5/灰色 その他：10Y-6/1灰色、10Y-5/1灰色	良好	瓦当完存	凸：黒い部分あり。
70	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.6 平瓦1.7~1.9	瓦当面：型挽き厚さ3.6cm。額：段額幅15.0cm、粘土板貼り付け成形、平瓦との接続部ヨコナデ、額全面斜格子（小）叩き。側面：ヘラナデ。平瓦部：凹ヨコナデ、凸斜格子（小）叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸：2.5Y-8/3淡黄色 瓦当面：2.5Y-7/3淡黄色 凹：2.5Y-8/3淡黄色	良好		
71	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.7 平瓦1.5~2.0	瓦当面：型挽き厚さ3.7cm。額：段額幅13.0cm、粘土板貼り付け成形、全面に斜格子（小）叩き、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹ナデ、凸斜格子（小）叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面周辺：N-7/灰色 その他：5PB-5/1青灰色	良好		朱付着。
72	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.9 平瓦2.0~2.3	瓦当面：型挽き厚さ3.9cm。額：段額幅16.8cm、粘土板貼り付け成形、全面に斜格子（小）叩き、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹ヨコナデ、凸不明。	なし	中粒砂、粗粒砂を含む。	瓦当面：N-4/灰色 その他：N-4/灰色、N-5/灰色	良好		
73	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.4 平瓦1.8~2.0	瓦当面：型挽き厚さ3.4cm。額：段額幅13.7cm、粘土板貼り付け成形、全面に斜格子（小）叩き、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ヘラケズリ。平瓦部：凹ヨコナデ、凸斜格子（小）叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-6/1灰色	良好		
74	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.5 平瓦1.8~2.3	瓦当面：型挽き厚さ3.5cm。額：段額幅17.1cm、粘土板貼り付け成形、全面に斜格子（小）叩き。側面：ナデ。平瓦部：凹ヨコナデ、凸斜格子（小）叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂、赤褐色粒子、少しの細礫を含む。	凸：2.5Y-4/1黄灰色 瓦当面：7.5YR-4/1褐灰色 凹：5Y-5/1灰色、5Y-3/1オリブ黒色	良好		
75	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当4.3 平瓦2.0~2.7	瓦当面：型挽き厚さ4.3cm。額：段額幅8.3cm、粘土板貼り付け成形、ヘラケズリ、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、一部に糸切り痕、凸ヨコナデ。	8×8	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	10Y-7/1灰白色 凸：N-6/灰色の部分あり。	良好	瓦当90%	
76	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.1 平瓦1.5~2.0	瓦当面：型挽き厚さ3.1cm。額：段額幅7.3cm、粘土板貼り付け成形、ナデ、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ヘラケズリ。平瓦部：凹布目・横骨痕、板圧痕、瓦当端面ヘラケズリ、凸ヨコナデ。	9×8	中粒砂、粗粒砂、細礫と長径10mmの礫を含む。	凸：5GY-7/1明オリブ灰色、N-4/灰色 瓦当面と凹：N-6/灰色 N-4/灰色	良好	瓦当70%	
77	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.5 平瓦2.0	瓦当面：型挽き厚さ3.5cm。額：段額幅13.5cm、粘土板貼り付け成形、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、凸不明。	9×7	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	凹：N-5/灰色 瓦当面：N-5/灰色、5Y-7/2灰白色 凸：N-5/・N-4/灰色	良好		
78	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.5 平瓦2.2~2.5	瓦当面：型挽き厚さ3.5cm。額：段額幅14.0cm、粘土板貼り付け成形、平瓦との接続部ヨコナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、側端面：瓦当端面ヘラケズリ、凸不明。	7×6	粗粒砂、灰白色粒子と少しの細礫を含む。	凹：5Y-6/1灰色 その他：5Y-7/1灰白色	良好		
79	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当4.1 平瓦1.6~3.0	瓦当面：型挽き厚さ4.1cm。額：段額幅13.5cm、粘土板貼り付け成形、ナデ。側面：ヘラケズリ（側端部附近クテ、瓦当端部ヨコ）平瓦部：凹布目・横骨痕、側端部・瓦当端部ヘラケズリ、凸ヨコナデ。	8×7	中粒砂、粗粒砂、灰白色粒子を含む。	10Y-7/1灰白色	良好		
80	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当4.4 平瓦2.5~4.0	瓦当面：型挽き厚さ4.4cm。額：段額（三角額）幅6.1cm、粘土板貼り付け成形、ヨコヘラケズリ。側面：ヘラケズリ。平瓦部：凹ヘラケズリ（クテ＜広端部から狭端部へ＞の後ヨコ）、凸ヨコナデ。	なし	中粒砂と少しの細礫を含む。	凹と瓦当面：10Y-6/2灰黄褐色、10YR-4/1褐灰色 凸：7.5YR-3/1黒褐色	良好		
81	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.5 平瓦2.3~2.5	瓦当面：型挽き厚さ3.5cm。額：段額幅10.5cm、粘土板貼り付け成形、ナデ。側面：ナデ。平瓦部：凹布目・横骨痕、瓦当端部ヘラケズリ。	9×8	粗粒砂、細礫、赤褐色粒子を含む。	凸：10G-7/1明緑灰色、N-4/灰色 瓦当面凹：N-6/灰色、N-4/灰色	良好		
82	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当3.9 平瓦3.8~4.4	瓦当面：型挽き厚さ3.9cm。額：形態不明（直線額？）側面：ヘラケズリ、面取り部分ヘラケズリ。平瓦部：凹布目・横骨痕、凸斜格子（大）叩き、ヨコナデ。	7×7	中粒砂と少しの細礫を含む。	凸と瓦当面：7.5YR-2/1黒色、7.5YR-7/3にぶい橙色 凹：7.5YR-7/3、7.5YR-3/1黒褐色	良好		

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法、形 態 の 特 徴	布 目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
83	四重弧文軒平瓦	厚さ 3.5~4.0	瓦当面: 型挽き厚さ3.7cm。額: 形態不明(直線額?)。側面: ナデ。平瓦部: 凹布目・横骨痕、凸ナデ。	7×8	粗粒砂、赤褐色粒子・細礫を含む。	10YR-6/2灰黄褐色	良好		
84	四重弧文軒平瓦	厚さ 3.1~4.4	瓦当面: 型挽き厚さ4.4cm。額: 形態不明(直線額?)。斜格子(大)叩き、ヘラケズリ。側面: ナデ。平瓦部: 凹布目・横骨痕、若干糸切り痕残る、凸斜格子(大)叩き。	7×8	粗粒砂と少しの細礫・赤褐色粒子を含む。	10Y-7/1灰白色	良好		
85	三重弧文軒平瓦	厚さ 4.2 瓦当 1.8~3.4	瓦当面: 型挽き厚さ4.2cm。額: 段額幅5.3cm、ケズリ出して額成形、ヘラケズリ。側面: ナデ。平瓦部: 凹ヘラケズリ(タテ<狭端部から広端部へ>の接所々にヨコ)、凸: 斜格子(大)叩きの後ヨコナデ、側端部面取りヘラケズリ。	なし	中粒砂を含む。	瓦当: 5Y-7/2灰白色 その他: 5Y-3/1オリーブ黒色、5Y-6/2灰オリーブ色	良好		
86	四重弧文軒平瓦	厚さ 3.0~4.0	瓦当面: 型挽き厚さ4.0cm。額: 形態不明、粘土板貼り付け成形、ナデ、凹布目・横骨痕、瓦当端面ヘラケズリ。側面: ナデ。	8×9	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色 凹: 端部が10YR-5/4 に ぶい黄褐色	良好		
87	四重弧文軒平瓦	厚さ 3.3~4.2	瓦当面: 型挽き厚さ4.2cm。額: 形態不明(直線額?)。斜格子(大)叩き。側面: ナデ。平瓦部: 凹布目・横骨痕、凸斜格子(大)叩き。	6×8	中粒砂、粗粒砂と少しの赤褐色粒子・細礫を含む。	7.5Y-8/2灰白色	良好		
88	均正唐草文軒平瓦	厚さ 7.4 瓦当 2.4~3.0	瓦当面: 厚さ7.4cm。額: 段額斜め、側面: ナデ。平瓦部: 凹布目痕、瓦当端面ヘラケズリ、凸ヘラケズリ(タテ<狭端部から広端部へ>)。	6×6	中粒砂、粗粒砂を含む。	凹: N-4/灰色、5Y-7/1灰白色、2.5Y-6/3にぶい黄色 瓦当面: N-4/灰色、10Y-6/1灰色 凸: N-4/灰色	良好	瓦当65%	
89	四重弧文軒平瓦	厚さ 3.7 瓦当 3.7	瓦当面: 型挽き厚さ3.7cm。額: 直線額、斜格子(大)叩き。側面: ナデ。平瓦部: 凹布目・横骨痕、凸斜格子(大)叩き。	7×8	粗粒砂、赤褐色粒子と少しの細礫を含む。	凹: 10Y-7/1灰白色、10YR-7/3にぶい黄褐色 瓦当面: 7.5Y-5/1灰色 凸: 10Y-7/1灰白色	良好		
90	平 瓦	厚さ 2.5~3.5	凹: 布目痕、横骨痕若干残る。凸: 斜格子(大)叩き。側端部: ヘラケズリ。狭端部: ヘラケズリ、面取りヘラケズリ。	5×5	中粒砂、赤褐色粒子、粗粒砂、少しの細礫を含む。	10YR-7/3にぶい黄褐色	良好	狭端部側	
91	平 瓦	厚さ 1.0~2.0	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩きの後斜格子(大)叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹: 2.5GY-6/1オリーブ灰色、N-4/灰色 凸: N-6/灰色	良好	広端部側	
92	平 瓦	厚さ 2.2~3.2 全長(33.2)	凹: 布目痕。凸: 斜格子(大)叩き、一部に布目痕。側端部: ヘラケズリ。	7×10	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色	良好	広端部側	
93	平 瓦	厚さ 1.5~2.2	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩き。狭端部: まるく指ナデ。	なし	粗粒砂と少しの細礫を含む。	7.5Y-7/1灰白色 端部はN-6/灰色	良好	狭端部側	
94	平 瓦	厚さ 1.8~2.6	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩き。	なし	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色 凸: N-4/灰色の部分あり。	良好	狭端部側	
95	平 瓦	厚さ 1.3~2.5	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩き。狭端部: 指ナデ。	なし	粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹: 5Y-8/1灰白色 凸: 2.5Y-7/2灰黄色	良好	狭端部側	
96	平 瓦	広端 32.0 厚さ 1.9~3.0	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩き。	なし	粗粒砂と少しの赤褐色粒子・細礫を含む。	10YR-7/3にぶい黄褐色 10YR-5/1褐灰色	良好	広端部側	
97	平 瓦	厚さ 2.0~2.5	凹: 指ナデ。凸: 斜格子(小)叩き、一部に斜格子(大)叩き、ナデの箇所あり。	なし	粗粒砂と少しの細礫・赤褐色粒子を含む。	2.5Y-6/2灰黄色	良好	広端部側	
98	平 瓦	広端 33.0 厚さ 2.0~3.3	凹: 布目痕、横骨痕。凸: 斜格子(小)叩き。広端部: ヘラケズリ、凹面取りヘラケズリ。	8×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹: 5Y-7/2灰白色 凸: 10Y-5/1灰色、N-3/暗灰色	良好	広端部側	
99	平 瓦	厚さ 2.0~2.3	凹: 布目痕、糸切り痕<広端部から狭端部へ>。凸: 縄叩き。	7×9	粗粒砂、細礫を含む。	凹: 5Y-6/2灰オリーブ色 凸: 10YR-7/3にぶい黄褐色、5Y-5/1灰色	良好	狭端部側	
100	平 瓦	厚さ 1.9~2.5	凹: 布目痕、糸切り痕。凸: 縄叩き。	7×8	細礫、粗粒砂を含む。	凹: 5Y-6/1灰色 凸: N-6/灰色	良好	狭端部側	
101	平 瓦	厚さ 1.2~2.9	凹: 布目痕、とじ目痕、側・狭端周辺ヘラケズリ。凸: 斜格子(小)<格子間広い>叩き。	8×7	中粒砂に少しの細礫を含む。	凹: 5Y-7/1灰白色 部分的にN-3/暗灰色	良好	狭端部側	

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法、形 態 の 特 徴	布 目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
102	平 瓦	厚さ 1.0~2.5	凹：布目痕、糸切り痕<広端部から狭端部へ>、ナデの箇所あり。 凸：縄叩き。 側・広端部：凹ヘラケズリ。	6×6	中粒砂、細粒砂と少しの細礫を含む。	N-3/暗灰色 一部が10YR-7/3にぶい黄褐色	良好	広端部側	
103	平 瓦	厚さ 1.5~2.5	凹：布目痕。 凸：指ナデ、ヘラまたは木口状工具によるナデ。	7×7	中粒砂、粗粒砂、赤褐色粒子を含む。	7.5YR-7/4にぶい褐色 凹：黒ずんでいる。	良好	狭端部側	
104	平 瓦	厚さ 1.7~2.0	凹：布目痕、糸切り痕<狭端部左から広端部右へ>、横骨痕。 凸：縄叩き。	10×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-6/1灰色	良好	狭端部側	
105	平 瓦	厚さ 2.0~2.2	凹：布目痕若干残る、糸切り痕<広端部から狭端部へ>。 凸：指ナデ、ヘラまたは木口状工具によるナデ。	5×10	中粒砂、粗粒砂、赤褐色粒子を含む。	10YR-7/4にぶい黄褐色	良好	広端部側	
106	平 瓦	厚さ 2.0~3.5	凹：布目痕、横骨痕。 凸：縄叩き。 側端部：凹面取りヘラケズリ。	5×5	粗粒砂、赤褐色粒子と少しの細礫を含む。	5YR-6/6褐色 5YR-5/2灰褐色	良好	広端部側	
107	平 瓦	厚さ 1.0~2.7	凹：布目痕、側端部大きく面取りヘラケズリ、狭端部面取りヘラケズリ。 凸：斜格子(小)<格子間広い>叩き。	7×8	中粒砂に少しの細礫を含む。	凹：N-3/暗灰色 凸：N-6/灰色 N-3/暗灰色	良好	狭端部側	
108	平 瓦	厚さ 1.0~2.2	凹：布目痕、糸切り痕、横骨痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：斜格子(小)<格子間広い>叩き。	9×7	中粒砂を含む。	凹：5Y-7/1灰白色 凸：N-5/灰色、5Y-7/1灰白色	良好	広端部側	
109	平 瓦	厚さ 1.2~2.0	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	7×7	粗粒砂と赤褐色粒子を含む。	5YR-6/8褐色	良好	広端部側	
110	平 瓦	厚さ 0.9~2.3	凹：布目痕、一部に糸切り痕、横骨痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：斜格子(小)<格子間広い>叩き。	9×6	中粒砂と粗粒砂を含む。	10Y-7/1灰白色	良好	狭端部側	
111	平 瓦	厚さ 1.5~2.5	凹：布目痕、糸切り痕、側端部側広くヘラケズリ、狭端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	8×8	中粒砂、粗粒砂と少しの赤褐色粒子を含む。	凹：5YR-7/6褐色 凸：5Y-7/6褐色	良好	狭端部側	
112	平 瓦	厚さ 1.2~2.8	凹：糸切り痕、広端部ヘラケズリ、側端部広くヘラケズリ。 凸：斜格子(小)<格子間広い>叩き。	10×7	中粒砂を含む。	7.5Y-7/1灰白色 部分的にN-5/灰色	良好	広端部側	
113	平 瓦	厚さ 1.8~2.0	凹：布目痕、糸切り痕?、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	9×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	2.5YR-6/8褐色	良好	狭端部側	
114	平 瓦	厚さ 1.6~2.9	凹：布目痕、一部指ナデ、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：指ナデ、隅切り。	9×8	粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹：N-6/灰色 凸：N-4/灰色	良好	狭端部側	
115	平 瓦	厚さ 1.3~2.0	凹：布目痕、糸切り痕、とじ目痕、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、隅切り、側端部面取りヘラケズリ。	6×7	粗粒砂と少しの細礫を含む。	凹：10Y-6/1灰色 凸：N-6/灰色	良好	狭端部側	
116	平 瓦	広端 29.5 厚さ 1.5~2.3	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	8×6	粗粒砂と少しの灰白色粒子を含む。	凹：5YR-6/8褐色 凸：2.5YR-5/8明赤褐色	良好	広端部側	一部煤けて黒い。
117	平 瓦	広端 28.3 厚さ 1.1~2.3	凹：布目痕、糸切り痕、とじ目痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ。	6×5	中粒砂を含む。	7.5YR-7/6褐色 5YR-6/8褐色	良好	広端部側	
118	平 瓦	厚さ 1.5~2.4	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	6×6	中粒砂、粗粒砂を含む。	凹：5YR-7/8褐色 凸：7.5YR-7/4にぶい褐色	良好	広端部側	
119	平 瓦	広端 (26.0) 厚さ 1.3~2.8	凹：布目痕、とじ目痕、横骨痕、側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、広・側端部面取りヘラケズリ。	7×7	粗粒砂と細礫を含む。	5B-5/1青灰色	良好	広端部側	
120	平 瓦	狭端 23.3 厚さ 1.2~2.5	凹：布目痕、一部ヘラケズリ、とじ目痕、一部に糸切り痕、横骨痕、側端部側面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	8×8	粗粒砂、灰白色粒子と少しの細礫を含む。	凹：10YR-7/1灰白色 凸：N-5/灰色、N-7/灰白色	良好	狭端部側	
121	平 瓦	狭端 21.7 (歪む) 厚さ 1.0~3.0	凹：布目痕、一部ナデ、横骨痕、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	8×8	粗粒砂と少しの細礫と長径10mmの礫を含む。	5Y-7/1灰白色	良好	狭端部側	
122	平 瓦	狭端 22.5 厚さ 0.8~2.7	凹：布目痕、とじ目痕、糸切り痕、横骨痕、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、狭・側端部面取りヘラケズリ。	7×9	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	凹：5Y-7/1灰白色 凸：7.5Y-6/1灰色 5Y-7/1灰白色	良好	狭端部側	
123	平 瓦	狭端 23.0 厚さ 0.4~2.6	凹：布目痕、ヘラケズリ、横骨痕、側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	7×8	粗粒砂、灰白色粒子を含む。	N-7/灰白色	良好	狭端部側	
124	平 瓦	広端 27.0 厚さ 1.9~3.8	凹：布目痕、とじ目痕、横骨痕、側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、隅切り、側端部面取りヘラケズリ。	8×8	粗粒砂、赤褐色粒子と少しの細礫を含む。	凹：7.5YR-7/4にぶい褐色 凸：2.5Y-7/2灰黄色、10YR-5/2灰黄褐色	良好	広端部側	

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法、形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼 成	残 存 率	備 考
125	平 瓦	厚さ 1.1~3.0	凹：布目痕、ナデ、糸切り痕、狭・側端部面取りヘラケズリ。 凸：指ナデ。	□×7	粗粒砂、中粒砂と少しの細砂を含む。	凹：7.5YR-7/6褐色 凸：10YR-7/4にぶい黄褐色	良好	狭端部側	
126	平 瓦	厚さ 1.5~2.9	凹：ヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	なし	粗粒砂、中粒砂を含む。	10YR-7/4にぶい黄褐色 端部は黒ずんでいる。	良好	広端部側	
127	隅 切 瓦	厚さ 0.9~2.6	凹：布目痕、一部に糸切り痕、模骨痕、側端部隅切端部（広）面取りヘラケズリ。 凸：縄叩き。	6×6	中粒砂、粗粒砂と少しの細砂を含む。	凹：N-6/・N-4/灰色 凸：5Y-7/1灰白色、5Y-6/1灰色	良好	広端部側	
128	隅 切 瓦	厚さ 1.9~2.3	凹：指ナデ。 凸：斜格子（小）叩き。	なし	粗粒砂、中粒砂と少しの細砂を含む。	5PB-4/1暗青灰色	良好	広端部側？	
129	埴	残存長 18.0×15.7 厚さ 1.9~3.9	全面にヘラケズリ。		粗粒砂、中粒砂と少しの細砂を含む。	N-6/灰色	良好		



第26図 瓦溜り状遺構出土遺物 (22)

2 基壇跡 (第27・28図)

本遺構は、調査区の中央部北、H・I・J-2グリッド内に検出され、攪乱が激しくて正確には不明であるが、平面形は長方形を呈すと考えられる。遺構の北側が調査区域外に延び、南と東が攪乱を受けており規模は不明であるが、おおよその主軸方位は、N-10°-Eを測る。ローム面を10~15cm程掘りくぼめて、版築による工法でつくられていた。版築の状態もローム面直上10~40cmの範囲でのみ確認できるとどまった。主に暗灰褐色、灰黄褐色、青灰色、黒灰色の土が交互に強く叩きしめられていた。版築土中に川原石が集中して出土する箇所が確認された。

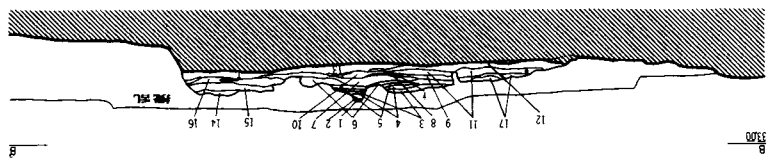
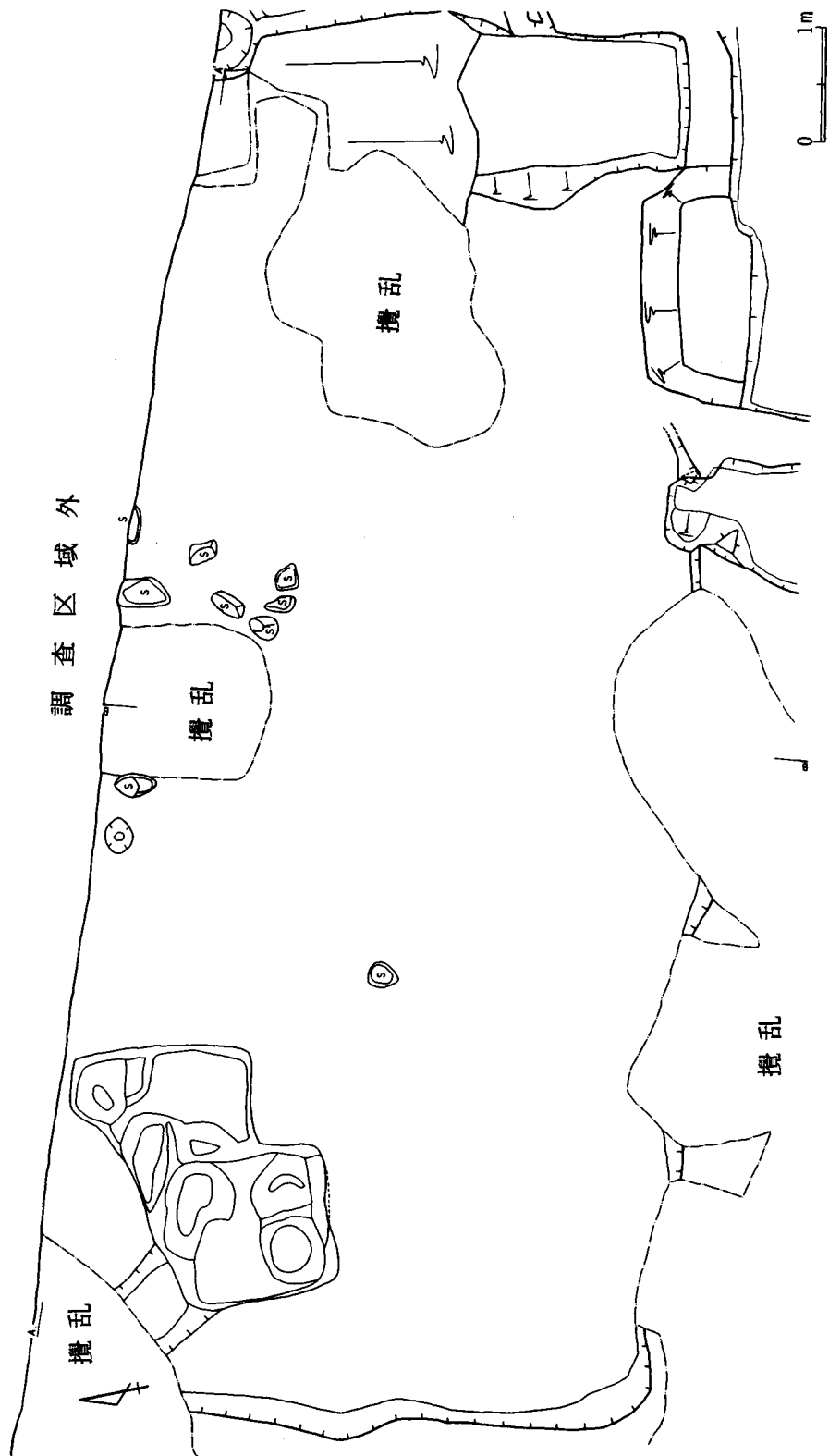
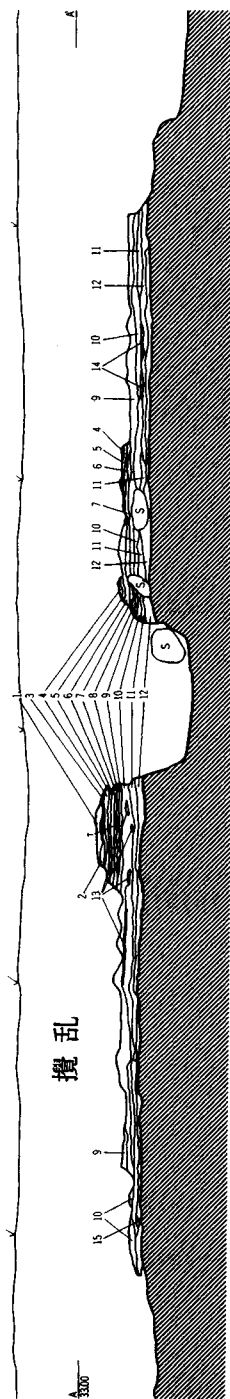
また、版築土下のローム面が掘りくぼめられている箇所が確認され、軟弱な埋土であった。

遺物は、版築土中から複弁8葉蓮華文（交叉鋸歯文縁含む）・単弁12葉蓮華文軒丸瓦、三重弧文・四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦、須恵器蓋・甕片、鉄滓、凝灰岩の加工石等が出土している。

土層説明 (第27図)

A-A' 断面

- 1 暗灰褐色土・灰黄褐色土・青灰色の交互層
 - 2 淡黄褐色土・青灰色土・鉄分層の交互層
 - 3 黒灰色土
 - 4 淡灰黄褐色土と青灰色土との混合層（鉄分）
 - 5 暗青灰色土（鉄分）
 - 6 第2層にほぼ同じ
 - 7 第5層にほぼ同じ
 - 8 暗灰褐色土（ハードローム粒子、鉄分、瓦）
 - 9 黒灰色・淡灰黄褐色土の交互層
 - 10 第9層にほぼ同じ
 - 11 暗灰色土（淡灰黄褐色土粒子混じる、鉄分）
 - 12 暗灰色土（淡灰黄褐色土粒子第11層より多量）
 - 13 黒灰色土
 - 14 黒灰色土
 - 15 ハードロームブロック
- B-B' 断面
- 1 黒灰色土（青色帯びる）
 - 2 灰褐色土（ハードローム粒子多量）
 - 3 黒灰色土・淡灰黄褐色土の交互層
 - 4 黒灰色土・淡灰黄褐色土・鉄分層の交互層
 - 5 第3層にほぼ同じ
 - 6 淡灰黄褐色土（黒灰色土、鉄分混じる）
 - 7 淡灰黄褐色土（黒灰色土、鉄分少量）
 - 8 黒灰色土
 - 9 第5層にほぼ同じ（焼土）
 - 10 淡灰黄褐色土（黒灰色土混じる）
 - 11 淡灰黄褐色土（黒灰色土、焼土、鉄分）
 - 12 淡灰黄褐色土（黒灰色土若干）
 - 13 淡灰黄褐色土（黒灰色土若干）



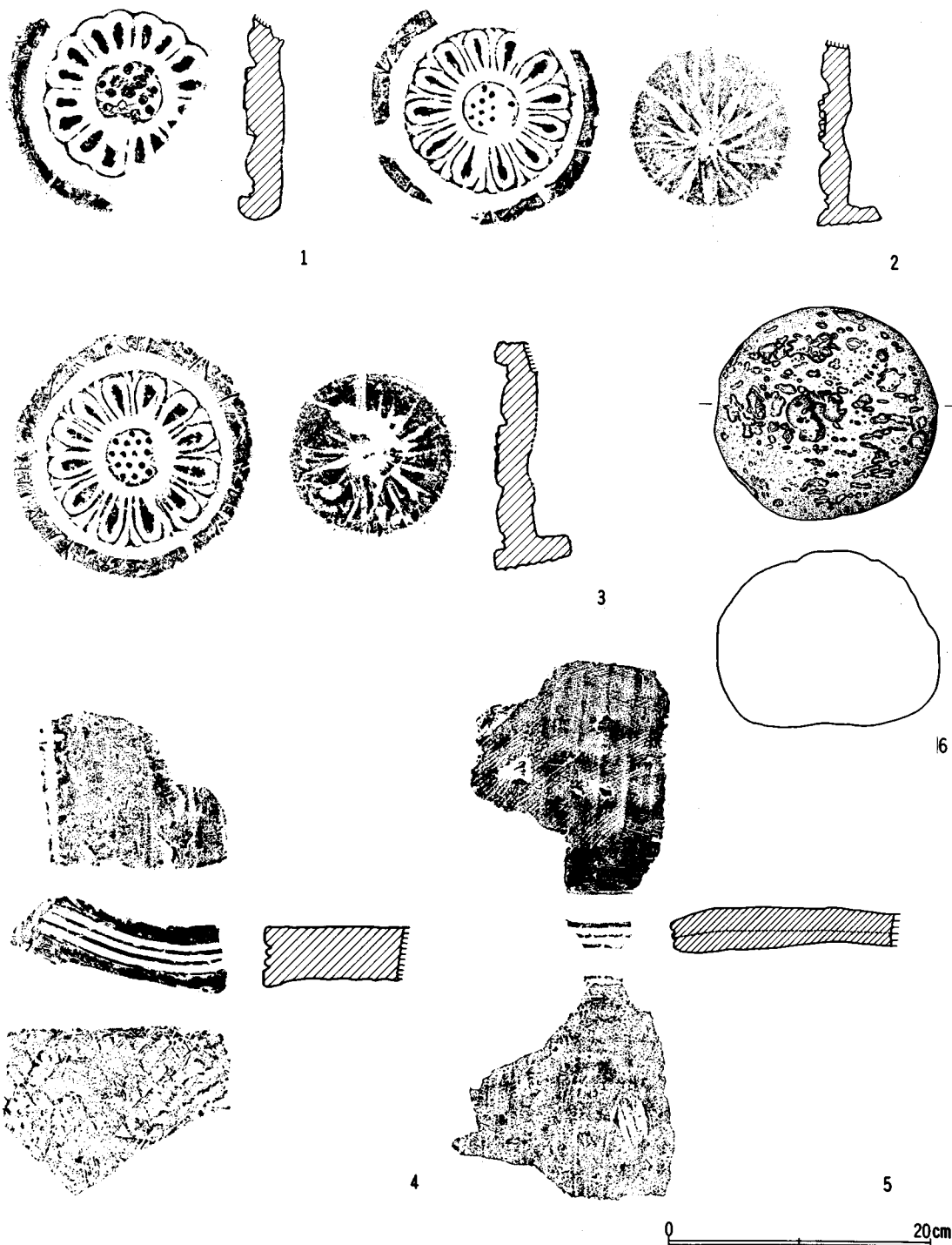
第27圖 基壇跡

14灰色土（淡灰黄色土粒子縞状に混じる）

16灰褐色土・鉄分の交互層（黒灰色土粒子）

15黒灰色土・淡灰黄褐色土・鉄分層の交互層

17第4層にほぼ同じ



第28図 基壇跡出土遺物

基壇跡出土遺物観察表

番号	器 種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	布目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
1	複弁8葉蓮華文 軒丸瓦	直径 (17.5)	瓦当面：中房直径推定5.4cm、蓮子14個 (内4個欠損)つぶれた状態(1個中央、1 3個不規則に配置)、蓮弁細隆線で区画さ れ肉厚で丸みもつ、間弁なし、界線なし、 周縁丸みもつ。 瓦当面裏面：中央部斜めナデ、下端ヨコナ デ。成形技法：印籠つき法。		中粒砂、粗粒砂 と少しの細砂を 含む。	瓦当面：N-7/灰白色、少し N-5/灰色あり 内面：10Y-6/1灰色	良好	70%	

番号	器 種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	布目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
2	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 16.1	瓦当面：中房直径4.5cm、蓮子17個（内7個欠損）10個残る、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上は省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデられている。瓦当面裏面：布紋。瓦当面外周部：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂を含む。	瓦当面：N-5/灰色 内面：N-6/灰色	良好	瓦当90%	
3	単弁12葉蓮華文 軒丸瓦	直径 17.5	瓦当面：中房直径4.9cm、蓮子17個（内2個欠損）15個残る、蓮弁肉薄、間弁「Y」字状一文様の割付が乱れて右斜め上は省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデられている。瓦当面裏面：布紋。瓦当面外周部：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		中粒砂、粗粒砂と少しの細砂を含む。	瓦当面：N-6/灰色 凸：5B-6/1青灰色 内面：N-6/灰色	良好	瓦当完存	
4	四重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当 4.6~5.3	瓦当面：型挽き、一部ヘラナデ？、厚さ4.6cm。額：直線額？ 側面：ナデ。平瓦部：凹布目痕、模骨痕、凸斜格子（大）叩き。	8×8 (平瓦部)	中粒砂、赤褐色粒子、粗粒砂と少しの細砂を含む。	10YR-7/2にぶい黄褐色	良好	瓦当50%	
5	三重弧文軒平瓦	厚さ 瓦当 2.5 平瓦 2.5~3.4	瓦当面：型挽き厚さ2.5cm。額：形態不明（段額？）、粘土板貼り付け成形、ナデ。平瓦部：凹布目痕、模骨痕、糸切り痕、瓦当端部ヘラケズリ、凸ナデ、瓦当端部ヘラケズリ。	6×7	中粒砂、粗粒砂、細砂と大型砂を含む。	5PB-5/1青灰色 一部2.5YR-4/1灰赤色	良好		
6	石 製 品	直径 16.5~17.0 厚さ 13.3	凝灰岩						

3 第4号住居跡（第29～34図）

本遺構は、調査区東部中央、M・N-4・5グリッド内に検出され、平面形は正方形に近い形を呈す。

規模は、長軸4.7m、短軸4.3mを測る。掘り込みの深さは、1.0mである。主軸方位は、N-107.5°-Eである。周壁溝は、北辺と東辺に確認された。柱穴は、確認されていない。貯蔵穴も確認されなかった。床面中央部が大きく掘りくぼめてあった。

カマドは、東辺の南に確認され、住居の軸にほぼ一致している。燃焼部は大きく方形に掘り込まれ、煙道へは高い段をもって構成されている。煙道部は、第136号土坑によって切られていた。左右の袖は、造りつけで構築されていたらしく、袖の燃焼部側に小さな長楕円の掘り込みが検出された。

また、本遺構は他遺構（住居跡？）と重複している。

出土遺物は、カマド及びカマド周辺に多く、全体に広がっていた。土師器（壺・甗・甗・壺、須恵器蓋、土錘、単弁9葉蓮華文軒丸瓦、四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦等が出土している。また、カマド付近で金箔の銅片が出土している。軒平瓦・平瓦は、ほぼ完形で4枚が住居中央部付近で出土した。また、鉄滓も数点出土した。

時期は、8世紀後半～末頃と考えられる。

土層説明（第29図）

A-A' 断面

1 暗褐色土（灰、焼土）

2 淡灰褐色土（灰黄褐色土粒子、焼土）

3 灰褐色土（灰黄色土粒子少量、焼土、炭化物）

4 第3層にほぼ同じ

5 第2層にほぼ同じ

6 灰褐色土（ローム微粒子若干、炭化物）

7 暗灰褐色土

8 暗褐色土（灰色帯びる、ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物）

9 暗灰褐色土

10 黒灰褐色土（ローム粒子若干、炭化物）

11 暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物）

12 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）

13 黒灰褐色土（ローム微粒子少量、焼土、炭化物）

14 黒褐色土（ローム粒子若干、大きめの焼土、炭化物）

15 暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量、焼土）

16 黒灰色土

17 黒灰色土（ローム微粒子少量）

18 黒褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物）

19 黒褐色土

20 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）

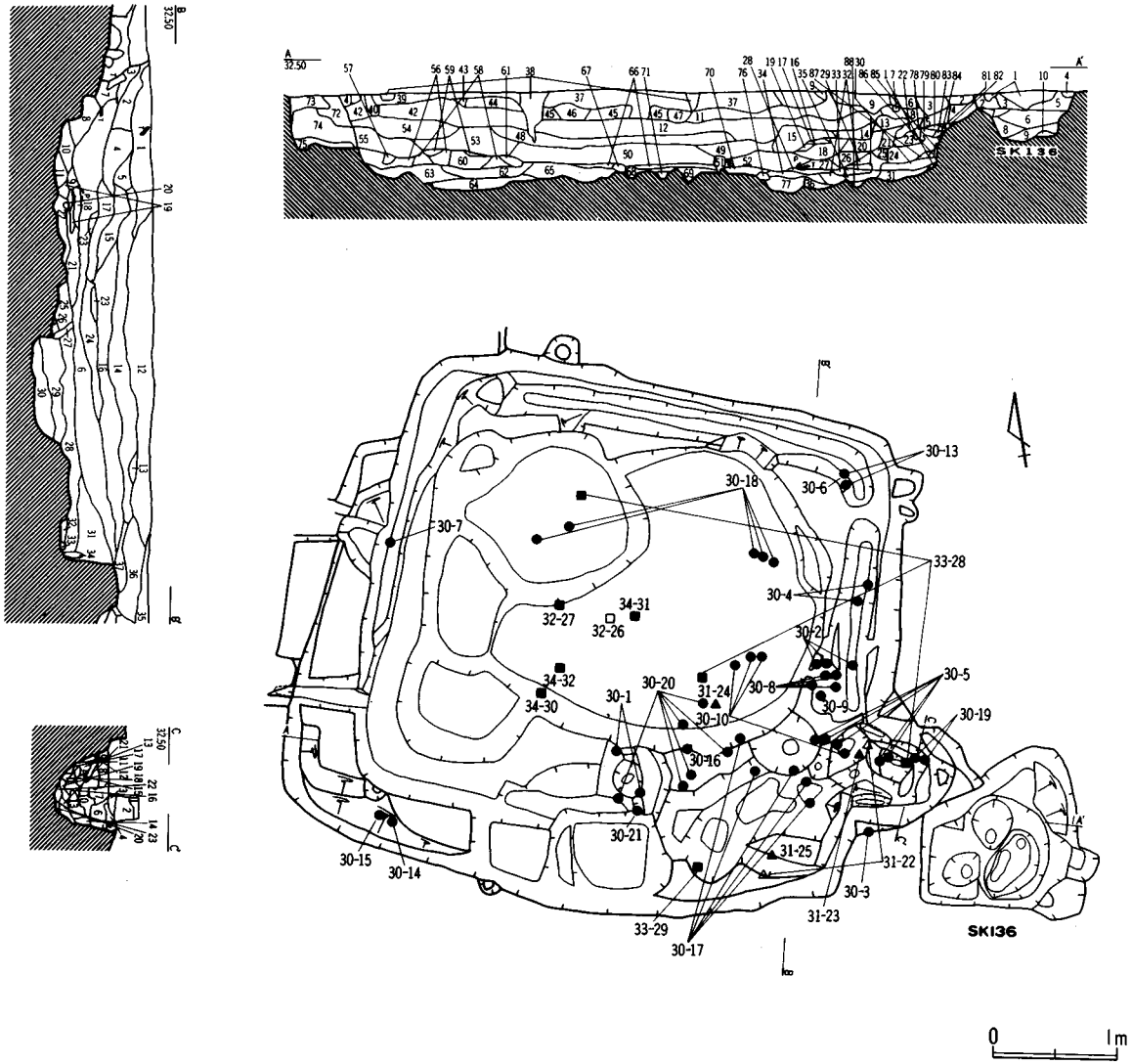
21 黒褐色土（灰黄色土混じる、焼土、炭化物）

22 第3層にほぼ同じ

23 灰黄色土と黒灰色土混合層

24 黒灰色土（暗灰黄色土多量、焼土、炭化物）

25 黒灰色土（暗灰黄色土若干、焼土）

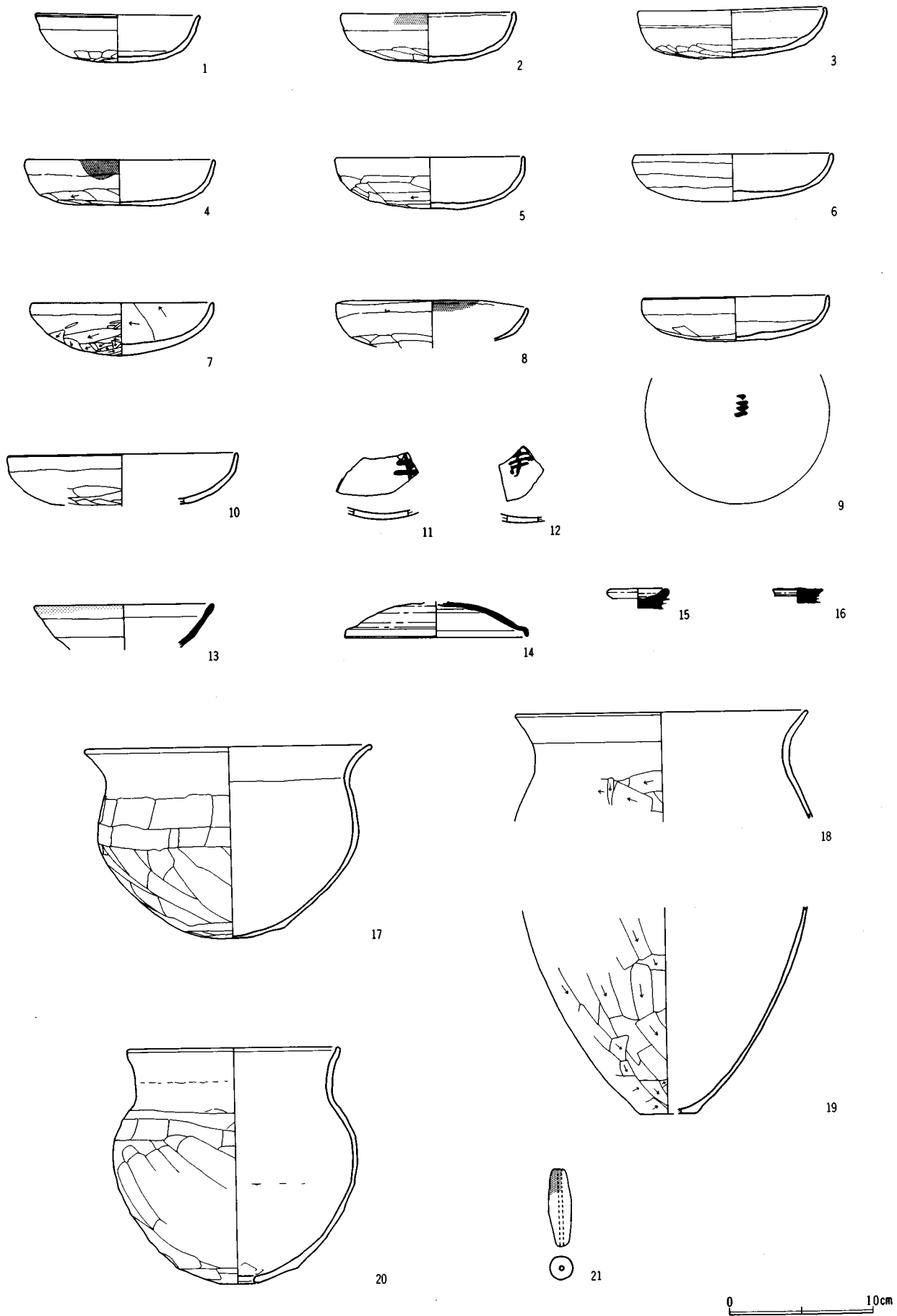


第29図 第4号住居跡・第136号土坑

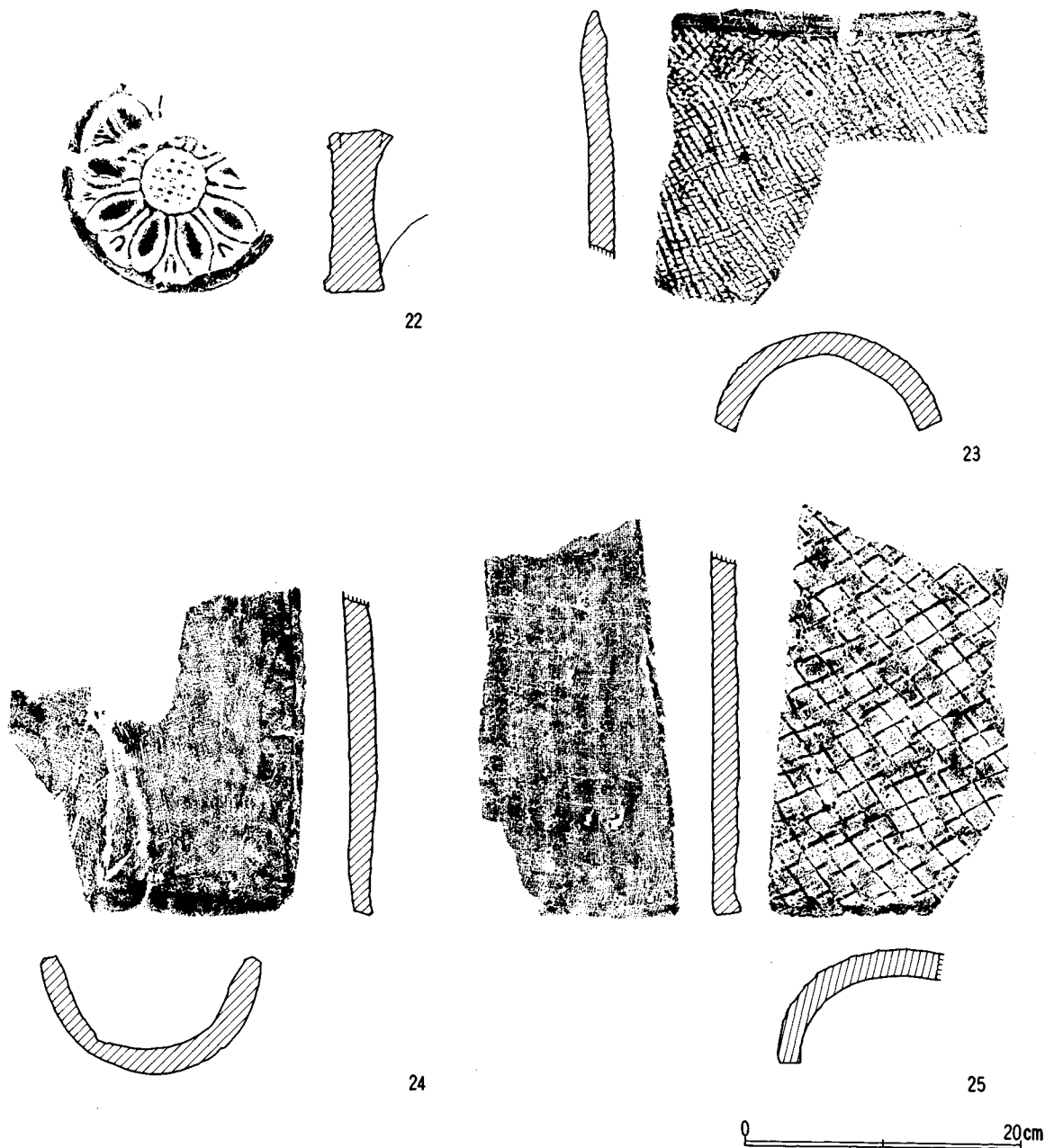
- | | |
|----------------------------------|---|
| 26第25層にほぼ同じ | 39黒褐色土 |
| 27灰黄色粘質土 | 40暗灰褐色土（ローム微粒子少量、炭化物） |
| 28黒青色土（かたくしまる） | 41黒灰褐色土（ローム微粒子若干） |
| 29黒灰色土（褐色帯びる、暗灰黄色土多量に混じる、
焼土） | 42黒灰色土（ローム微粒子多量） |
| 30黒青灰色灰層（焼土多量） | 43暗灰褐色土 |
| 31暗灰黄色土（焼土、炭化物） | 44黒褐色土（ローム微粒子少量、焼土、炭化物） |
| 32黒灰色土（焼土、炭化物） | 45暗灰褐色土（ローム微粒子少量、焼土、炭化物） |
| 33黄灰色土ブロック | 46暗灰褐色土（焼土） |
| 34暗灰黄褐色土 | 47黒褐色土（ローム微粒子ごくわずか、黒色土混じる、
焼土・炭化物若干） |
| 35暗灰黄褐色土粒子層（暗灰色土、焼土、炭化物） | 48暗褐色土（ローム粒子少量、ローム微粒子多量、
焼土・炭化物若干） |
| 36黒灰色土（ローム粒子多量） | 49黒褐色土（ローム粒子・微粒子多量、炭化物若干） |
| 37黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物） | 50黒灰褐色土（ロームブロック・粒子少量、ローム微 |
| 38攪乱 | |

粒子非常に多い、焼土、炭化物)	81第79層にほぼ同じ
51暗褐色土(ローム粒子ごくわずか)	82灰黄褐色土(焼土)
52黒灰褐色土(土器包含)	83第5層にほぼ同じ
53暗褐色土(ロームブロック若干、ローム粒子・微粒子多量、焼土、炭化物)	84暗褐色土(ローム粒子若干)
54暗褐色土(ローム粒子・微粒子少量、焼土、炭化物)	85第82層にほぼ同じ
55黒褐色土(ローム微粒子非常に多い)	86第80層にほぼ同じ
56黒褐色土と黒青色土混合層	87第84層にほぼ同じ
57黒灰色土	88ハードロームブロック層 (第136号土坑)
58第54層にほぼ同じ	1 黒褐色土(ローム微粒子若干、焼土)
59暗灰褐色土(ローム微粒子多量)	2 暗褐色土(ローム微粒子若干、焼土)
60第42層にほぼ同じ	3 暗褐色土(焼土若干)
61第42層にほぼ同じ	4 暗茶褐色土
62黒褐色土(ロームブロック・微粒子多量、炭化物)	5 暗褐色土
63黒灰褐色土(ロームブロック少量、ローム微粒子非常に多い、焼土、炭化物)	6 暗褐色土(灰色帯びる、ローム微粒子ごくわずか)
64灰褐色土(灰黄色帯びる、ロームブロック少量、ローム微粒子多量、焼土、炭化物)	7 暗褐色土(ローム微粒子・焼土少量)
65黒灰色土(ロームブロック多量、焼土、炭化物)	8 暗灰褐色土(ローム粒子若干)
66青灰色土・ローム土の交互層(非常にかたくしまる)	9 黒褐色土(ローム微粒子若干)
67淡灰褐色土ブロック層	10暗黄褐色土
68灰黄褐色土と黒色土混合層	B-B' 断面
69黒褐色土(ロームブロック・粒子多量、焼土、黒色土混じる)	1 黒灰色土(ローム微粒子若干)
70黒灰色土	2 暗褐色土(ローム微粒子多量、炭化物)
71黒灰色土(若干青色帯びる)	3 黒褐色土(ローム微粒子多量、炭化物)
72黒褐色土(ローム微粒子少量、ローム粒子若干)	4 暗褐色土(ローム微粒子・焼土・炭化物少量)
73暗褐色土	5 黒灰褐色土(ローム微粒子・焼土・炭化物少量)
74暗茶褐色土(ローム粒子・微粒子多量、黒色土粒子多量)	6 黒褐色土(ローム粒子・微粒子少量)
75黒色土(ローム粒子若干)	7 灰褐色土(ローム微粒子多量)
76黒灰色土(ハードロームブロック、非常にかたくしまる)	8 暗褐色土
77暗褐色土(ハードロームブロック多量、ハードローム粒子少量、焼土、炭化物)	9 暗灰黄褐色土(焼土・炭化物多量、黒色土混じる、かたくしまる)
78灰黄褐色土(灰混じる)	10暗灰褐色土(ローム粒子少量)
79灰褐色土(ハードローム粒子若干)	11ロームブロック層(黒褐色土中に混じる)
80黄灰色土	12暗褐色土(ローム微粒子若干、焼土、炭化物、しめる)
	13黒茶褐色土
	14暗灰褐色土(ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物)
	15黒灰褐色土

- 16暗灰褐色土（ローム微粒子多量、焼土、炭化物、
黒色土混じる）
- 17黒褐色土
- 18暗灰色土（ローム微粒子少量）
- 19暗灰褐色土（ローム粒子若干、焼土）
- 20ハードロームブロック層
- 21暗灰黄褐色土（焼土・炭化物多量、かたくしまる）
- 22黒灰色土（ローム粒子、焼土、炭化物）
- 23黒褐色土（ローム微粒子若干）
- 24暗褐色土（灰色帯びる、ロームブロックごくわずか、
ローム微粒子多量、炭化物）
- 25黒灰色土（ローム土多量に混じる）
- 26第22層にほぼ同じ
- 27黒灰褐色土
- 28暗茶褐色土（焼土、ローム土・黒色土多量に混じ
る）
- 29黒色土（褐色帯びる、ローム粒子若干）
- 30暗灰色土（ローム粒子少量）
- 31黒褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
- 32褐色土（ローム微粒子、黒色土微粒子）
- 33黒褐色土
- 34灰褐色土（ローム微粒子多量）
- 35暗褐色土（ローム粒子・微粒子若干、古銭包含）
- 36暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
- 37黒灰褐色土（ローム粒子少量）
- C－C' 断面（カマド）
- 1 灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
- 2 暗褐色土（ローム微粒子多量、焼土、炭化物）
- 3 灰褐色土（ローム粒子若干）
- 4 灰黄褐色土ブロック層
- 5 灰色土（灰黄褐色土多量）
- 6 灰黄褐色粘質土
- 7 灰黄色土と黒灰色土混合層
- 8 暗灰色土（灰黄色土粒子）
- 9 黄褐色土（ぼろぼろした感じ）
- 10暗灰黄色土（焼土、ぼろぼろした感じ）
- 11暗黄色土（焼土多量）
- 12黄褐色土（焼土若干）
- 13黒青灰色土【灰層】（灰多量、焼土、遺物包含）
- 14暗褐色土（黄灰色土粒子・焼土若干）
- 15灰黄色土粒子層
- 16暗灰色土（焼土、炭化物、灰黄色土混じる）
- 17第15層にほぼ同じ
- 18第13層にほぼ同じ
- 19暗灰黄色土（灰、焼土、炭化物）
- 20第16層にほぼ同じ
- 21第15層にほぼ同じ
- 22灰黄色土
- 23灰黄色土（焼土）



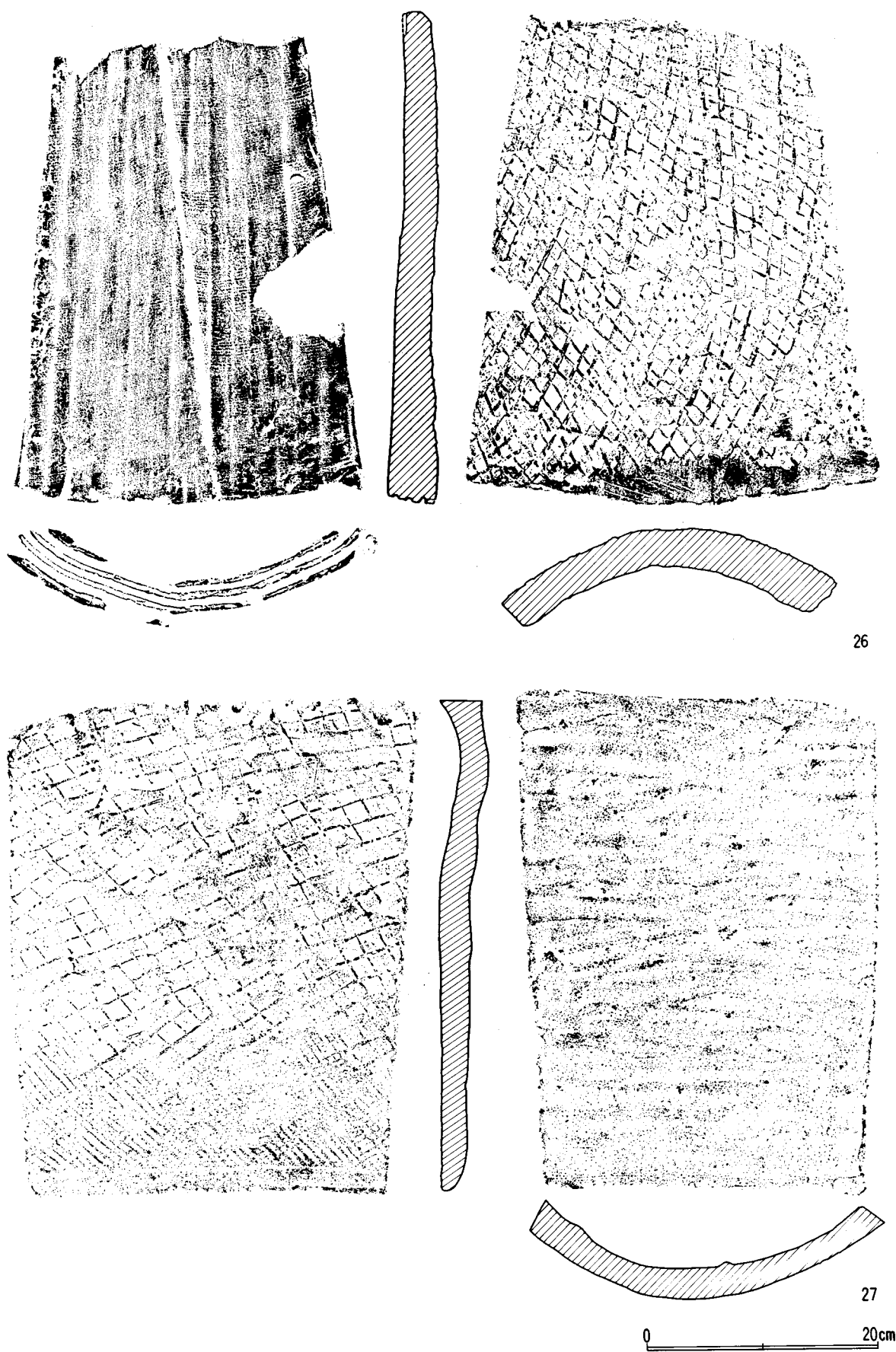
第30図 第4号住居跡出土遺物(1)



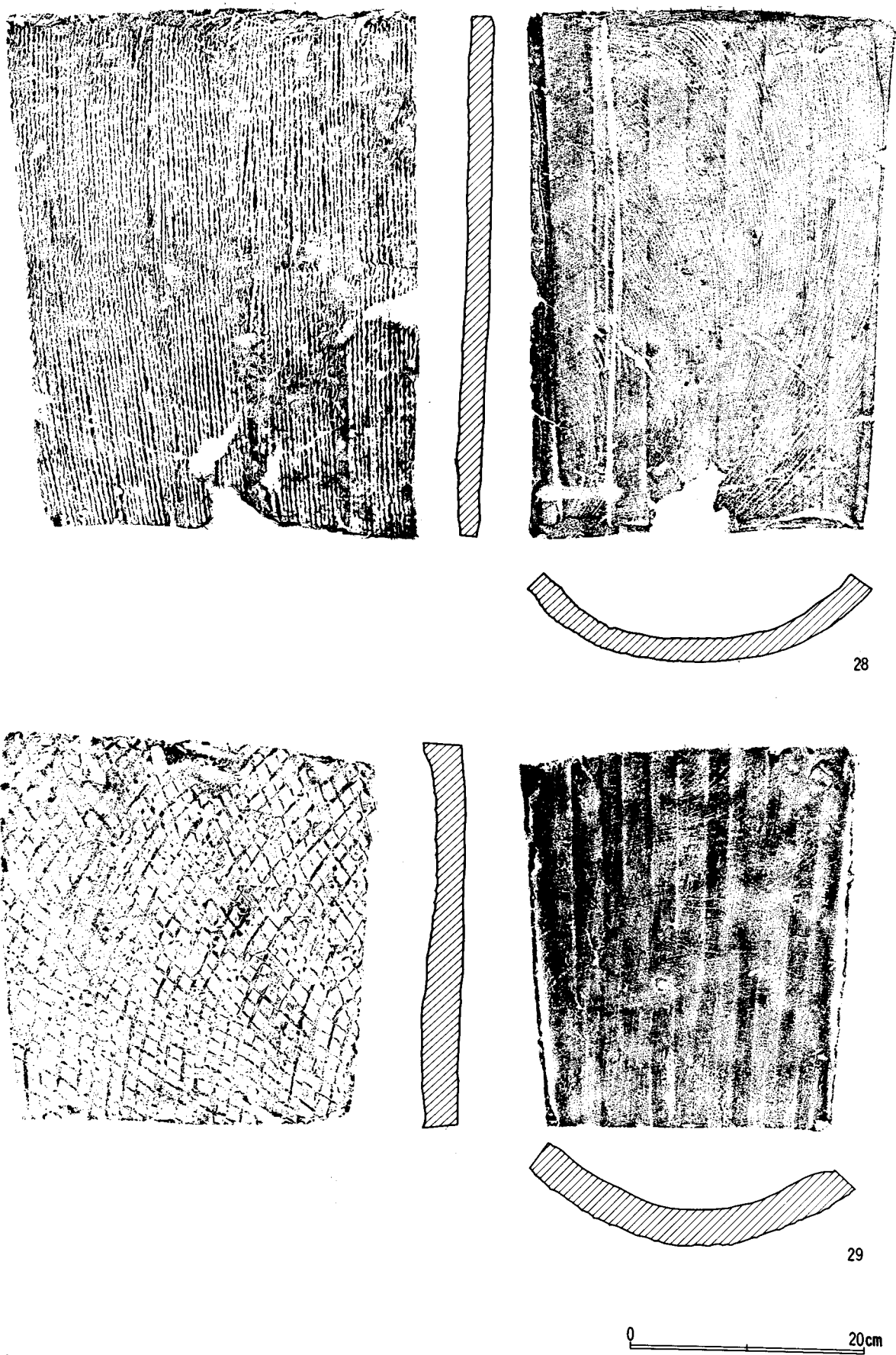
第31図 第4号住居跡出土遺物(2)

第4号住居跡出土遺物観察表

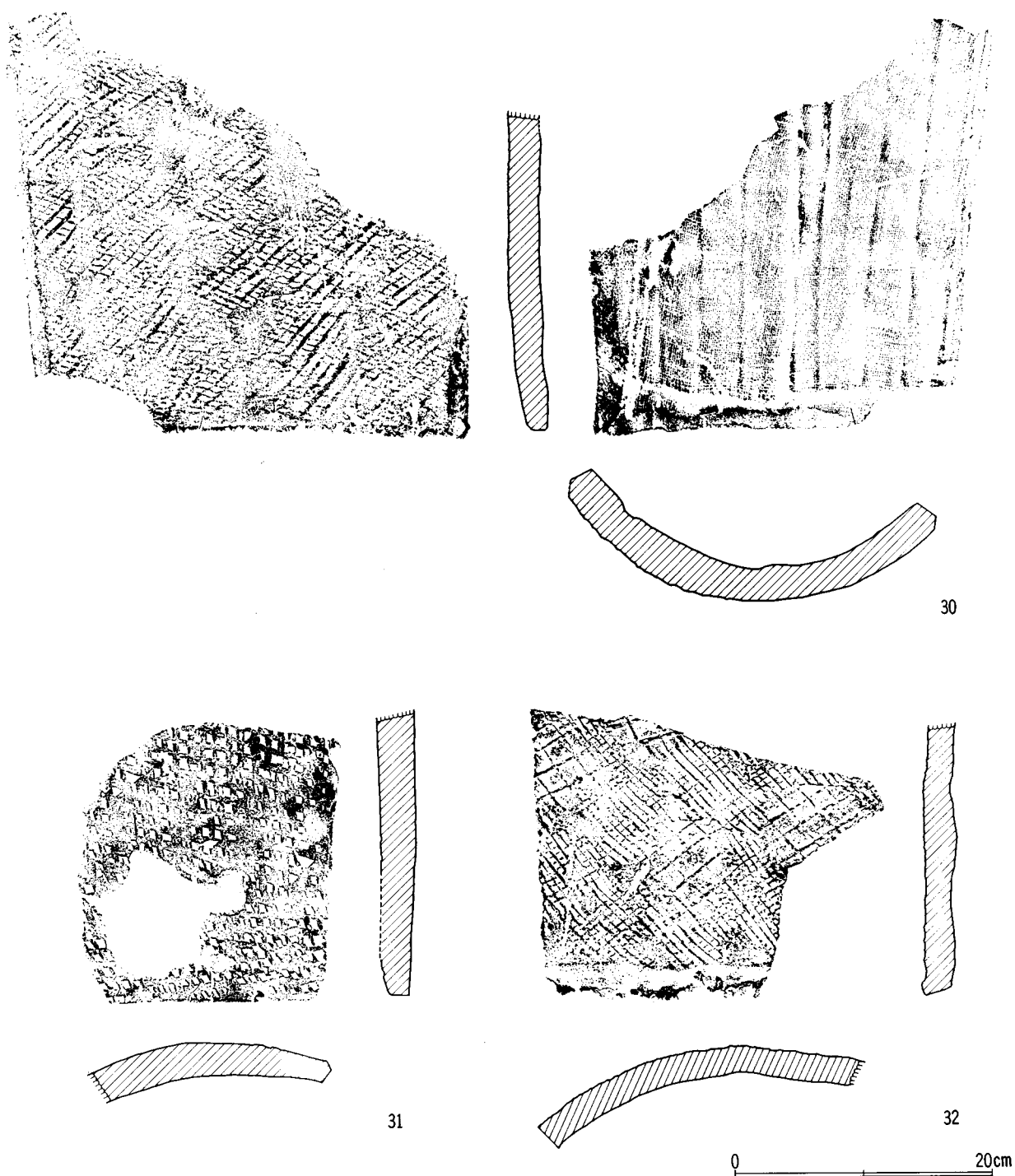
番号	器種	法量(cm)	手法、形態の特徴	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	坏	口径 11.4 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部ヘラケズリ。底部平底ぎみ。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	10YR-7/4にいい黄橙色 2.5Y-7/3浅黄色	良好	40%	
2	坏	口径 12.3 器高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部ヘラケズリ。底部平底ぎみ。口縁部やや内湾ぎみに直立する。	中粒砂を含む。	外: 5YR-7/6橙色、2.5Y-7/2灰黄色 内: 10YR-6/3にいい黄橙色	良好	50%	内外面煤けている。
3	坏	口径 13.1 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。底部平底。口縁部はやや直立ぎみに立ち口縁部先端は内湾する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	7.5YR-7/6橙色 5YR-7/6橙色	良好	完形	
4	坏	口径 13.1 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部ヘラケズリ。底部平底。口縁部先端直立する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	5YR-6/6橙色 内面底部10YR-7/2にいい黄橙色	良好	ほぼ完形	灯明皿、口縁に煤付着。
5	坏	口径 13.3 器高 3.6	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂と赤褐色粒子を含む。	7.5YR-7/4にいい橙色 10YR-7/4にいい黄橙色	良好	70%	内外面煤けている。
6	坏	口径 14.1 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。底部平底ぎみ。口縁部やや内湾ぎみに立つ。	中粒砂を少し含む。	5YR-6/6橙色	良好	ほぼ完形	灯明皿、全体に煤けている。



第32図 第4号住居跡出土遺物（3）



第33图 第4号住居跡出土遺物(4)



第34図 第4号住居跡出土遺物（5）

第4号住居跡出土遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
7	坏	口径 12.8 器高 3.7	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 体部外面に意識的につけたと思われるヘラの側面をあてた傷がある。 底部丸底。口縁部内湾ぎみに立つ。		中粒砂と少しの粗粒砂を少し含む。	5YR-6/6橙色 2.5Y-7/4浅黄色	良好	55%	
8	坏	口径 13.4 残存高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部平底ぎみ。口縁部やや内湾ぎみに立ち先端は内湾する。		中粒砂、赤褐色粒子を含む。	外: 5YR-7/6橙色 内: 10YR-7/4にぶい黄橙色	良好	40%	内外面煤けている。
9	坏	口径 13.1 器高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部平底ぎみ。口縁部直立する。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	7.5YR-7/6橙色	良好	完形	底部外面に墨書「主」。
10	坏	口径 16.2 残存高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。		中粒砂を含む。	外: 7.5YR-7/4にぶい橙色 内: 5YR-7/6橙色	良好	30%	内面若干面煤けている。
11	坏		ロクロ成形。		中粒砂、白色針状物質を含む。	10Y-6/1灰色	良好		体部外面に墨書「キ」。
12	坏		体部外面指ナデ。		中粒砂を少し含む。	5YR-6/6橙色	良好		体部外面に墨書「寺」。
13	坏	口径 12.4 残存高 3.1	ロクロ水挽き成形。 口縁部外方に開き直立する。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	5Y-9/1灰白色、5Y-6/1灰色 口縁端部は黒い。	良好	口縁部	重ね焼きの跡残る。
14	蓋	口径 12.8 残存高 2.5	ロクロ水挽き成形。天井部外面回転ヘラケズリ。 端部はやや「ハ」の字に下方に折り返り突出する。 つまみ部欠損。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	N-6/灰色	良好		
15	蓋	つまみ径 4.3 残存高 1.5	ボタン状つまみ。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	10Y-6/1灰色	良好	つまみのみ	
16	蓋	つまみ径 3.5 残存高 1.1	扁平な凝宝珠形に似たつまみ。		中粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-6/1灰色	良好	つまみのみ	
17	甕	口径 21.0 胴部最大径 17.9 頸部径 16.8 器高 13.4	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上半ヨコヘラケズリ、下半ナメヘラケズリ、底部付近ナデ。胴部内面ナデ。 肩部に段をもつ。頸部は直立し、口縁部は外反する。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	2.5YR-6/6橙色 7.5YR-6/3にぶい褐色	良好	90%	カマド遺物。 外面に煤付着。
18	甕	口径 20.4 頸部径 17.3 残存高 7.4	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ヨコヘラケズリ。 「ハ」の字状に口縁部が大きく開いて立ち上がる。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	2.5YR-6/6橙色 2.5YR-4/2灰赤色	良好	口縁部	
19	甕	胴部最大径 19.9 残存高 14.3 底径 4.0	胴部外面ナメヘラケズリ。内面ヘラナデ。 底部ヘラケズリ。		中粒砂を含む。	2.5YR-6/6橙色	良好	底部付近	カマド遺物。 内外面に煤付着。
20	甕	口径 14.9 底穿孔径 2.5 胴部最大径 16.9 器高 16.5	口縁部内外面ヨコナデ。内面指ナデ。接合痕あり。胴部外面上半ヨコヘラケズリ、下半ナメヘラケズリ。 底部ナメヘラケズリ。 壺形呈す。底部穿孔。		中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	外: 5YR-5/2灰褐色 内: 10R-3/1暗赤灰色	良好		カマド遺物。 外面黒斑あり。
21	土錘	長さ 5.5 直径 1.6 孔径 0.3	棒を差し込み、引き抜く。表面はナデ。 中央が太い長細い形。端部はすり減る。		中粒砂 (白砂粒)、 細礫を若干含む。	10YR-6/3にぶい黄褐色 2.5YR-5/6明赤褐色	良好	完形	黒斑あり。

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
22	単弁9葉 蓮華文軒 丸瓦	直径 17.0	瓦当面：中房直径4.4cm、四隅がやや張って正方形状、 細線を主体とした表現、蓮子20個（1個中央欠損、他は 磨滅著しい）。蓮弁細線で区画しやや肉厚、間弁「V」 字状のもの、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でヘラ ケズリ。外側上面：タテ方向ヘラケズリ。瓦当付近ヨコヘ ラケズリ。外側下面：斜めヘラケズリ。成形技法：印籠 つぎ法。		粗粒砂、中粒砂、赤褐色粒子と少 しの細砂を含む。	N-2/黒色	良好		
23	丸瓦	狭端 16.0 厚さ 0.3~2.2	凸：斜格子（小）叩き、狭端部ヨコ指ナデ。 凹：ヨコ指ナデ。	なし	中粒砂と粗粒砂と少 しの細砂を含む。	N-6/灰色	良好	狭端部側	
24	丸瓦	厚さ 1.0~2.0	凸：ヨコナデ、一部に布目痕。 凹：布目痕、とじ目痕。 端部面取りヘラケズリ。	7×7	中粒砂と粗粒砂と少 しの細砂を含む。	10Y-6/1灰色 凸：一部10YR-7/4に ぶい黄褐色	良好	広端部側	
25	丸瓦	厚さ 1.5~2.0	凸：斜格子（大）叩き。 凹：布目痕。 粘土輪づみ痕。	6×8	中粒砂、粗粒砂と少 しの細砂を含む。	N-5/灰色 凸：N-4/灰色の部分有り。	良好	広端部側	
26	四重弧文 軒平瓦	広端 32.5 狭端 23.0 全長 42.5 厚さ 2.0~4.6	瓦当面：型挽き厚さ4.2cm。額：直線額。側面：ナデ またはヘラケズリ。 凹：布目・横骨痕。凸：斜格子（大）叩き、瓦当付 近ヘラケズリ。端面：ヘラナデ。	7×9	中粒砂、粗粒砂と少 しの細砂を含む。	瓦当面：2.5Y-7/2灰黄色 凹：2.5Y-7/3浅黄色 凸：2.5Y-8/3浅黄色 凹凸に2.5Y-5/2暗灰黄色 の部分あり。	良好	97%	
27	平瓦	狭端 28.0 広端 33.0 全長 43.0 厚さ 1.0~3.4	凹：ヨコ指ナデ。 凸：斜格子（大）叩き、狭端部付近斜格子（小）叩き、 ヨコ指ナデ。	なし	中粒砂、粗粒砂、 細砂を含む。	凸：一部10Y-6/1灰色、5 B-6/1青灰色 凹：10G-6/1緑灰色、一 部5B-6/1青灰色、2.5Y-7 /1明オリーブ灰色	良好	完形	
28	平瓦	狭端 31.5 広端 28.5 全長 45.0 厚さ 1.5~2.5	凹：右側端部から左側端部（狭端部）へ抜ける糸切り 痕、布目・横骨痕、とじ目痕。 凸：縄叩き。	7×7	中粒砂、粗粒砂と少 しの細砂を含む。	凹：2.5Y-8/2灰白色、2.5 Y-7/4浅黄色 凸：2.5Y-8/2灰白色、2.5 Y-6/1黄灰色	良好	97%	
29	平瓦	狭端 26.0 広端 30.0 全長 33.2 厚さ 3.0~3.5	凹：布目痕、とじ目痕。 凸：斜格子（大）叩き。 端部ヘラナデ？	7×8	中粒砂、粗粒砂と少 しの細砂を含み、 長径17mmの礫もみ られる。	10Y-6/1灰色 凸：一部N-4/灰色	良好	完形	
30	平瓦	狭端 27.0 厚さ 1.3~2.5	凹：布目痕、横骨痕、とじ目痕、端部面取りヘラケズ リ。 凸：斜格子（小）叩き、端部面取りヘラケズリ。 狭端部凹：面取りヘラケズリ。	6×6	粗粒砂、中粒砂、少 しの細砂を含み、 長径10mmの礫もみ られる。	凹：7.5Y-7/1灰白色 凸：5Y-7/2灰白色、10Y- 6/1灰色	良好	狭端部側	
31	平瓦	厚さ 1.0~1.7	凹：ヨコヘラケズリ、端部は狭から広ヘタテヘラケズ リ。 凸：斜格子（小）＜格子間広い＞叩き、端部は面取り ヘラケズリ。	なし	中粒砂を含む。	5Y-7/2灰白色 凸：一部が5YR-4/8赤褐 色	良好	狭端部側	
32	平瓦	厚さ 2.0~2.3	凹：ヨコ指ナデ。 凸：斜格子（小）叩きの後、一部に斜格子（大）叩き。	なし	中粒砂、粗粒砂と少 しの細砂を含む。	凹：N-5/灰色、5PB-5/1 青灰色 凸：N-6/灰色、N-4/灰 色	良好	狭端部側	

4 第5号住居跡(第35～38図)

本遺構は、調査区北東部、N・O-3・4グリッド内に検出され、平面形は方形を呈すと考えられる。北側の調査区域外に広がると考えられ、幾つかの土坑に切られている。

規模は、推定長軸(東西軸)4.2mを測る。掘り込みの深さは、0.55mである。主軸方位は、N-104.5°-Eである。周壁溝は、西辺と南辺に認められた。柱穴は、確認されていない。貯蔵穴も確認されなかった。北側調査区域外付近の床面が若干掘りくぼめてあった。

カマドは、第4号住居跡と同様に東辺の南に検出され、住居の軸に一致している。検出状態が良好ではなかったため、全体的な形態は不明であるが、左右の袖は、瓦を補強材に使用したと思われ、その瓦を安定させるために掘り込んだ長楕円の穴が確認された。その瓦は、平瓦を燃焼部側に、丸瓦をその支えに外側に立てて置いてあった。表土剥ぎの際、この住居跡の箇所から均正唐草文軒平瓦が出土したが、これも、カマド袖の補強材に使用されたのかもしれない。

カマドの北脇に、ハードローム層まで掘り込んだ土坑が検出され、埋土は、暗灰色土、黒灰色土で最下層の黒灰色土中に礫が混じっていた。

出土遺物は、カマド及びカマド周辺を中心に検出され、土師器坏・甕、須恵器坏・蓋・甕、均正唐草文軒平瓦、丸瓦、平瓦等で、8世紀末頃と考えられる。

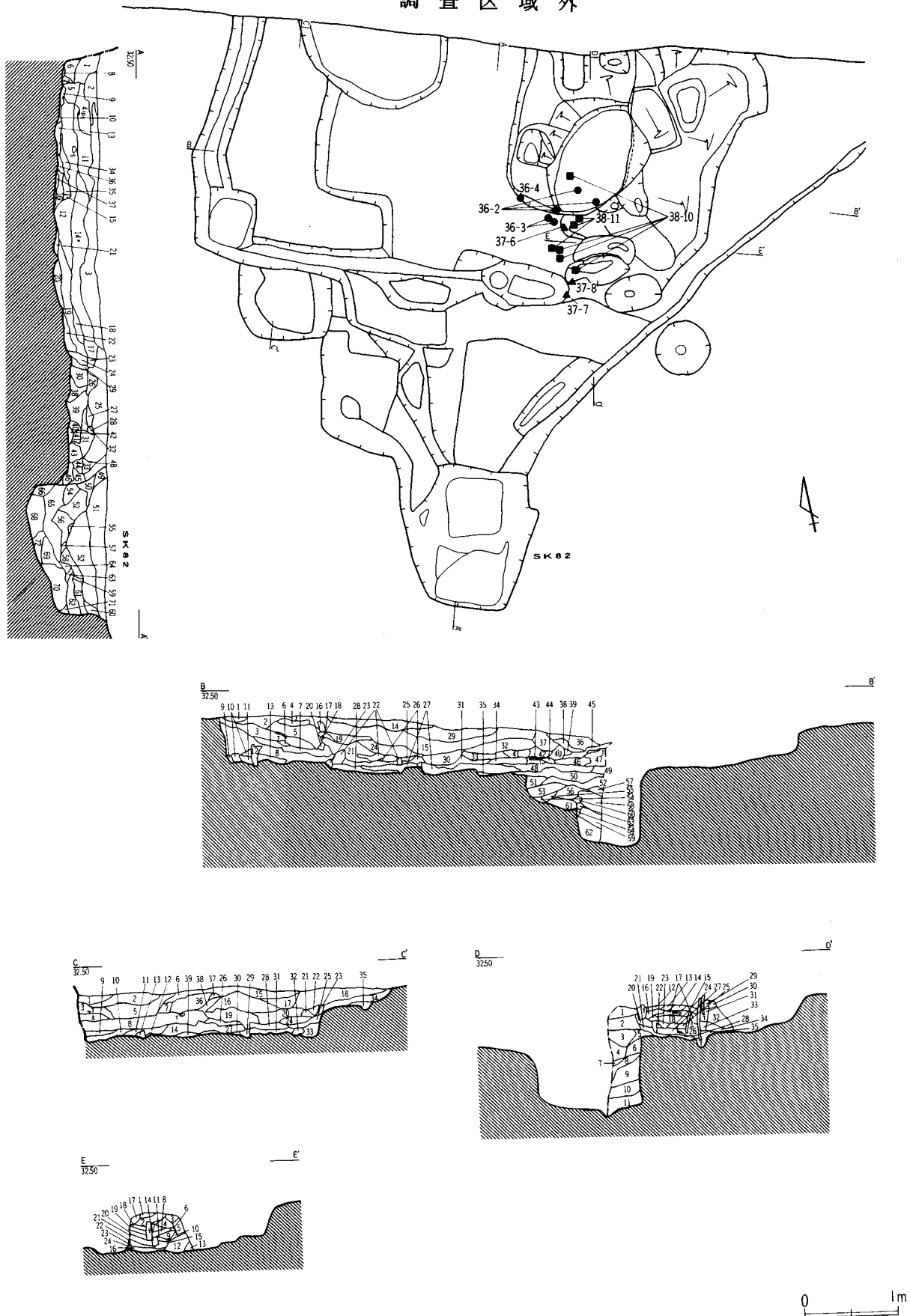
また、この住居跡は多量の鉄滓が羽口と伴に出土していて、総重量は9840gを量る。鉄滓は、幅13.0cm、厚さ7.0cm、重さ1175gの大型のものも含まれ、鉄分を残すものも含まれていた。このことにより、製鉄関連の遺構と考えられる。

土層説明(第35図)

A-A'断面

- 1 暗灰褐色土(ローム微粒子少量、火山灰、かたくしまる)
- 2 黒灰褐色土(ローム微粒子少量、火山灰、かたくしまる)
- 3 暗灰褐色土(ローム微粒子ごくわずか、小石少量、かたくしまる)
- 4 暗褐色土(ローム微粒子少量、火山灰若干)
- 5 黒灰褐色土(比較的軟弱)
- 6 暗褐色土(ローム微粒子少量、焼土、非常にかたくしまる)
- 7 暗灰褐色土(比較的軟弱)
- 8 暗褐色土(ローム土混じる)
- 9 第8層にほぼ同じ
- 10 暗褐色土とローム土混合層
- 11 暗茶褐色土(ローム微粒子少量、焼土、炭化物、非常にかたくしまる)
- 12 黒褐色土(ローム微粒子少量、炭化物若干、非常にかたくしまる)
- 13 暗褐色土(ローム粒子多量)
- 14 暗褐色土(ローム粒子・微粒子ごくわずか、比較的軟弱)
- 15 暗黄褐色土
- 16 淡黒褐色土(ローム粒子多量)
- 17 黒褐色土(ローム微粒子若干、軟弱)
- 18 第12層にほぼ同じ
- 19 黒褐色土(ローム粒子・微粒子ごくわずか、比較的軟弱)
- 20 暗灰褐色土(ローム粒子若干)
- 21 黒褐色土とローム土混合層
- 22 暗褐色土(ローム小ブロック少量、比較的しまる)
- 23 暗茶褐色土
- 24 暗茶褐色土(ローム土混じる)
- 25 黒褐色土
- 26 黒茶褐色土(ローム土若干混じる、比較的しまる)
- 27 第26層に同じ

調査区域外



第35図 第5号住居跡・第82号土坑

28黒褐色土	66暗茶褐色土
29第28層にほぼ同じ	67褐色土
30暗褐色土（ロームブロック多量、黒灰色土混じる）	68暗灰茶褐色土（ローム粒子若干）
31第26層に同じ	69黒灰色土（ロームブロック・粒子）
32黒褐色土	70黒色土（ローム小ブロック少量）
33暗茶褐色土（ローム粒子若干）	71第69層に同じ
34暗茶褐色土（ローム土混じる）	72第70層にほぼ同じ
35暗茶褐色土	B - B' 断面
36暗茶褐色土（ローム粒子）	1 暗褐色土（ローム微粒子若干）
37黒灰色土（ローム粒子多量）	2 褐色土（ローム微粒子少量）
38暗灰茶褐色土	3 暗褐色土（ローム微粒子若干）
39第30層に同じ	4 暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
40暗灰褐色土	5 暗茶褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
41第30層に同じ	6 灰褐色土（ローム微粒子）
42第38層に同じ	7 暗灰褐色土（ローム粒子若干）
43第30層に同じ	8 黒灰褐色土（ローム微粒子若干）
44暗褐色土（ロームブロック）	9 黄褐色土（黒灰褐色土混じる）
45暗灰褐色土（ローム粒子多量）	10暗灰褐色土（ローム微粒子非常に多い）
46暗褐色土	11黄褐色土
47暗黄褐色土	12黄褐色土と黒灰褐色土混合層
48暗褐色土	13第11層にほぼ同じ
49黒褐色土	14暗灰褐色土（ローム粒子ごくわずか、小石若干）
50暗褐色土（ローム微粒子若干）	15暗褐色土（ハードロームブロック、ソフトローム 粒子ごくわずか）
51暗灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）	16灰褐色土（ローム小ブロック、黒灰色土粒子）
52黒褐色土（ローム微粒子若干）	17灰茶褐色土
53第49層に同じ	18灰褐色土（黄褐色土混じる）
54黒褐色土	19灰褐色土（ローム粒子若干）
55暗灰色土	20第3層にほぼ同じ
56第54層に同じ	21黒灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）
57第55層に同じ	22攪乱
58第54層に同じ	23暗黄褐色土
59第55層に同じ	24灰褐色土（黄色帯びる、ローム粒子若干、焼土、 炭化物）
60黒褐色土	25灰褐色土
61第54層に同じ	26暗灰色土（黄色帯びる、ローム土若干混じる）
62暗灰茶褐色土（ハードローム土混じる）	27黒灰色土（ローム粒子多量）
63黒褐色土	28暗灰黄色土（ローム土多量に混じる）
64暗褐色土	
65黒褐色土（ローム粒子若干）	

29暗灰色土（ローム小ブロック、灰色粘土粒子）
 30暗灰色土（焼土）
 31暗灰褐色土
 32暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
 33暗褐色土
 34暗茶褐色土（ローム微粒子若干）
 35黄褐色土（暗灰色土混じる）
 36暗褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
 37暗褐色土（ローム微粒子・焼土・炭化物若干）
 38暗褐色土
 39灰褐色土（ローム微粒子若干）
 40暗褐色土（ハードローム微粒子若干）
 41攪乱
 42灰黄褐色土（ローム微粒子若干、炭化物）
 43灰褐色土（瓦・土器包含）
 44灰褐色土（ローム粒子、焼土）
 45暗灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土）
 46暗褐色土（ローム粒子少量、焼土）
 47黄褐色土粒子層
 48淡黒褐色土（ローム粒子多量、焼土）
 49灰褐色土（ローム粒子若干、炭化物）
 50暗灰褐色土（ハードローム大ブロック・粒子少量、炭化物）
 51暗灰色土（ローム粒子）
 52黒褐色土（ハードローム大ブロック、ソフトローム微粒子若干）
 53灰褐色土（ハードローム小ブロック若干）
 54礫層
 55黒褐色土（ハードローム粒子）
 56灰褐色土（ハードローム粒子、かたくしまる）
 57黒灰褐色土
 58暗灰色土（ハードローム粒子若干）
 59黒灰色土（ハードローム粒子ごくわずか）
 60暗灰褐色土（かたくしまる）
 61暗灰褐色土（ローム粒子、かたくしまる）
 62黒灰色土（礫若干下方に）
 63暗灰褐色土
 64暗灰褐色土（第63層より明るい）

C - C' 断面

1 暗褐色土（ローム粒子・微粒子少量、比較的しまる）
 2 暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、比較的しまる）
 3 暗褐色土（ローム粒子若干、比較的しまる）
 4 第1層にほぼ同じ
 5 黒褐色土（ローム大ブロック）
 6 暗褐色土（黄色帯びる）
 7 第6層に同じ（ローム粒子少量）
 8 第2層に同じ（ローム粒子・微粒子ごくわずか）
 9 暗灰褐色土（かたくしまる）
 10暗灰褐色土（しまる）
 11黒褐色土（ローム微粒子若干、かたくしまる）
 12黒褐色土（ローム微粒子若干、焼土）
 13褐色土（黄色帯びる、ローム微粒子多量）
 14黒褐色土（ローム微粒子若干、かたくしまる）
 15暗褐色土（上方に小石）
 16暗茶褐色土（黄色帯びる、ローム微粒子若干）
 17暗褐色土
 18暗褐色土（小石多量）
 19第8層に同じ
 20暗褐色土（灰色帯びる、ローム微粒子若干、しまる）
 21黒褐色土
 22暗茶褐色土（黄色帯びる）
 23暗褐色土（軟弱）
 24暗褐色土（ローム微粒子若干、しまる）
 25暗褐色土（ローム微粒子多量）
 26暗灰褐色土（ローム微粒子少量）
 27黒灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干、しまる）
 28第27層にほぼ同じ
 29暗灰茶褐色土
 30黒褐色土とローム土混合層
 31暗灰茶褐色土（ローム微粒子、比較的しまる）
 32暗褐色土（ローム微粒子若干）
 33暗茶褐色土（ローム微粒子多量）
 34黒褐色土（ローム粒子若干、小石若干）
 35ロームブロック・粒子層
 D - D' 断面（カマド）
 1 暗灰褐色土（ハードローム粒子、炭化物）

2 ハードローム粒子層（灰褐色土混じり）
 3 灰褐色土（ハードローム粒子・微粒子若干）
 4 暗灰褐色土（灰色粘土粒子）
 5 暗灰褐色土（若干黄灰色帯びる、ハードローム土混じる）
 6 黒灰褐色土（ハードローム粒子若干）
 7 暗灰色土
 8 黒褐色土（ハードローム粒子ごくわずか、炭化物）
 9 暗褐色土（黄灰色帯びる、ハードローム粒子若干）
 10 黒灰色土（ハードローム粒子ごくわずか）
 11 黒灰色土（下方に礫混じる）
 12 淡灰褐色土（ハードローム粒子多量）
 13 灰褐色土（焼土、炭化物）
 14 灰褐色土（若干黄灰色帯びる、焼土）
 15 第13層にほぼ同じ
 16 第14層にほぼ同じ（焼土）
 17 灰色土（ハードローム粒子若干、焼土少量、土器包含）
 18 灰褐色土（ハードローム粒子若干、焼土少量）
 19 暗灰褐色土（ハードローム粒子ごくわずか、焼土若干）
 20 第14層にほぼ同じ
 21 暗灰色土（ハードローム粒子若干、焼土・炭化物）
 22 第21層にほぼ同じ
 23 灰褐色土（ハードローム微粒子少量、焼土多量、炭化物）
 24 焼土層
 25 灰色土（焼土若干）
 26 暗灰色土（ハードローム粒子若干、焼土）
 27 黒褐色土（ハードローム粒子少量、焼土）
 28 ハードローム粒子層（黒灰色土）
 29 暗灰褐色土（焼土）

30 暗灰褐色土とハードローム混合層
 31 黒灰色土（焼土）
 32 黒灰色土（ハードローム粒子若干、焼土、炭化物）
 33 黒灰色土（ハードローム粒子少量）
 34 暗灰色土（ハードローム粒子若干）
 35 暗灰色土（若干黄灰色帯びる）
 E-E' 断面（カマド）
 1 褐色土（焼土）
 2 褐色土（ハードローム粒子若干、焼土多量）
 3 暗褐色土（ハードローム微粒子若干、焼土）
 4 黒褐色土（ハードローム微粒子若干、焼土）
 5 暗褐色土（ハードローム粒子若干）
 6 第4層にほぼ同じ（焼土多量）
 7 暗褐色土（焼土多量）
 8 黒灰褐色土（ハードローム粒子、焼土）
 9 灰褐色土（ハードローム粒子若干）
 10 ハードロームブロック層
 11 第7層にほぼ同じ
 12 灰黄色土
 13 暗褐色土
 14 暗灰色土
 15 第3層にほぼ同じ（焼土・炭化物）
 16 暗灰黄色土（ハードローム粒子少量）
 17 灰褐色土
 18 灰色土
 19 灰褐色土
 20 焼土層
 21 灰褐色土（焼土、炭化物）
 22 黒灰色土（焼土）
 23 暗灰色土
 24 ハードローム粒子層（黒灰色土）

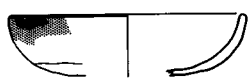
第5号住居跡出土遺物観察表

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
1	坏	口径 12.2 残存高 2.9	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部ヘラケズリ。底部平底。口縁部やや外傾に直立する。	中粒砂を含む。	外：10YR-6/3にぶい黄橙色、 10YR-5/2灰黄褐色 内：7.5YR-7/4にぶい橙色	良好	20%	灯明皿。 口縁部に煤付着。
2	坏	口径 12.2 残存高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面指ナデ。底部ヘラケズリ。底部丸底ぎみ。体部は内湾して外傾に立ち上がる。	中粒砂を含む。	外：7.5YR-6/4にぶい橙色、 10YR-4/1褐灰色 内：10YR-6/3にぶい黄橙色、 10YR-4/1褐灰色	良好	20%	灯明皿。 口縁部に煤付着。

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
3	坏	口径 13.2 残存高 2.6	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。器高浅く、口唇部内屈ぎみに立つ。		中粒砂を含む。	外: 2.5Y-6/2灰黄色 内: 10YR-7/3にぶい黄褐色	良好	20%	内面に煤付着。
4	甕	口径 19.4 頸部径 17.1 胴部最大径 20.6 残存高 19.2	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ。 頸部直立ぎみ。口縁部は緩く屈曲して開く。		中粒砂、粗粒砂を含む。	2.5YR-5/8明赤褐色 10YR-7/4にぶい黄褐色	良好	50%	
5	羽口	残存長 8.3 外径 (6.4) 孔径 2.5	口部・基部とも欠損。孔部は基部にて太くなる。 棒に巻きつけ板に押しつけ、指にて整形。		中粒砂、粗粒砂を含む。	2.5YR-5/8明赤褐色 7.5YR-6/6褐色 2.5Y-5/3黄褐色	良好		
6	丸瓦	全長 46.0 厚さ 1.0~2.5	凸: 斜格子 (小) 叩き。 凹: 布目痕、粘土紐巻き上げ痕。	7×7	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	N-5/灰色 7.5Y-6/1灰色	良好	80%	
7	丸瓦	広端 22.8(歪み) 狭端 13.3 全長 38.0 厚さ 0.8~2.7	凸: 斜格子 (小) 叩き。 凹: ヨコナデ、粘土紐巻き上げ痕。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸: N-4/灰色、N-6/灰色 凹: N-5/灰色、N-6/灰色	良好	完形	
8	丸瓦	広端 17.5 全長 35.0 厚さ 1.4~3.5	凸: タテナデ。 凹: 布目痕、とじ目痕。 側端面面取り状にヘラケズリ、広端部ヘラケズリまたはナデ、狭端部わら状痕あり。	8×9	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	凸: 7.5YR-4/1褐灰色、 7.5YR-5/2灰褐色 凹: N-5/灰色	良好	90%	
9	均正唐草 文軒平瓦	厚さ瓦当 7.1 平瓦 3.5	瓦当面: 細線で唐草表わす、細い界線によって外区・内区が区分され、上外区・下外区とも珠文が配される。 頸: 段頸斜めになる、瓦当付近ナデ。 外面上部・下部: 瓦当付近ヨコヘラナデ。 平瓦部凹: 糸切り痕、布目痕、平瓦部凸: タテ方向ナデ。 頸と平瓦のつなぎ目はヨコナデ。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面: 5R-5/1赤灰色 凹: N-6/灰色 凸: N-5/灰色	良好	瓦当面 80%	朱が付着。
10	平瓦	広端 33.5 全長 44.0 厚さ 1.2~3.0	凹: ヨコナデ 凸: 斜格子 (大) 叩き、狭端部付近斜格子 (小) 叩きとヨコナデ。	なし	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含み、長径18mmの礫も含む。	凹: 10Y-6/1灰色、N-6/灰色 凸: 5B-6/1青灰色、5Y-6/1灰色	良好	90%以上	



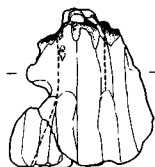
1



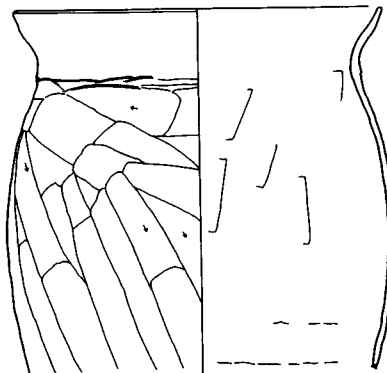
2



3



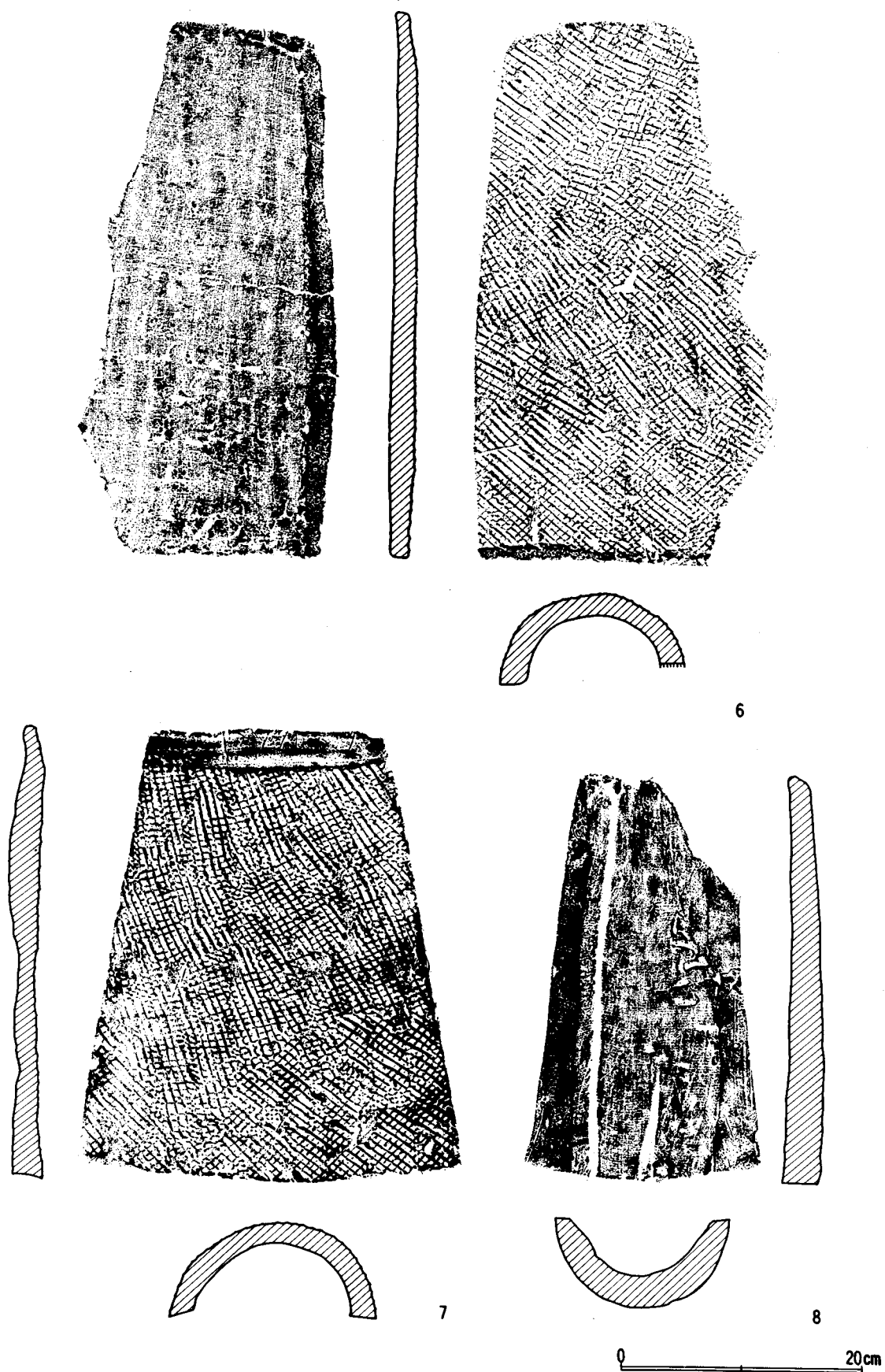
5



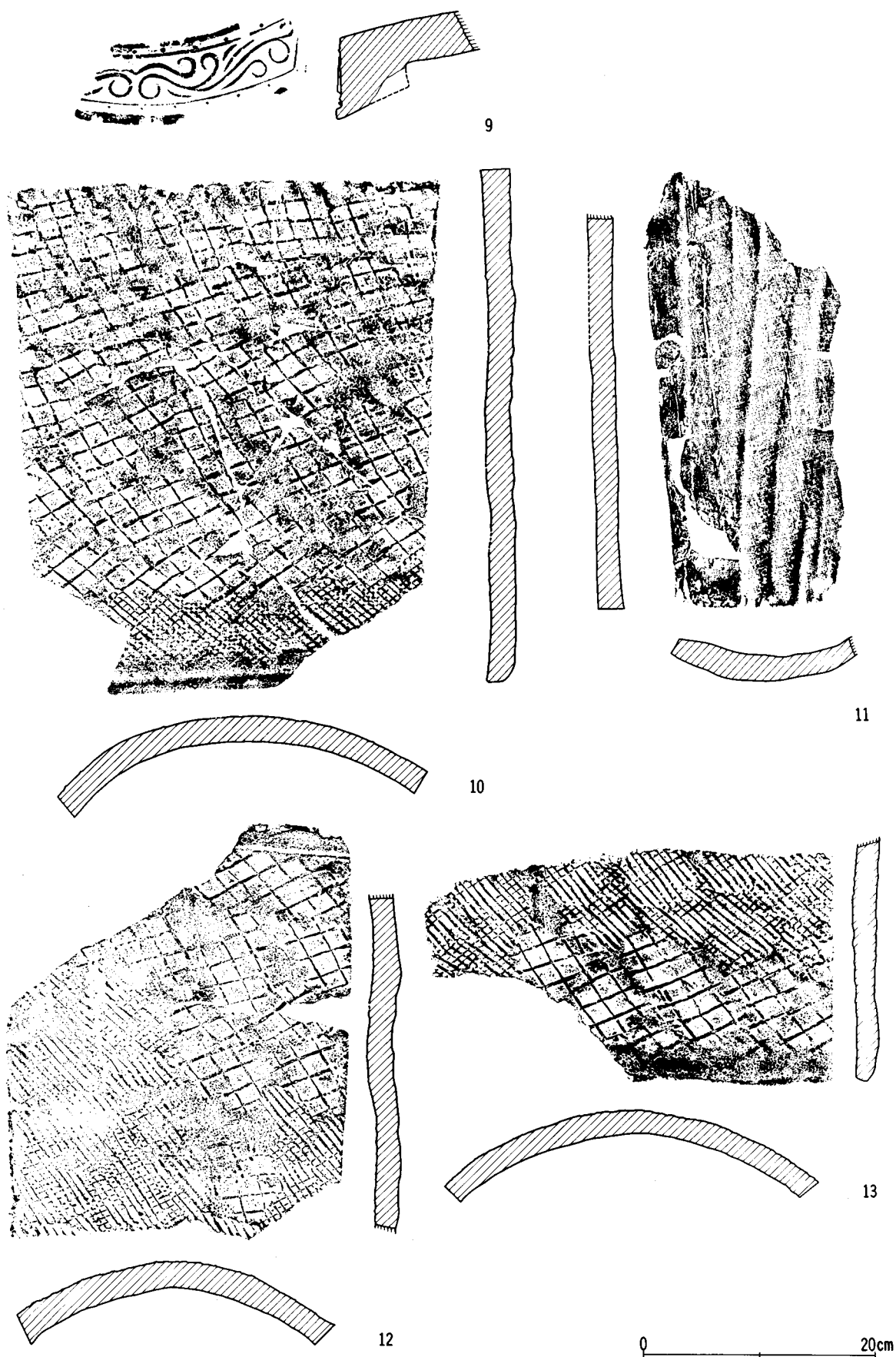
4

0 10cm

第 36 図 第 5 号住居跡出土遺物 (1)



第37図 第5号住居跡出土遺物(2)



第38圖 第5号住居跡出土遺物(3)

第5号住居跡出土遺物観察表

番号	器種	法量(㎝)	手法、形態の特徴	布目 (本/㎡)	胎土	色調	焼成	残存率	備考
11	隅切瓦	厚さ 1.8~2.4	凹：布目痕、模骨痕、端面取り状のヘラケズリ。 凸：ナデ（タテ方向）、端面取り状のヘラケズリ。 狭端部ナデ。側面部ヘラケズリ。	6×8	中粒砂、赤褐色粒子、粗粒砂と少しの細砂を含む。	凹：7.5YR-8/6 浅黄褐色、 10Y-6/1 灰色 凸：10Y-7/1 灰色、2.5Y- 7/2 灰黄色	良好	45%	
12	平瓦	厚さ 1.3~2.8	凹：ヨコナデ。 凸：斜格子（大）叩きの後、斜格子（小）叩き、広端部付近ナデ。 側面：ナデ？	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細砂を含む。	凹：7.5Y-6/1 灰色、10BG- 6/1 青灰色 凸：10Y-6/1 灰色、5B-4 /1 暗青灰色	良好	広端部側	
13	平瓦	厚さ 1.3~2.2	凹：ヨコナデ。 凸：斜格子（大）叩き及び斜格子（小）叩き、狭端部付近ヨコナデ。	なし	中粒砂、粗粒砂と少しの細砂を含む。	2.5Y-8/3 淡黄色	良好	狭端部側	

5 第6号住居跡（第39・40図）

本遺構は、調査区西部中央、C・D-3・4グリッド内に検出され、平面形は正方形に近い形を呈す。第13・20号土坑に切られている。第32・35・39・112・144号土坑が所在する。

規模は、長軸4.30m、短軸3.85mを測る。掘り込みの深さは、遺構確認面から0.25mを測る。主軸方位は、N-57.5°-Eである。周壁溝・貯蔵穴は確認されていない。柱穴らしきピットが1つ確認されている。

住居中央の第32号土坑、北角の第112号土坑は、この住居に伴う掘り込みの可能性がある。

カマドは、北東辺の南端にあったらしいが、第20号土坑に切られて、不明である。

出土遺物は少なく、土師器・甕等が出土している。第32・112号土坑の出土遺物もこの住居の時期と同じである。時期は、古墳時代後期と考えられる。

土層説明（第39図）

A-A' 断面（第39・112・141号土坑含む）

- 1 攪乱
- 2 暗褐色土（ローム小ブロック・粒子少量、焼土）
- 3 黒褐色土（ローム土若干混じる）
- 4 暗黄褐色土
- 5 暗褐色土（ローム微粒子若干、炭化物）
- 6 暗灰褐色土（ローム粒子少量、焼土、非常にかたくしまる）
- 7 暗灰褐色土（ローム粒子多量、黒色土粒子少量）
- 8 灰褐色土（ローム粒子少量）
- 9 暗茶褐色土
- 10 暗褐色土（ローム粒子・黒色土粒子少量、焼土）

11 暗茶褐色土（ローム粒子少量）

12 暗灰茶褐色土（ローム粒子、焼土、炭化物）

13 暗褐色土（若干灰色帯びる）

14 黒褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）

15 暗灰褐色土

16 暗茶褐色土（ローム粒子若干）

17 第14層にほぼ同じ

18 黒褐色土と暗茶褐色土ブロック・粒子混合層

19 暗褐色土（ローム粒子・黒色土混じる、焼土）

20 黒褐色土（ローム粒子、黒色土粒子、かたくしまる）

21 暗灰黄褐色粘質土（ローム粒子・黒色土粒子多量、焼土、非常にかたくしまる）

22 暗灰黄褐色土（少々粘性もつ）

23 暗褐色土（ローム粒子・微粒子若干、焼土、炭化物）

24 灰褐色土（ローム粒子少量、焼土、炭化物）

25 暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干）

26 暗灰褐色土（ローム粒子若干、かたくしまる）

27 暗茶褐色土（ローム微粒子若干、炭化物若干）

28 暗褐色土（ローム微粒子若干）

29 黒褐色土（ローム粒子ごくわずか）

30 黒灰褐色土（ローム微粒子、焼土、炭化物）

31 黒褐色土（ローム粒子多量）

32 黄褐色土（暗褐色土粒子）

33 暗青灰白色粘土（焼土、炭化物）

34 暗灰白褐色土（焼土、炭化物）

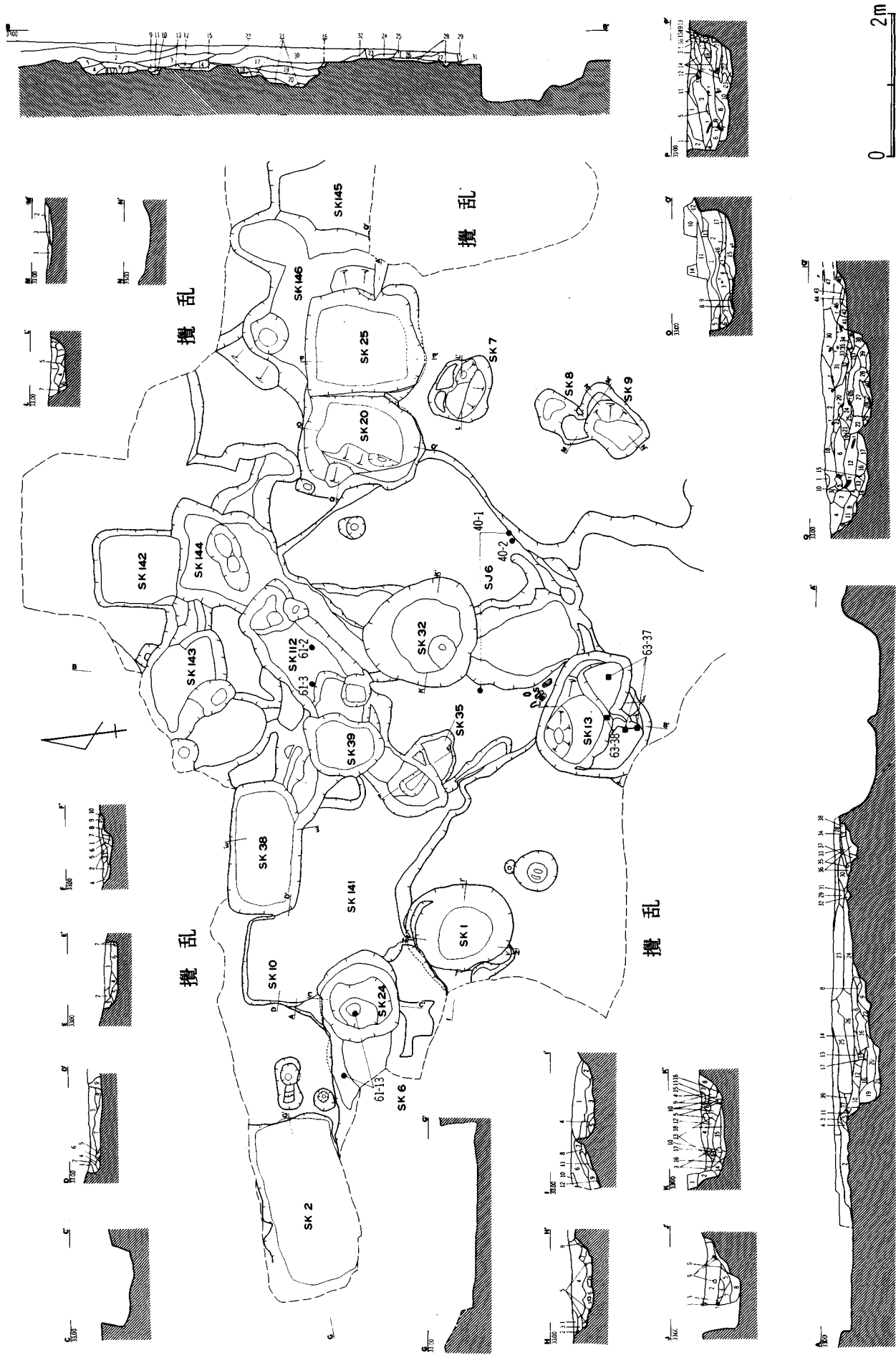
35 黒青褐色土（焼土・炭化物多量）

36 暗茶褐色土（黒褐色土粒子、ローム土混じる）

37 黒褐色土（ローム微粒子、炭化物）

38 第35層にほぼ同じ（ロームブロック混じる）

39 暗褐色土（ローム粒子若干）



第39図 第6号住居跡、1・2・6~10・13・20・24・25・32・35・38・39・112・141~146号土坑

B-B' 断面 (第39・112・143号土坑含む)

1 暗褐色土

2 黒褐色土

3 灰褐色土 (ローム粒子少量)

4 黒褐色土 (ローム粒子少量、黒色土多量、焼土)

5 茶褐色土 (ローム大ブロック少量)

6 暗茶褐色土 (ローム粒子多量、黒色土粒子)

7 淡黄褐色土ブロック

8 暗褐色土 (ローム微粒子)

9 黄褐色土ブロック

10 黒褐色土

11 暗黄灰褐色土

12 第7層に同じ

13 黄褐色土

14 暗褐色土 (ロームブロック多量)

15 第11層にほぼ同じ

16 暗褐色土 (ローム微粒子少量)

17 黒灰褐色土 (ロームブロック若干)

18 暗黄褐色土

19 黒褐色土 (ロームブロック・粒子若干、焼土、炭化物)

20 暗茶褐色土 (黒色土粒子少量)

21 暗灰黄褐色土 (少々粘性もつ)

22 淡黄褐色土ブロック

23 黒褐色土

24 暗褐色土

25 黒茶褐色土 (ローム微粒子少量)

26 第23層に同じ

27 黒褐色土

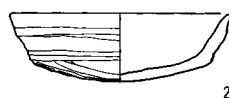
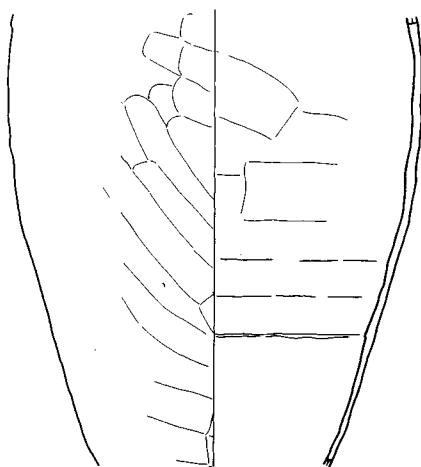
28 黒色土

29 第23層に同じ

30 暗灰褐色土 (ローム小ブロック・粒子少量、焼土)

31 暗褐色土

32 暗褐色土 (土器包含)



1

0 10cm

第40図 第6号住居跡出土遺物

第6号住居跡出土遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	甕	残存高 23.7 胴部最大径 21.8	胴部外面ヘラケズリ。胴部内面ヘラナデ、下半ナデ。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	外面: 7.5YR-6/2灰褐色 内面: 10YR-7/4にぶい黄褐色	良好	胴部のみ	外面に黒い所あり。
2	坏	口径 11.6 器高 3.6	口縁部内外面ヨコナデ。底部内面指ナデ。底部外面ヘラケズリ。 口縁部中位と底部との間の2ヶ所に稜をもつ。口縁部は「ハ」の字に開いて立ち上がる。	中粒砂を含む。	10YR-3/1黒褐色 一部が10YR-7/3にぶい黄褐色	良好		内外面に黒斑あり。

6 第1号竪穴状遺構(第41～45図)

本遺構は、調査区東部中央付近、L-4・5グリッド内に検出された。幾つかの土坑と重複しているようである。

平面形・規模とも不明であるが、土層断面から掘り込みの深さは、最深で1.05mを測る。床面にほぼ正方形の深く掘り込んだ箇所が確認された。

出土遺物は多く、ほぼ床面直上に出土している。複弁8葉華文軒丸瓦、四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦、土師器坏、須恵器埴・壺・鉄鉢形鉢、瓦塔等が出土している。時期は、8世紀前半代と考えられる。

土層説明(第41図)

A-A'断面(第169号土坑を含む)

- 1 暗茶褐色土(ローム微粒子若干、焼土、炭化物、しまる)
- 2 灰褐色土(ハードローム微粒子若干、非常にかたくしまる)
- 3 暗灰褐色土(ハードローム微粒子・青灰白色粘土ブロック若干、焼土・炭化物若干)
- 4 暗灰褐色土(ハードローム微粒子ごくわずか、炭化物)
- 5 暗灰褐色土(ハードローム微粒子若干、焼土、炭化物)
- 6 暗褐色土(ハードローム・ソフトローム微粒子少量、焼土、炭化物、比較的軟弱)
- 7 暗灰褐色土(ローム粒子若干、焼土、炭化物)
- 8 暗褐色土(ローム微粒子ごくわずか、軟弱)
- 9 暗褐色土(ローム微粒子少量)
- 10 第7層にほぼ同じ
- 11 暗褐色土(ローム微粒子少量)
- 12 暗褐色土(ローム微粒子若干、焼土、炭化物)
- 13 暗灰褐色土(ロームブロック少量、かたくしまる)
- 14 暗褐色土(ローム微粒子若干、焼土、炭化物)
- 15 暗褐色土(若干黄色帯びる、ローム粒子若干、炭化物)
- 16 暗褐色土(若干灰色帯びる)
- 17 攪乱
- 18 暗灰褐色土(非常に軟弱)

19 暗灰褐色土(ハードローム粒子若干、瓦包含)

20 暗灰褐色土

21 暗茶褐色土(ローム粒子若干)

22 黒灰褐色土(非常にかたくしまる)

23 暗灰褐色土(ローム粒子少量、焼土、炭化物)

24 灰褐色土(黄色帯びる、ハードローム粒子若干)

25 暗褐色土(ローム粒子・微粒子若干、非常にかたくしまる)

26 暗灰色土(ハードローム粒子若干)

27 灰褐色土(ハードローム粒子若干)

28 灰褐色土(粘性もつ、かたくしまる)

29 暗灰褐色土(ハードローム微粒子若干、焼土)

30 暗灰茶褐色土(ハードローム微粒子、黒灰色土ブロック、炭化物)

31 暗茶褐色土と黒灰色土混合層

32 暗灰茶褐色土

33 暗灰褐色土(ハードローム微粒子少量、炭化物)

34 暗灰褐色土(ハードローム微粒子若干、焼土、炭化物、かたくしまる)

35 黒褐色土(焼土、炭化物)

36 黒褐色土(ローム土・黒灰色土混じる)

37 黒灰褐色土(ハードローム微粒子ごくわずか、土器包含)

38 第31層に同じ

39 暗灰褐色土(ハードローム粒子・微粒子、黒灰色土ブロック、灰白色粘土小ブロック、焼土、非常にかたくしまる)

40 暗灰褐色土(ハードローム粒子)

41 第35層に同じ

42 黒灰色土(ローム小ブロック少量)

43 暗灰色土(ローム土混じる)

44 暗褐色土(ハードローム微粒子若干)

45 灰褐色土(ハードローム土多量に混じる)

46 灰黄色土

47 第45層にほぼ同じ

48 灰黄色土粒子層

49 灰褐色土(ハードローム土若干)

50 灰褐色土(若干黄色帯びる)

51暗灰黄色土	12暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、ローム粒子）
52黒灰色土（ローム粒子）	13暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土）
53灰黄白色土	14黒茶褐色土（ローム粒子若干）
54第45層にほぼ同じ	15暗茶褐色土と黒灰色土混合層（ローム微粒子ごくわずか）
55暗灰色土（灰黄白色帯びる）	16黒褐色土（ハードローム粒子多量）
56第31層にほぼ同じ	17第14層に同じ
57第38層にほぼ同じ	18灰褐色土（ローム粒子、少々粘性もちかたくしまる）
58暗褐色土（ハードローム微粒子少量、焼土、炭化物）	19暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物）
59暗灰黄褐色土	20攪乱
60暗灰黄褐色土	21暗褐色土（焼土・炭化物若干）
61暗灰黄褐色土（炭化物）	22暗褐色土（ローム微粒子少量、焼土、炭化物）
62暗灰色土（ハードローム粒子少量、炭化物）	23暗茶褐色土
63灰褐色土（炭化物）	24灰褐色土
64第63層に同じ	25攪乱
65第59層に同じ	26暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
66灰黄褐色土（黒色土粒子若干）	27暗褐色土
67第46層に同じ	28黒褐色土（ローム微粒子、焼土）
68第53層に同じ（黒灰色土混じる）	29黒褐色土（ローム微粒子若干）
69第52層にほぼ同じ	30暗黄褐色土（ローム粒子・黒灰色土粒子少量）
70黒灰色土	31第30層にほぼ同じ
71暗灰黄褐色土（暗灰色土混じる）	32黒褐色土（ローム粒子少量）
72第66層にほぼ同じ	33暗灰褐色土（ローム粒子若干）
73第61層に同じ（黄褐色土ブロック）	34暗褐色土（ローム粒子若干）
74第58層にほぼ同じ（ハードローム微粒子若干、黒灰色土混じる）	35暗褐色土と黒灰色土粒子混合層（ローム粒子・焼土若干）
75暗灰色土	36褐色土（ローム微粒子若干、黒灰色土粒子少量、焼土）
B-B' 断面(第77～79・106・107号土坑含む)	37暗灰褐色土（ロームブロック若干、焼土）
1 暗褐色土（黄色帯びる、ローム粒子少量）	38褐色土
2 暗灰褐色土（ローム微粒子若干、しまる）	39ハードロームブロック
3 攪乱	40暗茶褐色土（ローム粒子・微粒子ごくわずか、焼土）
4 暗褐色土（黄色帯びる）	41暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
5 黄褐色土（ぼろぼろした感じ）	42第19層にほぼ同じ
6 暗褐色土	43暗褐色土（ローム粒子少量）
7 暗茶褐色土（ローム微粒子ごくわずか）	44灰褐色土（ローム粒子少量、灰褐色土粒子）
8 第6層に同じ	45灰褐色粘質土
9 暗褐色土（灰色帯びる）	46暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、しまる）
10茶褐色土	
11暗灰褐色土	

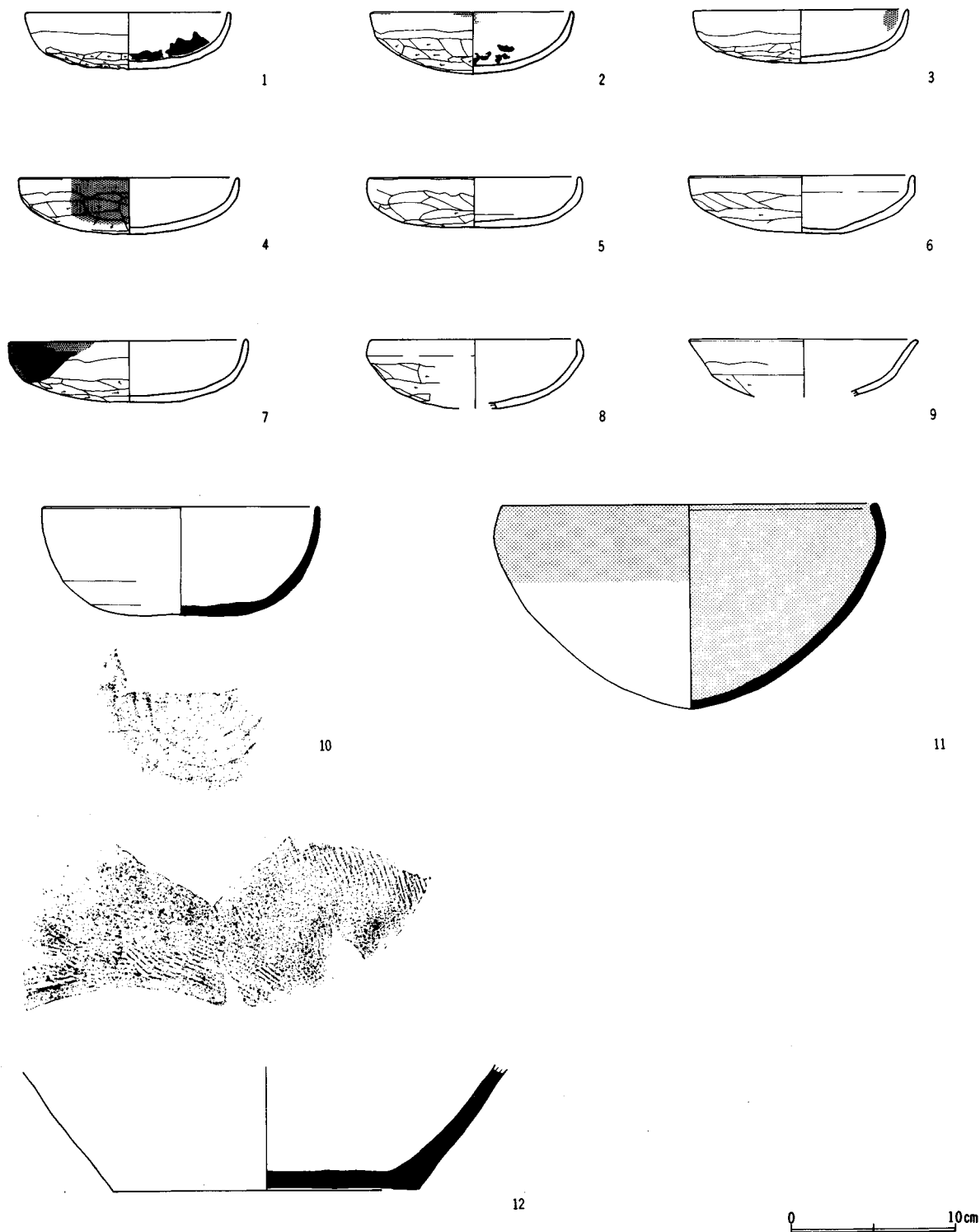
47第45層に同じ
48暗褐色土（ローム粒子・黒色土粒子少量）
49暗褐色土
50第30層にほぼ同じ
51黒褐色土（ローム粒子少量、黒灰色土）
52第15層にほぼ同じ
53暗灰茶褐色土
54灰褐色土（粘性もちかたくしまる）
55第53層にほぼ同じ
56第48層にほぼ同じ
57第52層にほぼ同じ
58灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量、焼土、炭化物、かたくしまる）
59灰褐色土（ハードローム粒子若干）
60暗灰褐色土（ローム微粒子若干、かたくしまる）
61暗褐色土（ローム粒子・微粒子若干、非常にかたくしまる）
62暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土）
63暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、炭化物）
64暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、かたくしまる）
65黒灰褐色土（ハードローム粒子ごくわずか、非常にかたくしまる）
66暗灰褐色土（ハードローム微粒子少量、炭化物、非常にかたくしまる）
67暗灰褐色土（灰色帯びる、ハードローム小ブロック若干、ハードローム粒子少量、焼土、かたくしまる）
68暗灰色土（焼土）
69暗灰褐色土（ローム粒子若干）
70暗灰褐色土（ローム微粒子若干、非常にかたくしまる）
71暗褐色土（ハードローム微粒子少量、焼土、炭化物）
72暗褐色砂礫（大型礫）
73暗灰茶褐色土（ハードローム微粒子若干、焼土、炭化物）
74暗灰茶褐色土
75暗褐色土（ローム粒子ごくわずか、炭化物）
76暗褐色土（ローム粒子若干）

77暗灰褐色土
78黒灰褐色土
79灰褐色土（淡灰褐色粘土粒子、火山灰、焼土、炭化物、非常にかたくしまる）
80灰褐色土（ハードローム微粒子若干、火山灰、焼土、炭化物）
81灰色土（ハードローム微粒子若干）
82灰褐色土（ハードローム微粒子若干、炭化物、かたくしまる）
83灰褐色土（ローム微粒子若干）
84暗灰褐色土（ローム微粒子少量）
85灰褐色土とハードロームブロック・粒子混合層
86暗灰色土（ハードローム微粒子多量、ハードロームブロック若干）
87灰褐色土（ハードローム粒子若干、焼土、炭化物）
88灰褐色土（若干黄色帯びる、ハードローム粒子少量、かたくしまる）
89暗灰褐色土（ハードローム粒子ごくわずか）
90暗灰褐色土（ハードローム微粒子ごくわずか）
91灰褐色土（ハードローム微粒子ごくわずか）
92暗灰色土（若干褐色帯びる、ローム微粒子若干）
93淡黄灰色土・灰褐色土交互層
94淡灰褐色土
95明灰褐色土（ローム土混じる）
96灰褐色土（火山灰）
97灰褐色土（ローム微粒子若干）
98暗灰褐色土
99暗灰褐色土（ハードローム微粒子）
100灰褐色土とハードロームブロック混合層
101暗灰褐色土（ローム粒子霜降り状に混じる）
102暗灰褐色土（ローム粒子多量）
103黒褐色土（灰色帯びる、ローム粒子若干）
104灰褐色土（茶褐色帯びる、ローム粒子少量）
105黄褐色土
106第102層にほぼ同じ
107黒灰色土（ローム微粒子若干）
108灰褐色土
109淡灰褐色土（非常にかたくしまる）

110灰褐色土（ローム粒子霜降り状に多量に混じる）

112灰褐色土（かたくしまる）

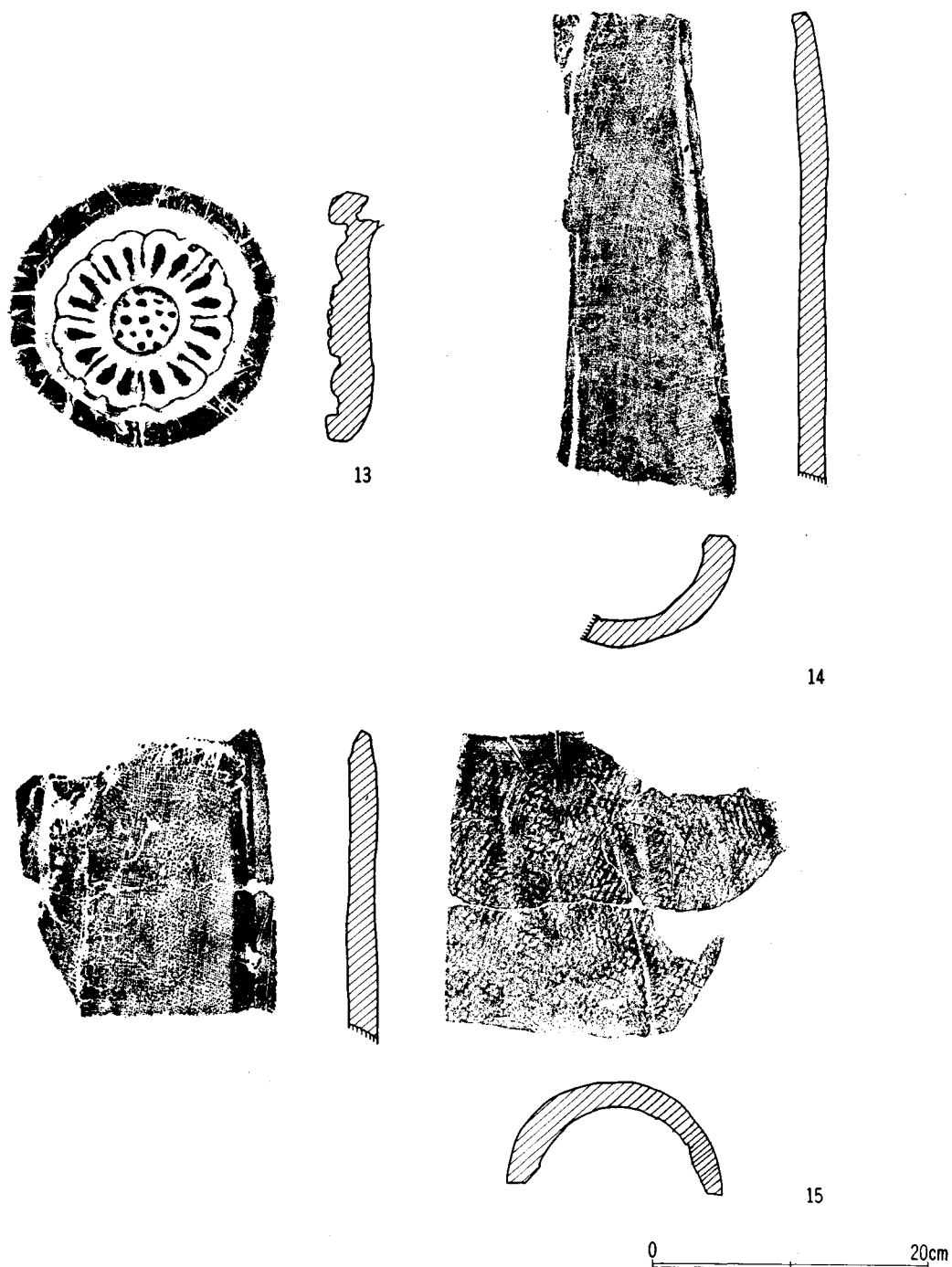
111黒灰褐色土（ハードローム粒子多量）



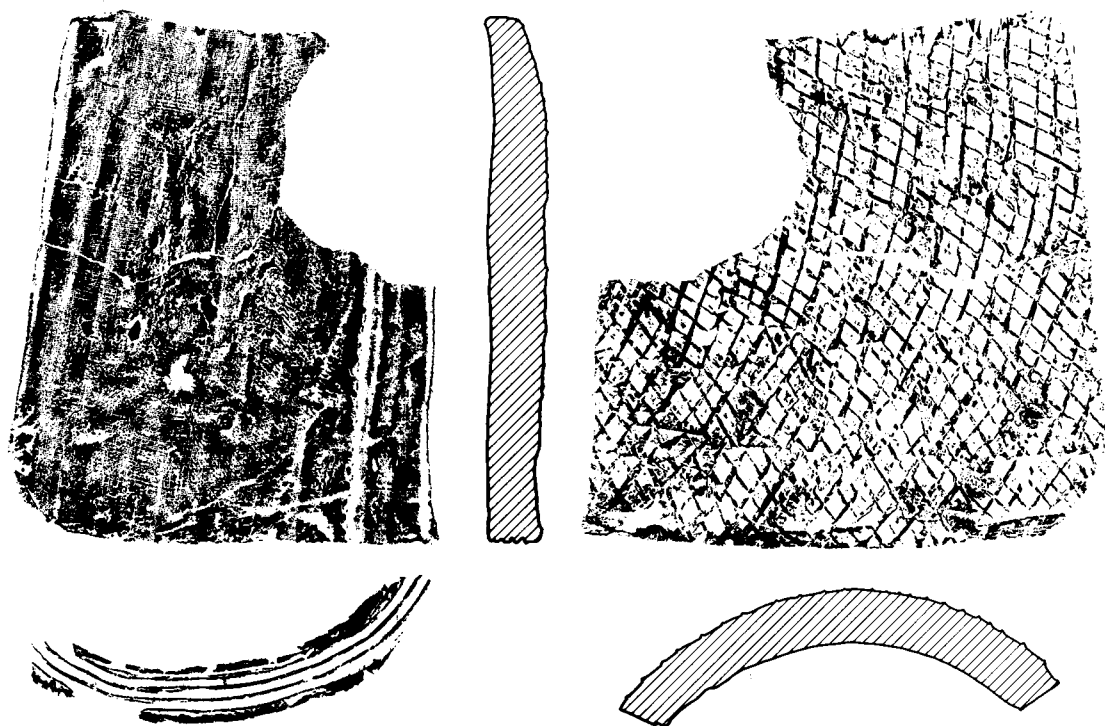
第42図 第1号堅穴状遺構出土遺物（1）

第1号竖穴状遺構出土遺物観察表

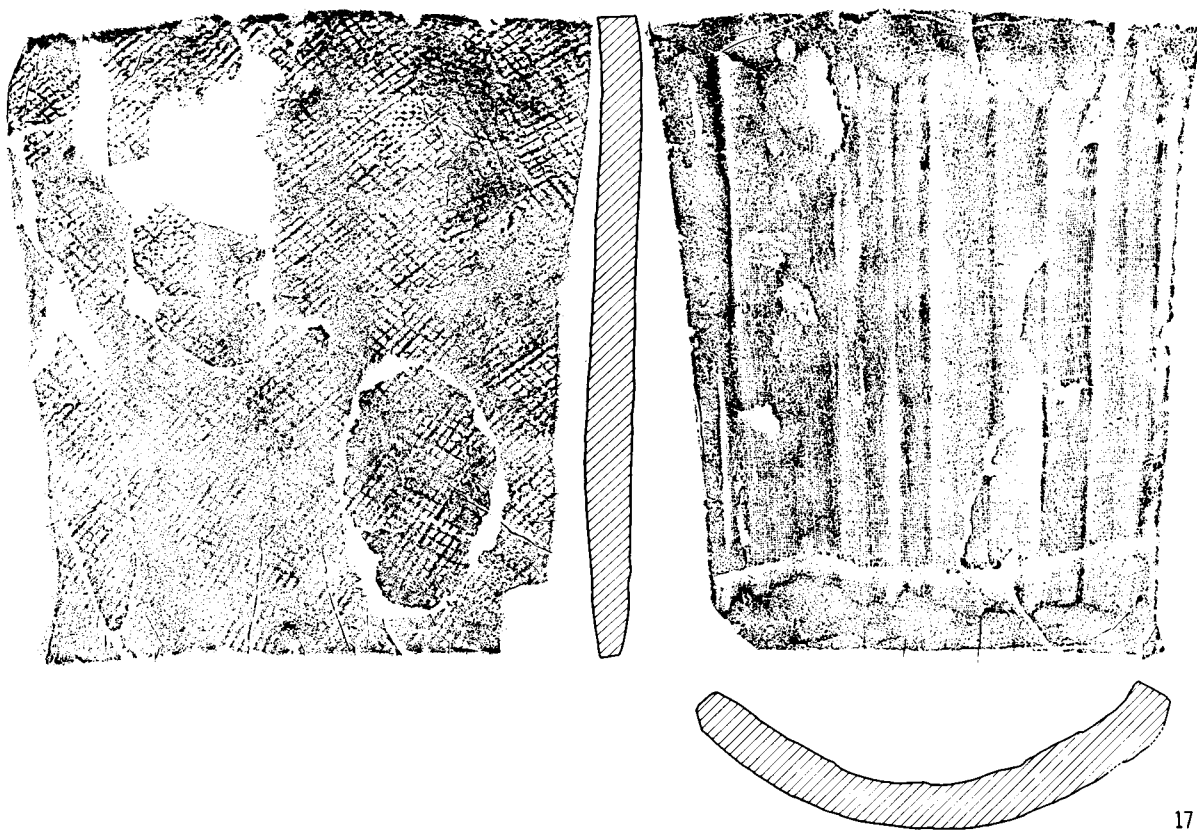
番号	器種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
1	坏	口径 12.5 器高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部はやや外反し直立する。	中粒砂、粗粒砂を含む。	5YR-7/8橙色	良好	70%	灯明皿。 内面に煤付着。
2	坏	口径 12.5 器高 3.9	口縁部内外面ヨコナデ。口縁部外面下半ヘラケズリ。体部ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部はやや外反する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	外面：7.5YR-6/4にぶい橙色 内面：10YR-7/4にぶい黄橙色	良好	完形	灯明皿。 内面に煤付着。
3	坏	口径 13.1 器高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部はやや外反する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	5YR-7/6橙色	良好	70%	灯明皿。 内面に煤付着。
4	坏	口径 13.5 器高 3.5	口縁部内外面ヨコナデ。外面下半指ナデ。体部ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部は直立する。	中粒砂を含む。	5YR-6/6橙色	良好	70%	内外面に煤付着。
5	坏	口径 13.1 器高 3.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部平底ぎみ。口縁部は直立する。	中粒砂を含む。	5YR-6/6橙色	良好	60%~65%	



第43図 第1号竖穴状遺構出土遺物 (2)



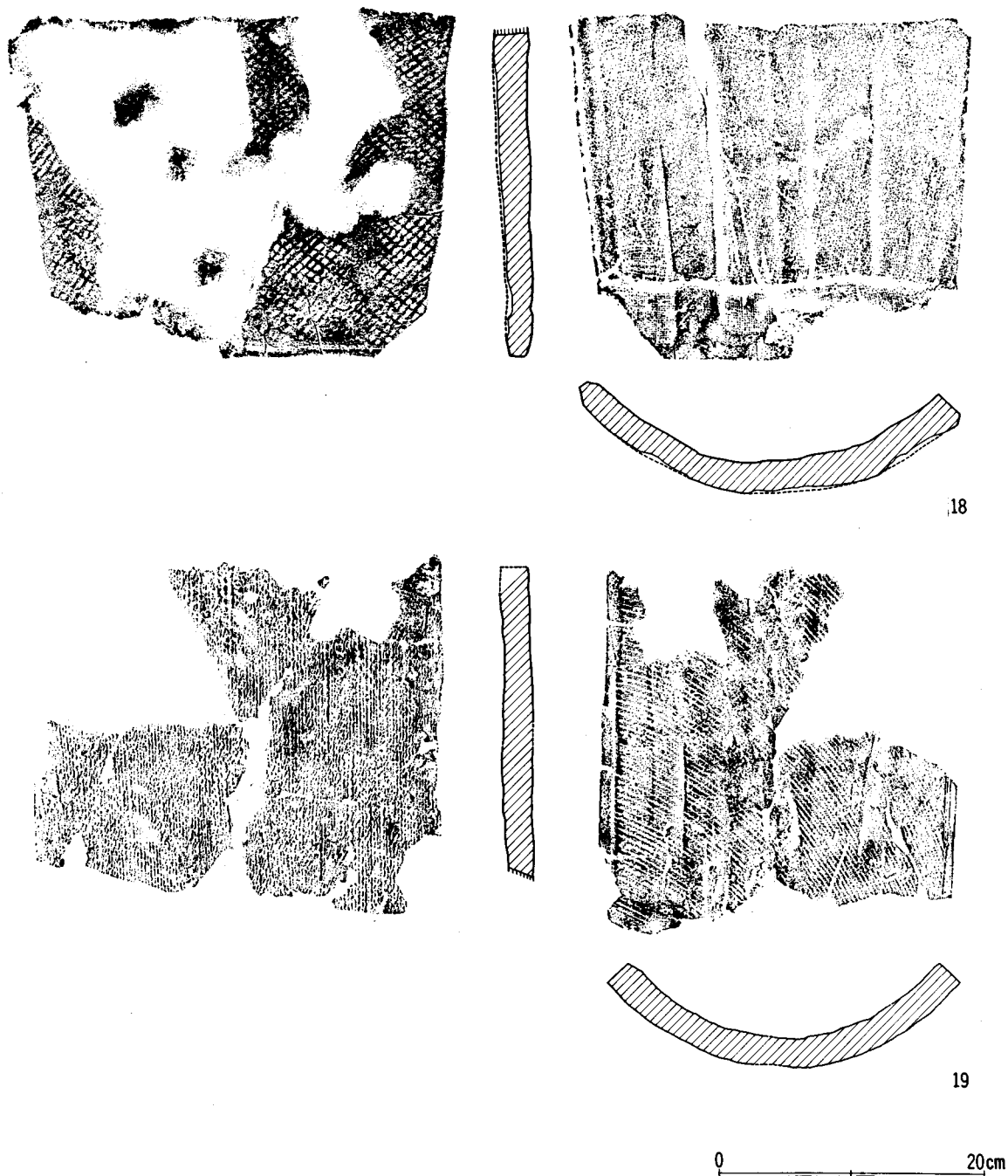
16



17

0 20cm

第44図 第1号堅穴状遺構出土遺物（3）



第 45 図 第 1 号 堅 穴 状 遺 構 出 土 遺 物 (4)

第 1 号 堅 穴 状 遺 構 出 土 遺 物 観 察 表

番号	器 種	法 量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼 成	残 存 率	備 考
6	坏	口径 13.9 器高 3.5	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部直立する。	中粒砂を含む。	7.5YR-6/6橙色 外面の一部5YR-6/6橙色	良好	60%	灯明皿。 体部内外面に 煤付着。
7	坏	口径 14.6 器高 3.7	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。底部内面ナデ。 底部丸底。口縁部は直立する。	中粒砂を含む。	外：5YR-7/6橙色 内：7.5YR-7/4にぶい橙色	良好	90%	灯明皿。 口縁内外面に 煤付着。
8	坏	口径 12.8 残存高 4.6	口縁部内外面ヨコナデ。体部ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部は内湾し立つ。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	5YR-6/6橙色 外面に10YR-7/4にぶい黄橙 色の部分あり。	良好	40%	
9	坏	口径 14.1 残存高 3.5	口縁部内外面ヨコナデ、外面下半指ナデ。体部外面ヘラケズリ。 口縁部外へ大きく開く。	中粒砂を含む。	5YR-6/6橙色 内外面に黒い部分あり。	良好	35%	

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
10	埴	口径 17.0 器高 5.0	底部回転ヘラケズリ。 器高が高く、口径も大きい。口縁は直立する。		中粒砂、粗粒砂を含む。	5Y-7/1灰白色	良好		
11	鉄鉢形鉢	口径 22.7 器高 12.3	ロクロ水挽き成形。 口縁部は内湾し直立する。口縁部から体部にかけて最大径をもつ。		中粒砂、粗粒砂を少し含む。	口縁外面：10Y-6/1灰白色 体部外面：5Y-8/2灰白色 内面：N-5/・N-6/灰色	良好		
12	壺	残存高 7.3 底径 18.5	外面叩き。底部未調整。 底部付近のみ内面に自然釉かかる。		中粒砂、粗粒砂と少しの細隙を含む。	外面：N-3/暗灰色 内面：N-5/灰色、底部に自然釉7.5Y-4/3暗オリーブ色	良好	底部付近のみ	
13	複弁8葉蓮華文軒丸瓦	直径 18.2	瓦当面：中房直径5.3cm、蓮子14個（1個中央、13個不規則に配置）、蓮弁細隙線で区画され肉厚で丸味もつ、間弁なし、界線なし、周縁直立縁、内側には線鋸歯文が施される。 成形技法：印籠つき法。		中粒砂、粗粒砂と少しの細隙を含む。	瓦当面：N-5/灰色 内面：10YR-5/2灰黄褐色	良好	瓦当面のみ	
14	丸 瓦	厚さ1.0～2.3	凸：タテ方向ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。 側端面面取りヘラケズリ。	8×7	中粒砂、粗粒砂と少しの細隙を含む。	凸：7.5Y-8/1灰白色、2.5Y-4/2暗灰黄色 凹：5Y-5/1灰色	良好		
15	丸 瓦	厚さ0.7～2.5	凸：斜格子（小）叩き。狭端部ヨコナデ。 凹：布目痕、狭端部とじ目痕及び面取りヘラケズリ。 側面：凹面面取りヘラケズリ。	7×7	中粒砂、粗粒砂、細隙を含む。	10YR-8/4浅黄褐色 10YR-7/4にぶい黄橙色	良好		
16	四重弧文軒平瓦	広端 30.0 全長 34.5 厚さ2.3～3.5	瓦当面：型挽き厚さ3.5cm。額：直線額、額部・平瓦ともに斜格子（大）叩き。 凹：布目痕、横骨痕、とじ目痕。凸：斜格子（大）叩き。 側面：ナデ。狭端部：わら痕？	9×8	中粒砂、粗粒砂、赤褐色粒子と少しの細隙を含む。	瓦当面：2.5Y-7/4浅黄色 凹：5Y-6/2灰オリーブ色 凸：2.5Y-8/3淡黄色 2.5Y-7/6明黄褐色	良好	80%	
17	平 瓦	狭端 29.0 広端 35.5 全長 43.0 厚さ1.2～2.8	凹：布目痕、横骨痕、広・狭端部付近ヘラケズリ。 凸：斜格子（小）叩き。 側端面：面取りヘラケズリ。	8×7	粗粒砂、中粒砂と少しの細隙を含む。	10Y-6/1灰色 2.5Y-7/3浅黄色と黒い部分あり。	良好	完形	
18	平 瓦	厚さ2.2～2.7	凹：布目痕、横骨痕、一部ヘラケズリ。 凸：斜格子（小）叩き（摩滅が激しい）。 側端面：凸面取りヘラケズリ。狭端部：凹面取りヘラケズリ。	7×6	中粒砂、粗粒砂と少しの細隙を含む。	凹：5Y-7/2灰白色 凸：5Y-6/1灰色	良好		
19	平 瓦	厚さ2.0～2.5	凹：糸切り痕（広端部右から狭端部左へ）、布目痕、若干横骨痕、とじ目痕、側端面面取りヘラケズリ。 凸：縄叩き。	9×7	粗粒砂、中粒砂と少しの細隙を含む。	2.5Y-8/4浅黄色	良好		

7 第2号竪穴状遺構（第46・47図）

本遺構は、調査区東部南端、O・P-7・8グリッド内に検出された。平面形・規模とも不明であるが、土層断面から短軸は3.55mと推測され、掘り込みの深さは、最深で0.60mを測る。

第8号溝を切っている。

遺物は、土師器坏、須恵器坏、釘状の鉄製品等が出土している。土師器坏は、放射状の暗文が施されているものが多い。また、底部外面に「淨」の墨書があるものもあった。時期は、7世紀後半～8世紀前半と考えられる。本遺構では、炭化物が多く含まれた層が確認されている。

土層説明（第46図）

A-A' 断面

1 黒褐色土（ローム粒子少量）

2 黒褐色土

3 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土）

4 黒灰色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土）

5 暗茶褐色土（黒灰褐色土混じる）

6 暗黄褐色土

7 暗茶褐色土

8 黒褐色土

9 暗茶褐色土（ローム小ブロック・粒子、黒褐色土小ブロック）

10 暗褐色土（焼土、炭化物）

11 暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土、炭化物）

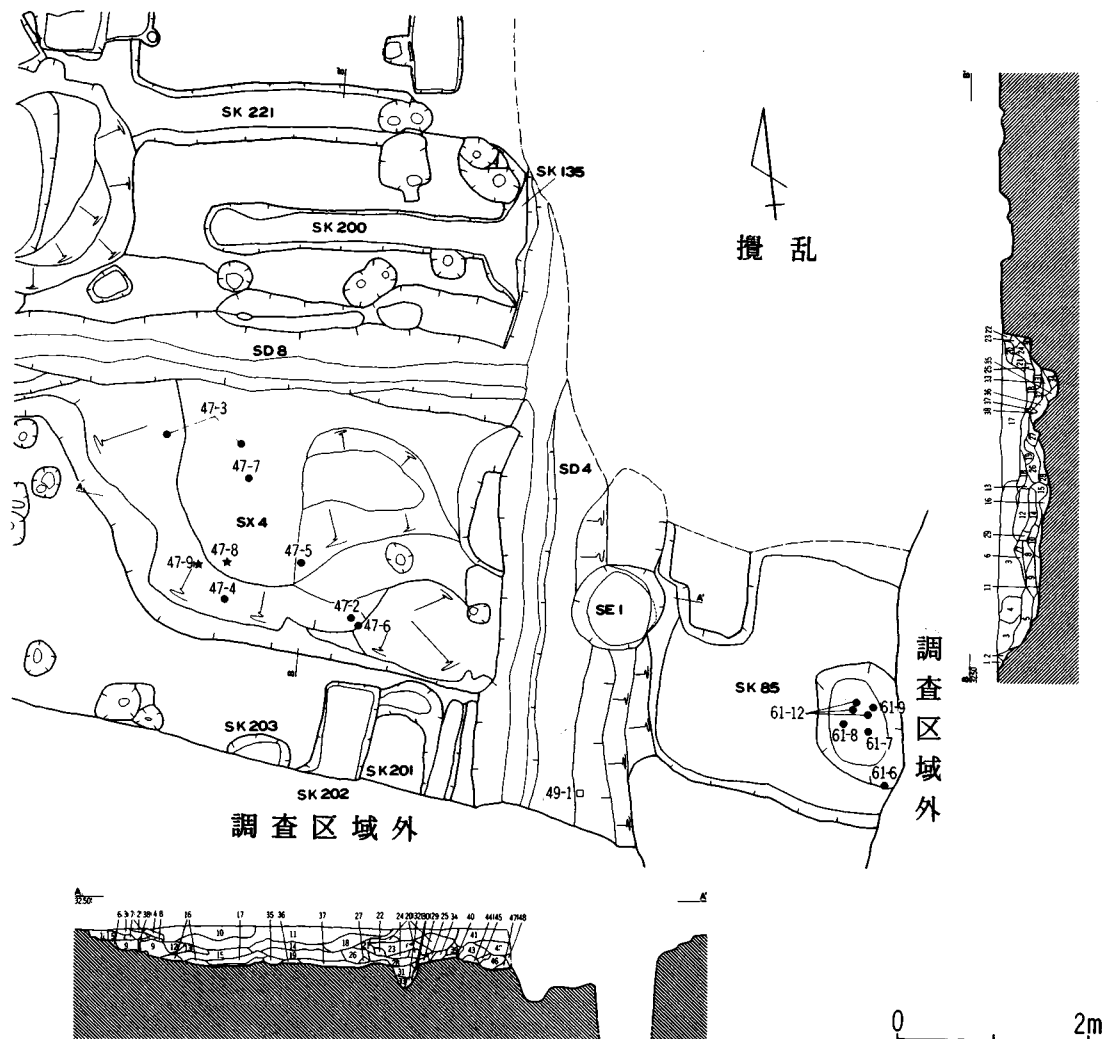
12 黒褐色土（ローム粒子、焼土）

13 暗褐色土（ローム微粒子若干）

14 暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、黒灰褐色土混じる）

15暗褐色土（ロームブロック・粒子、黒褐色土ブロック・粒子）
 16暗黄褐色土
 17褐色土（ローム小ブロック多量、黒灰色土ブロック）
 18暗褐色土（炭化物）
 19暗褐色土（黄色帯びる、ローム土混じる）
 20黒色土と暗灰褐色土混合層
 21暗褐色土（若干灰色帯びる、黒色土若干混じる）
 22第20層にほぼ同じ
 23炭化物層
 24炭化物層（ローム土ごくわずか）
 25ローム粒子層
 26褐色土（ローム微粒子少量）
 27褐色土
 28暗灰褐色土（黒色土・ローム土混じる）
 29暗灰褐色土

30暗黄褐色土
 31暗褐色土（黒色土多量）
 32暗褐色土
 33暗褐色土（黒色土粒子、ローム土混じる）
 34暗褐色土（黒色土粒子）
 35灰黄褐色土（ロームブロック）
 36黄褐色土（黒灰色土粒子）
 37ローム土
 38第17層に同じ
 39暗褐色土（黒灰色土粒子）
 40黄褐色土と黒灰色土混合層
 41暗褐色土
 42暗褐色土（ローム粒子、暗灰褐色土混じる）
 43暗茶褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）
 44第17層に同じ
 45第42層に同じ



第46図 第2号竖穴状遺構、第4・8号溝跡、第85・
 135・200～203・221号土坑、第1号井戸跡

46第17層にほぼ同じ

47暗黄褐色土

B-B' 断面 (第8号溝を含む)

1 黒褐色土 (ローム土若干)

2 暗黄褐色土

3 暗褐色土

4 暗灰褐色土

5 黒褐色土 (ローム土少量)

6 黒褐色土 (ローム粒子ごくわずか)

7 暗灰褐色土

8 暗褐色土 (ローム微粒子若干)

9 褐色土 (黒灰色土粒子、黄褐色土多量に混じる)

10 褐色土 (ローム土混じる)

11 灰褐色土

12 暗褐色土 (ローム微粒子若干)

13 暗褐色土 (ハードローム土若干)

14 暗灰褐色土 (ハードローム土若干)

15 灰褐色土 (黄色帯びる)

16 黄褐色土

17 黒灰色土

18 暗灰色土

19 暗灰褐色土

20 黒灰色土 (若干赤褐色帯びる、ローム粒子)

21 暗灰色土

22 暗褐色土 (ローム微粒子多量)

23 暗褐色土 (灰色帯びる)

24 暗褐色土 (ローム小ブロック・微粒子多量)

25 暗灰色土

26 暗褐色土 (ローム粒子少量、ローム微粒子多量、
黒灰色土粒子)

27 灰褐色土 (ローム土、暗灰褐色土混じる)

28 暗灰黄色土 (ローム土多量)

29 灰褐色土 (ローム微粒子若干、炭化物)

30 黄褐色土

31 暗灰色土 (ローム微粒子多量)

32 黒灰褐色土

33 暗灰褐色土 (ローム微粒子少量)

34 第31層にほぼ同じ

35 黒灰色土 (ロームブロック・微粒子若干)

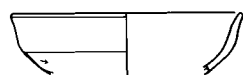
36 暗灰褐色土 (ローム土混じる)

37 黒灰色土 (黄色帯びる、ローム微粒子多量)

38 第32層にほぼ同じ

第2号竪穴状遺構出土遺物観察表

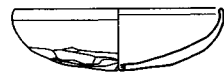
番号	器種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	坏	口径 12.2 残存高 3.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 口縁部は外傾ぎみに開いて立ち上がる。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	外: 10YR-7/6明黄褐色、5Y R-6/8橙色 内: 5YR-6/8橙色	良好	口縁部片	
2	坏	口径 12.4 残存高 3.9	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。器高は高く、口縁部は内湾する。	中粒砂と少しの 粗粒砂を含む。	外: 5YR-6/6橙色 内: 5YR-7/6橙色	良好		



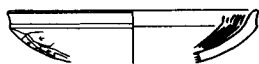
1



2



3



4



5



6



7



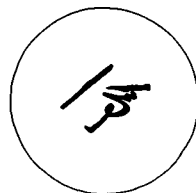
8



9



10



6

0 10cm

第47図 第2号竪穴状遺構出土遺物

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
3	坏	口径 21.2 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上半指ナデ、下半ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部は内湾ぎみに立ち、口唇部内湾する。	中粒砂を含む。	10YR-6/3黄褐色 10YR-5/2灰黄褐色	良好	30%	
4	坏	口径 13.2 残存高 2.7	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。口縁部は先端で外反する。内面に放射状の暗文。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	外: 2.5YR-5/8褐色 内: 2.5YR-5/6明赤褐色	良好	20%	外面に黒い部分あり。
5	坏	口径 15.4 器高 3.5	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ヘラケズリ。 底部丸底。体部から口縁部へ直線的に立つ。内面に放射状の暗文。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	外: 5YR-6/6褐色 2.5Y-8/4淡黄色 内: 2.5YR-5/6明赤褐色	良好	25%	内面に黒い部分あり。
6	坏	口径 12.4 器高 3.8	口縁部内外面ヨコナデ。体部指ナデ。底部ヘラケズリ。 底部平底ぎみ。体部は外方に開き、口縁部は外傾ぎみに直立する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	7.5YR-7/4にぶい褐色	良好	ほぼ完形	底部外面に墨書「浄」。内面に煤付着。
7	坏	口径 12.8 残存高 3.7	ロクロ水挽き成形。口縁部外面に自然軸。 底部平底? 口縁部は直立する。	中粒砂と少しの粗粒砂を含む。	10Y-7/1灰白色	良好	15%	
8	埴埴状製品	口径 3.4 器高 2.7	卵を半分にしたような形状。 表面はごつごつしている。		10YR-3/2黒褐色			用途等すべて不明。
9	埴埴状製品	口径 3.9 器高 2.0	鉢のような形状。 表面はごつごつしている。		10YR-3/2黒褐色			"
10	埴埴状製品	口径 4.4 器高 1.9	浅い鉢のような形状。 表面はごつごつしている。		10YR-3/2黒褐色			"

8 溝跡

1 第4号溝跡(第46・48・49図)

本遺構は、調査区東部東端、P-3・7・8グリッド内に検出され、中間は攪乱を受けていた。

確認された全長は、28.40mである。南北に走っており、主軸はN-0.9°-Eである。規模は、幅約1.15m、深さ0.65m(北)~0.75m(南)で、断面はV字形である。

第一次調査の第4号溝跡の北側の続きにあたり、第8号溝跡とほぼ直交して接続する。北で第36号土坑に、南で第1号井戸跡に切られている。

遺物は、土師器坏、須恵器坏・高台坏・壺、土師質土器坏、均正唐草文軒平瓦、丸瓦、鉄釘、鉄滓、古銭「皇宋通寶」等と共に20~30cm大の川原石が出土している。

時期は、確証に乏しく不明である。

土層説明(第48図)

A-A' 断面(第36号土坑を含む)

- 1 黒褐色土(ローム小ブロック少量)
- 2 黒灰褐色土(ローム小ブロック若干、ローム微粒子少量、比較的しまる)
- 3 暗褐色土(ローム粒子・微粒子多量)
- 4 黒灰褐色土(ローム粒子ごくわずか、しまる)
- 5 灰褐色土(ローム粒子若干)

6 暗褐色土(ローム粒子)

7 ロームブロック層(黒灰褐色土混じる)

8 暗褐色土(ローム微粒子均一に多量)

9 黒灰褐色土(ローム粒子多量)

10 暗褐色土(ローム微粒子多量)

11 黒褐色土(ローム粒子少量)

12 暗灰褐色土(ローム土若干)

13 ローム土

14 黒灰褐色土とロームブロック混合層

15 暗褐色土(ローム粒子若干)

16 暗褐色土(ローム粒子若干、かたくしまる)

17 黒灰褐色土(ローム微粒子ごくわずか)

18 暗褐色土(茶褐色帯びる)

19 黒色土

20 第18層に同じ

21 第15層にほぼ同じ

22 黒灰褐色土

23 暗灰褐色土(ローム粒子少量)

24 第19層に同じ

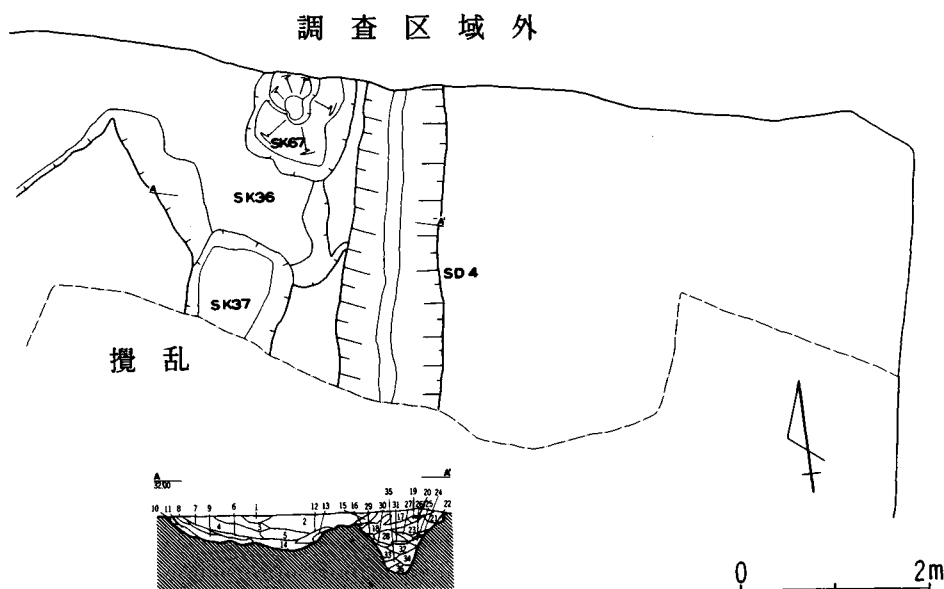
25 暗褐色土(ローム粒子若干)

26 暗茶褐色土(ローム微粒子)

27 暗灰褐色土

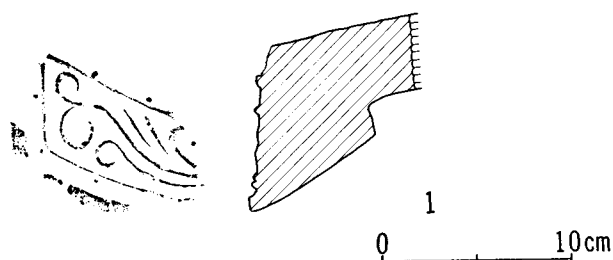
28 第18層にほぼ同じ

29 第26層に同じ



第48図 第4号溝跡、第36・37・67号土坑

- 30第18層に同じ
- 31第19層に同じ
- 32第28層に同じ
- 33暗褐色土（ローム粒子若干）
- 34黒褐色土（ローム微粒子若干）
- 35黒褐色土（ローム粒子少量）
- 36黒褐色土（ローム微粒子少量）



第49図 第4号溝跡出土遺物

第4号溝跡出土遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	均正唐草文軒平瓦	厚さ瓦当8.6	瓦当面：厚さ8.6cm。頸：段頸（斜め）幅7.0cm。側面：ヘラケズリの後ナデ。細線により唐草表わす。細い界線により、内区・外区を区分し、上外区・下外区とも珠文が配される。	中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	瓦当面：2.5Y-6/2灰黄色 凹：7.5YR-6/2灰褐色 凸：2.5Y-5/1黄灰色、7.5YR-5/2灰褐色	良好		朱付着。

2 第6号溝跡（第50図）

本遺構は、調査区西部西端、B-1・2グリッド内に検出された。確認された全長は、約6.0mである。南北に走っており、主軸はN-12°-Eである。規模は、幅0.6～0.7m、深さ0.4mで、断面は箱形である。

第28・33・34・138・222号土坑と重複関係にあり、土層観察から本遺構は、第28号土坑を切っている。

遺物は、縄文土器片、土師器坏・甕、瓦片が出土している。出土点数は少なく、時期不明。

土層説明（第50図）

D-D' 断面

- 1 灰褐色土
- 2 灰褐色土（ローム粒子少量）
- 3 灰褐色土（ローム粒子少量）
- 4 暗褐色土（黄色帯びる、ローム小ブロック少量、黒色土粒子若干）
- 5 灰褐色土（ローム粒子若干）
- 6 ロームブロック
- 7 暗褐色土（ローム小ブロック若干）
- 8 暗褐色土（ローム粒子少量）
- 9 暗褐色土（ローム粒子若干、炭化物、しまる）
- 10 暗褐色土（ローム粒子若干、かたくしまる）

K-K' 断面 (第28号土坑を含む)

1 暗灰褐色土 (ローム粒子・微粒子少量)

2 黒灰褐色土 (ローム微粒子若干)

3 暗褐色土 (ローム粒子少量、焼土・炭化物若干、しまる)

4 第2層にほぼ同じ

5 暗褐色土 (ローム微粒子若干、かたくしまる)

6 攪乱

7 暗褐色土

8 暗褐色土 (ローム粒子若干、炭化物若干)

9 暗褐色土 (焼土、炭化物)

10 暗灰褐色土 (ローム微粒子若干、ロームブロック、焼土)

11 灰褐色土 (ロームブロック多量、かたくしまる)

12 暗灰黄褐色土 (ローム粒子多量、黒色土粒子若干)

13 暗灰褐色土

14 第11層にほぼ同じ

15 灰褐色土 (ローム粒子少量、しまる)

16 暗灰褐色土

17 攪乱



第50図 第6・7号溝跡、第14・15・28・33・34・138～140・
222・223号土坑、第1～4号ピット

3 第7号溝跡(第50図)

本遺構は、調査区西部西端、A-1・2グリッド内に検出された。確認された全長は約6.0mで、南側は攪乱を受けていて不明である。ほぼ南北に走っており、主軸はN-20°-Eである。規模は、幅約3.2m、深さ0.6~0.8mで、断面は箱形である。第140号土坑と重複関係にある。

遺物は、土師器坏・甕、須恵器、丸瓦、平瓦等が出土し、瓦は多量である。時期は確証に乏しい。

土層説明(第50図)

M-M' 断面

- 1 攪乱
- 2 暗褐色土(ローム粒子少量、かたくしまる)
- 3 暗褐色土(ローム粒子少量)
- 4 暗灰褐色土(ローム粒子若干)
- 5 暗黄褐色土
- 6 暗褐色土(ローム粒子若干、軟弱)
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土
- 9 暗灰褐色土ブロック
- 10 暗褐色土(ローム粒子、黒色土粒子、しまる)
- 11 黄褐色土
- 12 暗褐色土(ローム粒子若干)
- 13 暗灰褐色土(火山灰多量、砂質感ある、非常にかたくしまる)
- 14 ローム土
- 15 暗灰褐色土(ローム粒子若干)
- 16 第15層にほぼ同じ
- 17 暗灰褐色土
- 18 第13層にほぼ同じ
- 19 暗灰褐色土(軟弱)
- 20 暗灰褐色土(ロームブロック少量、軟弱)
- 21 攪乱
- 22 褐色土(ローム土混じる)
- 23 暗灰褐色土(非常にかたくしまる)
- 24 黒灰褐色土(軟弱)
- 25 暗褐色土(ローム微粒子若干)
- 26 黒灰褐色土(ローム土若干)

27 淡黄褐色土

- 28 黒灰褐色土(ローム土若干、しまる)
- 29 暗灰褐色土(ローム粒子・焼土少量、火山灰多量)
- 30 暗灰褐色土(ローム小ブロック・粒子多量、焼土、炭化物)
- 31 第29層にほぼ同じ
- 32 暗褐色土(ローム粒子、かたくしまる)
- 33 暗褐色土(ローム粒子少量、軟弱)
- 34 暗褐色土(ローム土多量、非常にかたくしまる)
- 35 暗灰褐色土(ローム土混じる)
- 36 第1層にほぼ同じ
- 37 暗灰褐色土(ローム粒子、しまる)
- 38 暗灰褐色土(ハードローム小ブロック・粒子多量)
- 39 灰褐色土
- 40 ハードロームブロック
- 41 暗灰色土(ローム粒子若干、かたくしまる)
- 42 灰褐色土(ローム粒子)
- 43 ハードローム粒子層
- 44 灰褐色土(火山灰、非常にかたくしまる)
- 45 ハードロームブロック
- 46 灰黄褐色粘質土
- 47 暗灰褐色土(ローム小ブロック・粒子多量)
- 48 暗灰茶褐色土(粘性もつ、かたくしまる)
- 49 灰褐色土(ハードローム粒子多量)
- 50 暗灰色土(ローム粒子)
- 51 灰黄褐色土(粘性もつ、かたくしまる)

4 第8号溝跡(第51図)

本遺構は、調査区東部南端、M~P-7グリッド内に検出された。確認された全長は、約15mである。溝は東西に走っており、主軸はN-103°-Eである。規模は、幅1m前後、深さ0.45m(C-C'断面)を測り、断面はV字形と推定される。

第4号溝跡とほぼ直交して接続するが、貫通しない。東で第2号竪穴状遺構に切られており、西で掘り方が乱れており、他の遺構と重複関係にある。

遺物は、土師器坏、須恵器坏、土師質土器坏、瓦片、鉄釘等が出土している。遺物量は少ない。

土層説明(第51図)

C-C' 断面

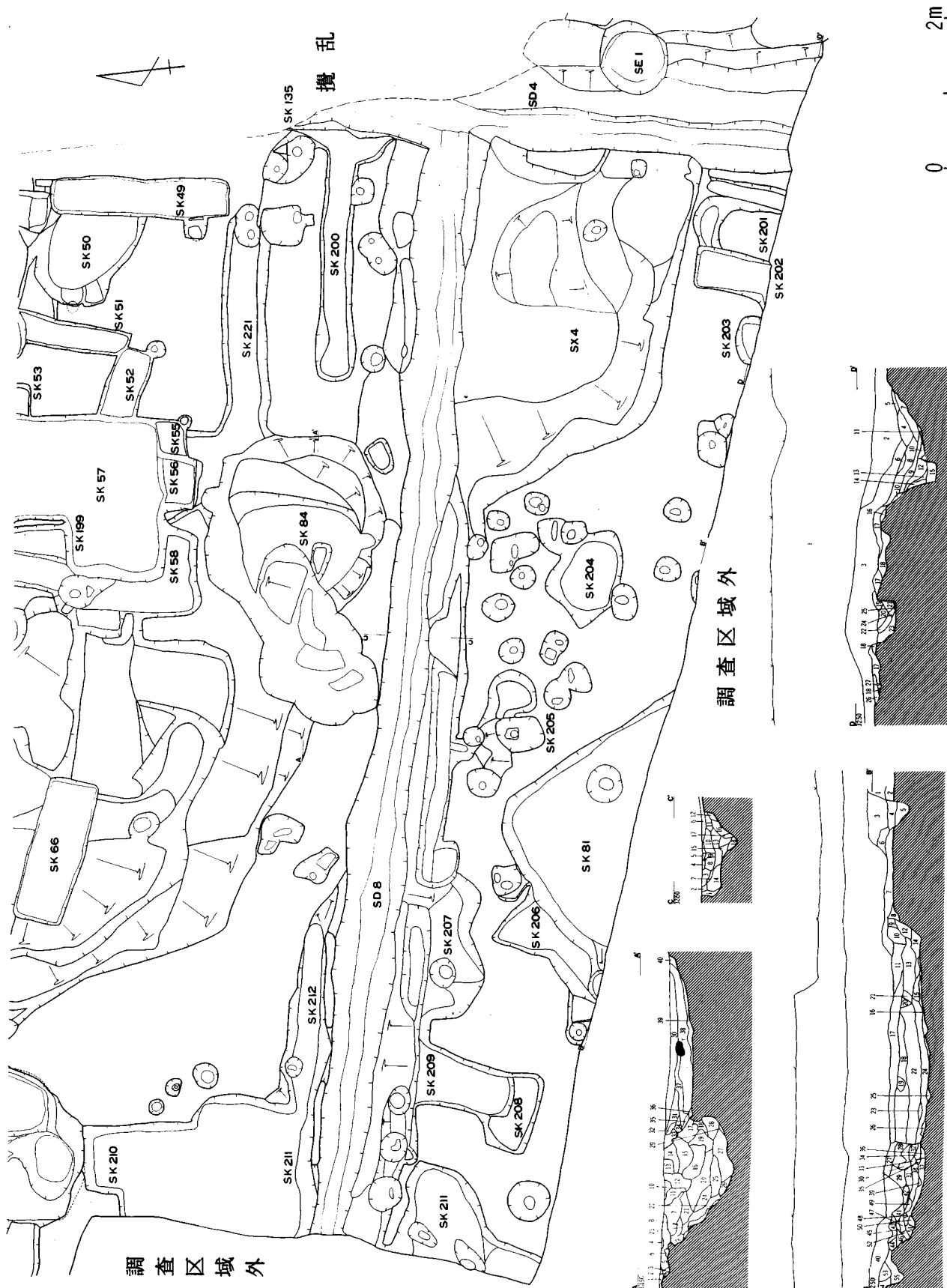
1 暗黄褐色土 (若干褐色帯びる、黒灰褐色土粒子)

2 暗褐色土 (ローム粒子若干)

3 暗灰褐色土 (ローム微粒子少量)

4 暗灰褐色土

5 黒灰色土 (ローム粒子若干、かたくしまる)



第51図 第2号竪穴状遺構、第4・8号溝跡、第1号井戸跡、
第49～53・55～58・66・81・84・135・199～212号土坑

6 暗灰褐色土（ローム微粒子少量、非常にかたくし
まる）

7 黒灰褐色土（ローム微粒子若干）

8 灰褐色土（灰色強く帯びる、ロームブロック・粒
子ごくわずか）

9 攪乱

10 第8層にほぼ同じ

11 第3層にほぼ同じ

12 暗黄褐色土と黒灰色土混合層

13 暗灰褐色土（ローム微粒子若干、黒灰色土）

14 黒灰褐色土（ローム粒子若干、ロームブロック）

15 第13層にほぼ同じ

16 第14層にほぼ同じ

17 攪乱

18 第3層にほぼ同じ

9 井戸跡

1 第1号井戸跡（第51・52図）

本遺構は、調査区東部東南端、P-8グリッド内
に検出された。第4号溝跡を切っている。深くて掘
るのが困難だったため、完掘には至らなかった。

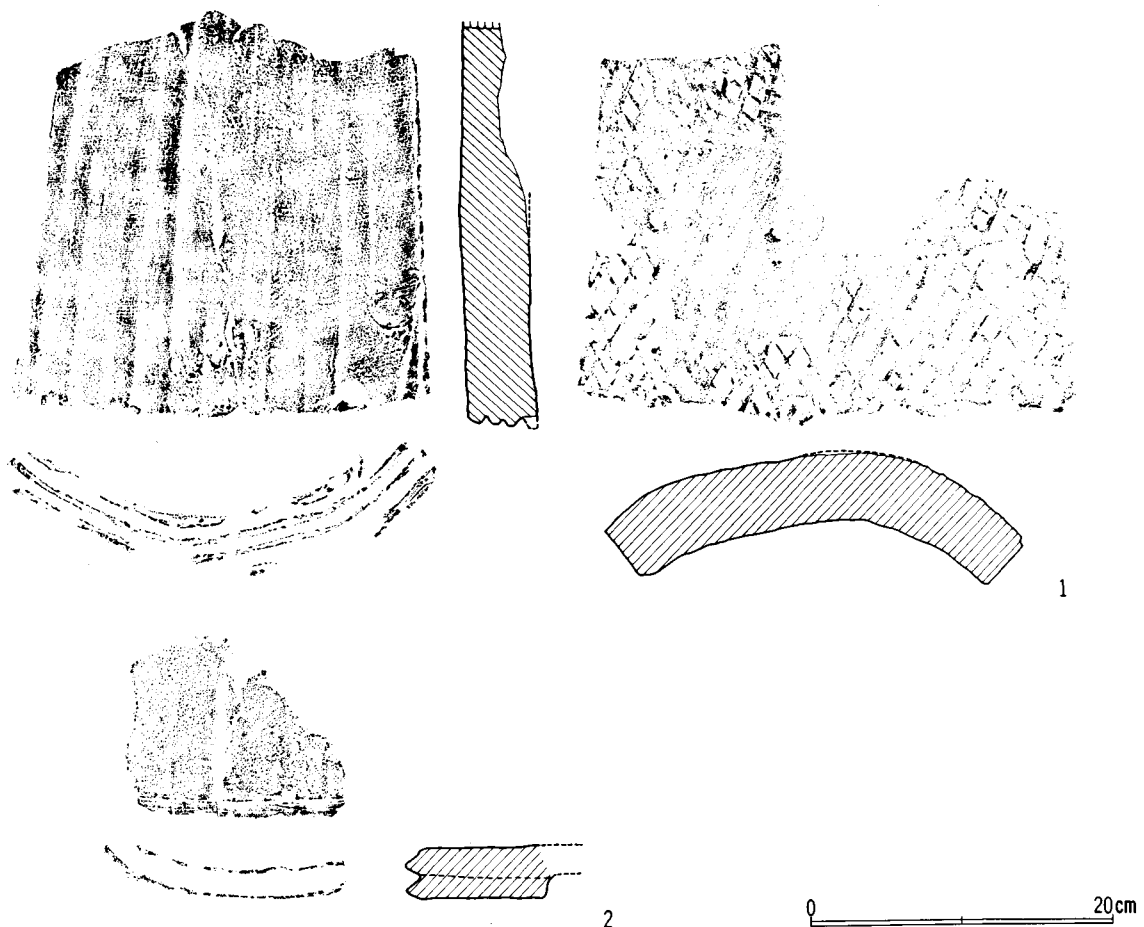
遺構の形状は、平面がやや楕円形で、断面が円筒
形を呈す。規模は、確認面で1.00m×0.93
mの楕円形、確認面より0.95m掘り下げたところ
で0.73m×0.77mのほぼ円形である。

遺物は、二重弧文・三重弧文軒平瓦、丸瓦、土師
質土器坏等が出土している。

2 第2号井戸跡（第53・54図）

本遺構は、調査区中央部付近、J-4・5、K-
5グリッド内に検出された。第111・129～1
31号土坑と重複関係にあり、いずれの土坑も本遺
構によって切られているようである。礫と砂の埋土
の井戸で人力による掘り下げ困難なため、未発掘で
ある。

遺構の形状・規模は、確認面で2.35m×2.



第52図 第1号井戸跡出土遺物

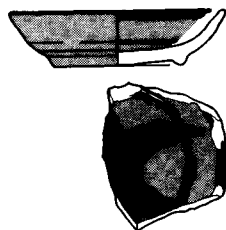
15 mの不整形な楕円形である。

1枚「元豊通寶」が出土している。

遺物は、砂礫層中に陶器の小皿と古銭3枚（内

第1号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	布目 (本/cm)	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	四重弧文 軒平瓦	瓦当(広端)29.0 厚さ3.5~4.6	瓦当面：型挽き厚さ4.6cm。顎：直線顎。側面へラケズリ。 凹：布目痕、横骨痕。凸：斜格子（大）叩き。	5×2	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-7/2灰白色 5Y-7/1灰白色	良好	広端部 (瓦当面)側	三重弧文の箇所あり。
2	二重弧文 軒平瓦	厚さ 1.5	瓦当面：型挽き厚さ3.3cm。顎：段顎、幅10cm、粘土板貼り付け成形、全面ナデ。 平瓦部凹：布目痕、横骨痕。	6×6	粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	10Y-6/1灰色	良好		



第2号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	法量 (cm)	手法、形態の特徴	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	小皿	口径 11.5 器高 5.0	長石釉。模様は鉄釉。	中粒砂を少し含む。	5Y-8/2灰白色 2.5Y-3/1黒褐色	良好	30%	

第53図 第2号井戸跡出土遺物

10 土坑・ピット（第39・41・46・48・50
・51・54～64図、第1表）

土坑群は調査区全体で検出されたが、特に調査区中央から東部に集中し、重複し合った形で検出された。現場及び整理作業の段階で、番号が付与できたものだけでも223基を数える。土坑は、長方形の形態を呈すものが多く、遺物は瓦・土師器・須恵器を中心に出土しており、時期は遺物から奈良・平安時代を中心に古墳時代後期から近世まで幅広いと考えられる。個々の土坑の詳細は一覧表にて記述する。

ピットは、調査区内に点在して検出されたが、主に調査区中央北西部・東部南端に集中して検出された。いずれのピットも、遺物の出土数のごくわずかで、そのピットの時期及び性格等までは判らなかった。

土層説明（第39図）

D-D' 断面（第10号土坑）

- 1 暗褐色土（焼土若干）
- 2 黄褐色土ブロック（暗褐色土若干）
- 3 褐色土（ロームブロック・粒子多量、黒褐色土粒子若干）
- 4 暗褐色土（ロームブロック）
- 5 暗褐色土（ロームブロック多量）
- 6 黄褐色土
- 7 暗褐色土（ローム粒子若干）
- 8 褐色土（ローム微粒子・黒褐色土粒子若干）
- 9 褐色土（ローム粒子若干）

E-E' 断面（第38号土坑）

- 1 暗褐色土（ローム小ブロック少量）
- 2 黒褐色土（ローム微粒子少量）
- 3 黒灰褐色土
- 4 黒灰褐色土（第3層より明るい）

5 第2層にほぼ同じ

6 黒灰褐色土

7 ハードロームブロック

F-F' 断面（第35号土坑）

- 1 暗褐色土（ローム粒子少量）
- 2 暗灰褐色土（ローム土混じる）
- 3 黄褐色土
- 4 灰褐色土
- 5 暗灰褐色土
- 6 黒褐色土（ローム粒子）
- 7 暗灰黄褐色土〈ブロック状〉

8 黄褐色土

9 暗黄褐色土

10 暗灰褐色土

H-H' 断面（第1号土坑）

- 1 黄褐色土（暗褐色土、炭化物）
- 2 黄褐色土
- 3 褐色土（ローム粒子・炭化物少量）
- 4 暗褐色土（ローム微粒子少量、炭化物若干）
- 5 褐色土（ローム微粒子若干）
- 6 炭化物層（ロームブロック少量、焼土若干）
- 7 黒褐色土（ローム粒子少量、炭化物）
- 8 第6層にほぼ同じ

I-I' 断面（第1・6号土坑）

- 1 暗褐色土（ローム微粒子少量、炭化物若干）
- 2 暗褐色土（第1層より炭化物が多い）
- 3 炭化物層（ロームブロック少量、焼土若干）
- 4 黄褐色土（焼土・炭化物少量）
- 5 灰色土（ローム粒子若干、灰多量、焼土・炭化物若干）
- 6 暗褐色土（焼土若干）
- 7 暗褐色土（ローム土多量、焼土・炭化物若干）
- 8 暗黄灰褐色土
- 9 灰褐色土（ローム土・焼土若干）

10 灰褐色土（焼土、かたくしまる）

11 暗褐色土（ロームブロック少量）

12 暗褐色土

J-J' 断面（第13号土坑）

1 暗黄褐色土（褐色土混じる）

2 暗褐色土（ロームブロック若干、ローム粒子多量）

3 暗褐色土

4 黒褐色土（ローム小ブロック・黒色土粒子少量）

5 暗褐色土（ローム粒子若干）

6 暗灰褐色土

7 暗灰褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）

8 黒灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）

9 ロームブロック

K-K' 断面（第32号土坑）

1 暗褐色土

2 淡黄褐色土

3 黒褐色土

4 黄褐色土（淡黄褐色土ブロック、ぼろぼろしている）

5 褐色土

6 暗褐色土

7 第5層にほぼ同じ

8 淡褐色土

9 黄褐色土

10 灰褐色土

11 ロームブロック

12 黄褐色土

13 灰褐色土（ローム粒子）

14 暗灰褐色土

15 黒色土とローム粒子混合層

16 淡黄褐色土

17 第14層にほぼ同じ

18 黒褐色土（ローム粒子）

L-L' 断面（第7号土坑）

1 暗褐色土とロームブロック・粒子混合層

2 黒灰褐色土（ロームブロック若干）

3 暗褐色土（ローム粒子少量）

4 暗褐色土（ローム粒子少量）

5 黄褐色土

6 黄褐色土（ぼろぼろした感じ）

7 黒褐色土（ローム粒子若干）

M-M' 断面（第8・9号土坑）

1 暗褐色土（ローム粒子少量）

2 暗褐色土

3 暗褐色土（ローム粒子少量）

O-O' 断面（第20号土坑）

1 暗褐色土

2 黒褐色土（ローム小ブロック少量、焼土）

3 黒灰褐色土（ローム小ブロック少量）

4 暗灰褐色土（若干灰黄色帯びる）

5 暗褐色土（ローム粒子少量）

6 暗褐色土（ローム粒子少量）

7 暗灰褐色土（ローム微粒子少量、焼土）

8 暗灰褐色土（ローム小ブロック）

9 第7層にほぼ同じ（ローム小ブロック、かたくしまる）

10 灰褐色土

11 暗褐色土（ローム小ブロック・微粒子、黒色土粒子少量、かたくしまる）

12 暗褐色土（ロームブロック・微粒子）

13 暗褐色土（ロームブロック・微粒子）

14 灰褐色土

15 黒灰褐色土（瓦包含）

16 灰黄褐色土（瓦包含）

17 暗灰褐色土（焼土若干）

P-P' 断面（第25号土坑）

1 灰褐色土（ローム粒子若干、焼土）

2 灰褐色土（灰黄色帯びる、黒色土ブロック、ローム土混じる）

3 暗褐色土（ローム微粒子、焼土若干、遺物包含）

4 灰褐色土（ロームブロック）

5 ロームブロック

6 暗灰褐色土（少々粘性もつ、遺物包含）

7 暗茶褐色土（黒色土粒子少量、ローム土混じる、遺物包含）

8 黒褐色土（焼土若干）

9 暗灰褐色土

10 暗灰茶褐色土（ローム小ブロック若干、ローム微粒子少量、遺物包含）

11 暗灰黄色土

12 暗灰褐色土（焼土、炭化物、遺物包含）

13 暗黄褐色土

14 黒褐色土（焼土多量、炭化物）

15 暗褐色土

16 黄褐色土

17 黒褐色土

18 黒褐色土とロームブロック混合層

19 暗灰褐色土（ローム粒子）

20 暗茶褐色土（ローム土若干）

21 灰黄褐色土（黒色土ブロック、遺物包含）

22 第7層にほぼ同じ（ローム粒子少量）

23 暗灰茶褐色土

Q-Q' 断面（第20・25号土坑）

1 暗黄灰褐色土

2 灰褐色土

3 第1層にほぼ同じ

4 灰褐色土（ローム粒子若干）

5 暗褐色土（ローム粒子、焼土、炭化物）

6 暗褐色土

7 灰褐色土（ロームブロック多量）

8 灰褐色土（第7層より褐色帯びる）

9 暗黄褐色土

10 黒褐色土（ローム粒子、焼土）

11 黒褐色土（ローム粒子多量）

12 暗茶褐色土

13 暗褐色土（ローム粒子）

14 暗褐色土（ローム粒子少量）

15 黄褐色土

16 黒褐色土

17 暗褐色土（ハードロームブロック多量）

18 暗茶褐色土

19 暗茶褐色土

20 暗灰褐色土（ローム小ブロック、ローム微粒子若干）

21 暗褐色土（焼土若干）

22 暗褐色土（ローム小ブロック若干）

23 暗灰黄褐色土

24暗褐色土（ローム微粒子ごくわずか、焼土）
 25黒褐色土
 26黒褐色土（焼土）
 27黒灰褐色土（ローム微粒子若干）
 28暗灰褐色土（かたくしまる）
 29暗灰褐色土（ローム小ブロック少量、かたくしまる）
 30褐色土（ローム微粒子少量、瓦包含）
 31褐色土（ローム微粒子多量、焼土）
 32褐色土（ローム土混じる）
 33褐色土（ローム土帯状に混じる）
 34黄褐色土
 35暗灰茶褐色土
 36暗黄褐色土
 37暗褐色土
 38黒褐色土（ローム微粒子若干）
 39暗褐色土（黄色帯びる、ローム粒子若干）
 40黒灰褐色土（黒色土混じる）
 41暗灰褐色土
 42灰褐色土（かたくしまる）
 43明灰褐色土（かたくしまる）
 44暗褐色土
 45褐色土（ロームブロック多量）
 46灰褐色土
 47攪乱
 土層説明（第41図）
 C-C' 断面（第77・78・119・184号土坑）
 1 暗灰褐色土（ローム粒子少量）
 2 暗灰褐色土
 3 攪乱
 4 暗褐色土（しまる）
 5 黄褐色土
 6 暗灰茶褐色土（ローム粒子少量、しまる）
 7 暗灰褐色土
 8 灰褐色土（茶褐色を帯びる）
 9 暗灰褐色土（ローム粒子多量）
 10暗灰褐色土（ローム粒子多量）
 11黒灰色土
 12黒灰褐色土（ローム粒子少量）
 13黄褐色土
 14灰褐色土（ハードローム大ブロック・粒子少量）
 15暗灰褐色土（灰色強く帯びる、ハードロームブロック・粒子若干）
 16黒灰褐色土（ハードローム小ブロック少量）
 17暗灰褐色土
 18第16層に同じ
 19黒灰色土
 20第17層にほぼ同じ（非常にかたくしまる）
 21黒灰褐色土（ハードローム小ブロック若干）
 22黒灰色土（ハードローム粒子若干）
 23黒灰色土（ハードローム小ブロック多量）
 24黒褐色土（かたくしまる）
 25第23層にほぼ同じ（ローム小ブロック多量）
 D-D' 断面（第77・78・186号土坑）
 1 暗灰褐色土（ローム微粒子少量、炭化物少量）
 2 黒褐色土（ローム粒子若干）
 3 暗灰色土
 4 暗褐色土（ローム粒子若干）

5 暗灰褐色土（ローム小ブロック・粒子多量、焼土・炭化物若干）
 6 黒灰褐色土（ローム微粒子若干）
 7 暗灰褐色土（ローム粒子多量、黒灰色土粒子）
 8 攪乱
 9 黒灰色土（ローム微粒子若干）
 10灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
 11第5層に同じ
 12黒灰褐色土（ローム粒子・微粒子多量）
 13暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
 14第5層に同じ
 15黒灰色土（ローム小ブロック若干）
 16暗灰色土（ローム小ブロック少量、焼土、炭化物）
 17第16層にほぼ同じ（ローム小ブロック少量、炭化物）
 18暗灰褐色土（ローム小ブロック少量、ローム微粒子多量、焼土、炭化物）
 19暗褐色土（ローム粒子若干、ローム微粒子少量、ぼろぼろした感じ）
 20暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
 21暗灰褐色土（ローム微粒子少量）
 22暗褐色土
 23黒灰褐色土（ローム粒子少量、炭化物）
 24第19層にほぼ同じ
 25黒灰色土（ローム微粒子若干）
 26黒灰色土（比較的しまる）
 27暗灰褐色土（ローム小ブロック若干）
 28黒灰褐色土（ローム粒子若干）
 29暗灰褐色土（ローム粒子少量、ローム微粒子多量、焼土、炭化物）
 30黒褐色土（ローム粒子少量）
 土層説明（第50図）
 A-A' 断面（第15号土坑）
 1 のせ土
 2 耕作土
 3 褐色土（ロームブロック多量）
 4 灰褐色土（火山灰多量、焼土・炭化物若干）
 5 黒褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
 6 黒褐色土
 7 黒茶褐色土（ロームブロック・粒子少量）
 8 淡黄褐色土
 9 黒色土（遺物包含）
 10暗褐色土（ロームブロック・粒子少量、焼土、炭化物若干）
 11暗褐色土（若干灰色帯びる）
 12暗褐色土（ローム粒子多量）
 13暗褐色土（遺物包含）
 14暗灰褐色土（ローム粒子多量）
 15黒褐色土（ローム粒子少量）
 16黒灰褐色土（ローム粒子多量）
 B-B' 断面（第14号土坑）
 1 のせ土
 2 耕作土
 3 暗灰褐色土（火山灰、かたくしまる）
 4 灰褐色土（ローム粒子少量、かたくしまる）
 5 灰褐色土（黄褐色帯びる、ローム土）
 6 灰褐色土（ローム粒子多量）
 7 灰褐色土（ロームブロック・粒子霜降り状に多量）

- 8 暗灰褐色土
- 9 暗褐色土 (ロームブロック・粒子、黒褐色土粒子少量)
- 10 暗褐色土
- 11 第10層にほぼ同じ
- 12 黒褐色土 (黒褐色土粒子多量)
- 13 黒褐色土 (黄褐色帯びる、ローム粒子)
- 14 黒褐色土 (ロームブロック若干)
- 15 黒褐色土 (ローム微粒子若干)
- 16 第13層にほぼ同じ
- 17 黒褐色土 (ロームブロック・粒子多量)
- 18 暗青灰褐色土
- 19 灰褐色土
- 20 暗褐色土 (ローム粒子少量)
- 21 暗褐色土 (ロームブロック若干)
- 22 攪乱
- E-E' 断面 (第15・139号土坑)
- 1 のせ土
- 2 耕作土
- 3 褐色土 (ロームブロック多量)
- 4 灰褐色土 (火山灰多量、炭化物、焼土若干)
- 5 暗褐色土 (ロームブロック・粒子若干)
- 6 暗褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土 (ロームブロック多量)
- 9 黒灰褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子若干)
- 10 暗褐色土 (ハードロームブロック・粒子)
- 11 第10層に同じ
- 12 暗褐色土 (ハードロームブロック少量)
- 13 ハードローム
- 14 暗灰褐色土 (ハードローム粒子)
- 15 暗灰褐色土
- 16 黒褐色土 (ローム粒子・微粒子少量)
- 17 黒褐色土
- 18 黒灰色土
- 19 第17層に同じ
- 20 第16層にほぼ同じ
- 21 黒灰褐色土 (ローム粒子若干)
- 22 暗褐色土 (ロームブロック・黒色土)
- 23 暗褐色土
- 24 暗茶褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子少量)
- 25 黒茶褐色土 (ロームブロック・粒子少量)
- 26 淡黄褐色土
- 27 黒色土 (遺物包含)
- F-F' 断面 (第15・139・140号土坑)
- 1 暗褐色土 (若干灰色帯びる、ローム微粒子若干)
- 2 黒灰褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子若干)
- 3 暗褐色土 (ハードロームブロック・粒子多量、比較
的かたくしまる)
- 4 暗灰褐色土
- 5 暗灰褐色土 (ハードローム粒子、比較的かたくし
まる)
- 6 暗褐色土 (ローム小ブロック・粒子少量、遺物包含)
- 7 暗褐色土 (ロームブロック・粒子多量、黒色土粒子
少量)
- 8 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子、黒色土粒子少量)
- 9 暗褐色土
- 10 黒褐色土 (ローム粒子少量)
- 11 黒褐色土
- 12 暗褐色土 (ローム粒子)
- 13 褐色土 (ローム小ブロック・粒子多量)
- 14 暗褐色土 (ロームブロック・黒褐色土粒子多量)
- 15 暗褐色土 (ローム大ブロック)
- 16 暗褐色土 (ローム粒子多量、炭化物)
- 17 黒褐色土 (ローム粒子若干)
- 18 灰褐色土 (若干黄色帯びる、ローム粒子多量)
- 19 暗灰褐色土ブロック
- H-H' 断面 (第2号ピット)
- 1 暗褐色土 (ローム粒子多量)
- 2 暗褐色土 (ローム微粒子少量)
- 3 ローム土
- 4 黒褐色土 (ローム小ブロック・粒子少量)
- 5 ロームブロック
- 6 暗灰褐色土
- I-I' 断面 (第34・222・223号土坑)
- 1 暗灰褐色土
- 2 黒褐色土 (ローム微粒子若干、焼土、炭化物)
- 3 暗茶褐色土
- 4 暗黄褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 第3層に同じ
- 7 暗褐色土 (黒色土粒子若干)
- 8 暗褐色土 (ローム粒子少量、礫混じる、かたくしま
る)
- 9 攪乱
- 10 攪乱
- 11 暗褐色土 (ローム粒子ごくわずか、焼土、しまる)
- 12 黒灰褐色土 (ローム粒子少量、かたくしまる)
- 13 黒灰褐色土
- 14 第11層にほぼ同じ
- 15 暗褐色土 (ローム粒子少量、炭化物)
- 16 暗灰黄褐色土 (非常にかたくしまる)
- 17 暗褐色土 (ローム微粒子多量)
- 18 暗茶褐色土
- 19 黒褐色土 (ローム微粒子、炭化物若干)
- 20 暗灰褐色土 (ローム粒子若干、かたくしまる)
- J-J' 断面 (第33号土坑)
- 1 暗褐色土 (ローム土若干)
- 2 暗褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子少量)
- 3 暗褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子少量、軟弱)
- 4 暗褐色土 (ローム粒子若干)
- 5 暗灰褐色土 (ローム粒子・黒色土粒子少量、かたく
しまる)
- 6 黒灰褐色土 (ローム粒子多量)
- 7 黒灰褐色土
- 8 ロームブロック・粒子層
- 9 黒褐色土 (若干灰色帯びる、ローム粒子・黒色土粒
子多量、炭化物)
- 10 黒褐色土
- 土層説明 (第51図)
- A-A' 断面 (第84号土坑)
- 1 暗灰褐色土
- 2 暗灰褐色土
- 3 黄褐色土
- 4 暗灰褐色土

- 5 灰褐色土（ローム土若干）
6 淡黄褐色土
7 灰褐色土（淡灰褐色土ブロック多量）
8 灰褐色土
9 灰褐色土とハードロームブロック混合層
10 灰褐色土（かたくしまる）
11 暗褐色土
12 淡灰褐色土（しまる）
13 暗灰色土（かたくしまる）
14 第5層に同じ
15 灰褐色土（暗灰色土ブロック、かたくしまる）
16 暗灰褐色土（灰褐色土混じる、しまる）
17 灰褐色土（ロームブロック、かたくしまる）
18 暗黄褐色土
19 暗灰褐色土（かたくしまる）
20 暗褐色土（淡灰褐色土ブロック少量、かたくしまる）
21 暗褐色土（かたくしまる）
22 暗褐色土（ロームブロック若干）
23 暗黄灰褐色土
24 黒褐色土（しまる）
25 黒褐色土（第24層より暗い）
26 第16層にほぼ同じ
27 暗灰褐色土（ローム小ブロック若干）
28 淡灰黄褐色土
29 灰黄褐色土
30 暗灰茶褐色土
31 暗灰褐色土
32 暗灰褐色土（第31層より若干明るい）
33 灰褐色土
34 暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
35 暗灰褐色土（ローム土多量）
36 第35層にほぼ同じ
37 灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか、かたくしまる）
38 暗灰褐色土（ローム微粒子若干、かたくしまる）
39 黒灰褐色土（ローム小ブロック少量）
40 灰褐色（ローム微粒子多量）
B-B' 断面（第81・206号土坑）
1 褐色土
2 茶褐色土
3 褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
4 暗褐色土（ハードローム小ブロック・粒子・微粒子若干）
5 暗灰褐色土（ハードロームブロック）
6 第2層に同じ
7 暗黄茶褐色土
8 暗黄褐色土
9 暗褐色土
10 暗灰褐色土（ハードローム粒子若干）
11 暗褐色土（ハードローム微粒子ごくわずか、焼土）
12 暗褐色土（ハードロームブロック・黒灰色土粒子）
13 黒褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
14 灰褐色土（ローム土混じる）
15 灰褐色土（ローム土若干）
16 黄褐色土（若干灰色帯びる）
17 暗灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
18 黒灰色土（ローム微粒子・焼土・炭化物ごくわずか）
19 暗灰褐色土
20 第13層に同じ
21 第19層にほぼ同じ
22 黒灰色土（ローム微粒子・焼土・炭化物ごくわずか）
23 第19層にほぼ同じ
24 黒褐色土（ロームブロック若干）
25 第16層に同じ
26 暗褐色土（ローム土若干）
27 暗赤褐色土（ローム粒子・焼土ごくわずか）
28 暗褐色土（炭化物若干）
29 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
30 暗褐色土（茶褐色帯びる）
31 灰褐色粘質土（焼土）
32 第31層に同じ
33 暗灰褐色土（灰褐色粘質土粒子、焼土）
34 第30層にほぼ同じ
35 暗灰褐色土
36 暗灰褐色土（ローム粒子）
37 暗灰黄色土と暗灰褐色土混合層
38 暗灰褐色土（赤色帯びる、焼土）
39 暗灰色土
40 暗灰褐色土（ハードローム粒子若干）
41 黒灰褐色土
42 黒灰褐色土（ハードローム粒子、非常にかたくしまる）
43 黒褐色土
44 黒褐色土（ローム土混じる）
45 第44層にほぼ同じ
46 黒色土と灰褐色土混合層
47 第43層にほぼ同じ
48 暗灰褐色土
49 灰褐色土（若干青灰色帯びる）
50 第43層に同じ
51 暗灰褐色土（ハードローム粒子）
52 第39層にほぼ同じ
53 黒灰褐色土と茶褐色土混合層
54 暗茶褐色土
55 暗灰褐色土（ロームブロック）
D-D' 断面（第4号溝跡、第201～203号土坑）
1 のせ土
2 耕作土
3 暗褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
4 暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
5 暗灰色土
6 暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
7 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、ローム粒子）
8 黒褐色土（ローム微粒子少量）
9 黒褐色土
10 黒灰色土（ローム微粒子若干）
11 黒褐色土（ローム粒子多量）
12 暗褐色土（ローム微粒子多量）
13 黒褐色土（ローム微粒子若干）
14 黒褐色土（ローム土少量）
15 黒褐色土（暗褐色土粒子若干）
16 茶褐色土
17 暗茶褐色土（ローム粒子若干）
18 茶褐色土（ロームブロック多量）
19 暗褐色土（ローム粒子若干）

20黒褐色土（ローム粒子若干）

21黒茶褐色土（ローム粒子ごくわずか）

22黒褐色土

23黒灰褐色土（ローム粒子若干）

24暗茶褐色土

25黒褐色土（ローム土若干）

26暗茶褐色土

27暗褐色土

土層説明（第54図）

A-A'断面（第95・96号土坑）

1 灰褐色土（ローム微粒子、焼土、炭化物、非常にかたくしまる）

2 灰褐色土（ローム粒子少量、非常にかたくしまる）

3 灰褐色土（ローム粒子若干、炭化物）

4 暗褐色土（若干灰色帯びる、ロームブロック・粒子・微粒子若干）

5 灰褐色土（ハードローム・粒子ごくわずか）

6 灰褐色土

7 灰褐色土（ローム粒子ごくわずか、炭化物、かたくしまる）

8 灰褐色土（ローム微粒子少量、炭化物、かたくしまる）

9 灰褐色土（強く灰色帯びる、ロームブロック、かたくしまる）

10 淡灰褐色土（ハードローム小ブロック、焼土、炭化物、非常にかたくしまる）

11 灰褐色土（ハードローム粒子ごくわずか、非常にかたくしまる）

12 灰褐色土（ローム粒子多量、非常にかたくしまる）

13 灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか）

14 灰褐色土（ハード・ソフトローム粒子少量、炭化物、かたくしまる）

15 灰褐色土

16 暗灰褐色土（かたくしまる）

17 暗灰褐色土（黄灰褐色土粒子若干）

18 灰褐色土（火山灰）

19 灰褐色土（若干灰色帯びる、ハードローム微粒子少量、焼土、炭化物）

20 暗灰褐色土（ハードローム微粒子少量）

21 暗灰褐色土（ハードローム粒子・微粒子少量、しまる）

22 暗灰褐色土（ハードローム粒子若干、少々粘性もつ、かたくしまる）

23 暗褐色土（ハードロームブロック若干、暗灰色土粒子多量）

24 暗灰色粘質土（ハードローム粒子少量）

25 灰褐色土（黄色帯びる、ハードローム微粒子）

26 淡黄褐色土（ぼろぼろして感じ）

27 灰褐色土（ハードローム微粒子多量、ソフトローム微粒子若干）

28 黒灰色土（ハードローム粒子若干）

29 黒灰色土（ハード・ソフトローム粒子少量）

30 暗灰色土

31 黒灰色土（ハードローム微粒子多量）

32 暗褐色土

33 黒灰色土（ハードロームブロック多量）

34 第24層に同じ

35 黒灰色土（ハードローム微粒子若干）

B-B'断面（第88・89・91・121号土坑）

1 黄褐色土（暗褐色土粒子、かたくしまる）

2 暗褐色土（若干灰色帯びる、ローム粒子少量）

3 灰褐色土（ローム微粒子少量、軟弱）

4 暗灰褐色土

5 黄褐色土（黒灰色土混じる）

6 黄褐色土（灰褐色土混じる、非常にかたくしまる）

7 灰色土（非常にかたくしまる）

8 灰褐色土（ローム微粒子、炭化物、かたくしまる）

9 暗黄灰褐色土（かたくしまる）

10 第8層にほぼ同じ

11 灰褐色土（ローム微粒子非常に多い、暗灰色土混じる、しまる）

12 灰色土ブロック

13 灰褐色土（ロームブロック・粒子）

14 暗灰黄褐色土

15 灰褐色土（強く灰色帯びる、ローム粒子）

16 灰褐色土（ロームブロック）

17 第14層に同じ

18 攪乱

19 ハードロームブロック

20 灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干、焼土、炭化物少量、かたくしまる）

21 灰褐色土（ローム粒子若干、焼土、炭化物、しまる）

22 灰褐色土（強く褐色帯びる、ローム粒子少量、炭化物、しまる）

23 ハードロームブロック

24 暗灰褐色土（ハードローム小ブロック若干）

25 第14層に同じ

26 灰褐色土（ローム粒子）

27 灰褐色土（焼土、炭化物若干、かたくしまる）

28 暗灰褐色土（若干青灰色帯びる、ローム微粒子少量）

29 灰褐色土（ローム粒子若干）

30 第28層に同じ

31 灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）

32 灰褐色土（強く褐色帯びる、ローム小ブロック・微粒子若干）

33 暗褐色土（ローム微粒子多量、焼土、軟弱）

34 暗灰褐色土（ローム小ブロック少量）

C-C'断面（第88・90・91・179・180号土坑）

1 灰色粘土

2 淡灰褐色粘土

3 暗褐色土（ローム粒子少量、灰色粘土ブロック、焼土、炭化物）

4 灰褐色粘質土（黄褐色土混じる）

5 灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物、非常にかたくしまる）

6 明灰褐色土（黄色帯びる、ローム粒子・微粒子非常に多い、焼土、炭化物）

7 明灰褐色土（ローム微粒子若干、青灰色粘土粒子、炭化物）

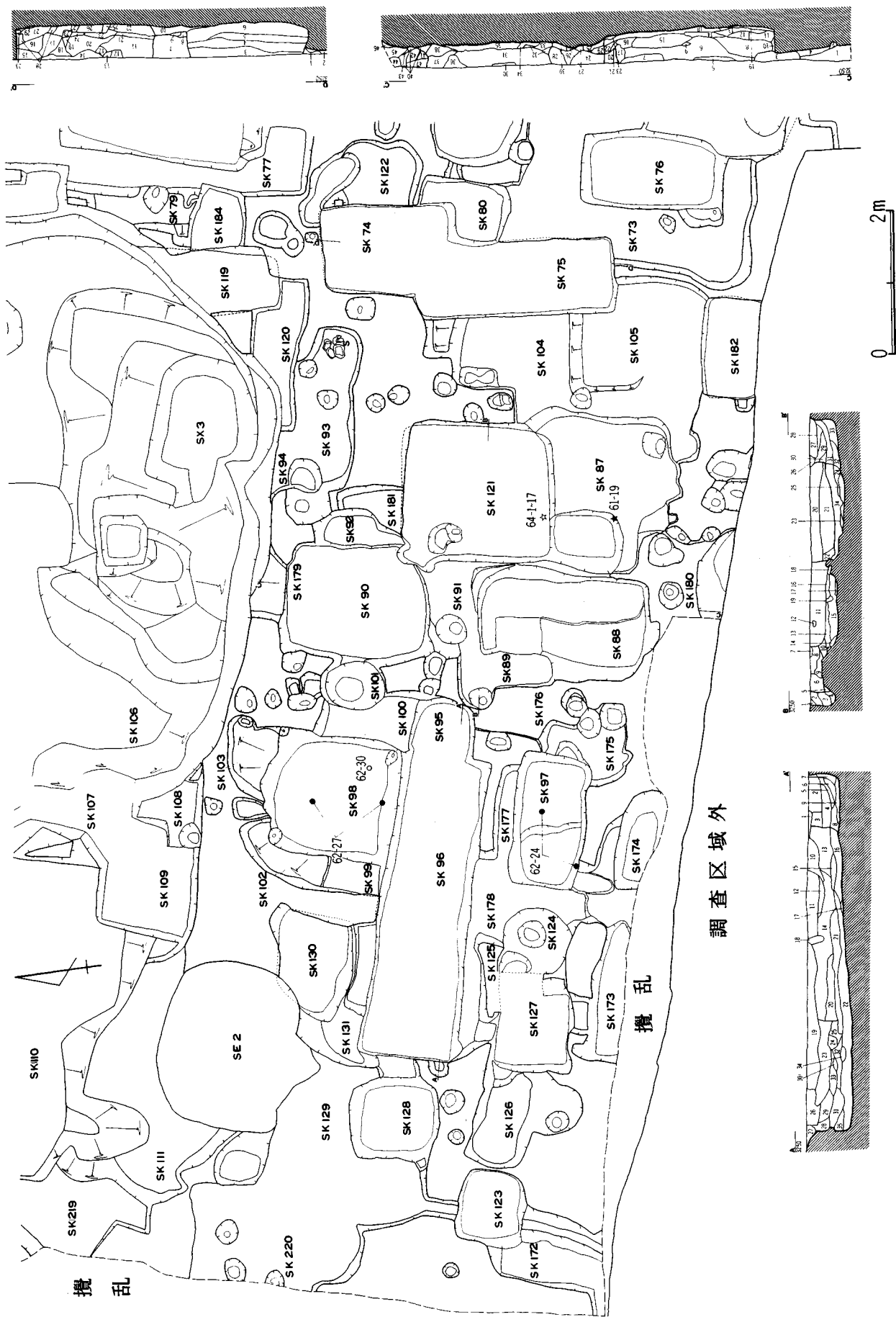
8 灰褐色土（ハードローム粒子少量、ソフトローム微粒子多量、焼土）

9 青灰褐色土

10 灰色土（ハードローム粒子若干）

11 暗灰褐色土（ハードローム粒子少量、炭化物）

12 灰褐色土（ハードローム微粒子多量）



第54図 第73~77・79・80・87~111・119~131・172~182・184
・219・220号土坑、第2号井戸跡

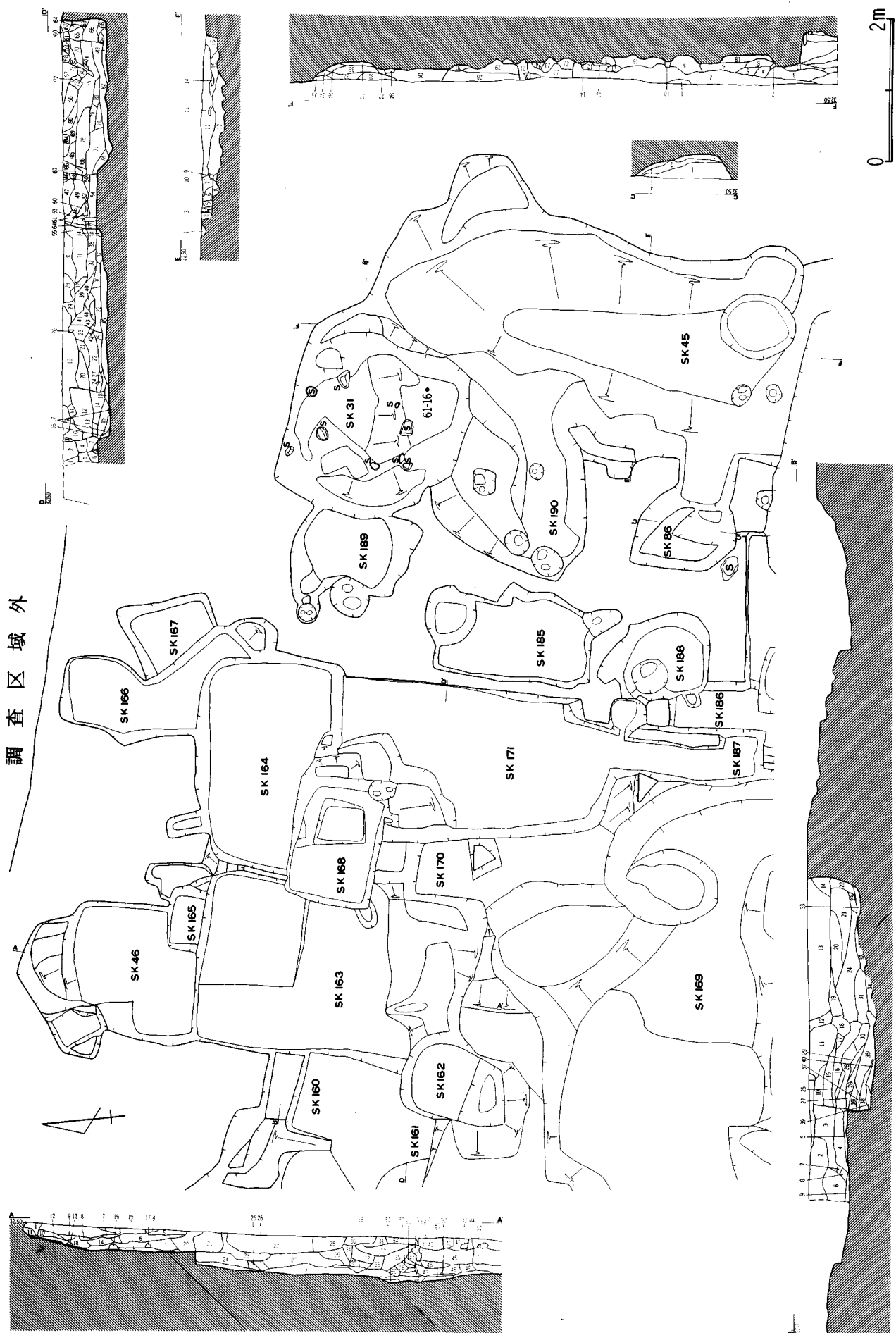
- 13暗灰色土（ハードローム微粒子若干、焼土、炭化物）
14第12層にほぼ同じ
15灰褐色土（ハードローム粒子・微粒子、ソフトローム粒子多量、焼土、炭化物）
16灰褐色土（ハードローム微粒子若干、かたくしまる）
17灰色土（青灰白色粘土混じる）
18灰褐色土（ハードローム粒子若干）
19灰褐色土（強く灰色帯びる、ハードローム微粒子若干）
20灰褐色土（ロームブロック・微粒子若干）
21灰色土（かたくしまる）
22灰褐色土（ロームブロック）
23暗灰黄褐色土
24暗灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、かたくしまる）
25暗灰褐色土（ローム粒子、灰褐色土粒子、かたくしまる）
26灰褐色土（黄色帯びる、ハードローム微粒子少量）
27灰褐色土（ハードロームブロック）
28暗青灰褐色土（ハードローム微粒子若干、褐色土）
29灰褐色土（ハードロームブロック・黒灰色土粒子若干）
30灰色土（非常にかたくしまる）
31灰褐色土（ハードローム粒子多量、青灰色粘土粒子若干）
32灰褐色土（ハードローム微粒子若干）
33第39層にほぼ同じ
34黒灰色土とハードローム大ブロック混合層（かたくしまる）
35ハードロームブロック（黒灰色土若干、ぼろぼろした感じ）
36灰褐色土（ハードローム粒子少量）
37灰褐色土（黄色帯びる、ハードローム粒子若干）
38灰褐色土（強く褐色帯びる、ハードローム小ブロック多量）
39灰褐色土（ローム土混じる、ぼろぼろした感じ）
40灰褐色土
41暗灰色土（ハードローム微粒子若干）
42暗灰褐色土（ハードローム微粒子若干）
43暗灰黄色土
44褐色土（ローム微粒子、かたくしまる）
45灰褐色土（ローム微粒子若干）
46灰褐色土（ローム土多量）
47灰褐色土（ローム微粒子少量、非常にかたくしまる）
D-D'断面（第74・75号土坑）
1暗褐色土（ローム粒子少量）
2黄褐色土
3灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量、焼土、炭化物）
4暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子多量、かたくしまる）
5暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量、かたくしまる）
6黒灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量、かたくしまる）
7暗褐色土（若干灰色帯びる、ローム粒子少量）
8暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
9第6層に同じ
10黒灰色土（ローム粒子ごくわずか）
11暗褐色土（ローム粒子・微粒子多量、ぼろぼろした感じ）
12黒灰褐色土（ローム粒子若干、比較的しまる）
13灰褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
14暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
15黒褐色土（ローム小ブロック若干、ローム微粒子多量）
16暗灰色土（ローム微粒子若干）
17黒褐色土（ローム粒子多量）
18第13層にほぼ同じ
19第16層にほぼ同じ
20暗褐色土（黄色帯びる、ローム粒子・黒色土粒子多量）
21灰褐色土（ローム粒子少量）
22黒灰褐色土（ローム小ブロック・粒子）
23黒灰色土（ローム微粒子若干、しまる）
24黒灰色土（しまりない）
25灰褐色土
26暗茶褐色土（ローム小ブロック・粒子、黒褐色土粒子）
27黒灰褐色土（ローム粒子少量）
28黒褐色土（ローム粒子）
29黄褐色土
土層説明（第55図）
A-A'断面（第65・194・195号土坑）
1灰褐色土（ローム粒子・微粒子ごくわずか）
2暗灰褐色土（ローム微粒子、炭化物）
3黒灰色土（ローム粒子）
4暗灰褐色土（ローム微粒子多量）
5黒灰褐色土（ローム土若干）
6暗褐色土（黄色帯びる、ローム小ブロック若干、ローム粒子・微粒子多量、炭化物、比較的しまる）
7暗褐色土（ローム微粒子）
8黒褐色土（ローム小ブロック若干、ローム粒子・微粒子多量、しまる）
9灰白褐色土（少々粘性もつ）
10灰褐色土（ローム粒子）
11黒褐色土（黄色帯びる、ローム粒子・微粒子多量）
12黒灰褐色土（ローム粒子若干、ローム微粒子多量）
13黒灰色土（ローム粒子若干、焼土）
14黒灰色土（ローム粒子若干）
15黒灰黄褐色土（ローム粒子少量、かたくしまる）
16灰黄褐色土ブロック
17灰黄白褐色土（黒色土混じる）
18暗灰色土
19淡灰褐色土（暗灰色土ブロック）
20暗褐色土（若干灰色帯びる、ローム粒子少量）
21黒褐色土（ローム粒子多量）
22黒灰褐色土（ローム粒子少量）
23黒灰色土とローム土混合層
24暗黄褐色土（黒灰色土粒子）
25暗灰褐色土
26暗褐色土（ローム粒子若干）
27暗褐色土（ローム土混じる）
28暗褐色土（ローム土若干）
29暗黄褐色土
30暗褐色土（若干灰色帯びる）
31暗灰褐色土（ローム粒子若干）
32黒灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）

B-B' 断面 (第43・56・57・198号土坑)

- 1 暗褐色土 (若干灰色帯びる、ローム微粒子少量)
 - 2 暗褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 3 褐色土 (ローム粒子・微粒子多量)
 - 4 暗褐色土 (ローム粒子若干、焼土、炭化物)
 - 5 暗灰褐色土 (ローム微粒子少量、炭化物)
 - 6 暗褐色土 (ローム粒子・炭化物少量)
 - 7 暗灰褐色土
 - 8 暗褐色土 (ローム粒子多量)
 - 9 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子多量)
 - 10 暗褐色土 (ローム粒子少量、灰色土粒子、炭化物)
 - 11 暗褐色土 (ローム小ブロック若干)
 - 12 黒褐色土 (ローム粒子少量)
 - 13 暗灰褐色土
 - 14 暗灰褐色土 (ローム微粒子少量)
 - 15 黒灰褐色土 (ロームブロック・粒子ごくわずか)
 - 16 攪乱
 - 17 灰褐色土 (若干灰黄色帯びる)
 - 18 黒灰褐色土
 - 19 黄褐色土
 - 20 暗褐色土 (灰色帯びる、ローム粒子霜降り状に少量、灰色粘土粒子若干、炭化物)
 - 21 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子多量)
 - 22 暗褐色土 (ローム微粒子ごくわずか)
 - 23 暗灰褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 24 灰褐色土
 - 25 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子少量)
 - 26 黒褐色土 (ローム小ブロック・粒子少量、炭化物)
 - 27 攪乱
 - 28 黒灰褐色土 (ローム粒子多量)
 - 29 暗灰褐色土
 - 30 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子霜降り状に少量)
 - 31 黒褐色土 (少々粘性をもつ)
 - 32 黒褐色土とロームブロック混合層 (しまる)
 - 33 黒灰褐色土 (ローム粒子・微粒子若干)
 - 34 黒褐色土 (ローム小ブロック)
 - 35 暗褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 36 黒灰褐色土
- C-C' 断面 (第61・64・194号土坑)
- 1 暗灰褐色土
 - 2 暗灰褐色土 (ローム粒子、炭化物多量)
 - 3 暗灰褐色土 (ローム粒子多量)
 - 4 暗灰褐色土 (ローム微粒子多量)
 - 5 黒灰褐色土 (ローム粒子・微粒子)
 - 6 黄褐色土
 - 7 灰褐色土 (ローム微粒子若干、炭化物)
 - 8 灰褐色土 (ローム粒子若干)
 - 9 暗褐色土 (若干灰色帯びる、ローム粒子・微粒子)
 - 10 暗褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 11 黒灰褐色土 (ローム粒子・微粒子少量)
 - 12 暗灰色土
 - 13 黄褐色土
 - 14 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子多量、炭化物若干)
 - 15 暗灰褐色土 (ローム微粒子、比較的しまる)
 - 16 黒褐色土 (ローム粒子・微粒子多量)
 - 17 黒灰色土 (ローム微粒子多量、焼土、炭化物)
 - 18 黒褐色土 (ローム小ブロック・粒子・微粒子、黒色

土粒子多量)

- 19 灰黄褐色土 (黒褐色土粒子)
 - 20 黒灰色土 (ローム粒子)
 - 21 暗褐色土 (ローム微粒子ごくわずか、炭化物)
 - 22 暗褐色土 (ローム微粒子)
 - 23 暗褐色土 (ローム粒子若干)
 - 24 暗褐色土 (ローム粒子多量)
 - 25 暗褐色土 (ローム土多量)
 - 26 暗灰茶褐色土 (ローム微粒子)
 - 27 灰褐色土 (ローム粒子若干、しまる)
 - 28 第24層にほぼ同じ
 - 29 黒灰褐色土 (ローム粒子)
- D-D' 断面 (第42・43・44号土坑)
- 1 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子霜降り状に少量)
 - 2 灰褐色土 (ローム微粒子ごくわずか)
 - 3 黒褐色土 (ローム小ブロック・粒子若干)
 - 4 黒灰褐色土 (ローム小ブロック・粒子・微粒子少量)
 - 5 暗茶褐色土 (ローム粒子)
 - 6 黒灰褐色土 (ローム微粒子若干、焼土、かたくしまる)
 - 7 暗褐色土 (ローム小ブロック・粒子多量、炭化物)
 - 8 黒灰色土 (ローム粒子少量、炭化物)
 - 9 暗褐色土 (ローム粒子少量、炭化物)
 - 10 黒灰褐色土 (ロームブロック若干)
 - 11 黒灰色土 (ローム粒子若干)
 - 12 暗茶褐色土
 - 13 暗褐色土
 - 14 暗灰茶褐色土
 - 15 暗茶褐色土
 - 16 灰褐色土 (かたくしまる)
 - 17 暗褐色土 (かたくしまる)
 - 18 黒褐色土 (ローム粒子ごくわずか)
 - 19 暗褐色土 (ローム粒子)
 - 20 暗灰褐色土 (ローム微粒子)
 - 21 暗茶褐色土
 - 22 暗褐色土 (ローム粒子若干)
 - 23 暗褐色土 (ローム粒子多量)
- E-E' 断面 (第52・57・199号土坑)
- 1 暗灰褐色土 (ローム粒子若干)
 - 2 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子少量)
 - 3 黒褐色土 (ローム粒子若干、少々粘性もつ)
 - 4 黒褐色土とロームブロック混合層
 - 5 灰褐色土
 - 6 暗褐色土 (ローム粒子・微粒子多量)
 - 7 暗灰褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 8 黒灰褐色土 (ローム粒子少量)
 - 9 暗灰色土 (灰白色粘土混じる)
 - 10 暗灰褐色土 (ローム粒子・微粒子)
 - 11 黒灰褐色土
 - 12 黒褐色土
 - 13 黒褐色土 (ローム小ブロック若干)
 - 14 暗褐色土 (ローム粒子少量)
 - 15 黒灰色土
 - 16 黒褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 17 第10層にほぼ同じ
 - 18 暗灰色土 (ローム微粒子若干)
 - 19 黒青灰色土 (ローム微粒子若干)
 - 20 黒灰褐色土



第56図 第31・45・46・86・160～171・185～190号土坑

土層説明 (第56図)

A-A' 断面 (第46・163号土坑)

- 1 暗灰褐色土 (ローム微粒子ごくわずか)
- 2 暗褐色土 (若干茶褐色帯びる、ローム小ブロック・粒子少量、炭化物)
- 3 暗灰褐色土 (ローム微粒子少量、ローム粒子若干)
- 4 灰褐色土
- 5 灰茶褐色土 (ローム粒子若干)
- 6 灰褐色土 (若干灰黄色帯びる、ローム小ブロック・粒子少量)
- 7 灰褐色土 (ローム微粒子若干)
- 8 暗灰褐色土
- 9 第8層に同じ
- 10 暗灰褐色土 (ローム粒子若干)
- 11 第10層に同じ
- 12 暗灰褐色土 (灰黄色土混じる)
- 13 灰黄色土ブロック
- 14 灰褐色土 (ローム粒子多量、黒灰色土粒子)
- 15 灰褐色土 (若干茶褐色帯びる、ハードローム粒子少量、ソフトローム粒子多量)
- 16 第14層にほぼ同じ
- 17 第14層にほぼ同じ
- 18 暗茶褐色土 (ローム粒子少量、灰黄色土多量、黒灰色土混じる)
- 19 第12層にほぼ同じ
- 20 黒灰褐色土 (さらさらしている)
- 21 暗褐色土 (灰色帯びる、ローム粒子若干、ローム微粒子少量、遺物包含)
- 22 暗灰褐色土 (ローム粒子若干、比較的しまる)
- 23 灰褐色土 (ソフトロームブロック・ハードローム粒子少量)
- 24 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量)
- 25 灰褐色土 (礫)
- 26 黒灰褐色土 (ハードロームブロック若干、ぼろぼろした感じ)
- 27 暗灰褐色土 (ローム小ブロック・粒子、黒灰色土粒子少量、焼土、炭化物)
- 28 黒灰褐色土
- 29 暗褐色土 (ローム小ブロック・粒子若干)
- 30 暗灰褐色土 (ローム小ブロック・粒子少量)
- 31 暗灰褐色土 (茶褐色帯びる)
- 32 暗灰褐色土 (ハードローム粒子・微粒子少量、焼土、炭化物)
- 33 暗灰褐色土 (ローム粒子少量、焼土、ぼろぼろした感じ)
- 34 暗灰褐色土 (ハードローム微粒子ごくわずか、かたくしまる)
- 35 暗茶褐色土 (ハードローム粒子若干)
- 36 暗灰褐色土 (少々さらさらした感じ)
- 37 黒灰褐色土 (ハードロームブロック・粒子少量、非常にかたくしまる)
- 38 暗灰褐色土 (ローム粒子ごくわずか)
- 39 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量)
- 40 灰褐色土 (ハードローム粒子少量)
- 41 暗灰褐色土 (ぼろぼろした感じ)
- 42 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量、ローム微粒子若干)

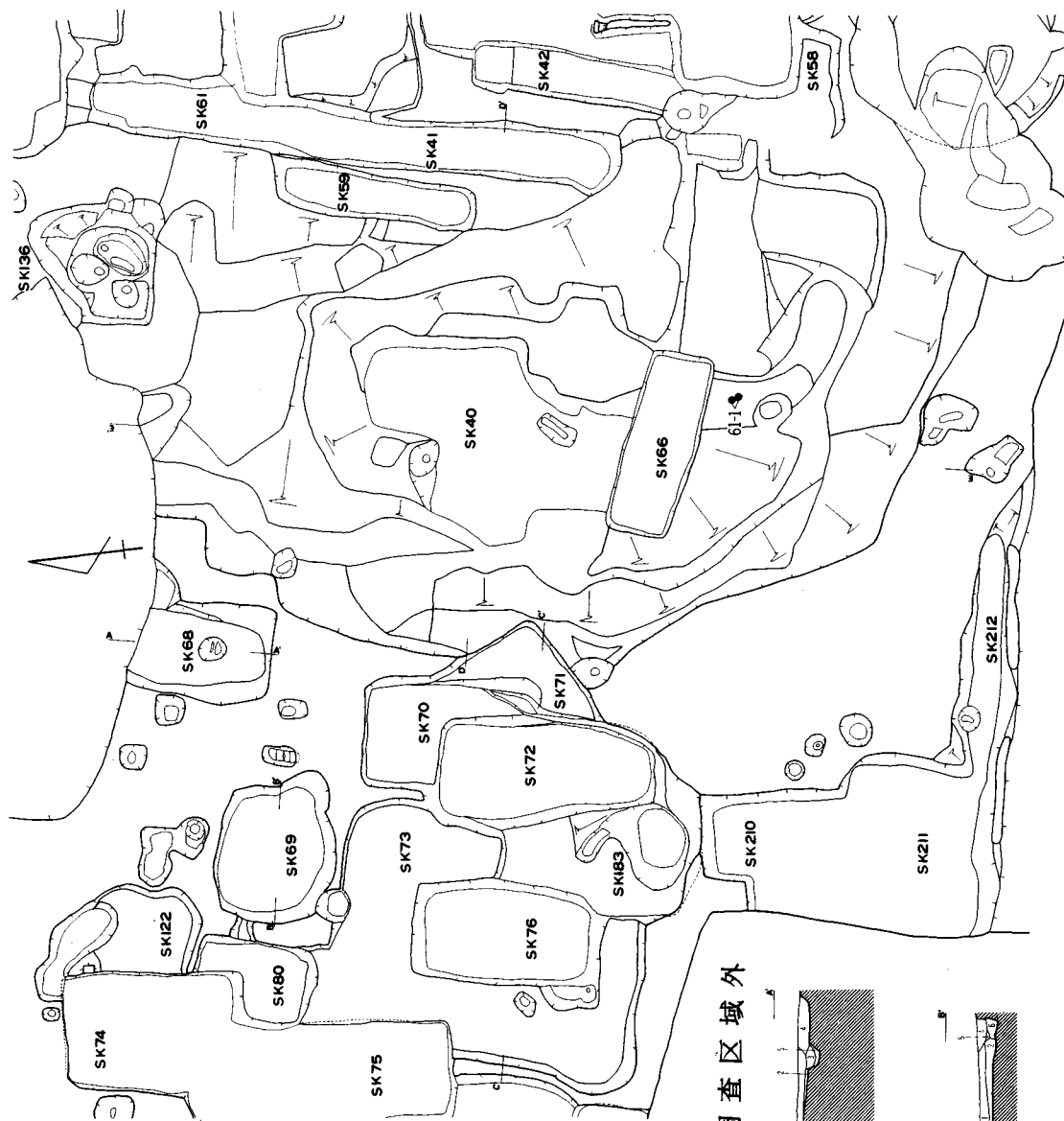
- 43 黒灰褐色土ブロック (炭化物、非常にかたくしまる)
 - 44 黒茶褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 45 灰褐色土 (ハードローム粒子・微粒子少量)
 - 46 暗褐色土 (ハードローム粒子若干)
 - 47 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量)
 - 48 暗灰褐色土
 - 49 第47層にほぼ同じ
 - 50 暗灰褐色土 (ローム粒子若干)
 - 51 暗灰褐色土とハードロームブロック混合層
 - 52 暗褐色土 (ハードローム粒子若干、ローム微粒子少量、焼土)
 - 53 攪乱
 - 54 灰褐色土 (ローム微粒子若干)
 - 55 暗灰褐色土 (ハードローム粒子若干、非常にかたくしまる)
 - 56 黒灰褐色土 (ハードローム粒子ごくわずか、非常にかたくしまる)
 - 57 黒灰褐色土 (ハードローム粒子少量、非常にかたくしまる)
 - 58 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量)
 - 59 第56層に同じ (青灰色土粒子若干)
 - 60 灰褐色土 (ハードローム粒子若干、灰色土粒子)
 - 61 第58層にほぼ同じ
 - 62 黒灰色土とハードロームブロック混合層
 - 63 黒灰褐色土 (ハードローム粒子若干、焼土、炭化物)
- B-B' 断面 (第31・163・164・168・189号土坑)
- 1 灰褐色土 (若干黄色帯びる、ローム微粒子若干、礫、かたくしまる)
 - 2 暗褐色土 (ハードローム小ブロック若干、ハードローム粒子少量、黒灰色土粒子少量、炭化物、かたくしまる)
 - 3 灰褐色土 (ハードローム粒子少量、青灰色粘土ブロック、焼土・炭化物若干)
 - 4 暗灰褐色土 (ハードローム小ブロック・粒子・微粒子多量、焼土・炭化物若干)
 - 5 灰褐色土 (ハードローム粒子若干)
 - 6 暗灰褐色土 (ハードローム粒子少量、ハードローム微粒子多量、焼土、炭化物)
 - 7 暗灰色土 (ハードローム微粒子若干)
 - 8 暗灰褐色土 (ハード・ソフトローム粒子若干)
 - 9 黒灰褐色土 (ハードロームブロック・粒子少量、かたくしまる)
 - 10 灰褐色土 (ハードローム粒子若干、かたくしまる)
 - 11 暗褐色土 (ハードローム大ブロック・粒子若干、かたくしまる)
 - 12 暗褐色土 (強く黄色帯びる)
 - 13 暗灰褐色土 (ハード・ソフトローム粒子若干、礫多量、炭化物、かたくしまる)
 - 14 黒灰褐色土 (軟弱)
 - 15 暗褐色土 (ハードローム粒子・灰褐色土粒子若干)
 - 16 暗灰褐色土 (ハードローム小ブロック若干、ハードローム粒子少量、焼土、炭化物)
 - 17 灰褐色土 (非常にかたくしまる)
 - 18 灰褐色土 (ローム粒子若干、ハードローム土混じる、ぼろぼろした感じ)
 - 19 暗灰褐色土 (ハードローム小ブロック・ソフトロームブロック若干、非常にかたくしまる)

20暗灰褐色土（ハードロームブロック多量、黒灰色土
 ブロック少量、かたくしまる）
 21暗灰褐色土（ハードローム小ブロック若干、ソフト
 ローム微粒子多量）
 22暗茶褐色土（ローム微粒子多量、さらさらした感じ）
 23黒灰褐色土（ハードロームブロック）
 24暗灰褐色土（ハードローム小ブロック若干、非常に
 かたくしまる）
 25第15層にほぼ同じ
 26暗灰褐色土（ソフトロームブロック・ハードローム
 微粒子ごくわずか）
 27灰褐色土（灰黄色帯びる、焼土）
 28灰黄色土（ローム粒子、灰褐色土粒子）
 29暗灰褐色土（ハードローム粒子若干、ソフトローム
 微粒子少量）
 30暗灰褐色土（ハードローム粒子非常に多い、ぼろぼ
 ろした感じ）
 31暗茶褐色土（ハード・ソフトロームブロック若干、
 ハードローム粒子少量）
 32暗灰褐色土（ハードローム粒子少量）
 33暗灰褐色土
 34ハードロームブロックと黒灰褐色土混合層
 35ハードロームブロック・粒子・微粒子層
 36第29層にほぼ同じ
 37第28層にほぼ同じ
 38黒灰褐色土（ローム粒子若干、炭化物）
 39暗灰色土（若干黄灰色帯びる、ローム微粒子若干）
 40暗灰黄褐色土（かたくしまる）
 C-C' 断面（第86号土坑）
 1 灰褐色土（火山灰多量）
 2 黒灰褐色土（ロームブロック多量）
 3 暗黄褐色土（ぼろぼろした感じ）
 4 第3層に同じ
 D-D' 断面（第161・162・163・170・171号土坑）
 1 黒褐色土（ローム粒子多量）
 2 暗灰褐色土（軟弱）
 3 暗灰褐色土（しまる）
 4 暗灰褐色土（黄色帯びる、ハードロームブロック、
 非常にかたくしまる）
 5 黒灰褐色土（ハード・ソフトロームブロック粒子若
 干、焼土）
 6 暗灰色土（若干灰色帯びる、ハードローム粒子、焼
 土、炭化物、かたくしまる）
 7 暗灰褐色土（ハードローム粒子若干）
 8 暗灰色土（若干灰色帯びる、ハードローム微粒子若
 干、焼土）
 9 暗灰褐色土（ハードローム粒子若干）
 10暗灰褐色土（ハードローム粒子若干、焼土、かたく
 しまる）
 11灰褐色土（ハードローム粒子多量）
 12灰褐色土（ハードローム粒子少量、黒灰色土粒子若
 干、焼土、炭化物）
 13第10層にほぼ同じ
 14灰褐色土（ハードロームブロック・粒子多量、焼土）
 15暗灰褐色土（ハードローム粒子多量、炭化物）
 16明灰黄色土
 17暗灰褐色土（ハードローム粒子）

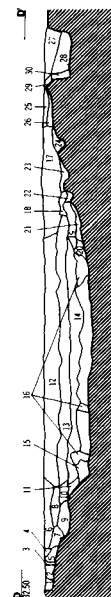
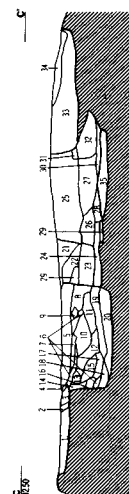
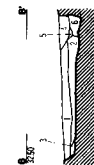
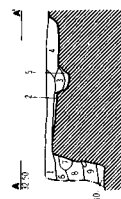
18暗灰褐色土
 19灰褐色土（ハードローム粒子・微粒子ごくわずか）
 20灰褐色土（ハードロームブロック若干、ハードロ
 ム粒子少量、炭化物）
 21灰褐色土（ハードローム粒子多量）
 22暗褐色土（ハードローム小ブロック・粒子少量、焼
 土）
 23灰褐色土（ハードローム粒子少量）
 24黒灰色土と暗灰褐色土混合層（ハードローム小ブロ
 ック、焼土）
 25暗灰褐色土（黒灰色土混じる）
 26攪乱
 27灰褐色土（ハードロームブロック多量）
 28暗灰褐色土（ハードローム粒子少量、ソフトローム
 粒子若干）
 29第19層にほぼ同じ
 30灰褐色土（ハードロームブロック・微粒子ごくわ
 ずか、焼土、炭化物）
 31灰褐色土（若干灰色帯びる、ハードローム微粒子若
 干、しまる）
 32灰褐色土（ハードローム粒子少量）
 33第30層にほぼ同じ
 34第32層にほぼ同じ
 35灰褐色土（ハードローム小ブロック・微粒子ごくわ
 ずか）
 36暗灰褐色土（ハードロームブロック若干、炭化物）
 37第23層にほぼ同じ
 38第30層にほぼ同じ
 39灰褐色土（ハードローム小ブロック・微粒子少量、
 焼土、炭化物）
 40灰褐色土（ハードローム粒子若干）
 41灰褐色土（ハードローム粒子若干、ハードローム微
 粒子少量）
 42暗灰褐色土
 43暗灰色土（非常にかたくしまる）
 44黒灰褐色土（ハードローム小ブロック・粒子少量、
 焼土、かたくしまる）
 45暗灰褐色土（ハードローム大ブロック多量）
 46灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）
 47第30層にほぼ同じ
 48暗灰色土（ローム粒子ごくわずか）
 49灰褐色土（灰黄色帯びる、ローム粒子少量）
 50暗灰色土
 51暗灰色土
 52灰褐色土
 53攪乱
 54暗灰色土（黒灰色帯びる、ローム微粒子ごくわずか、
 焼土、炭化物）
 55暗灰褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
 56暗灰茶褐色土（ローム大ブロック少量、黒灰色土ブ
 ロック若干、比較的しまる）
 57暗灰色土（焼土、火山灰、かたくしまる）
 58暗灰色土
 59暗灰色土（ローム微粒子若干、焼土）
 60灰褐色土
 61灰褐色土（ハードローム微粒子多量）
 62黄褐色土（軟弱）

63暗灰褐色土（ローム粒子若干、黒灰色土粒子）
 64灰褐色土（黄色帯びる、ローム土混じる）
 65暗灰褐色土（ローム微粒子多量）
 66暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
 67黒茶褐色土
 68暗褐色土
 69灰褐色土
 70暗灰黄褐色土（ハードローム粒子若干）
 71攪乱
 72暗灰褐色土（ローム粒子若干、黒灰色土混じる）
 73灰黄色土ブロック（かたくしまる）
 74灰褐色土
 75暗褐色土（若干灰色帯びる、ハードロームブロック・粒子多量、黒灰色土粒子）
 76暗灰褐色土（ハードローム大ブロック・小ブロック少量、炭化物、比較的しまる）
 77灰茶褐色土（ハードローム粒子少量、黒灰色土粒子、かたくしまる）
 78明灰茶褐色土
 79暗灰褐色土（ハードローム粒子多量、かたくしまる）
 80暗灰褐色土（ハード・ソフトローム粒子少量、比較的しまる）
 81第77層にほぼ同じ
 82灰褐色土（ハードローム小ブロック若干、ソフトローム粒子少量、かたくしまる）
 83黒灰褐色土（ハードローム粒子若干、しまる）
 84暗灰色土
 85灰褐色土（ハードローム粒子少量）
 86灰茶褐色土（ハードローム粒子ごくわずか、軟弱）
 87灰褐色土
 88灰褐色土（黄灰色帯びる）
 89灰褐色土
 90第85層にほぼ同じ
 E-E' 断面（第45号土坑）
 1 黒灰色土（ローム土若干）
 2 灰褐色土（ローム土若干）
 3 ローム土
 4 黒灰褐色土
 5 ロームブロック
 6 暗灰褐色土（ローム粒子多量）
 7 暗褐色土（ローム粒子・黒灰色土粒子若干）
 8 灰褐色土（ローム粒子・黒灰色土粒子若干）
 9 暗褐色土
 10暗黄褐色土
 11暗褐色土（ローム粒子若干）
 12暗茶褐色土（ロームブロック・粒子、黒灰色土粒子多量、ぼろぼろした感じ）
 13暗褐色土（ローム微粒子多量）
 14暗茶褐色土（ローム微粒子多量）
 15黒褐色土（ローム粒子少量、黒色土若干）
 16黒灰褐色土（ローム土少量）
 F-F' 断面（第31・45・190号土坑）
 1 灰白褐色土（炭化物）
 2 暗褐色土（ローム微粒子・粒子若干、古銭包含）
 3 暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
 4 黒灰褐色土（炭化物）
 5 暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子）

6 暗灰褐色土（ローム微粒子若干）
 7 暗黄褐色土ブロック
 8 黒灰色土（ローム粒子ごくわずか）
 9 暗茶褐色土（ロームブロック少量、黒色土若干）
 10暗黄褐色土ブロック
 11暗茶褐色土（ローム粒子少量）
 12第9層に同じ
 13黒灰色土
 14ローム土
 15第9層に同じ
 16第9層に同じ
 17黒灰褐色土（ローム粒子少量）
 18黒色土（ローム小ブロックごくわずか）
 19第2層に同じ
 20暗茶褐色土（黄色帯びる、ローム粒子若干）
 21暗茶褐色土（黒色土混じる）
 22第9層に同じ
 23第11層に同じ
 24暗黄褐色土
 25黒灰褐色土（ローム小ブロック少量）
 26第24層に同じ
 27第25層に同じ
 28黒灰色土
 29黒灰褐色土（ローム粒子少量）
 30第21層に同じ
 31黒褐色土（ローム粒子）
 32暗褐色土（ローム粒子・微粒子多量、黒色土粒子）
 33黒灰褐色土
 34黒灰色土
 35ローム粒子（黒色土混じる）
 36黒褐色土
 37暗茶褐色土（ローム土混じる）
 土層説明（第57図）
 A-A' 断面（第68号土坑）
 1 暗褐色土（ロームブロック若干、ローム粒子少量）
 2 暗褐色土（若干灰色帯びる）
 3 暗褐色土
 4 黒褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）
 5 黒灰褐色土（ローム土若干）
 6 茶褐色土
 7 暗褐色土（ローム微粒子少量、焼土）
 8 暗茶褐色土（ローム微粒子少量）
 9 第7層に同じ
 10暗褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
 B-B' 断面（第69号土坑）
 1 灰褐色土（ローム粒子・微粒子多量、炭化物若干）
 2 暗灰褐色土（ローム小ブロック・粒子少量）
 3 暗黄褐色土
 4 灰色土（小石多量）
 5 暗褐色土（ローム微粒子）
 6 黄褐色土と暗褐色土混合層
 C-C' 断面（第70・71・72・73・76・183号土坑）
 1 暗灰褐色土（ローム粒子・黒色土粒子多量）
 2 暗灰色土（ローム微粒子若干、かたくしまる）
 3 暗灰色土（ローム微粒子少量）
 4 黄褐色土



調査区域外



0 2m

- 5 暗灰褐色土（ローム粒子若干、炭化物若干）
- 6 暗灰褐色土（ローム粒子ごくわずか、非常にかたくしまる）
- 7 暗灰褐色土（ローム粒子少量）
- 8 暗灰色土
- 9 暗灰色土（ローム小ブロック少量）
- 10 暗灰黄色土（ローム小ブロック・粒子少量）
- 11 暗灰黄色土（ローム粒子・微粒子多量）
- 12 暗灰黄色土（ローム小ブロック・粒子多量、黒灰色土小ブロック）
- 13 暗灰色土とローム小ブロック混合層

- 14 第10層にほぼ同じ
- 15 暗灰褐色土（ローム粒子少量、軟弱）
- 16 第8層にほぼ同じ
- 17 第10層にほぼ同じ
- 18 第7層にほぼ同じ
- 19 暗灰褐色土（ロームブロック少量）
- 20 暗灰色土とローム粒子・微粒子混合層
- 21 灰褐色土（ローム微粒子少量）
- 22 黒灰褐色土（ローム小ブロック少量）
- 23 黒灰色土（ローム小ブロック少量）
- 24 暗灰褐色土（ローム粒子、比較的しまる）

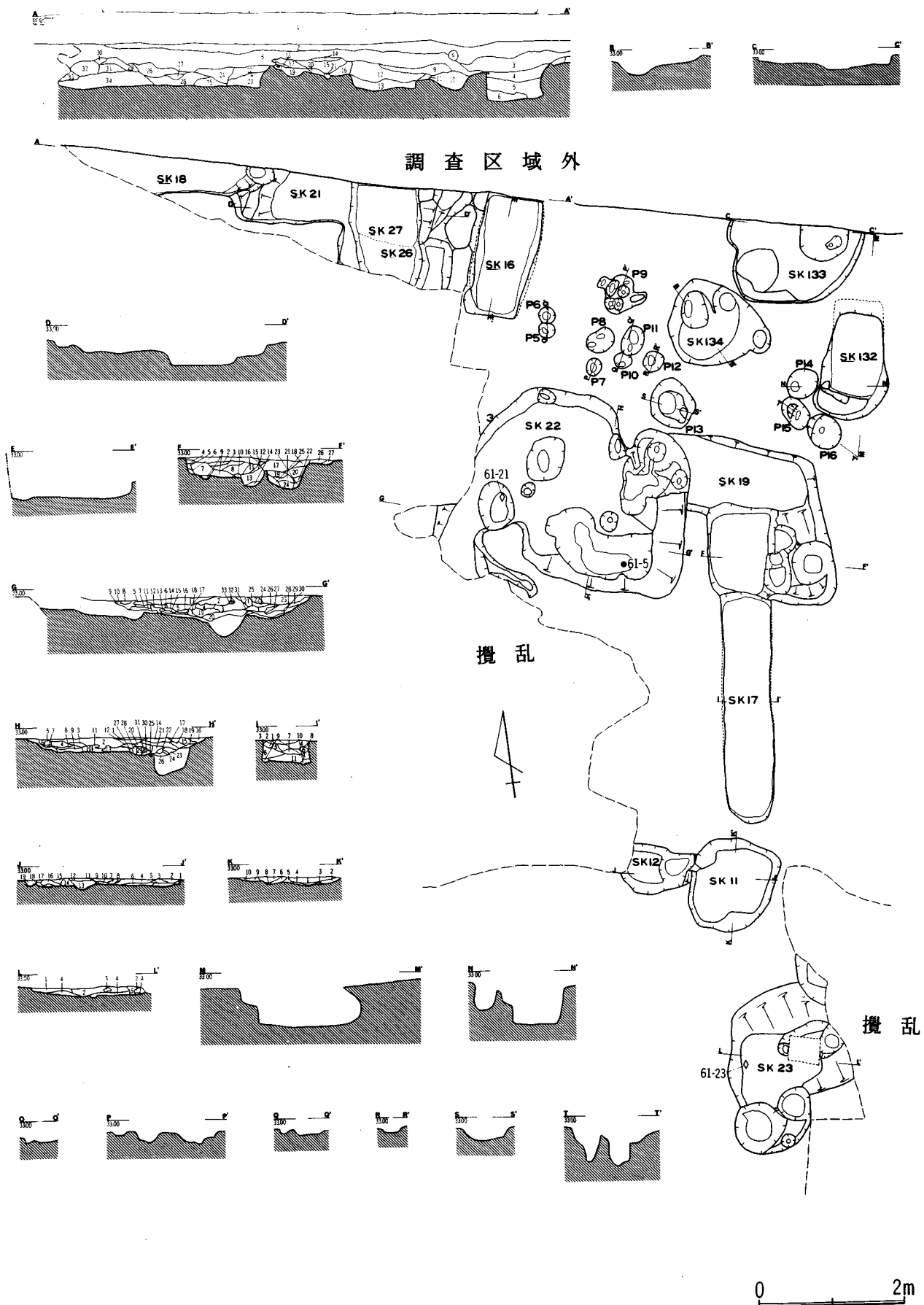
第57図 第40～42・58・59・61・66・68～76・80・136・183・210～212号土坑

25灰褐色土（若干黄色帯びる、ローム微粒子少量、礫）
 26灰褐色土（ローム粒子・微粒子若干）
 27灰褐色土（強く褐色帯びる、ローム粒子・微粒子若干）
 28黒灰色土とロームブロック混合層
 29暗灰褐色土（ハードローム粒子少量）
 30ロームブロック
 31ロームブロック
 32第25層にほぼ同じ
 33暗灰褐色土（ローム粒子・微粒子霜降り状に、炭化物）
 34暗灰褐色土（第33層よりしまる）
 35暗灰色土（ローム土少量）
 D-D' 断面（第40・41号土坑）
 1 暗灰色土（ローム粒子少量、炭化物少量）
 2 灰褐色土（ローム土多量、黒褐色土粒子）
 3 黒褐色土
 4 黒褐色土
 5 暗黄褐色土
 6 暗褐色土（ローム微粒子若干）
 7 灰褐色土（黄色帯びる）
 8 黒褐色土（ローム微粒子若干）
 9 暗黄褐色土（黒褐色土混じる）
 10黒褐色土（ローム土混じる）
 11第7層にほぼ同じ
 12暗褐色土（黄色帯びる、ローム粒子少量）
 13黒色土（ローム微粒子ごくわずか）
 14黒茶褐色土（ローム土・黒色土混じる）
 15暗黄褐色土（若干灰色帯びる）
 16暗褐色土（ローム粒子少量）
 17暗灰褐色土（ローム粒子ごくわずか）
 18黒褐色土
 19暗茶褐色土（ローム粒子・黒褐色土多量）
 20黄褐色土（暗褐色土若干）
 21第15層にほぼ同じ
 22暗褐色土（ロームブロック）
 23暗褐色土（ローム粒子少量）
 24黒褐色土（ローム粒子少量）
 25黒色土（暗灰褐色土粒子・ローム粒子若干）
 26第24層にほぼ同じ
 27暗褐色土（ローム粒子ごくわずか）
 28黒褐色土（ローム粒子ごくわずか）
 29黒茶褐色土（ローム微粒子若干）
 30黒褐色土（ロームブロック・粒子多量）
 E-E' 断面（第40・66号土坑）
 1 攪乱
 2 暗灰褐色土（ローム小ブロック・粒子若干）
 3 黒灰褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物、小礫）
 4 黒褐色土（ローム微粒子多量）
 5 暗褐色土（黄色帯びる、ローム粒子少量）
 6 攪乱
 7 暗黄褐色土（灰褐色土粒子）
 8 灰褐色土
 9 ローム微粒子層
 10黒灰褐色土
 11暗灰茶褐色土

12淡灰褐色土
 13暗黄褐色土
 14攪乱
 15暗灰色土とローム土混合層
 16黒褐色土（ロームブロック）
 17黒灰色土（ローム微粒子多量）
 18黒色土
 19第15層にほぼ同じ
 20黒色土（ローム微粒子ごくわずか）
 21黒茶褐色土（ローム土・黒色土混じる）
 22黒茶褐色土（ローム土混じる）
 23暗黄褐色土（ロームブロック多量、軟弱）
 24黒灰褐色土
 25ローム土
 26第22層にほぼ同じ
 27暗茶褐色土
 28暗黄褐色土
 29黒褐色土（ローム粒子若干）
 30暗褐色土とロームブロック混合層
 31黒褐色土（ローム粒子）
 32暗茶褐色土（ローム粒子・微粒子多量）
 33黒褐色土
 34ロームブロック
 35黒褐色土（ローム粒子・微粒子少量）
 36暗灰色土（ローム微粒子多量）
 37黒灰色土（ローム微粒子多量）
 38黒灰色土
 39黒灰色土（ローム粒子多量）
 土層説明（第59図）
 A-A' 断面（第16・18・21・26・27号土坑）
 1 のせ土
 2 表土
 3 褐色土（ローム微粒子若干、火山灰）
 4 暗褐色土（ローム微粒子若干、炭化物）
 5 暗褐色土（ローム粒子多量、黒褐色土粒子少量）
 6 暗褐色土（ロームブロック・粒子多量）
 7 暗褐色土（ローム土混じる）
 8 褐色土（ローム粒子少量、火山灰）
 9 淡褐色土（黄色帯びる、ローム微粒子多量）
 10暗灰褐色土（黄色帯びる、ローム粒子多量）
 11第10層にほぼ同じ
 12暗褐色土（ロームブロック・粒子少量、焼土、炭化物）
 13暗褐色土（ローム微粒子若干、炭化物）
 14褐色土（ローム粒子若干）
 15褐色土
 16褐色土（ロームブロック・微粒子）
 17褐色土
 18ロームブロック
 19暗褐色土（ローム微粒子若干）
 20褐色土
 21ロームブロック
 22灰褐色土（ローム微粒子少量）
 23暗褐色土（ローム粒子、炭化物）
 24褐色土（ローム微粒子多量、焼土、炭化物）
 25暗褐色土（ローム粒子・微粒子）



第58図 第29・30・110・113～118・147～162・213～218号土坑



第59図 第11・12・16～19・21～23・26・27・132～134号土坑、
第5～16号ビット

26暗褐色土（ロームブロック・粒子、黒褐色土粒子少量）

27暗褐色土（ローム粒子多量）

28暗褐色土（ローム微粒子、黒褐色土粒子）

29暗褐色土（ロームブロック多量）

30暗茶褐色土（ロームブロック少量）

31暗褐色土（ローム粒子・黒色土粒子少量）

32褐色土

33暗褐色土

34暗褐色土（ローム粒子・黒色土粒子多量、ぼろぼろした感じ）

35攪乱

F－F' 断面（第19号土坑）

1 暗褐色土（ローム粒子霜降り状に、黒褐色土粒子、焼土少量、かたくしまる）

2 暗褐色土（ローム微粒子少量、黒褐色土混じる、焼土若干）

3 暗褐色土（ローム微粒子少量、黒褐色土混じる）

4 暗黄褐色土（黒褐色土混じる）

5 暗黄褐色土

6 暗褐色土（暗黄褐色土少量）

7 暗褐色土（ローム粒子少量）

8 暗褐色土（ロームブロック・粒子・微粒子、黒褐色土粒子多量）

9 黒褐色土（ローム粒子少量、土器包含）

10黄褐色土

11暗褐色土

12暗褐色土（ローム微粒子若干）

13暗褐色土（ローム微粒子）

14灰黄褐色土ブロック

15暗褐色土（ローム微粒子、かたくしまる）

16暗褐色土（かたくしまる）

17暗茶褐色土（ロームブロック・黒褐色土粒子・焼土若干、かたくしまる）

18暗茶褐色土（ローム微粒子若干）

19暗黄褐色土（暗褐色土混じる）

20暗褐色土（ローム微粒子少量）

21暗茶褐色土（ローム微粒子・黒褐色土粒子少量）

22暗褐色土（黄色帯びる）

23暗黄褐色土

24黒褐色土（暗茶褐色土粒子）

25暗褐色土（ローム小ブロック少量、黒色土粒子若干）

26暗褐色土（ローム粒子少量、かたくしまる）

27黄褐色土と暗褐色土混合層

G－G' 断面（第22号土坑）

1 暗褐色土（ローム微粒子、焼土・炭化物少量）

2 黒褐色土（ローム微粒子少量、焼土・炭化物若干）

3 暗褐色土（ローム粒子若干、焼土若干）

4 ハードロームブロック

5 暗褐色土（ローム粒子若干、焼土）

6 暗黄褐色土

7 暗灰褐色土

8 暗灰褐色土

9 灰黄褐色土

10暗黄褐色土（灰褐色土混じる）

11暗黄褐色土

12暗灰褐色土（ローム粒子少量）

13ソフトロームブロック

14第12層に同じ

15第11層に同じ

16暗褐色土（ロームブロック）

17黄褐色土

18第11層に同じ

19暗茶褐色土（ローム粒子、黒色土混じる）

20暗茶褐色土

21黒褐色土（ローム微粒子、焼土、炭化物）

22暗褐色土（ローム土混じる）

23第1層に同じ

24暗褐色土（ローム土混じる）

25暗褐色土（ロームブロック）

26黒褐色土（ローム微粒子若干）

27暗褐色土（ローム土混じる）

28黒褐色土（ローム微粒子若干、焼土）

29黒褐色土とローム土混合層

30第29層に同じ

31黒褐色土

32暗褐色土

33暗褐色土

H－H' 断面（第22号土坑）

1 暗褐色土（ローム粒子少量、炭化物）

2 暗褐色土（ローム粒子少量、焼土、炭化物）

3 暗褐色土（ローム粒子多量）

4 暗褐色土（ローム粒子若干）

5 黒褐色土

6 暗褐色土（灰色帯びる、ローム粒子少量）

7 第3層にほぼ同じ

8 暗褐色土（ローム小ブロック少量）

9 第3層にほぼ同じ

10暗褐色土（ローム土混じる）

11黄褐色土

12黒褐色土

13第3層にほぼ同じ

14黒褐色土

15暗茶褐色土（焼土）

16暗褐色土（ローム微粒子霜降り状に）

17暗褐色土（ローム粒子少量、焼土）

18黒褐色土

19暗灰褐色土とローム土混合層

20暗褐色土

21黒褐色土（ローム粒子、焼土、炭化物）

22ロームブロック

23暗褐色土（ローム粒子多量）

24第17層に同じ

25暗茶褐色土

26黄褐色土と暗褐色土混合層

27黒褐色土（ローム小ブロック）

28暗黄褐色土

29暗褐色土（ローム微粒子少量、焼土・炭化物多量）

30暗茶褐色土

31暗褐色土（ローム粒子、焼土、炭化物）

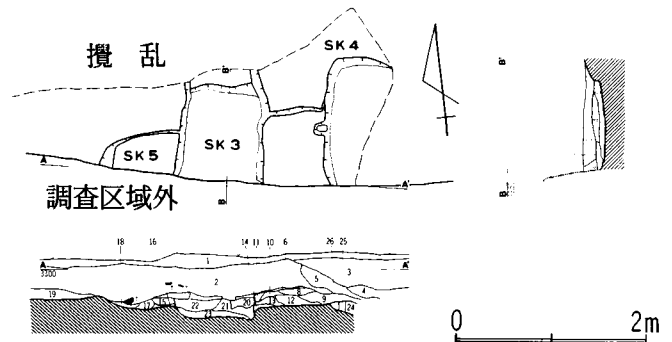
I－I' 断面（第17号土坑）

1 暗褐色土（ローム粒子多量、炭化物若干）

2 暗褐色土（黄色帯びる、ローム微粒子）

3 黄褐色土

- 4 暗褐色土（ローム粒子多量、黒褐色土粒子多量、炭化物若干）
 5 暗褐色土
 6 暗褐色土（ローム小ブロック少量、ローム微粒子少量）
 7 暗褐色土と黒褐色土混合層（ロームブロック・粒子多量）
 8 黄褐色土（黒褐色土混じる）
 9 黒褐色土（ローム粒子）
 10 黒褐色土とロームブロック混合層
 11 黒褐色土（ローム粒子少量、土器包含）
 J-J' 断面（第11・12号土坑）
 1 ローム土
 2 暗褐色土（ローム粒子少量）
 3 暗黄褐色土（暗褐色土粒子少量）
 4 暗褐色土（ローム微粒子若干）
 5 第3層にほぼ同じ
 6 暗褐色土
 7 第3層にほぼ同じ
 8 黒褐色土
 9 黒褐色土
 10 黒褐色土（ローム粒子若干）
 11 ローム土
 12 暗褐色土（ローム微粒子多量）
 13 暗黄褐色土（暗褐色土粒子少量）
 14 ローム土
 15 黒褐色土（ローム粒子若干）
 16 暗褐色土とローム土混合層
 17 第15層にほぼ同じ
 18 ローム土
 19 第16層に同じ
 K-K' 断面（第11号土坑）
 1 暗褐色土（ローム粒子若干）
 2 暗褐色土（ローム粒子多量）
 3 ローム土
 4 ローム粒子層
 5 ローム土
 6 暗褐色土（ローム粒子若干）
 7 暗褐色土（ローム土多量）
 8 ローム土
 9 暗黄褐色土（暗褐色土粒子若干）
 10 ローム土
 L-L' 断面（第23号土坑）
 1 黒褐色土（ローム粒子少量）
 2 暗褐色土（ローム粒子若干）
 3 ロームブロック
 4 黒褐色土（ロームブロック・粒子多量）
 5 暗褐色土（黄色帯びる、ローム微粒子若干）



第60図 第3～5号土坑

土層説明（第60回）

A-A' 断面（第3・4・5号土坑）

- 1 耕作土
 2 暗褐色土（ローム微粒子・焼土・炭化物少量、瓦包含）
 3 暗褐色土（ロームブロック非常に多量）
 4 砂礫
 5 暗褐色土とロームブロック粒子混合層
 6 炭化物層
 7 炭化物層
 8 暗褐色土（ローム微粒子・炭化物若干）
 9 暗褐色土（ロームブロック・微粒子少量、炭化物若干）
 10 第8層にほぼ同じ
 11 ローム粒子層
 12 暗褐色土（ローム粒子少量）
 13 暗褐色土
 14 ローム粒子層（暗褐色土少量）
 15 暗褐色土（ローム粒子少量）
 16 暗褐色土（ローム粒子多量）
 17 暗褐色土（ローム粒子少量、炭化物若干）
 18 黒褐色土（ローム粒子若干）
 19 暗黄褐色土
 20 黒褐色土（ローム微粒子ごくわずか）
 21 褐色土（ローム粒子霜降り状に多量）
 22 暗褐色土（ローム微粒子若干、焼土、炭化物）
 23 黒褐色土（ローム粒子少量）
 24 暗褐色土（ローム微粒子・炭化物若干）
 25 灰黄褐色土粒子層
 26 暗褐色土（ローム粒子・炭化物若干）
 B-B' 断面（第3号土坑）
 1 褐色土（ローム粒子霜降り状に多量）
 2 褐色土
 3 黒褐色土（ローム粒子若干）
 4 暗褐色土（ローム粒子若干）
 5 暗褐色土（黄色帯びる）

第1表 土坑一覧表

土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
1	C-4	楕円形	153×123×30	瓦、土師器坏、石	奈良		39
2	B-3	隅丸長方形	(240)×(130)×52	瓦、土師器、須恵器、炭化物		攪乱受ける。	39
3	B-5	長方形?	×90×22	瓦、土師器、須恵器		5号土坑を切る。	60
4	B-5	長方形?	× ×15	瓦		5号土坑に切られる。 攪乱受ける。	60
5	B-5	長方形?	× ×17	瓦、瓦塔	奈良～平安	3号土坑に切られ、 4号土坑を切る。	60
6	B-4	隅丸長方形?	× ×43	三重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦、 土師器坏、須恵器、鉄釘、砥石	奈良	2号土坑を切り、24 号土坑に切られる。	39
7	D-4	不整形な菱形	107×75×23	瓦、土師器			39
8	D-4	不整形な楕円形	96×54×15	瓦、土師器坏	古墳後期	9号土坑を切る。	39
9	D-4	隅丸長方形	106×66×9	瓦、土師器		8号土坑に切られる。	39
10	C-3	隅丸長方形	×120×19	瓦、土師器、瓦塔(土師質)	奈良～平安	141号土坑に切られ る。	39
11	F-3	隅丸長方形	130×113×13	瓦、土師器、須恵器		12号土坑に切られる。	59
12	F-3	不整形な長楕円形	×70×15	瓦		11号土坑を切る。	59
13	C・D-4	不整形	179×150×50	丸瓦、平瓦、土師器坏、須恵器	奈良	6号住居を切る。	39
14	A-1	不整形な長方形	153× ×30	瓦、土師器、内耳土器		1号ピットに切られ る。	50
15	A-1	長方形?	× ×70	瓦、土師器、須恵器、内耳土器、 板碑		139号土坑に切られ る。	50
16	F-1	長方形	×83×23	瓦、土師器、須恵器、内耳土器、 陶器			59
17	F-2・3	隅丸長方形	317×67×33	瓦、土師器坏、須恵器	奈良		59
18	E-1	不明	× ×40	瓦、土師器坏		21号土坑を切る。	59
19	F-2	長方形	182×170×40	軒平瓦、軒丸瓦、丸瓦、土師器 坏・甕、須恵器	奈良		59
20	D-3	不整形な隅丸長方 形	174×146×54	重弧文軒平瓦、瓦、土師器坏、 須恵器	古墳後期	25号土坑に切られる。	39
21	E-1	隅丸長方形?	327× ×25	瓦、土師器坏・甕・壺	奈良	18・27号土坑に切ら れる。	59
22	F-2	不整形	340×260×54	軒平瓦、縄文土器、土師器坏・甕 多量、須恵器壺、内耳土器、鉄釘	奈良		59
23	F・G-3・4	隅丸方形?	×156×13	瓦、土師器、鉄釘		攪乱受ける。	59
24	C-3	楕円形	130×113×45	平瓦多量、土師器坏・甕	奈良	6号土坑を切る。	39
25	D-3	長方形	169×160×50	平瓦多量、土師器坏、須恵器短 頸壺	奈良	20・146号土坑に切 られる。	39
26	E-1	不明	158× ×30	瓦、土師器、陶器、鉄釘		27号土坑に切られる。	59
27	E-1	不明	×100×40	瓦、土師器坏、須恵器壺、ほう ろく、石臼		21・26号土坑を切る。	59
28	B-1・2	不明	172× ×46	なし		6号溝に切られる。	50
29	J-3	不整形な長方形	372×137×(20)	土師質土器坏、陶器、ほうろく、こね鉢、 土師器坏・甕、須恵器坏、瓦、鉄製品	中・近世	良好な土師器含む。	58
30	I・J-3・4	長方形?	355×215×45	瓦、土師器坏、須恵器高台坏、 瓦塔(土師質)、鉄釘	奈良		58
31	M・N-3	不整形な隅丸正方 形	284×250×50	土師質土器坏、ほうろく、瓦、 土師器坏、須恵器、羽口	中・近世	古墳後期の土師器含 む。	56
32	D-3・4	不整形な円形	160×154×55	土師器坏、須恵器、瓦	奈良	6号住居を切る。	39
33	B-1	不整形	×94×34	土師器、瓦			50

土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
34	A・B-1	不明	200× ×50	土師器坏、三重弧文軒平瓦、瓦	奈良		50
35	C-3・4	不整形	×85×16	ほうろく、丸瓦		6号住居を切る。	39
36	P-3	不明	× ×38	土師器坏・甕、須恵器坏、瓦、 ほうろく、陶器	奈良	37・67号土坑に切られる。	48
37	P-3	方形?	×106×	土師器坏	奈良?	36号土坑を切る。	48
38	C-3	隅丸長方形	186×100×18	土師器坏	奈良		39
39	C-3	隅丸長方形 中央に楕円形の掘込	187×80×40	土師器坏・甕、瓦、瓦塔（土師 質）	奈良～平安		39
40	N-6	不明	506×805×55	鉢、土師器坏・甕、須恵器蓋、 瓦	中・近世	古墳後期～平安の土 師器含む。	57
41	N-6	隅丸長方形	(400)×60×15	土師器坏、須恵器蓋、瓦、瓦塔 (土師質)	奈良		57
42	O-6	長方形	(220)×50×43	土師器台付甕、瓦若干	奈良?	43号土坑を切る。	55
43	O-6	長方形	195×145×40	土師器、須恵器、瓦、土師質土 器坏、ほうろく		42号土坑に切られ、 197号土坑を切る。	55
44	O-6	長方形	204×66×26	土師器、須恵器高台坏、ほうろ く、鉄釘		51号土坑を切る。	55
45	N-4	不整形	×280×41	なし			56
46	L-2	方形	230×192×32	すり鉢、ほうろく、土師器、須 恵器、瓦、羽口、鉄釘	中世	162号土坑に切られ る。	56
47	P-6	方形?	×45×	瓦			55
48	P-6	長方形	230×50×	土師器、瓦、土師質土器坏			55
49	P-6・7	長方形	240×56×	土師質土器坏?	中・近世		51
50	O・P-6	楕円形	×120×	内耳土器、ほうろく、石臼、土 師器、須恵器、瓦	中・近世		55
51	O-6	長方形	(160)×40×	なし		44号土坑に切られる。	55
52	O-6	長方形	×50×18	須恵器坏、土師器坏	平安		55
53	O-6	方形?	×50×	土師器		54号土坑に切られる。	55
54	O-6	方形?	×139×55	土師質土器坏、ほうろく、内耳鍋、 土師器高台坏、須恵器、瓦	中世	55・57・198号土坑 を切る。	55
55	O-6・7	長方形?	136×146×26	須恵器甕			55
56	O-6・7	方形?	×74×34	なし		55・57号土坑に切ら れる。	55
57	O-6	長方形	217×150×58	土師器坏、須恵器甕、瓦、陶器	奈良～平安	54号土坑に切られる。	55
58	N・O-6・7	方形?	× ×	土師器坏、瓦	奈良	57号土坑に切られる。	55
59	N-6	長方形	210×52×	すり鉢、土師器甕	近世		57
60	O-5・6	長方形	140× ×47	土師質土器坏、瓦	近世	195号土坑を切り、 194号土坑に切られる。	55
61	O-5	長方形	(170)×70×26	土師器、須恵器、瓦、陶器、土 師質土器坏			55
62	O-5	方形?	×80×24	瓦、鉄釘		63・64号土坑に切ら れる。	55
63	O-5	不明	195× ×	瓦			55
64	O-5	長方形	215×95×52	土師器、瓦		60号土坑を切る。	55
65	O-6	長方形	×46×40	瓦		60号土坑を切る。	55
66	N-6	長方形	196×75×41	土師器			57
67	P-3	不整形な方形	×106×	なし		36号土坑を切る。	48

土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
68	M-5	長方形?	×107×23	土師器坏、須恵器、瓦	平安	4号住居を切る。	57
69	M-5	ふくらんだ長方形	144×125×21	土師質土器坏、ほうろく、板碑、瓦	近世		57
70	M-6	長方形	183×118×	土師器坏、瓦、内耳鍋		71・72号土坑に切られる。	57
71	M-6	方形?	×124 ×25	土師器、瓦		70・72号土坑を切る。	57
72	M-6	変形長方形	225×52×56	内耳鍋、瓦	中世	183号土坑に切られる。	57
73	M-6	隅丸長方形	330×244×8	土師器、須恵器、瓦		76・183号土坑に切られる。	57
74	L・M-5	長方形	140×125×49	陶器、瓦、瓦塔(土師質)		75・80号土坑を切る。	54
75	M-5・6	長方形	282×105×50	土師器、土師質土器坏、ほうろく、瓦		74・80号土坑にきられる。	54
76	M-6	長方形	197×108×50	なし		73・183号土坑を切る。	57
77	M-5	長方形	348×108×22	土師質土器坏、ほうろく、瓦		78・79・186号土坑に切られる。	41
78	M-4・5	長方形	288×117×44	土師器、丸瓦、平瓦、こね鉢、刀子	中・近世	77号土坑を切り、79号土坑に切られる。	41
79	M-4・5	不明	× ×24	土師器、陶器、瓦		77・78・184号土坑を切り、119号土坑に切られる。	41
80	M-5	方形?	×126×36	土師器、須恵器、瓦		74・75号土坑に切られる。	57
81	N-7・8	方形?	× ×53	土師器坏・甕、須恵器甕、丸瓦・平瓦、陶器		206号土坑を切る。	51
82	O-4	変形長方形	148×93×85	土師器坏、ほうろく、縄文土器、瓦、鉄滓			32
83	O-4・5	隅丸長方形	172×35×	土師器坏、須恵器甕、軒丸瓦、丸瓦、鉄滓	奈良	土師器坏に墨書「寺?」	55
84	O-7	楕円形	251×235×35	土師器坏、須恵器坏、灰釉陶器、瓦、鉄釘	奈良～平安		51
85	P・Q-8	隅丸方形		須恵器坏・甕、須恵系土師質土器坏、灰釉陶器皿、土師器、鉄釘	平安	良好な須恵系土師質土器坏含む。	46
86	M-4	不整形	143× ×33	土師器、瓦			56
87	L-6	不整形の方形	×217×	土師質土器坏、内耳土器、砥石、古銭、土師器、須恵器、石製巡方、鉄釘	中・近世	古銭「嘉定通宝」含む。121・180号土坑に切られる。	54
88	K・L-5・6	長方形	245×150×46	土師質土器坏、内耳鍋、ほうろく、土師器、須恵器甕、瓦	中世	180号土坑に切られ、91号土坑を切る。	54
89	K-5・6	長方形	135×62×20	土師器、須恵器甕・甕、瓦		88号土坑を切る。	54
90	K・L-5	長方形	202×159×33	土師器坏、瓦、板碑、土師質土器坏		91・179号土坑に切られる。	54
91	K・L-5	不明	(260)× ×33	こね鉢、土師質土器坏、瓦	中・近世	90・121号土坑を切り、88号土坑に切られる。	54
92	L-5	不明		土師器坏、軒丸瓦、瓦	奈良		54
93	L-5	隅丸長方形に近い形	231×87×	土師質土器坏、土師器、須恵器、瓦	中・近世	94号土坑に切られる。	54
94	L-5	楕円形	88×60×	瓦		93号土坑を切る。	54
95	K-5	方形	×79×42	土師質土器坏、瓦	近世?	96号土坑に切られる。	54
96	K-5	長方形	422×127×64	土師質土器坏、陶器(常滑)、磁器、古銭5枚、須恵器坏、瓦、鉄釘	中・近世	95号土坑を切る。	54
97	K-6	長方形	183×101×	土師質土器坏、ほうろく、瓦	近世?	良好な土師質土器坏含む。	54
98	K-5	方形	×167×	土師質土器坏、ほうろく、磁器、古銭3枚、板碑、須恵器甕、鉄製品	近世	良好な土師質土器坏含む。	54
99	K-5	不明		須恵器甕、古銭1枚			54
100	K-5	方形?		瓦、須恵器甕			54
101	K-5	楕円形	90×67×	瓦			54

土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
102	K-5	不明		土師器甕、瓦	奈良～平安		54
103	K-5	不明		片口鉢、瓦、須恵器甕	中世		54
104	L-5・6	方形?		土師質土器坏、陶器、瓦	中・近世		54
105	L-6	方形?		土師質土器坏、土師器甕	近世?		54
106	K-4	不明	× ×56	土師器坏・甕、須恵器甕、単弁 8葉蓮華文軒丸瓦、平瓦、土師 質土器坏、ほうろく、鉄製品	奈良～平安	107号土坑を切る。	41
107	K-4	不明	× ×62	土師器坏、瓦		106号土坑に切られる。	41
108	K-5	不明		土師器、土師質土器坏、ほうろ く、陶器、瓦			54
109	K-4	長方形	161×137×	ほうろく、陶器、瓦	中・近世		54
110	J・K-4	不明		土師質土器坏、陶器(常滑大甕)、ほう ろく、古銭、土師器坏、須恵器、平瓦	中世		54・58
111	J-4・5	不明		瓦、土師質土器坏		2号井戸に切られる。	54
112	C・D-3	隅丸長方形	×94×26	土師器坏	古墳後期	6号住居内。	39
113	K-2・3	不明	× ×46	瓦、丸瓦、陶器			58
114	K-2・3	長方形	274×143×50	土師質土器坏、陶器(常滑大甕)、平瓦 多数、土師器坏、瓦塔(土師質)、鉄製品	中世		58
115	K-2・3	方形?	× ×35	須恵系土師質土器高台坏、瓦	平安		58
116	K-2	不明		土師器(坏他)、丸瓦、平瓦	奈良		58
117	K-2	円形	72×64×	瓦		115号土坑内。	58
118	J-2・3	方形?	×95×37	土師質土器坏、ほうろく、丸瓦、 平瓦、土師器坏	中世		58
119	L・M-5	長方形	×89×68	土師器、須恵器、瓦		79・184号土坑を切 る。	41
120	L-5	変形長方形	214×75×	土師器坏、須恵器、瓦	奈良		41
121	L-5・6	正方形	209×192×47	内耳鍋、土師質土器坏、土師器坏、瓦 塔(土師質)、鉄釘、石器(黒曜石)	中世	91号土坑に切られる。	54
122	M-5	隅丸方形?		なし		74号土坑に切られる。	54
123	J-5	正方形	101×94×	なし			54
124	K-5・6	円形	93×93×	土師器、瓦、土師質土器坏			54
125	J・K-5	不明		土師器、瓦		96号土坑に切られる。	54
126	J-5	長方形?	×79×	土師質土器坏、ほうろく、陶器、 土師器、瓦			54
127	J-5・6	長方形	130×109×	陶器			54
128	J-5	正方形	125×112×	内耳鍋、瓦	中世		54
129	J-5	不明		瓦、鉄製品		2号井戸に切られる。	54
130	J・K-5	不整形(東側袋状)	126×120×	土師質土器坏、片口鉢、古銭、 瓦	中・近世	2号井戸に切られる。	54
131	J-5	不整形		瓦、須恵器甕		96号土坑に切られる。	54
132	G-1・2	長方形(北側袋状)	112×76×55	土師器坏、須恵器坏、瓦		古墳後期土師器坏含 む。	59
133	F・G-1	不明	×184×17	土師器、瓦			59
134	F-1・2	楕円形	122×114×18	土師器坏・甕、ほうろく、瓦			59
135	P-7	不明		古銭			51

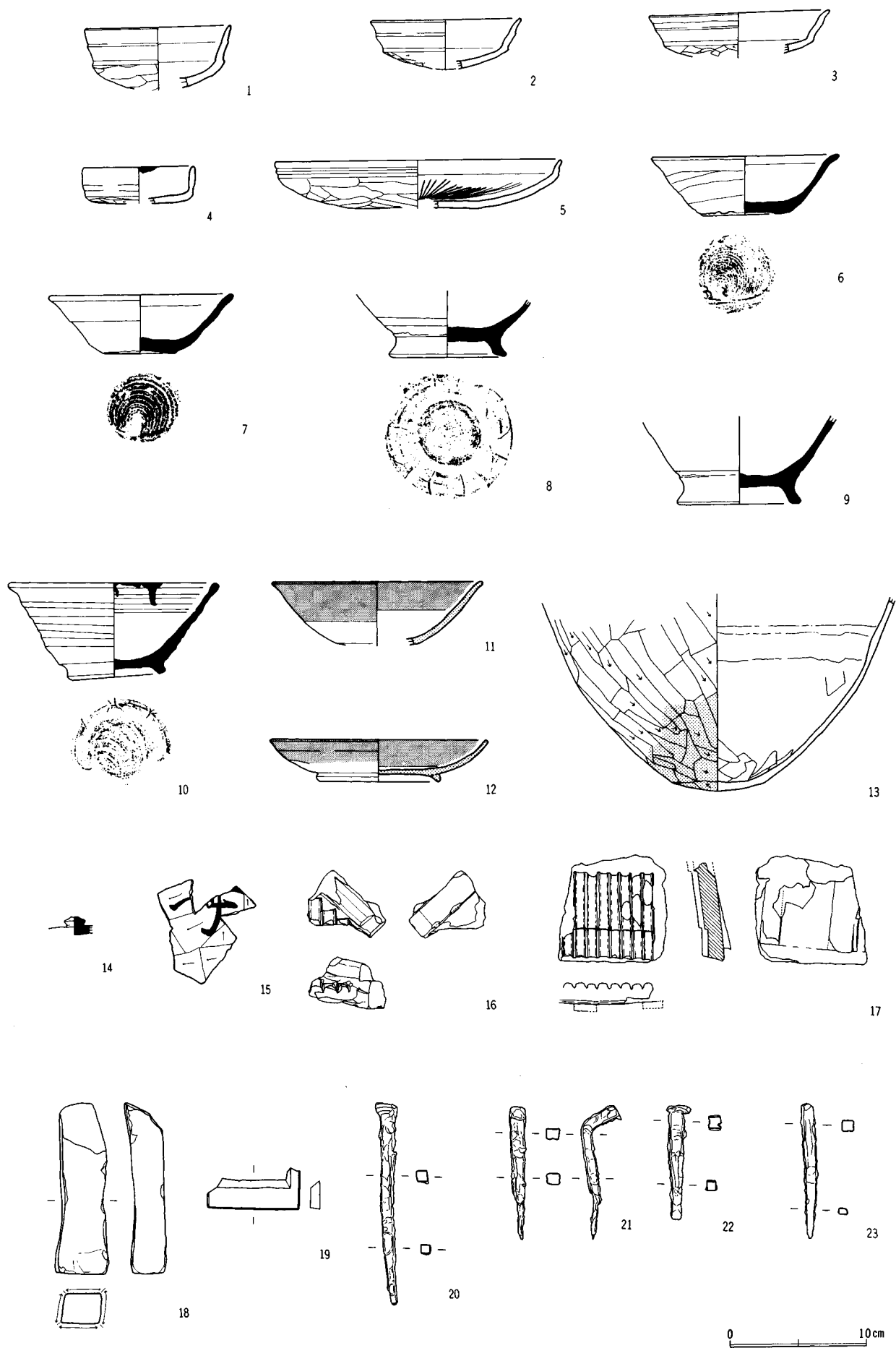
土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
136	N-5	不整形	131×126×	土師器坏、須恵器坏、瓦	奈良	4号住居を切る。	29
137	M-4	方形	224×108×	土師質土器坏、陶器、土師器、 須恵器坏、平瓦、瓦塔	中・近世		41
138	B-2	三角形?	144× ×				50
139	A-1	方形?	×149×96	瓦、緑泥片岩		15号土坑を切る。	50
140	A-1	長方形?	×94×28	なし		15号土坑を切る。	50
141	C-3	不明	× ×20	瓦			39
142	D-3	長方形	×107×	丸瓦、平瓦、須恵器坏	平安		39
143	C・D-3	隅丸の菱形に近い 形	162×113×				39
144	D-3	方形	×140×	丸瓦、平瓦、土師器	平安		39
145	E-3	不明		なし			39
146	E-3	不整形	× ×34	丸瓦、平瓦、土師器	平安	25号土坑を切る。	39
147	I-3	長方形?	×84×	なし		攪乱受ける。	58
148	I-3	方形	×147×	土師質土器坏、丸瓦、平瓦、須 恵器	中・近世		58
149	I-3・4	長方形	×108×18	陶器(火鉢)、平瓦、須恵器坏、 土師器坏、高台坏	中・近世	攪乱受ける。 土坑内にビット。	58
150	I-3	台形に近い形	172×43×	丸瓦、平瓦、土師器坏	平安		58
151	J-3	長方形?	×204×	なし			58
152	J-3	方形?	×105×	なし			58
153	J-3	長方形?	×123×	瓦	平安		58
154	J-3・4	方形?		平瓦、須恵器甕	平安		58
155	J-2	長方形	×160×	三重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦	平安		58
156	J-2	丸みをもつ長方形	176×116×	丸瓦、平瓦、陶器	平安	基壇を切る。	58
157	J-3・4	長方形	190×64×	丸瓦、平瓦、土師器、瓦塔	平安		58
158	J・K-3	長方形	225×209×	丸瓦、平瓦、土師器、須恵器	平安	214号土坑と切り合 う。	58
159	K-3	不明		土師質土器坏、陶器(火鉢)、 丸瓦、平瓦、土師器坏、須恵器蓋	中・近世		58
160	L-3	方形?		土師質土器坏、陶器(常滑甕)、 平瓦、土師器坏、須恵器坏		161・162号土坑に切 られる。	56
161	L-3	不明	× ×50	平瓦、鉄製品、古銭	平安	160・162号土坑を切 る。	58
162	L-3	不明	× ×67	内耳土器、こね鉢、平瓦、土師 器坏、鉄釘、鉄滓			56
163	L-3	長方形?	×248×62	内耳土器、こね鉢、土師質土器坏、古銭、丸 瓦、平瓦、土師器坏・甕、須恵器甕、鉄製品	中・近世	165・170号土坑を切 る。	56
164	L・M-3	長方形	313×204×83	丸瓦、平瓦、土師器坏、瓦塔、 ほうろく		168・171号土坑を切 る。	56
165	L-3	方形?	×89×	平瓦、砥石	平安		56
166	M-2・3	不整形		なし			56
167	M-2・3	方形?	×125×	なし			56
168	L・M-3	不明	× ×95	なし		164・170・171号土 坑に切られる。	56
169	L-3・4	不明	× ×50	土師器坏・甕、須恵器甕、軒丸 瓦、丸瓦、平瓦、羽口、鉄製品、 鉄滓、土師質土器坏、陶器	奈良～平安		41

土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
170	L-3	不明	× ×49	丸瓦、平瓦、灰釉陶器皿	平安		56
171	M-3・4	長方形	×210×70	土師質土器坏、陶器（こね鉢）、磁器 (皿)、丸瓦、平瓦、土師器坏、鉄製品	中・近世	168・170号土坑を切り、 164号土坑に切られる。	56
172	J-5・6	方形	×100×	なし			54
173	J-6	不明		なし			54
174	K-6	隅丸長方形？		なし			54
175	K-6	隅丸の方形	119× ×	なし		ピット2基あり。	54
176	K-5・6	方形？		なし		土坑内にピット。	54
177	K-5	方形？		なし			54
178	K-5	方形？		なし			54
179	L-5	不明	× ×28	なし		90号土坑を切る。	54
180	L-6	不明	× ×20	なし		88号土坑を切る。	54
181	L-5	方形？		なし			54
182	L-6	方形	×140×	なし			54
183	M-6	方形	× ×48	ほうろく、土師質土器坏、土師 器、瓦	中・近世	72・73号土坑を切り、 76号土坑に切られる。	57
184	M-5	不整形な長方形	×62×(31)	なし		79・119号土坑に切 られる。	41
185	M-3・4	不整形な長方形	235×110×	陶器（すり鉢）、平瓦	中・近世		56
186	M-4	方形？	124× ×22	なし		77・188号土坑を切 る。	41
187	M-4	長方形	×70×	なし			56
188	M-4	隅丸方形の変形	157×120×	なし		186号土坑に切られ る。	56
189	M-3	不整形	167× ×18	なし			56
190	M・N-3・4	不明		平瓦、須恵器、土師器坏	平安		56
191	O-4	円形	93×90×	なし			55
192	O-4	不整形	102×86×	なし			55
193	N・O-5	方形？		なし			55
194	O-5	不明	× ×40	なし		攪乱受ける。	55
195	O-5・6	方形？	283× ×43	土師器、須恵器、土師質土器坏、 瓦		60・65号土坑に切ら れる。	55
196	O-6	不明		なし		65号土坑に切られる。	55
197	O-6	方形	×98×	なし		43号土坑に切られる。	55
198	O-6	不明	× ×46	なし		54号土坑を切り、43 号土坑に切られる。	55
199	O-6	不明		なし		42号土坑に切られる。	55
200	O・P-7	長方形	×41×12	なし			46
201	O・P-8	隅丸の方形？	× ×19	なし		202号土坑に切られ る。	51
202	O-8	長方形？	×55×22	なし		201号土坑を切る。	51
203	O-8	楕円形？	×65×12	なし			51

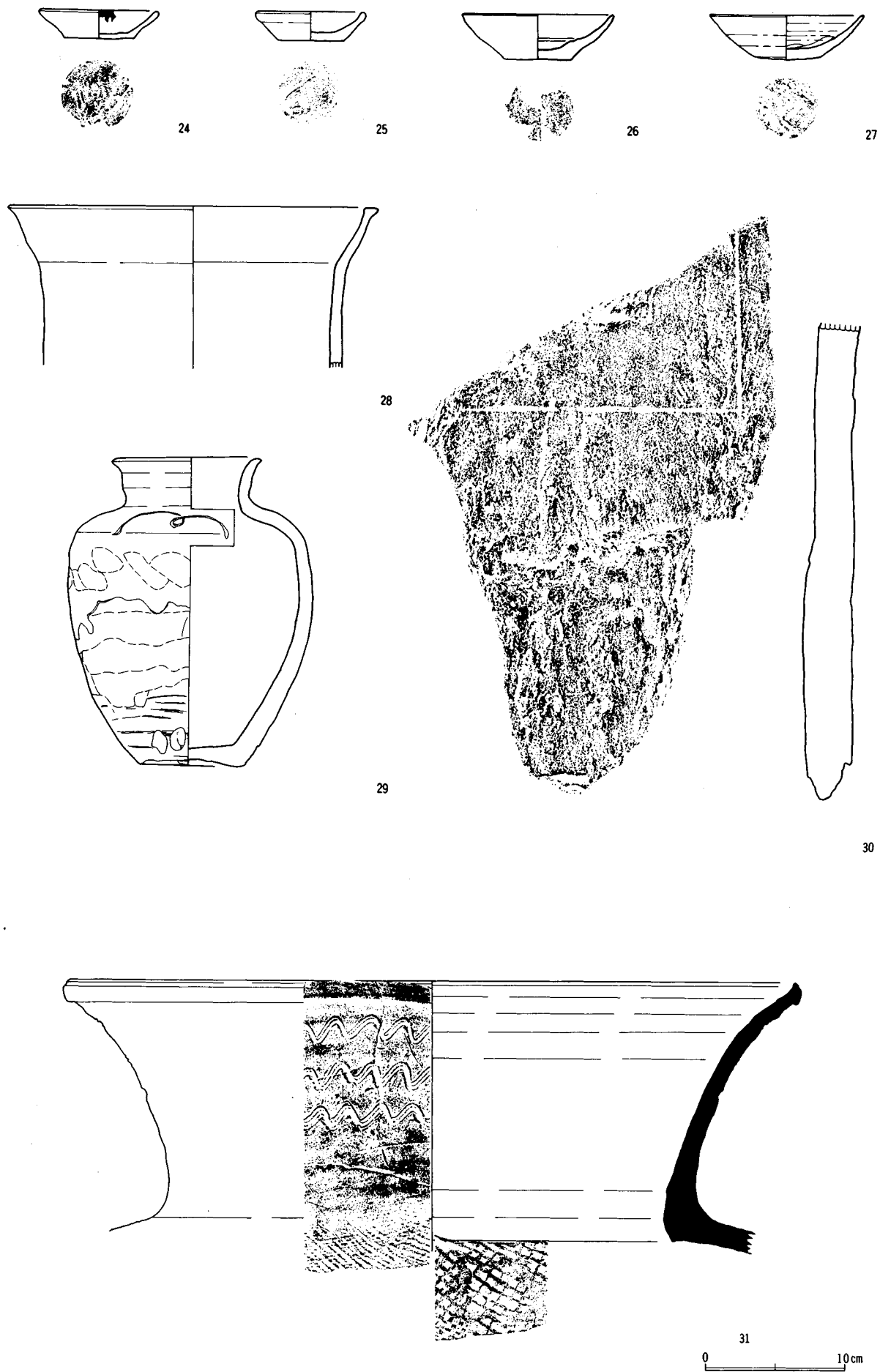
土坑 番号	グリッド	プ ラ ン	規 模 cm (長軸×短軸×深さ)	出 土 遺 物	時 期	備 考	図版 番号
204	O-8	変形隅丸方形	119×90×	なし		ピットがかかる。	51
205	N-7	不整形	×64×	なし		ピットがかかる。	51
206	M・N-7・8	不明	× ×55	土師器、平瓦		81号土坑に切られる。	51
207	M・N-7	不明	198× ×	なし			51
208	M-7	長方形	×66×	平瓦	平安		51
209	M-7	長方形	109×50×	なし			51
210	M-6・7	長方形	×91×	なし			51
211	M-7	隅丸長方形?	420× ×	土師質土器坏、内耳土器、陶器、 丸瓦、平瓦	中・近世		51
212	M・N-7	隅丸長方形?	×36×	内耳土器	中世		51
213	J-3	方形?	155×92×	丸瓦、平瓦、土師器、陶器(こ ね鉢)	平安		58
214	J・K-3	方形?		土鍋、陶器(皿)、丸瓦、平瓦、土 師器坏、須恵器坏、緑泥片岩、鉄滓			58
215	J・K-4	不明		なし			58
216	K-2・3	不明	× ×26	単弁12葉蓮華文軒丸瓦、丸瓦、 平瓦	奈良		58
217	J-4	不明		土師質土器坏、平瓦	中・近世		58
218	K-3・4	不明		単弁12葉蓮華文軒丸瓦、三重弧文 軒平瓦、丸瓦、平瓦、土師器坏・ 甕、須恵器甕、瓦塔、羽口、鉄釘、 鉄滓、陶器、土師質土器坏、古銭		渥美壺内に966枚の 備蓄銭。	58
219	J-4	不明		なし		攪乱受ける。	54
220	J-5	不明		なし		土坑内にピット3基。	54
221	O-7	長方形	×60×6	なし			46
222	B-1	隅丸方形?	×13×17	なし		34号土坑を切る。	50
223	B-1	不明	× ×27	なし		34号土坑に切られる。	50

土坑出土遺物観察表

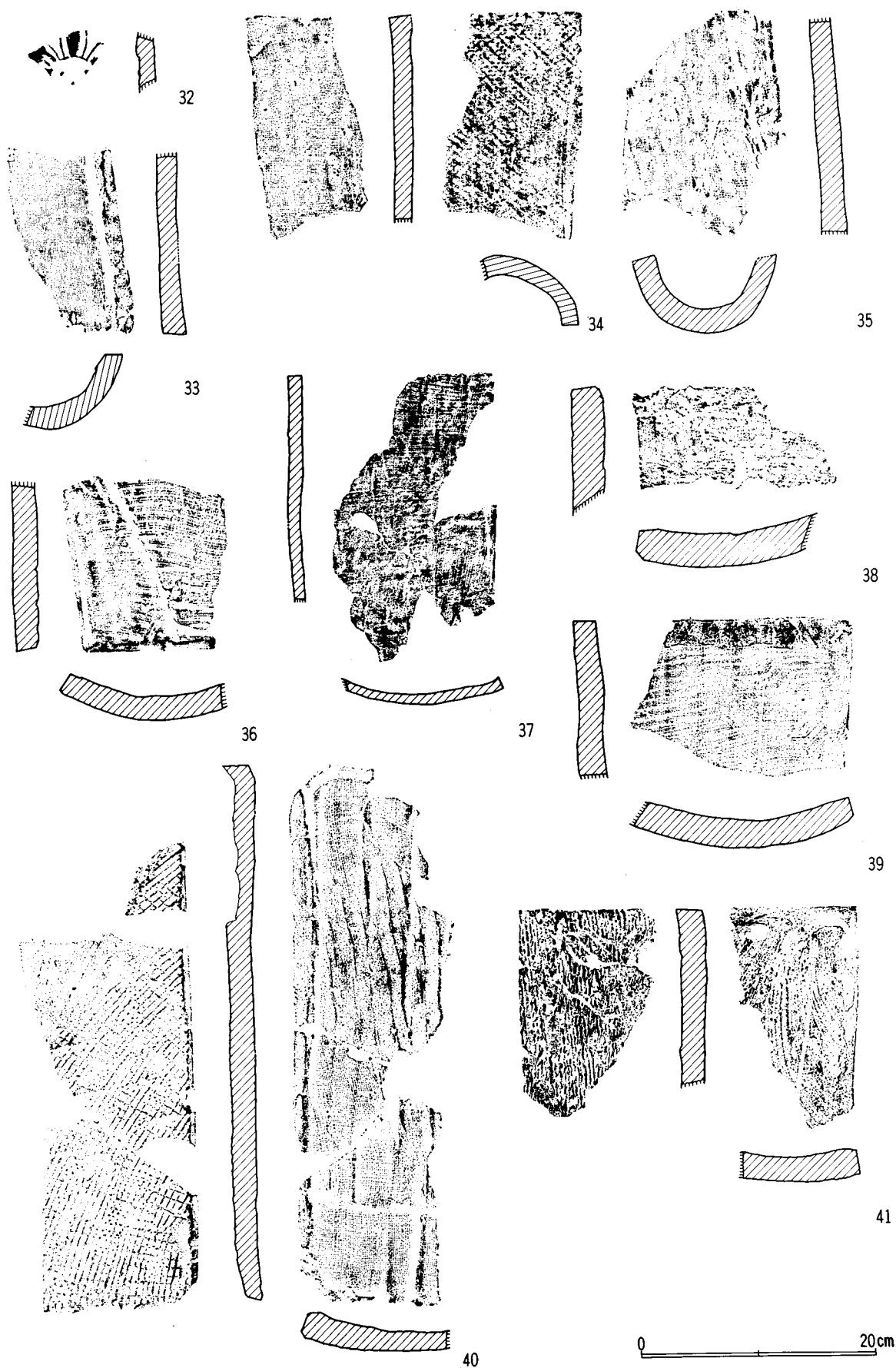
番号	出土位置	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
1	40号土坑	坏	口径 10.3 残存高 4.1	口縁部内外面ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 口縁部中位と底部との間の2ヶ所に稜をもつ。 口縁部は緩やかな「ハ」の字に開いて立ち上がる。	中粒砂と細粒砂 を含む。	10YR-7/3にぶい黄褐色 底部外面: 5Y-6/1灰色	良好	20%	
2	112号土坑	坏	口径 12.2 残存高 2.8	口縁部内外面ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 口縁部中位と底部との間の2ヶ所に稜をもつ。 口縁部は緩やかな「ハ」の字に開いて立ち上がる。	粗粒砂と中粒砂 を含む。	5Y-2/1黒色 断面: 5YR-7/6褐色	良好	25%	
3	112号土坑	坏	口径 10.5 残存高 3.4	口縁部内外面ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 口縁部中位に緩やかな稜をもつ。底部との間に稜 をもつ。 口縁部は緩やかな「ハ」の字に開いて立ち上がる。	中粒砂と細粒砂 を含む。	2.5Y-8/2灰白色 10YR-4/1褐灰色	良好	20%	
4	22号土坑	小型坏	口径 8.0 器高 2.6	口縁部内外面ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 底部は平底。口縁部は直立し、底部との間に稜を もつ。	中粒砂と細粒砂 を含む。	10YR-7/4にぶい黄褐色 一部に5YR-7/6褐色あり	良好	60%	黒斑あり。 タール付着。
5	22号土坑	坏	口径 19.9 器高 3.3	口縁部内外面ヨコナデ。底部ヘラケズリ。 底部は平底きみ。口縁部は断面を「S」字状にや や外傾し立つ。 内面に放射状の暗文。	中粒砂と細粒砂 を含む。	外面: 10YR-7/3にぶい黄 褐色、10YR-5/1褐灰色 内面: 10YR-5/1褐灰色	良好	25%	
6	85号土坑	坏	口径 12.8 器高 4.1 底径 6.0	ロクロ水挽き成形。底部右回転糸切り離し。 底部はやや上げ底。体部は外傾して立ち、口縁部 は外反する。	中粒砂と細粒砂 を含む。	5Y-8/3淡黄色 5Y-7/2灰白色	良好	ほぼ完存	



第61圖 土坑出土遺物 (1)



第 62 図 土坑出土遺物 (2)



第 63 圖 土坑出土遺物 (3)

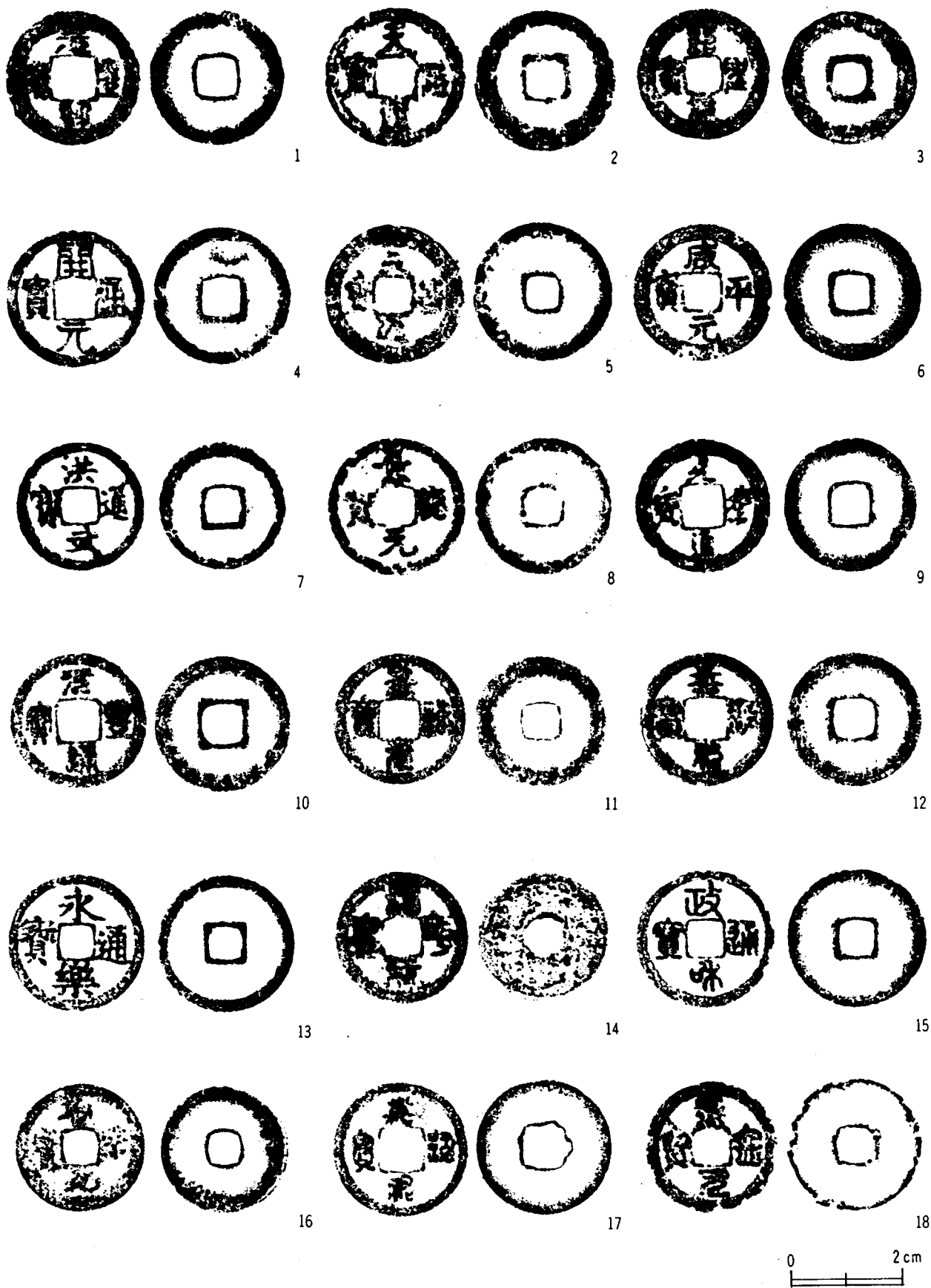
土坑出土遺物観察表

番号	出土位置	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
7	85号土坑	坏	口径 13.0 器高 4.2 底径 5.0	ロクロ水挽き成形。底部右回転糸切り離し。 上げ底で器内厚い。体部口縁部は外方に開く。	中粒砂と細粒砂を含む。	7.5Y-6/1灰色 2.5Y-7/2黄灰色 5Y-8/1灰白色	やや良好	60%	内外面に煤付着。
8	85号土坑	高台坏	口径 10.1 残存高 4.5 高台径 8.1	ロクロ成形。底部糸切り離しの後、高台貼り付け。 高台は「ハ」の字に開く。体部は外傾に立ち上がる。	中粒砂と粗粒砂を含む。	2.5Y-8/4淡黄色 一部に7.5YR-8/6浅黄褐色	やや良好	底部付近	須恵系土師質土器。
9	85号土坑	高台坏	口径 12.9 残存高 5.9 高台径 8.4	ロクロ成形。底部糸切り離しの後、高台貼り付けによるナデ。 高台は「ハ」の字に開く。体部は外傾に立ち上がる。	中粒砂と細粒砂を含む。	2.5Y-8/3淡黄色	やや良好	底部付近	須恵系土師質土器。
10	40号土坑	高台坏	口径 14.8 器高 7.0 高台径 6.9	ロクロ成形。底部静止糸切り離しの後、高台を貼り付け。 器高深く、体部緩やかに開いて立ち上がる。	粗粒砂と細粒砂を含む。	10YR-7/3にぶい黄褐色 一部に10YR-6/2灰黄褐色	やや良好	70%	灯明皿。 口縁部・内面の一部と外面に煤付着。
11	85号土坑	高台坏	口径 14.8 残存高 4.5	ロクロ成形。 体部はやや脹らみぎみに立ち上がり、口唇部やや外反する。 口縁部内外面に灰釉。	粗粒砂、中粒砂と少しの細砂を含む。	5Y-7/1灰白色	良好	20%	灰釉陶器。
12	85号土坑	高台皿	口径 15.3 器高 2.9 高台径 8.8	ロクロ水挽き成形。底部回転ヘラ切り離し。貼り付け高台。 高台は「ハ」の字に開く。体部はやや脹らむ。 口縁部内外面に灰釉。	中粒砂と細粒砂を含む。	5Y-6/1灰色	良好	15%	灰釉陶器。
13	24号土坑	甕	残存高 13.1 底径 6.2	胴部外面下方向のヘラケズリ。内面ナデ、一部にヘラナデ。底部ヘラケズリ。	中粒砂と少しの細砂を含む。	7.5YR-7/4にぶい橙色 一部に10YR-7/3にぶい黄褐色	良好	底部付近	黒斑あり。
14	41号土坑	蓋	つまみ径 1.5	天井部回転ヘラケズリ。 宝珠形のつまみ。	細粒砂を含む。	5PB-6/1青灰色	良好	つまみ及びその付近	
15	83号土坑	坏		底部外面ヘラケズリ。 肉薄。	中粒砂と細粒砂と少しの細砂を含む。	5YR-5/4にぶい赤褐色	良好	底部の一部	底部外面に墨書「寺？」
16	31号土坑	瓦塔	瓦幅約0.80 瓦と瓦の間の溝の深さ約0.5	屋蓋部。隅棟の先端部及び軒先の一部が残る。丸瓦のみの構成で半載竹管状工具で幅0.8cmの丸瓦を作る。隅棟は、先端をヘラ状工具でほぼ直角に鉤の手に切り落とす。隅垂木はヘラ削り出し。	粗粒砂と細粒砂を含む。	5YR-6/6褐色	良好		土師質。
17	169号土坑	瓦塔	瓦幅約0.60 瓦と瓦の間の溝の深さ約0.4	屋蓋部。軒先付近の一部が残る。丸瓦のみの構成で、半載竹管状工具で幅0.6cmの丸瓦を作る。地垂木はヘラ削り出し。	粗粒砂と中粒砂を含む。	7.5YR-7/4にぶい橙色 7.5YR-6/4にぶい褐色	良好		土師質。
18	6号土坑	砥石	118×35×23	重さ170g。凝灰質実シルト。 4面とも使用しており、中央部が磨耗している。					
19	87号土坑	銚子 (石製巡方)	現存縦幅 2.9 横幅 6.4 厚さ 0.7	重さ21.0g。垂孔は横4.4cm。粘板岩製。 断面は台形をなす。				上部欠損	
20	84号土坑	釘	全長 14.0 基部最大幅 0.8	角釘。頭部は完存し、基部先端まではほぼ完存する。頭部は端部を折り曲げ平たく鍛き出している。基部は断面方形を呈し、先端部に向かって先細りになっている。				ほぼ完存	
21	22号土坑	釘	全長 9.2 基部最大幅 1.1	角釘。先端を「く」の字に曲げた形状。頭部は完存し、端部を折り曲げて平たく鍛き出している。基部は断面方形を呈し、先端部に向かって先細りになっている。				ほぼ完存	
22	46号土坑	釘	残存長 7.7 基部最大幅 0.8	角釘。頭部は残存し、基部先端を欠損する。頭部は端部を折り曲げて、平たく鍛き出している。基部は断面方形を呈し、先端部に向かって先細りになっている。					
23	23号土坑	釘	残存長 9.2 基部最大幅 0.7	角釘。基部は断面方形を呈し、先端部に向かって先細りになっている。頭部は欠損している。					
24	97号土坑	土師質土器	口径 8.2 器高 2.0 底径 4.8	ロクロ成形。底部右回転糸切り離し。底部内面指ナデ。 体部は「ハ」の字に外反して立つ。	細粒砂と少しの粗粒砂を含む。	5YR-6/6褐色	良好	45%	灯明皿。 口縁部内面に煤付着。
25	106号土坑	土師質土器	口径 7.6 器高 2.0 底径 4.4	ロクロ成形。底部右回転糸切り離し。 体部は「ハ」の字に外反して立つ。口唇部は肉厚に丸くなる。	中粒砂、細粒砂と少しの細砂を含む。	5YR-6/4にぶい褐色	良好	70%	
26	95号土坑	土師質土器	口径 10.4 器高 3.2 底径 4.6	ロクロ成形。底部右回転糸切り離し。底部内面指ナデ。 体部中位にゆるやかな稜をもち、「ハ」の字に立ち上がる。	中粒砂と粗粒砂を含む。	10YR-8/3浅黄褐色	良好	55%	96号土坑出土破片と接合。
27	98号土坑	土師質土器	口径 10.5 器高 3.1 底径 4.4	ロクロ成形。底部右回転糸切り離し。底部内面指ナデ。 体部はやや内湾ぎみに開いて立つ。	中粒砂と細粒砂と少しの細砂を含む。	10YR-8/2灰白色	良好	50%	

番号	出土位置	器種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
28	54号土坑	内耳土器	口径 25.4 残存高10.9	内耳土鍋型。口縁部ヨコナデ、体部指ナデ。 口縁部は「ハ」の字に開く。鉄錆状のもの付着。		粗粒砂と少しの 細砂を含む。	10YR-7/4にぶい黄橙色 2.5Y-6/1黄灰色	良好	口縁部付 近の一部	
29	218号土坑	壺	口径 10.3 頸部径 8.5 胴部最大径 16.7 底径 7.2 器高 21.0	渥美。ロクロ成形。胴部中位から下半指ナデ。底部 付近ヘラケズリ。 底部未調整。胴部上半に自然釉かかる。		細粒砂、中粒砂 と少しの粗粒砂 を含む。	N-5/灰色	良好	ほぼ完存	内部に備蓄銭 966枚。
30	98号土坑	板石塔婆	幅 25.6 厚さ 3.4	緑泥片岩製。基部はほぼ完存。					基部付近	
31	218号土坑	甕	口径 53.0 頸部径38.0 残存高18.1	ロクロ成形。口縁部外面襷描き波状文(4条3帯)。 体部外面格子叩き。口縁部内面回転ナデ。体部内面 格子あて具痕ある。		粗粒砂、中粒砂 と少しの細砂を 含む。	5PB-4/1暗青灰色	良好	口縁部の 一部	
32	106号土坑	単弁8葉 蓮華文軒 丸瓦	直径(4.5)	瓦当面：中房細線で表わす。蓮子1+4(推定)、 蓮弁中房に接して細線で表現され中にごく肉薄の盛 り上りとなる、間弁なし、界線不明(細線で表わさ れると推定)、周縁不明(直立縁で端面はやや内傾 する)。 瓦当面裏面：ナデ。	なし	中粒砂、細粒砂 と少しの細砂を 含む。	10Y-6/1灰色	良好	中房付近 のみ	
33	83号土坑	丸瓦	厚さ 1.2~2.0	凸：ナデ、一部に布目痕。 凹：布目痕、側端面取りヘラケズリ。	8×8	粗粒砂と細砂を 含む。	5Y-6/1灰色 5PB-6/1青灰色	良好	広端部側	
34	83号土坑	丸瓦	厚さ 1.2~1.8	凸：斜格子(小)叩きの後ナデ。 凹：布目痕。	8×7	中粒砂、粗粒砂 と細砂を含む。	N-5/灰色 N-4/灰色	良好	狭端部側	
35	113号土坑	丸瓦	厚さ 1.4~2.2	凸：ナデ。 凹：布目痕、とじ目痕。	6×6	粗粒砂、細砂と 少しの砂を含む。	7.5Y-5/1灰色	良好	中間部	
36	24号土坑	平瓦	厚さ 1.8~2.2	凹：糸切り痕、布目痕、とじ目痕、狭・側端面取り ヘラケズリ。 凸：ナデ、側端面取りヘラケズリ。	7×7	中粒砂、粗粒砂 と少しの細砂を 含む。	7.5YR-7/4にぶい橙色 7.5YR-7/6橙色	良好	狭端部側	
37	13号土坑	平瓦	厚さ 0.9~1.3	凹：布目痕、糸切り痕。 凸：ナデ。	8×8	細粒砂、少しの 粗粒砂と細砂を 含む。	2.5Y-8/2灰白色 N-6/灰色	良好	広端部側	
38	13号土坑	平瓦	厚さ 2.8~3.0	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端面取りヘラケズリ。	7×7	中粒砂、細粒砂 と少しの細砂を 含む。	5PB-6/1青灰色 一部に5PB-4/1暗青灰 色	やや 不良	広端部側	
39	24号土坑	平瓦	厚さ 1.9~2.2	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端面取りヘラケズリ。	8×7	中粒砂と粗粒砂 を含む。	7.5YR-7/8黄橙色 2.5Y-7/4浅黄色	良好	広端部側	
40	106号土坑	平瓦	全長46.5 厚さ 1.4~3.0	凹：布目痕、一部ナデられている、横脊痕、広・側 端面取りヘラケズリ。 凸：斜格子(小)叩き、側端面取りヘラケズリ。	7×7	粗粒砂と細砂を 含む。	5Y-7/1灰白色	やや 良好	40%	
41	13号土坑	平瓦	厚さ 1.8~2.5	凹：布目痕、糸切り痕、広・側端面取りヘラケズリ。 凸：縄叩き。	8×8	中粒砂、粗粒砂 と少しの細砂を 含む。	5PB-6/1青灰色 5P-6/1黄灰色 10Y-6/1灰色	やや 不良	広端部側	

第87・110号土坑出土古銭観察表

番 号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径(cm)	備 考
1	元豊通寶	篆	北宋 1078	2.4	87号土坑出土
2	天禧通寶	真	北宋 1017	2.5	〃
3	紹聖元寶	篆	北宋 1094	2.4	〃
4	開元通寶	真	唐 621	2.5	〃
5	元符通寶	行	北宋 1098	2.5	〃
6	咸平元寶	真	北宋 998	2.5	〃
7	洪武通寶	真	明 1368	2.3	〃
8	景德元寶	真	北宋 1044	2.4	〃
9	元豊通寶	行	北宋 1078	2.4	〃
10	元豊通寶	篆	北宋 1078	2.4	〃
11	景祐元寶	篆	北宋 1034	2.3	〃
12	嘉祐通寶	篆	北宋 1056	2.4	〃



第 64 圖 第 87・110 号土坑出土古錢

第87・110号土坑出土古銭観察表

番 号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径(cm)	備 考
13	永樂通寶	真	明 1408	2.4	87号土坑出土
14	治平元寶	篆	北宋 1064	2.4	〃
15	政和通寶	篆	北宋 1111	2.4	〃
16	聖宋元寶	行	北宋 1101	2.3	〃
17	嘉祐通寶	篆	北宋 1056	2.4	〃
18	熙寧元寶	篆	北宋 1068	2.4	110号土坑出土

11 備蓄銭（第65～79図、第2・3表）

第218号と呼称した土坑内のK-4グリッドのちょうど中央で渥美の壺が出土した。この壺は、口縁を上にしてやや西に傾いた形で出土した。底部のレベルは、標高31.946mを測り、特に掘り方は認められなかった。この壺は、胎土に白砂粒が混じらず、12世紀末～13世紀初頭の時期のものである。

この壺内から総数966枚の古銭が発見された。

966枚の内、判読不明な65枚を除いた901枚は、全て渡来銭である。48銭種に区分され、これらはさらに、大きさ、書体、背文、穿等によって細分されるが、銭種名を中心として、書体の別によって区別する段階までにとどめた。書体は、真書、行書、楷書、篆書、草書、分楷の6種に区分された。

これらをまとめると、唐-2種73枚(7.56%)、北宋-26種598枚(61.90%)、南宋-10種18枚(1.86%)、金-1種1枚(0.10%)、元-1種1枚(0.10%)、明-3種208枚(21.53%)、朝鮮-1種2枚(0.21%)となり、北宋銭が圧倒的に多い。最古のものは、唐の開元通寶

(初鑄年621年)で、最新のものは、明の宣徳通寶(初鑄年1433年)である(第2・3表)。

書体は真書体が主である。篆書体を伴うものは9銭種で、全て北宋である。真書体を含まないものは、行書体と篆書体の組合せ、篆書体と分楷体の組合せで、前者が5種類で、後者が2種類でいずれも北宋である。

また、真書体・行書体・草書体が1種類で、篆書体のみは2種類、行書、楷書体のみは各々1種類である。

背文は、年号が見られるのが、いずれも南宋の淳熙元寶・紹熙元寶・嘉泰通寶・嘉定通寶・紹定通寶・皇宋元寶・咸淳元寶で、「元」、「三」～「六」、「九」、「十二」、「十四」、「十六」が見られる。他に、「月星」、「浙」、「益」、「一銭」、「福」、「王」、「梁」が見られる。

緡銭は、比較的良好に残存していたもので21～49枚が一単位で、一緡97枚のものが一つ見られたに過ぎない。これは、中世において97文を百文に通用させる省百法が用いられていたことから完存な緡銭と考えることもできる。各銭の配置は、時代、銭種に関係なく配置されており一定の意識ははたらいていなかった。なお、緡紐は藁と思われる繊維でできていた。

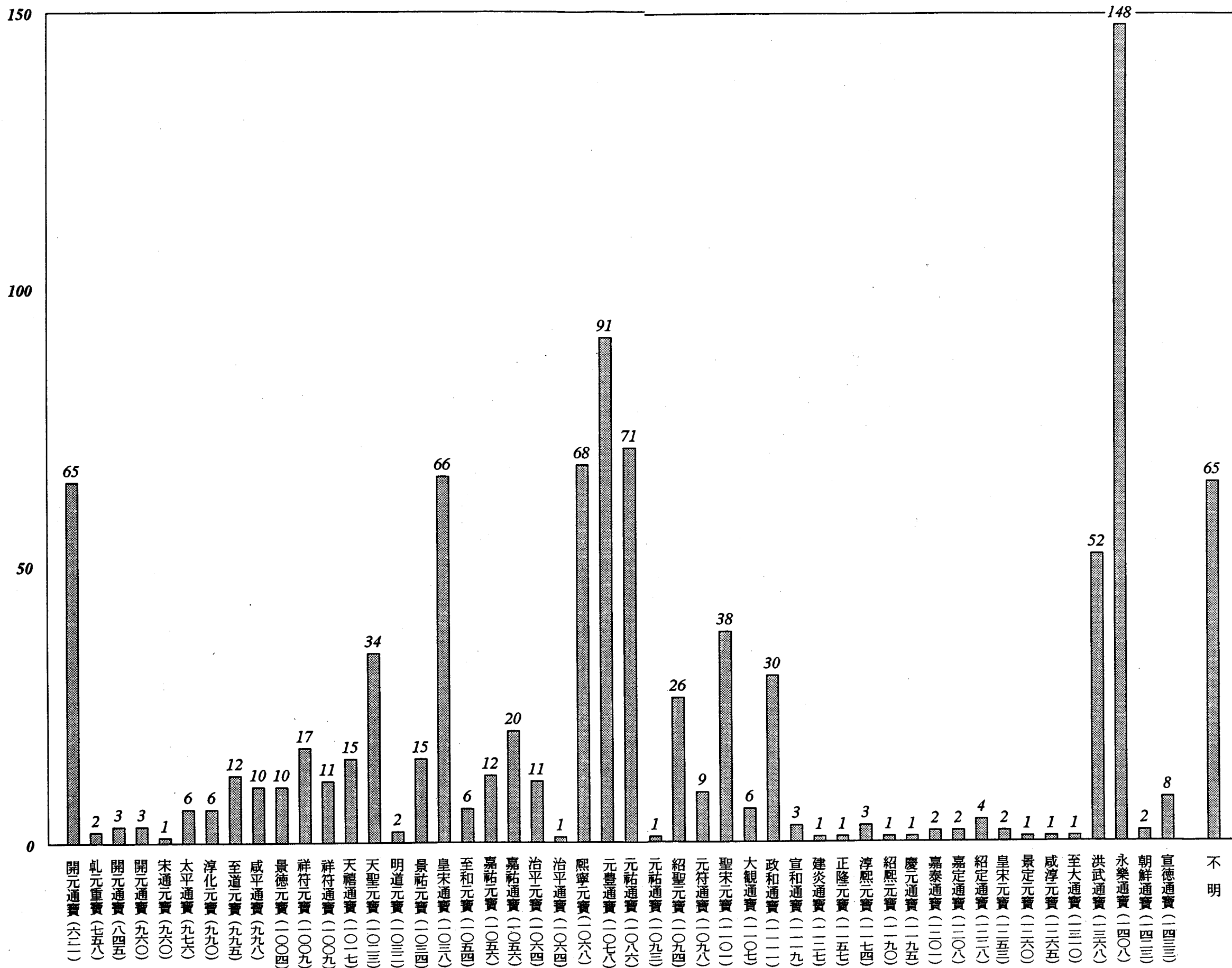
第2表 備蓄銭一覧表(1)

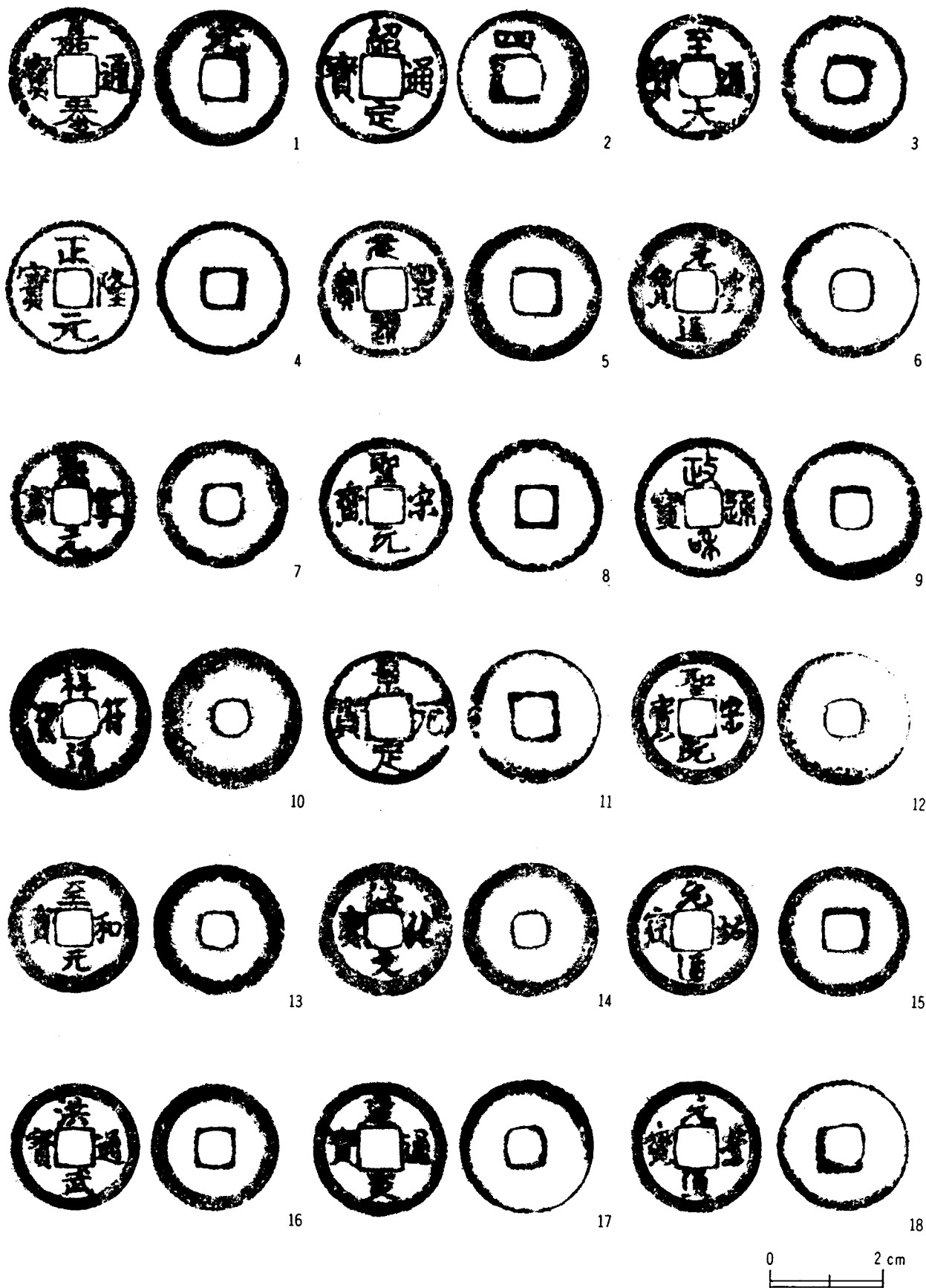
番号	名 称	書 体	初 鑄 年	枚 数	備 考
1	開 元 通 寶	真	唐 621	65	
2	乾 元 重 寶	真	唐 758	2	
3	開 元 通 寶	真	唐 845	3	紀地銭
4	開 元 通 寶	真	南唐 960	3	
5	宋 通 元 寶	真	北宋 960	1	
6	太 平 通 寶	真	北宋 976	6	
7	淳 化 元 寶	行	北宋 990	6	
8	至 道 元 寶	真行草	北宋 995	12	
9	咸 平 元 寶	真	北宋 998	10	
10	景 德 元 寶	真	北宋 1004	10	

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	枚 数	備 考
11	祥 符 元 寶	真	北宋 1009	17	
12	祥 符 通 寶	真	北宋 1009	11	
13	天 禧 通 寶	真篆	北宋 1017	15	
14	天 聖 元 寶	真篆	北宋 1023	34	
15	明 道 元 寶	篆	北宋 1032	2	
16	景 祐 元 寶	真篆	北宋 1034	15	
17	皇 宋 通 寶	真篆	北宋 1038	66	
18	至 和 元 寶	真篆	北宋 1054	6	
19	嘉 祐 元 寶	真篆	北宋 1056	12	
20	嘉 祐 通 寶	真篆	北宋 1056	20	
21	治 平 元 寶	真篆	北宋 1064	11	
22	治 平 通 寶	真	北宋 1064	1	
23	熙 寧 元 寶	真篆	北宋 1068	68	
24	元 豐 通 寶	行篆	北宋 1078	91	
25	元 祐 通 寶	行篆	北宋 1086	71	
26	元 祐 通 寶	篆	北宋 1093	1	折二錢
27	紹 聖 元 寶	行篆	北宋 1094	26	
28	元 符 通 寶	行篆	北宋 1098	9	
29	聖 宋 元 寶	行篆	北宋 1101	38	
30	大 觀 通 寶	真	北宋 1107	6	
31	政 和 通 寶	分楷篆	北宋 1111	30	
32	宣 和 通 寶	分楷篆	北宋 1119	3	
33	建 炎 通 寶	真	南宋 1127	1	
34	淳 熙 元 寶	真	南宋 1174	3	
35	紹 熙 元 寶	真	南宋 1190	1	
36	慶 元 通 寶	真	南宋 1195	1	
37	嘉 泰 通 寶	真	南宋 1201	2	
38	嘉 定 通 寶	真	南宋 1208	2	
39	紹 定 通 寶	真	南宋 1228	4	
40	皇 宋 元 寶	真	南宋 1253	2	
41	景 定 元 寶	真	南宋 1260	1	
42	咸 淳 元 寶	真	南宋 1265	1	
43	正 隆 元 寶	真	金 1157	1	
44	至 大 通 寶	真	元 1310	1	
45	洪 武 通 寶	真	明 1368	52	
46	永 樂 通 寶	真	明 1408	148	
47	宣 德 通 寶	真	明 1433	8	
48	朝 鮮 通 寶	楷	朝鮮 1423	2	
49	不 明			65	
	合 計			966	

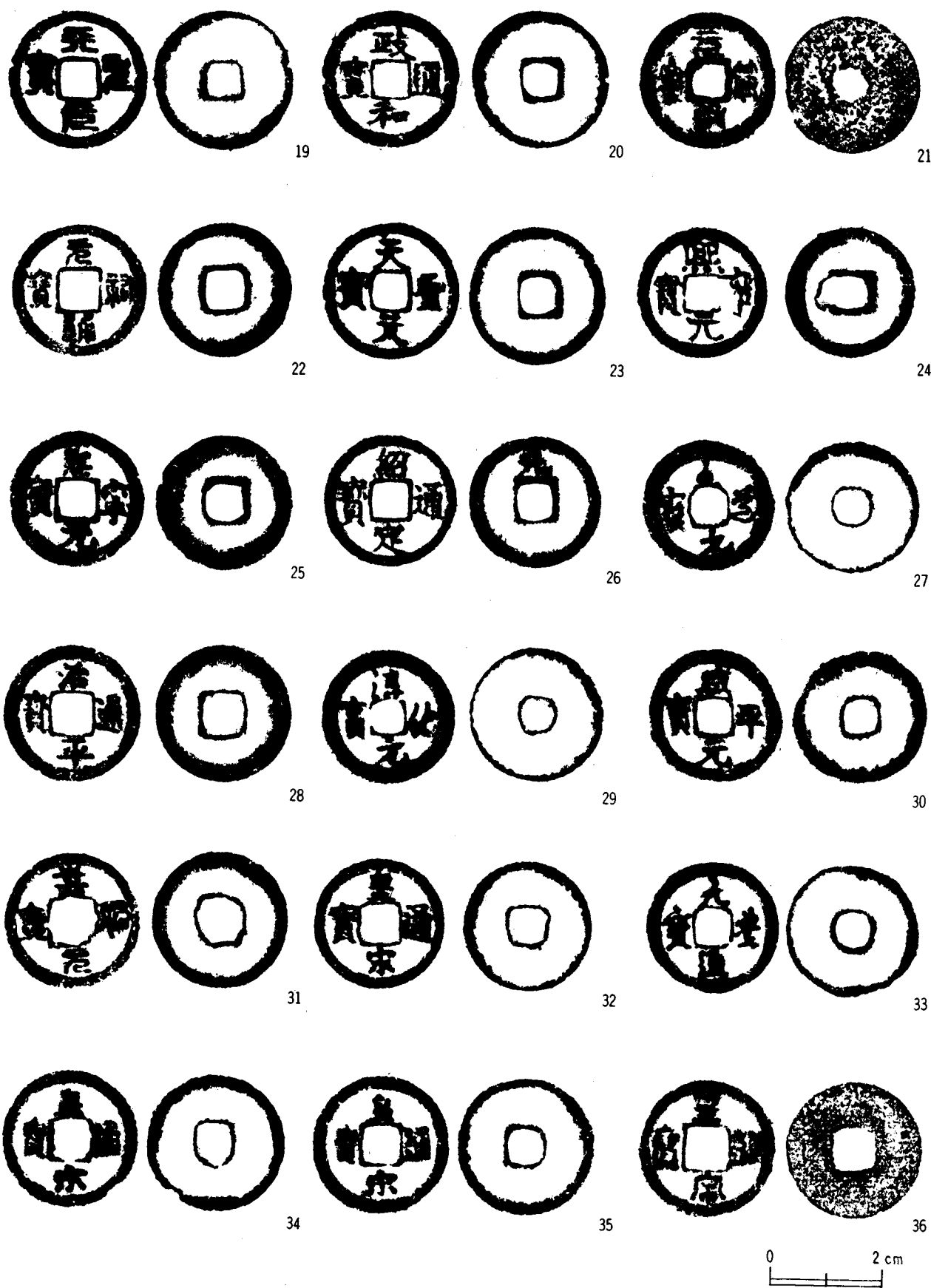
第3表 備蓄錢一覽表(2)

(枚)

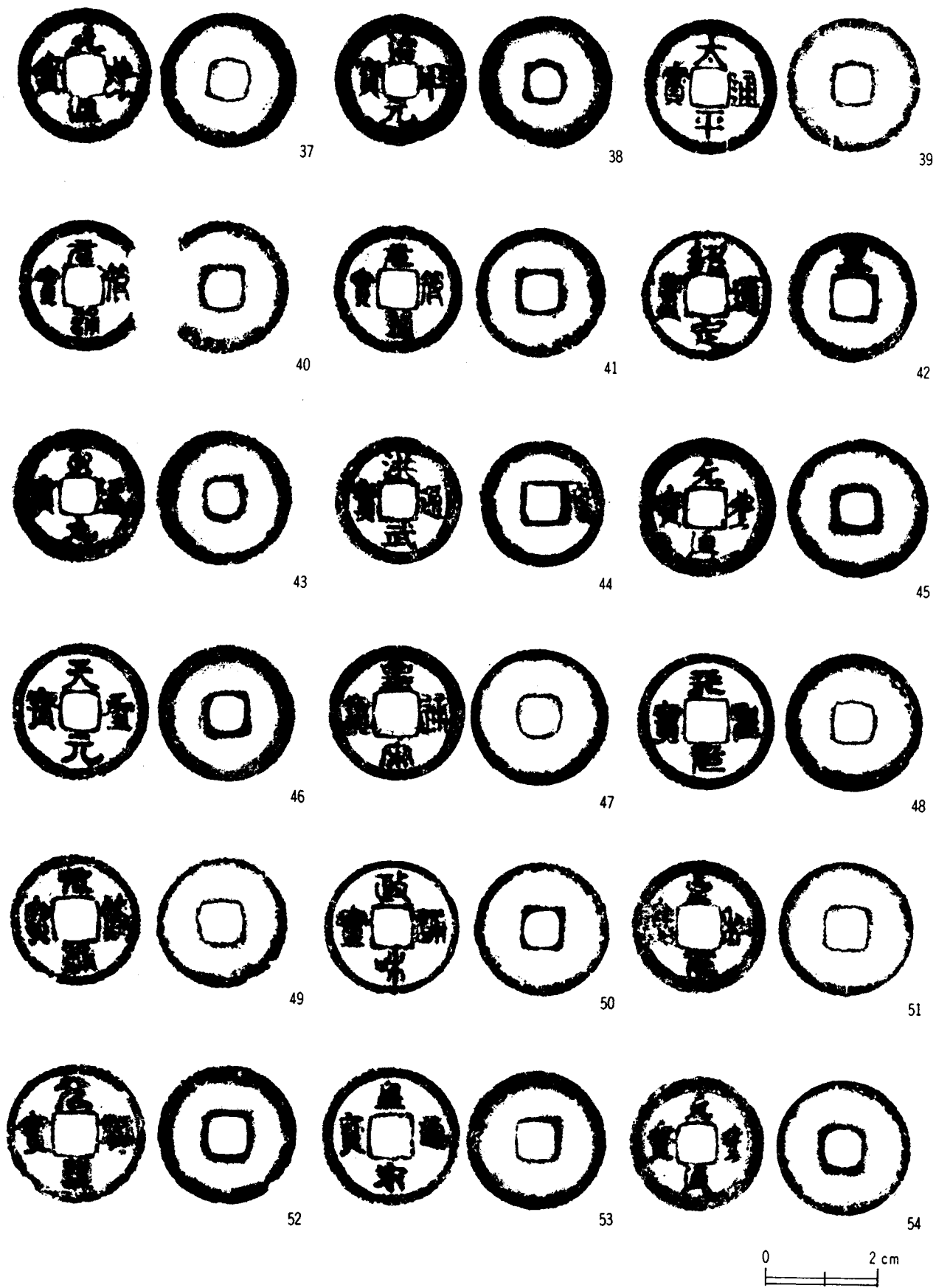




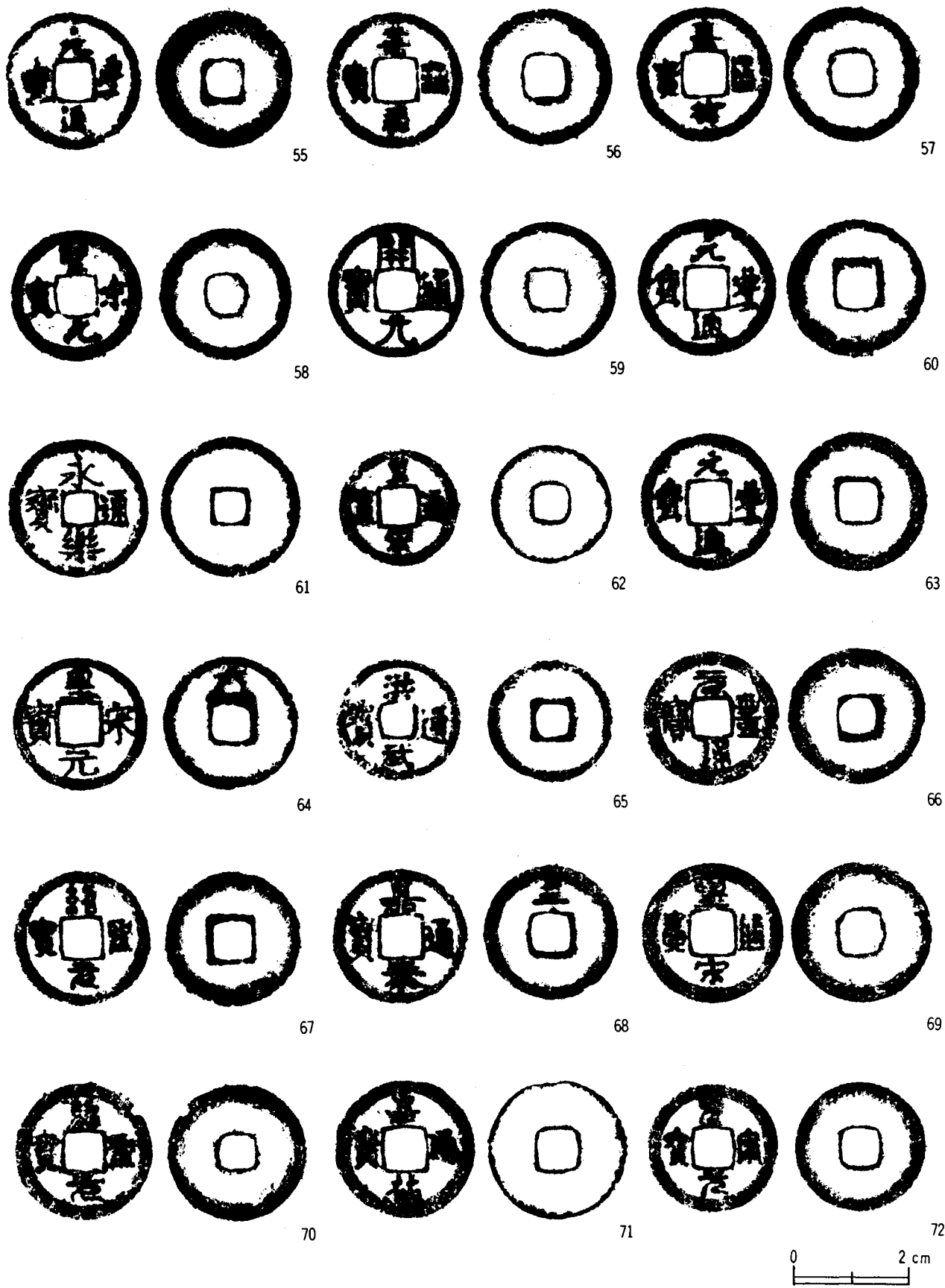
第 65 圖 備蓄錢 (1)



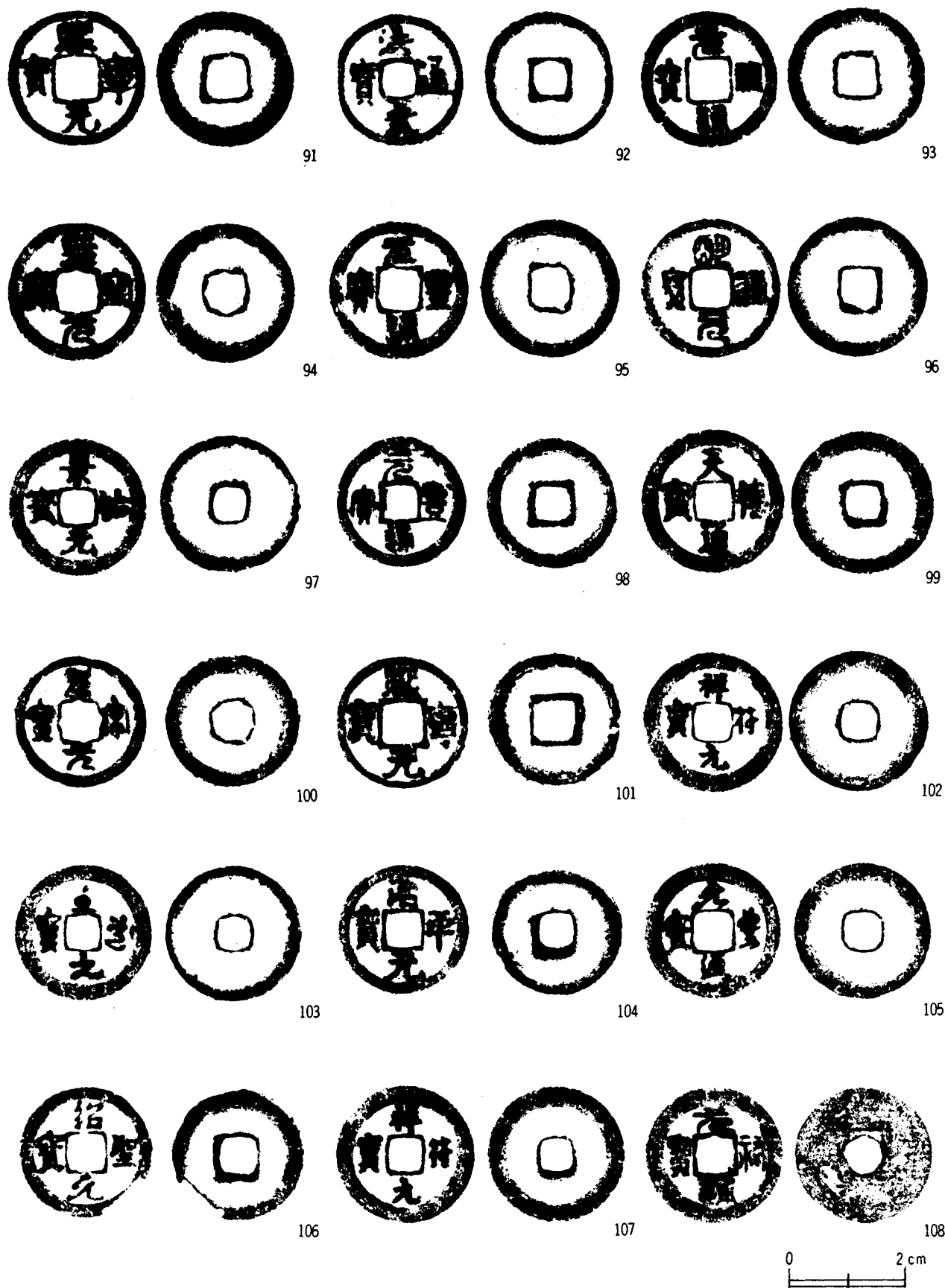
第 66 圖 備蓄錢 (2)



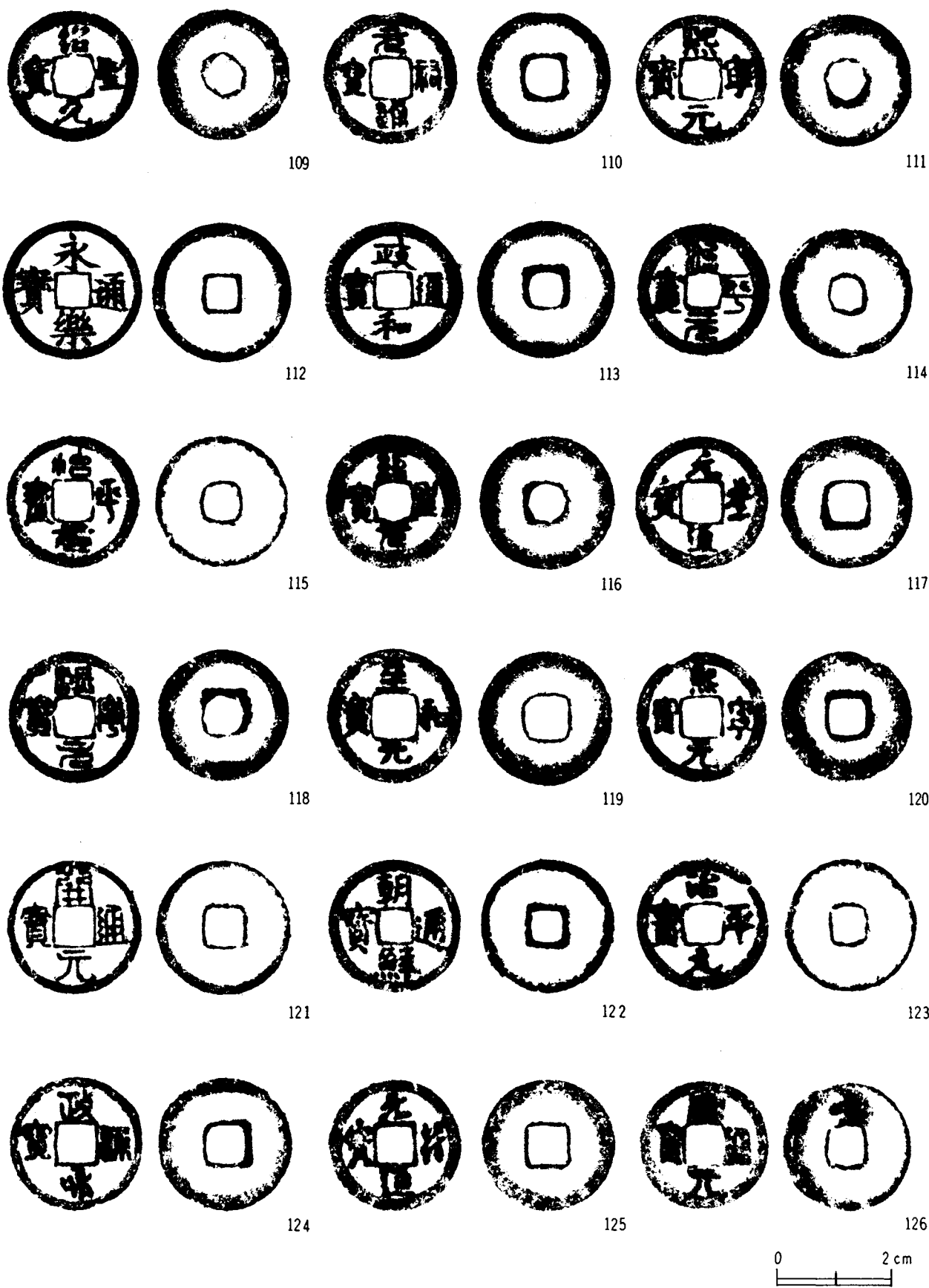
第 67 圖 備 蓄 錢 (3)



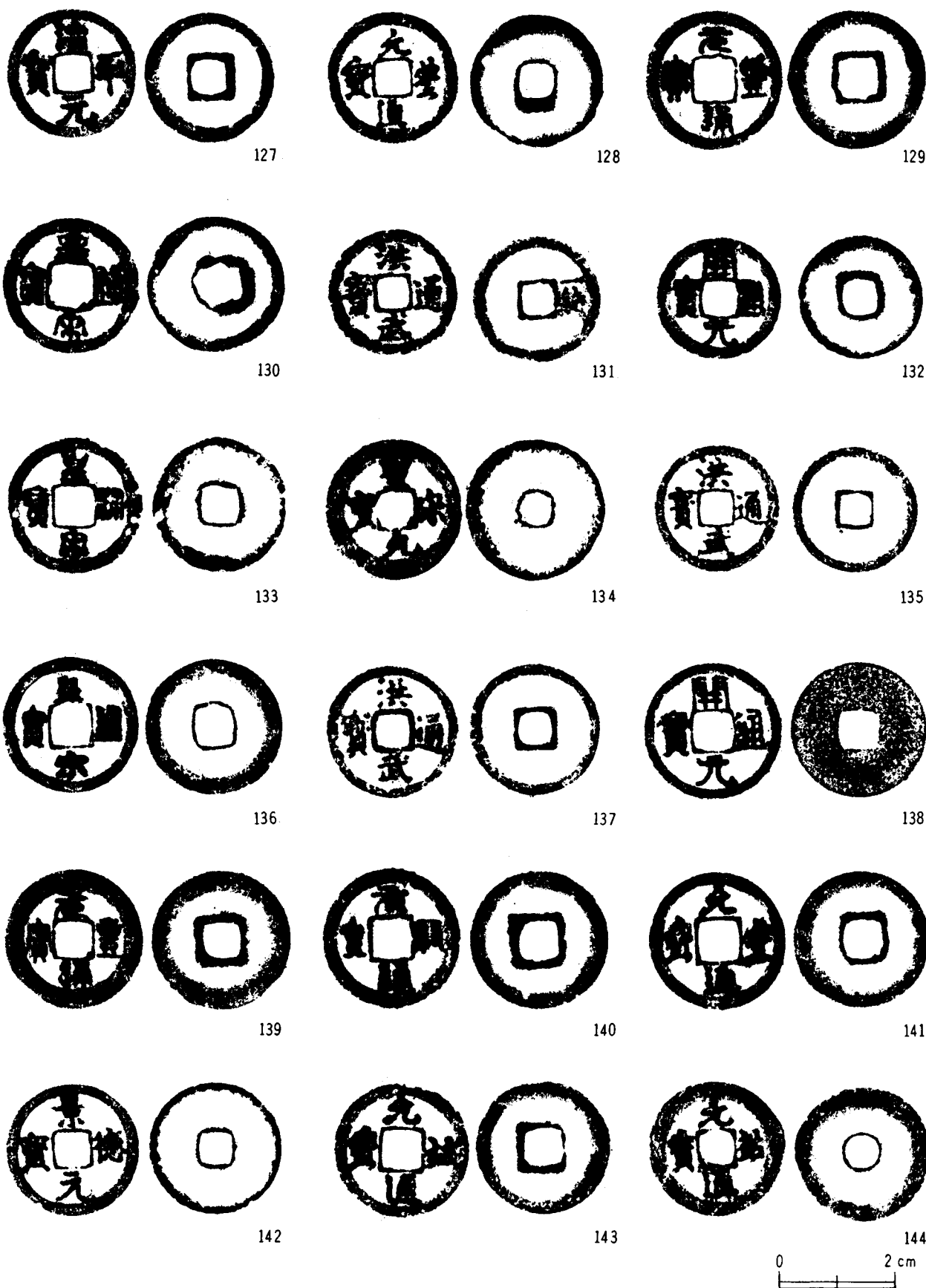
第 68 圖 備 蓄 錢 (4)



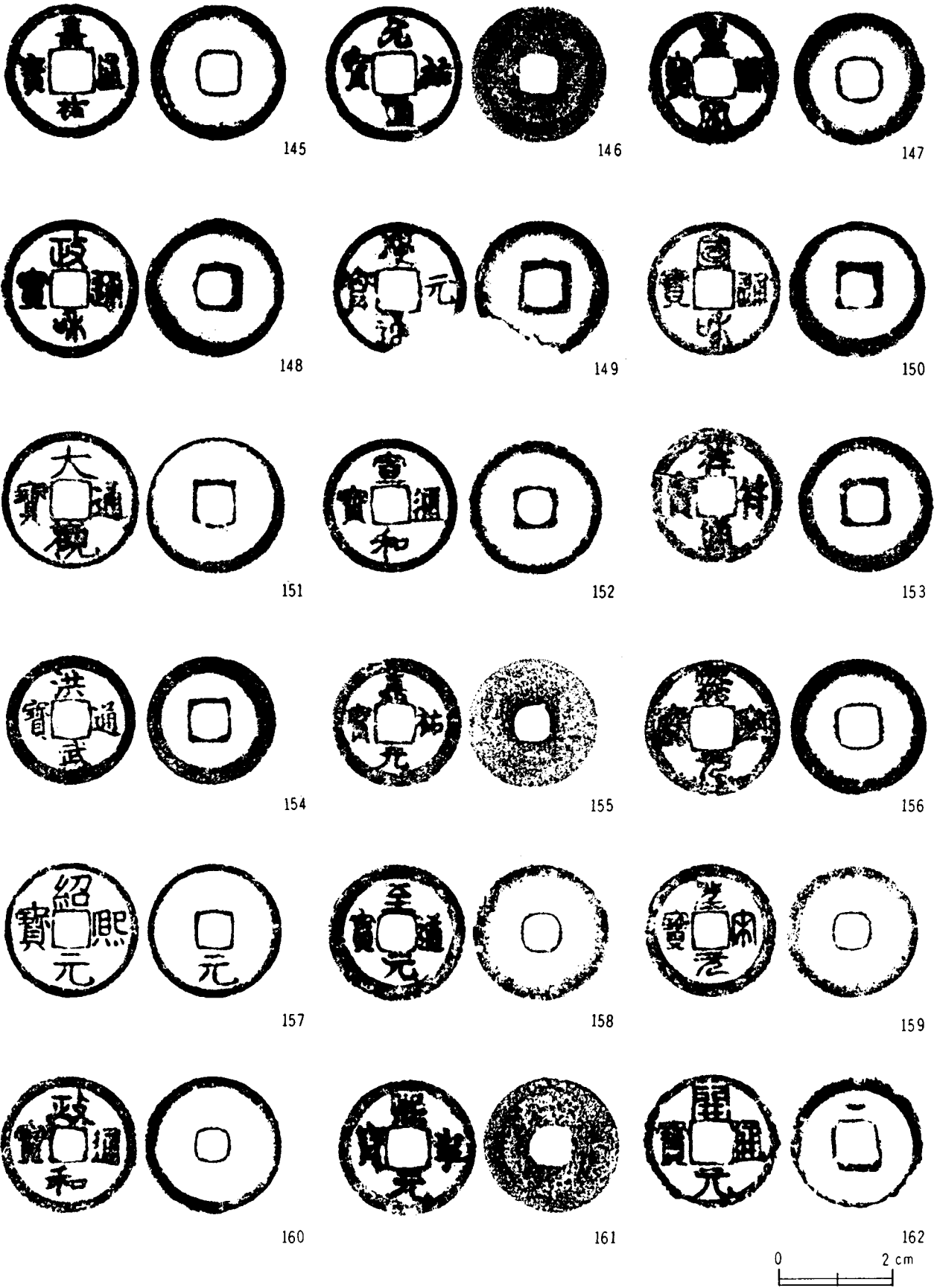
第70圖 備蓄錢（6）



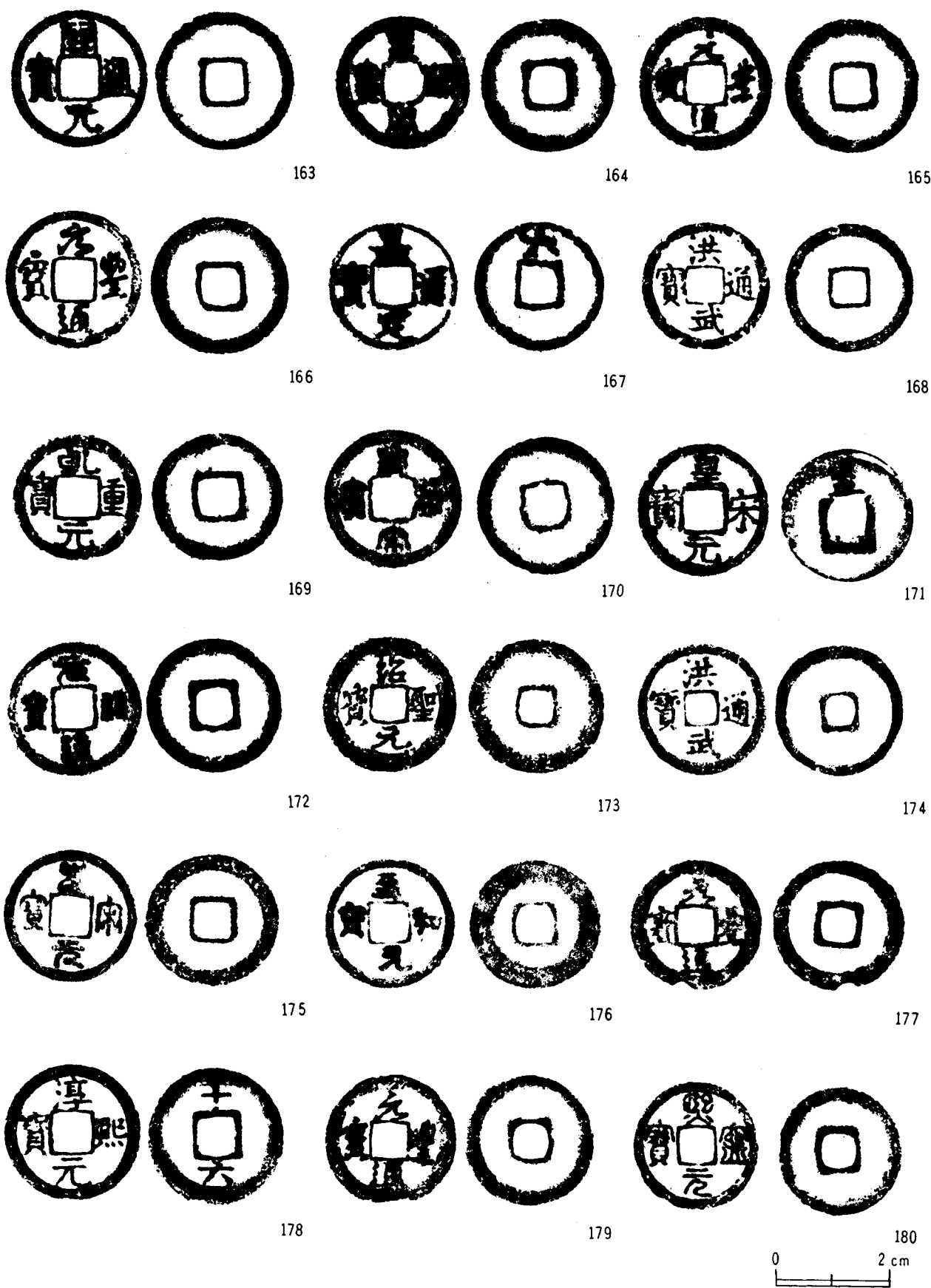
第71圖 備蓄錢（7）



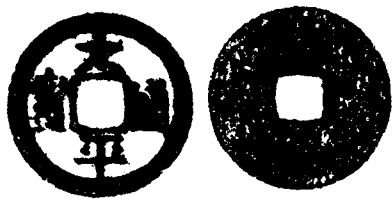
第 72 圖 備 蓄 錢 (8)



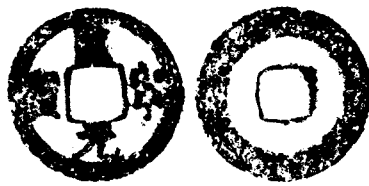
第 73 圖 備蓄錢 (9)



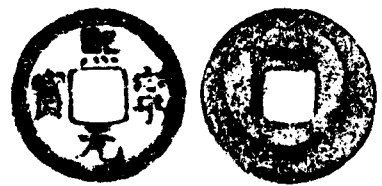
第 74 圖 備蓄錢 (10)



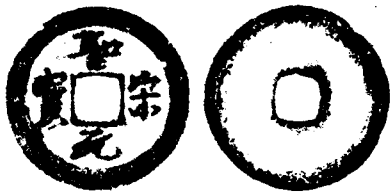
181



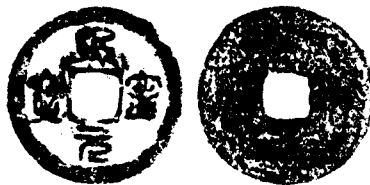
182



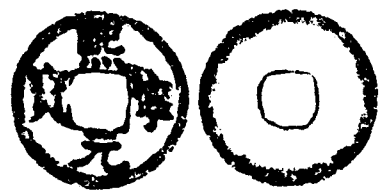
183



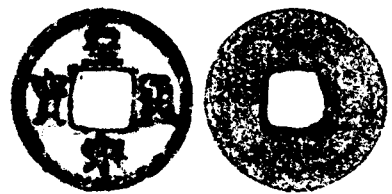
184



185



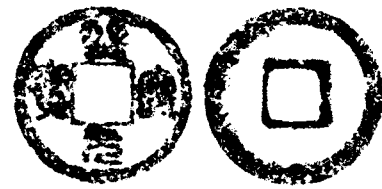
186



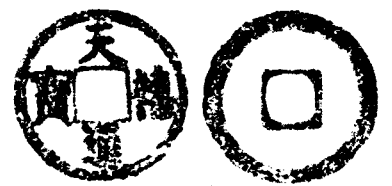
187



188



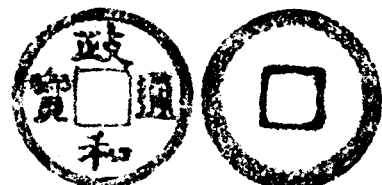
189



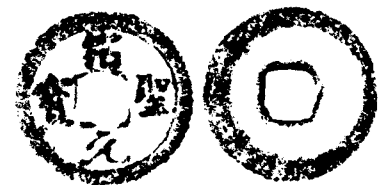
190



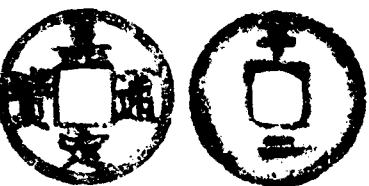
191



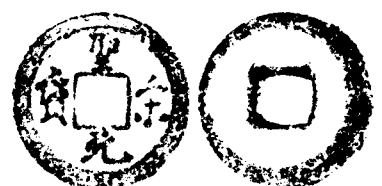
192



193



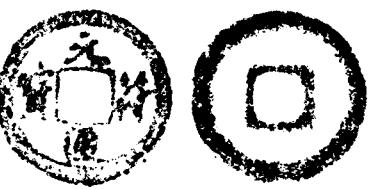
194



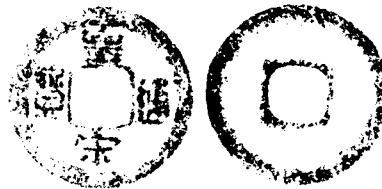
195



196



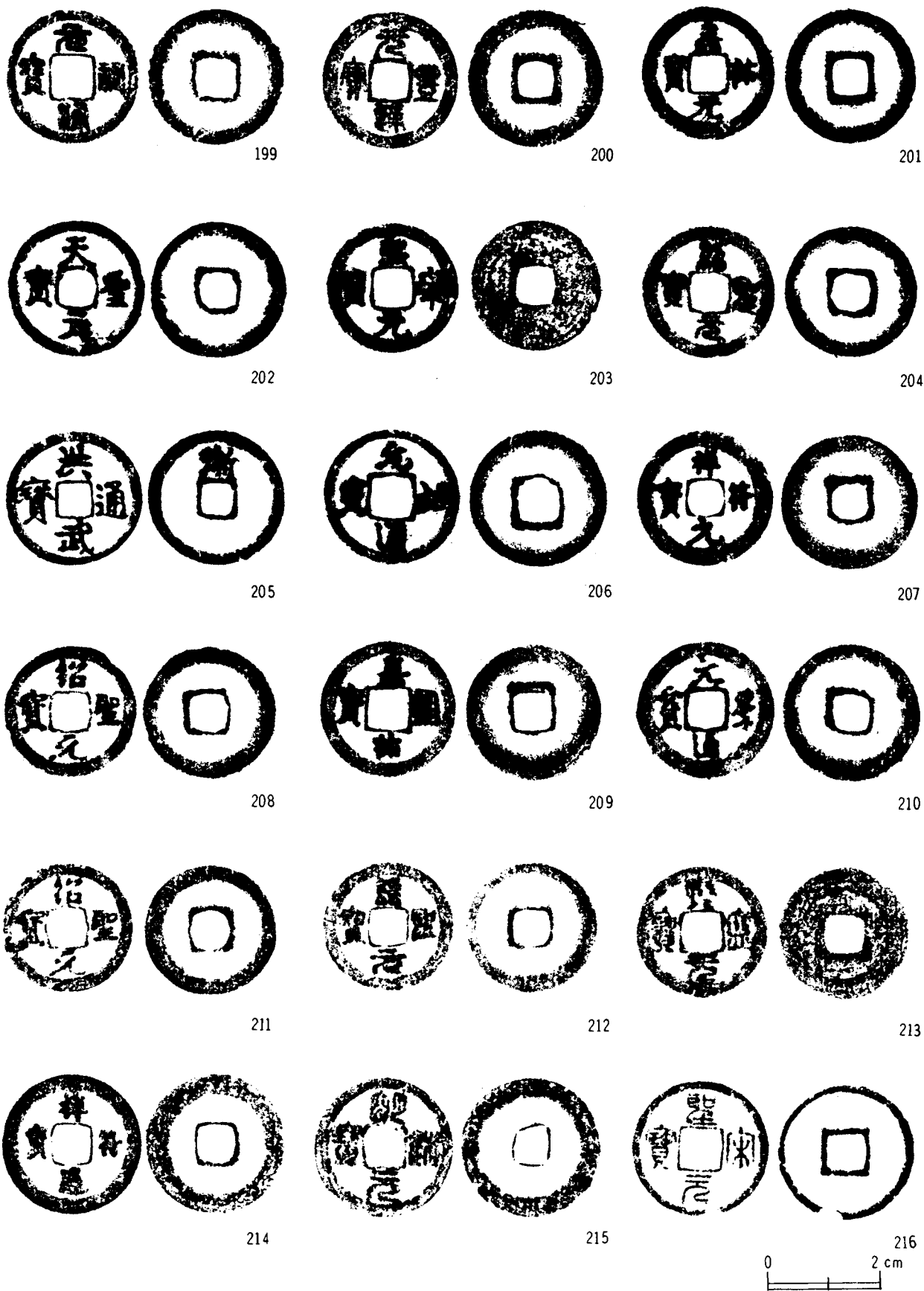
197



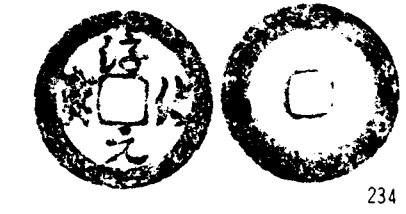
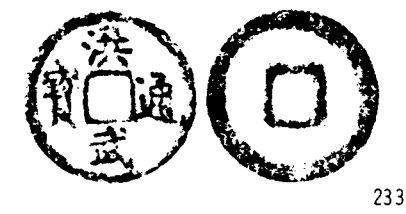
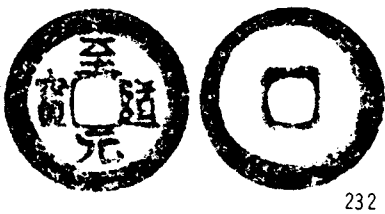
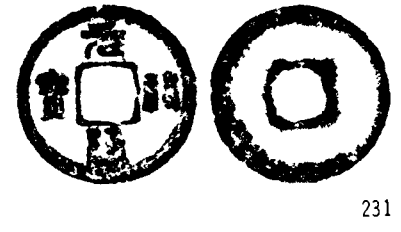
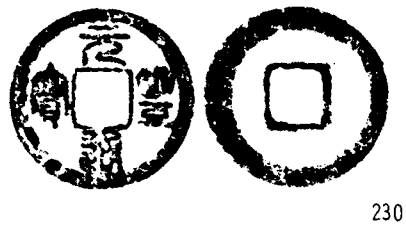
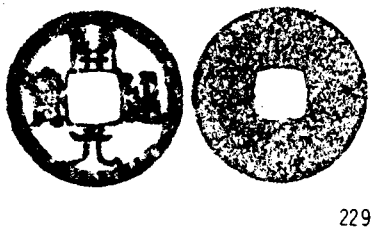
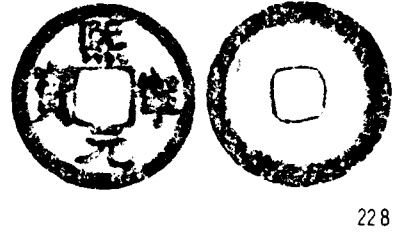
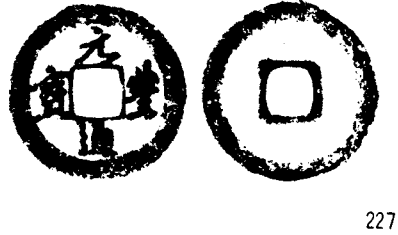
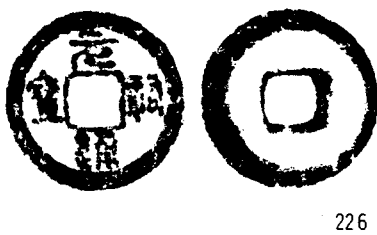
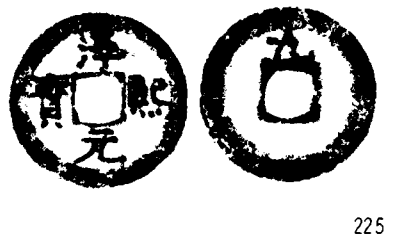
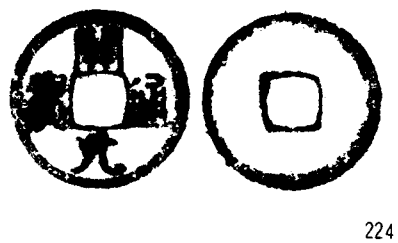
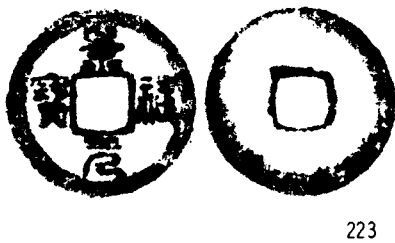
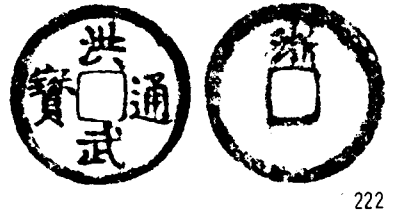
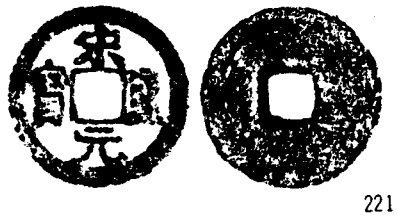
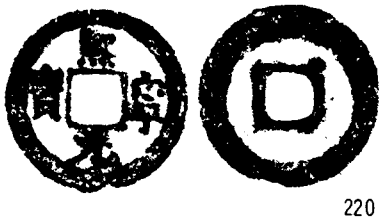
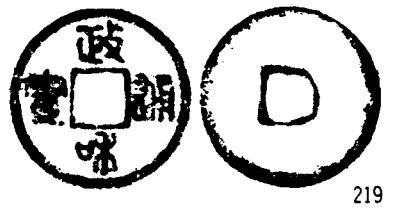
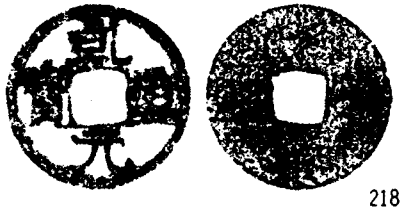
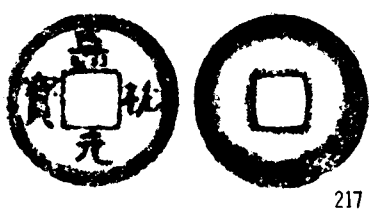
198



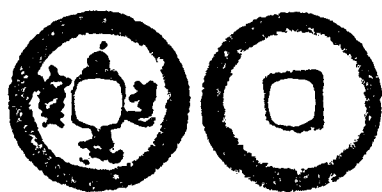
第 75 圖 備蓄錢 (11)



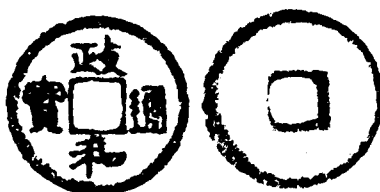
第 76 圖 備蓄錢 (12)



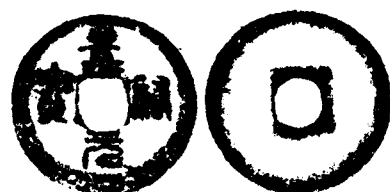
第 77 圖 備蓄錢 (13)



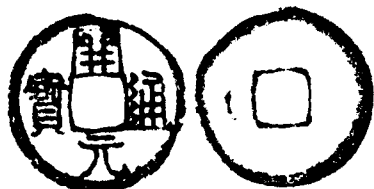
235



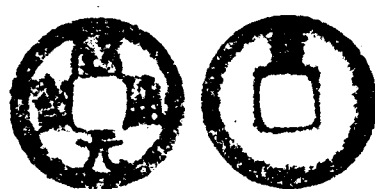
236



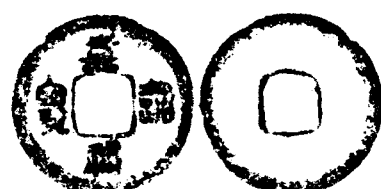
237



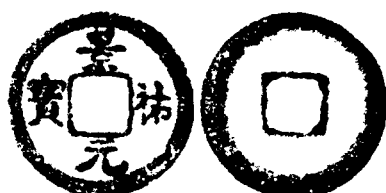
238



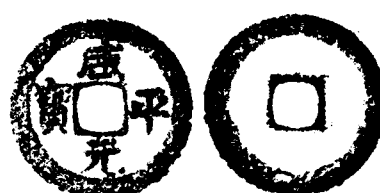
239



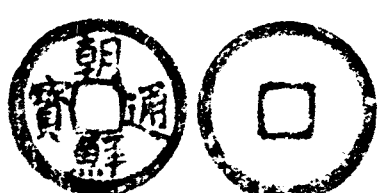
240



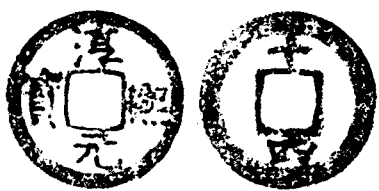
241



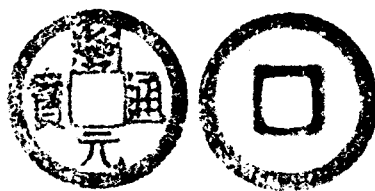
242



243



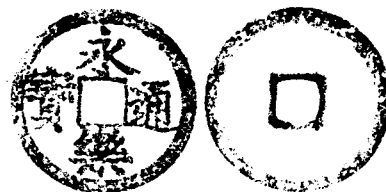
244



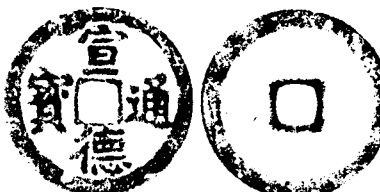
245



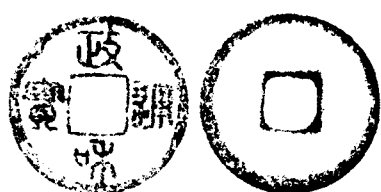
246



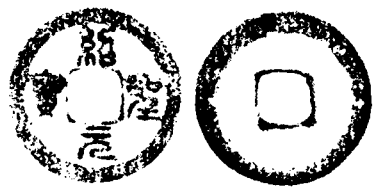
247



248



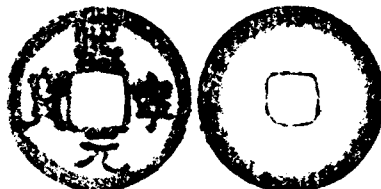
249



250



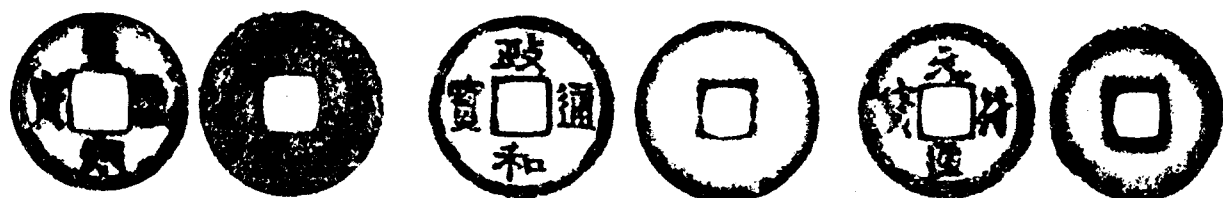
251



252



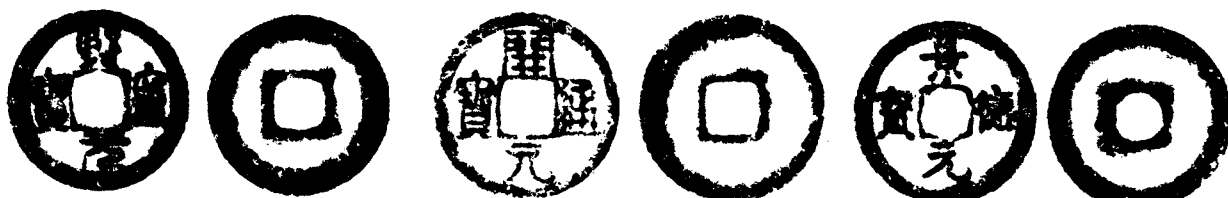
第 78 圖 備蓄錢 (14)



253

254

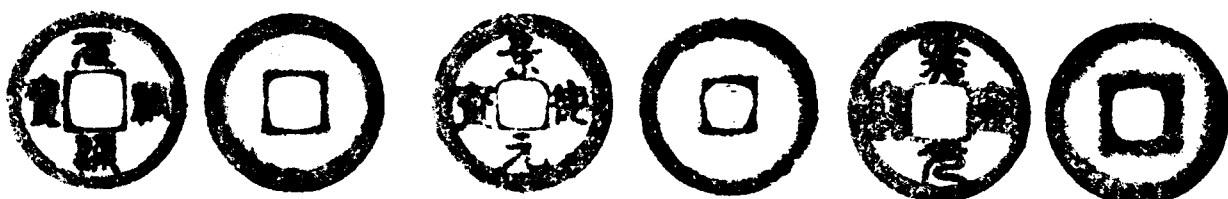
255



256

257

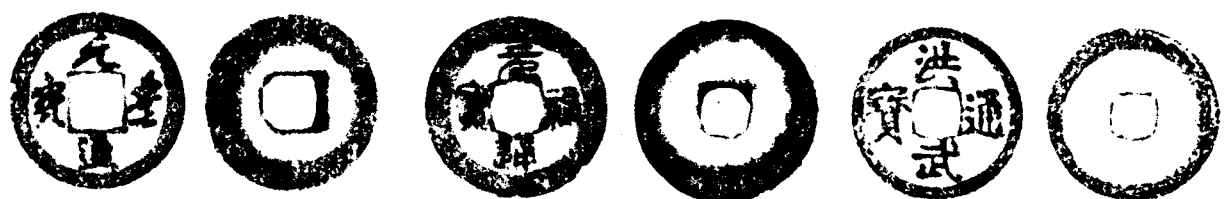
258



259

260

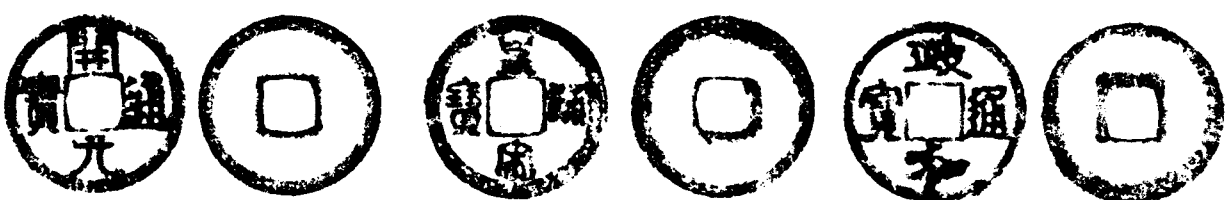
261



262

263

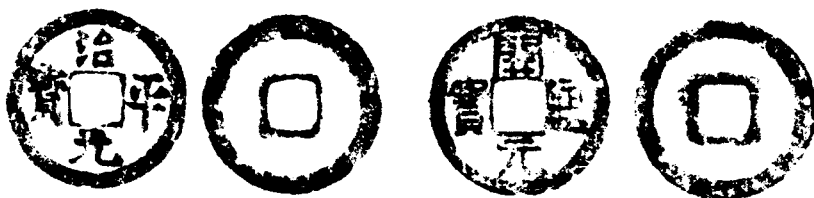
264



265

266

267



268

269



第 79 圖 備 蓄 錢 (15)

備蓄錢觀察表

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径 (cm)	備 考
1	嘉 泰 通 寶	真	南宋 1201	2.4	背上元
2	紹 定 通 寶	真	南宋 1228	2.4	背上四
3	至 大 通 寶	真	元 1310	2.3	
4	正 隆 元 寶	真	金 1157	2.4	
5	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.5	
6	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
7	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.3	
8	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.4	私鑄錢
9	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.5	
10	祥 符 通 寶	真	北宋 1009	2.5	
11	景 定 元 寶	真	南宋 1260	2.4	
12	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.4	私鑄錢
13	至 和 元 寶	真	北宋 1054	2.4	
14	淳 化 元 寶	草	北宋 990	2.5	
15	元 祐 通 寶	行	北宋 1086	2.4	
16	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
17	建 炎 通 寶	真	南宋 1127	2.4	
18	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
19	天 聖 元 寶	篆	北宋 1023	2.5	
20	政 和 通 寶	分楷	北宋 1111	2.5	
21	元 符 通 寶	篆	北宋 1098	2.4	裏面摩滅
22	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
23	天 聖 元 寶	真	北宋 1023	2.5	
24	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.3	
25	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
26	紹 定 通 寶	真	南宋 1228	2.4	背上元
27	至 道 元 寶	草	北宋 995	2.3	
28	治 平 通 寶	真	北宋 1064	2.4	
29	淳 化 元 寶	行	北宋 990	2.4	
30	咸 平 元 寶	真	北宋 998	2.4	
31	嘉 祐 元 寶	篆	北宋 1056	2.4	
32	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.3	
33	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
34	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
35	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
36	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.4	裏面摩滅
37	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
38	治 平 元 寶	真	北宋 1064	2.4	
39	太 平 通 寶	真	北宋 976	2.4	
40	元 符 通 寶	篆	北宋 1098	2.4	破損
41	元 符 通 寶	篆	北宋 1098	2.3	
42	紹 定 通 寶	真	南宋 1228	2.3	背上三
43	至 道 元 寶	行	北宋 995	2.4	
44	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	背右一錢
45	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
46	天 聖 元 寶	真	北宋 1023	2.4	
47	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.4	

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径 (cm)	備 考
48	天 聖 元 寶	篆	北宋 1023	2.5	
49	元 符 通 寶	篆	北宋 1098	2.3	
50	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.4	
51	至 和 元 寶	篆	北宋 1054	2.4	
52	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.5	
53	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
54	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
55	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
56	嘉 祐 通 寶	篆	北宋 1056	2.4	
57	嘉 祐 通 寶	真	北宋 1056	2.4	
58	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.4	私鑄錢
59	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
60	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
61	永 樂 通 寶	真	明 1408	2.5	
62	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.1	
63	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
64	皇 宋 元 寶	真	南宋 1253	2.4	背上六
65	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.2	
66	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.4	
67	紹 聖 元 寶	篆	北宋 1094	2.4	
68	嘉 泰 通 寶	真	南宋 1201	2.4	背上三
69	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
70	紹 聖 元 寶	篆	北宋 1094	2.4	
71	嘉 祐 通 寶	真	北宋 1056	2.5	
72	聖 宋 元 寶	篆	北宋 1101	2.3	
73	天 聖 元 寶	真	北宋 1023	2.4	
74	嘉 祐 元 寶	篆	北宋 1056	2.3	
75	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.3	
76	嘉 祐 通 寶	真	北宋 1056	2.4	
77	咸 淳 元 寶	真	南宋 1265	2.4	背上元
78	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.4	
79	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.3	
80	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.4	
81	嘉 祐 元 寶	真	北宋 1056	2.4	
82	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	背下月
83	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.4	
84	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
85	祥 符 通 寶	真	北宋 1009	2.3	
86	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
87	紹 定 通 寶	真	南宋 1228	2.3	背上五
88	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.3	
89	嘉 祐 通 寶	篆	北宋 1056	2.3	
90	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.3	
91	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
92	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
93	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
94	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.4	

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径(cm)	備 考
95	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.5	
96	明 道 元 寶	篆	北宋 1032	2.5	
97	景 祐 元 寶	真	北宋 1034	2.5	
98	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.3	
99	天 禧 通 寶	真	北宋 1017	2.5	
100	聖 宋 元 寶	篆	北宋 1101	2.3	
101	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
102	祥 符 元 寶	真	北宋 1009	2.5	
103	至 道 元 寶	草	北宋 995	2.4	
104	治 平 元 寶	真	北宋 1064	2.4	
105	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
106	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.4	破損
107	祥 符 元 寶	真	北宋 1009	2.5	
108	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	裏面摩滅
109	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.4	
110	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
111	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
112	永 樂 通 寶	真	明 1408	2.5	
113	政 和 通 寶	分楷	北宋 1111	2.5	
114	治 平 元 寶	篆	北宋 1064	2.4	
115	治 平 元 寶	篆	北宋 1064	2.4	
116	紹 聖 元 寶	篆	北宋 1094	2.5	
117	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
118	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.4	
119	至 和 元 寶	真	北宋 1054	2.4	
120	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
121	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
122	朝 鮮 通 寶	楷	朝鮮 1423	2.4	
123	治 平 元 寶	真	北宋 1064	2.4	
124	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.4	
125	元 符 通 寶	行	北宋 1098	2.4	
126	開 元 通 寶	真	唐 845	2.3	背上益
127	治 平 元 寶	真	北宋 1064	2.3	
128	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
129	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.5	
130	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.4	
131	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	背右一錢
132	開 元 通 寶	真	唐 621	2.3	
133	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.5	
134	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.5	私鑄錢
135	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.2	
136	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
137	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
138	開 元 通 寶	真	唐 621	2.5	裏面摩滅
139	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.5	
140	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.5	
141	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径 (cm)	備 考
142	景 德 元 寶	真	北宋 1004	2.4	
143	元 祐 通 寶	行	北宋 1086	2.4	
144	元 祐 通 寶	行	北宋 1086	2.4	
145	嘉 祐 通 寶	真	北宋 1056	2.5	
146	元 祐 通 寶	行	北宋 1086	2.4	裏面摩滅
147	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.4	
148	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.5	
149	慶 元 通 寶	真	南宋 1195	2.4	破損
150	宣 和 通 寶	篆	北宋 1119	2.4	
151	大 觀 通 寶	真	北宋 1107	2.5	
152	宣 和 通 寶	篆	北宋 1119	2.4	
153	祥 符 通 寶	真	北宋 1009	2.4	
154	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
155	嘉 祐 元 寶	真	北宋 1056	2.3	裏面摩滅
156	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.4	
157	紹 熙 元 寶	真	南宋 1190	2.4	背下元
158	至 道 元 寶	真	北宋 995	2.4	
159	聖 宋 元 寶	篆	北宋 1101	2.4	私鑄錢
160	政 和 通 寶	分楷	北宋 1111	2.5	
161	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	裏面摩滅
162	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	背上月
163	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
164	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.4	
165	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
166	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.5	
167	嘉 定 通 寶	真	南宋 1208	2.3	背上六
168	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
169	軋 元 重 寶	真	唐 758	2.3	
170	皇 宋 通 寶	篆	北宋 1039	2.5	
171	皇 宋 元 寶	真	南宋 1253	2.4	背上王
172	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
173	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.4	
174	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
175	聖 宋 元 寶	篆	北宋 1101	2.4	
176	至 和 元 寶	真	北宋 1054	2.3	
177	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
178	淳 熙 元 寶	真	南宋 1174	2.5	背上十、下六
179	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
180	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.3	
181	太 平 通 寶	真	北宋 976	2.5	裏面摩滅
182	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
183	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	裏面摩滅
184	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.5	私鑄錢
185	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.4	裏面摩滅
186	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
187	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.4	裏面摩滅
188	開 元 通 寶	真	唐 621	2.5	

番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径(cm)	備 考
189	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.4	
190	天 禧 通 寶	真	北宋 1017	2.4	
191	治 平 元 寶	篆	北宋 1064	2.4	
192	政 和 通 寶	分楷	北宋 1111	2.4	
193	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.4	
194	嘉 定 通 寶	真	南宋 1208	2.4	背上十、下二
195	聖 宋 元 寶	行	北宋 1101	2.4	私鑄錢
196	天 禧 通 寶	真	北宋 1017	2.5	
197	元 符 通 寶	行	北宋 1098	2.4	
198	皇 宋 通 寶	真	北宋 1039	2.5	
199	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
200	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.4	
201	嘉 祐 元 寶	真	北宋 1056	2.3	
202	天 聖 元 寶	真	北宋 1023	2.4	
203	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.3	裏面摩滅
204	紹 聖 元 寶	篆	北宋 1094	2.3	
205	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.4	背上浙
206	元 祐 通 寶	行	北宋 1086	2.4	
207	祥 符 元 寶	真	北宋 1009	2.4	
208	紹 聖 元 寶	行	宋 1094	2.3	
209	嘉 祐 通 寶	真	北宋 1056	2.4	
210	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.4	
211	紹 聖 元 寶	行	北宋 1094	2.3	
212	紹 聖 元 寶	篆	北宋 1094	2.3	
213	熙 寧 元 寶	篆	北宋 1068	2.3	裏面摩滅
214	祥 符 通 寶	真	北宋 1009	2.5	
215	明 道 元 寶	篆	北宋 1032	2.5	
216	聖 宋 元 寶	篆	北宋 1101	2.4	破損
217	嘉 祐 元 寶	真	北宋 1056	2.3	
218	軋 元 重 寶	真	唐 758	2.4	裏面摩滅
219	政 和 通 寶	篆	北宋 1111	2.4	
220	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
221	宋 通 元 寶	真	北宋 960	2.4	裏面摩滅
222	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.4	背上浙
223	景 祐 元 寶	篆	北宋 1034	2.5	
224	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
225	淳 熙 元 寶	真	南宋 1174	2.4	背上九
226	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.3	
227	元 豐 通 寶	行	北宋 1078	2.3	
228	熙 寧 元 寶	真	北宋 1068	2.4	
229	開 元 通 寶	真	唐 621	2.3	裏面摩滅
230	元 豐 通 寶	篆	北宋 1078	2.4	
231	元 祐 通 寶	篆	北宋 1086	2.4	
232	至 道 元 寶	真	北宋 995	2.4	
233	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
234	淳 化 元 寶	草	北宋 990	2.4	
235	至 道 元 寶	草	北宋 995	2.4	

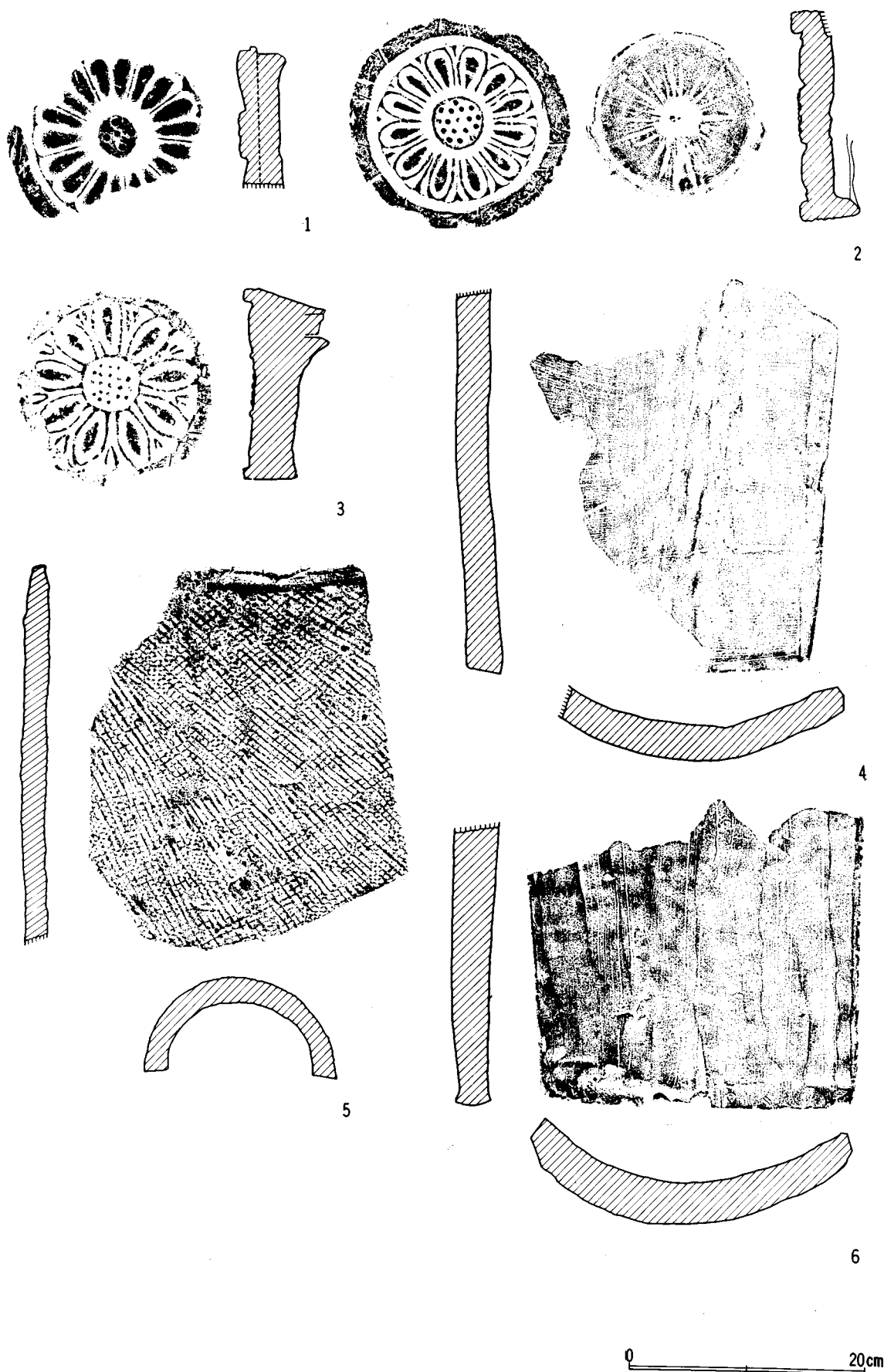
番号	名 称	書 体	初 鑄 年	直径 (cm)	備 考
236	政 和 通 寶	分楷	北 宋 1111	2.4	
237	景 祐 元 寶	篆	北 宋 1034	2.4	
238	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	背左月
239	開 元 通 寶	真	唐 845	2.3	背上梁
240	嘉 祐 通 寶	篆	北 宋 1056	2.4	
241	景 祐 元 寶	真	北 宋 1034	2.5	
242	咸 平 元 寶	真	北 宋 998	2.4	
243	朝 鮮 通 寶	楷	朝 鮮 1423	2.4	
244	淳 熙 元 寶	真	南 宋 1174	2.4	背上十、下四
245	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
246	皇 宋 通 寶	真	北 宋 1039	2.4	
247	永 樂 通 寶	真	明 1408	2.5	
248	宣 德 通 寶	真	明 1433	2.5	
249	政 和 通 寶	篆	北 宋 1111	2.4	
250	紹 聖 元 寶	篆	北 宋 1094	2.3	
251	天 聖 元 寶	篆	北 宋 1023	2.4	
252	熙 寧 元 寶	真	北 宋 1068	2.5	
253	皇 宋 通 寶	真	北 宋 1039	2.4	裏面摩滅
254	政 和 通 寶	分楷	北 宋 1111	2.4	
255	元 符 通 寶	行	北 宋 1098	2.3	
256	熙 寧 元 寶	篆	北 宋 1068	2.4	
257	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
258	景 德 元 寶	真	北 宋 1004	2.4	
259	元 祐 通 寶	篆	北 宋 1086	2.4	
260	景 德 元 寶	真	北 宋 1004	2.4	
261	熙 寧 元 寶	篆	北 宋 1068	2.5	
262	元 豊 通 寶	行	北 宋 1078	2.3	
263	元 祐 通 寶	篆	北 宋 1086	2.4	
264	洪 武 通 寶	真	明 1368	2.3	
265	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	
266	皇 宋 通 寶	篆	北 宋 1039	2.4	
267	政 和 通 寶	分楷	北 宋 1111	2.4	
268	治 平 元 寶	真	北 宋 1064	2.4	
269	開 元 通 寶	真	唐 621	2.4	

12 グリッド・遺跡一括出土瓦（第80図）

比較的遺存状態の良好なもの、特徴的なものを図示した。

グリッド・遺跡一括出土瓦観察表

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/㎡)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
1	複弁9葉蓮華 文軒丸瓦	直径(19.0)	瓦当面：中房直径4.2cm、蓮子5個（1個中央で4個均等に位置）、蓮弁細隆線によって区画され肉薄、間弁なし、界線なし、周縁直立縁で端面が平坦。 瓦当面裏面：指ナデ。瓦当面外周：ヘラケズリ。 成形技法：印籠つき法。		中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-8/2灰白色	良好	瓦当70%	表土剥ぎ遺物
2	単弁12葉蓮華 文軒丸瓦	直径 17.7~18.2	瓦当面：中房直径4.9cm、蓮子17個（1個つおれている）、蓮弁肉薄、間弁「Y」字状-文様の割付が乱れて右斜め上は省略、界線なし、周縁直立縁で端面は平坦でナデられている。 瓦当面裏面：布紋り痕。瓦当面外周：斜格子（小）叩き。成形技法：一本造り。		粗粒砂、中粒砂と少しの細礫を含む。	5Y-8/2灰白色	良好	瓦当完存	L-4Grid出土遺物



第80図 グリッド・遺跡一括出土瓦

グリッド・遺跡一括出土瓦観察表

番号	器 種	法量 (cm)	手 法 、 形 態 の 特 徴	布 目 (本/cm)	胎 土	色 調	焼成	残存率	備 考
3	単弁9葉蓮華 文軒丸瓦	直径 16.0~17.0	瓦当部：中房直径4.4cm、四隅がやや張って正方形形状、細線主体とした表裏、蓮子20個、蓮弁細線 で区画しやや肉厚、間弁「V」字状のもの、弁線 なし、周縁直立縁で端面は平坦でヘラケズリ 瓦当部裏面：指ナデ。瓦当部外周：上半縁方向ヘ ラケズリ、下半縁方向ヘラケズリ。成形技法：印 籠つぎ法。		中粒砂、赤褐色 粒子、粗粒砂と 少しの細砂を含 む。	N-2/黒色	良好	瓦当完存	表土剥ぎ遺物
4	平瓦	厚さ 2.2~3.0	凹：糸切痕、布目痕、ナデ。狭・側端部面取りヘ ラケズリ。 凸：ナデ、ヘラケズリ、一部に布目痕。	6×6	中粒砂、赤褐色 粒子、粗粒砂と 少しの細砂を含 む。	凹：N-5/灰色 凸：7.5YR-6/4に ぶい橙 色	良好	狭端部側	M-5Grid出土遺物
5	丸瓦	狭端(12.0) 厚さ 0.9~2.0	凸：斜格子(小)叩き、狭端部端指ナデ。 凹：指ナデ。	なし	粗粒砂、中粒砂 と少しの細砂を 含む。	凸：N-5/灰色、N-3/暗 灰色 凹：N-4/灰色	良好	狭端部側 70%	H-3Grid出土遺物
6	平瓦	狭端25.5 厚さ 1.5~4.0	凹：広端部から狭端部へ縁方向のヘラケズリ、一 部に布目痕残る。側端部面取りヘラケズリ。 凸：ナデ、側端部面取りヘラケズリ。	6×7	粗粒砂、中粒砂 と少しの細砂を 含む。	凹：10YR-5/3に ぶい黄 褐色、一部7.5YR-6/4に ぶい橙 色 凸：10YR-6/4に ぶい黄 褐色、7.5YR-4/2 灰褐色	良好	狭端部側	L-3Grid出土遺物 凸面に一部黒い箇所 あり。

第6章 ま と め

1 寺について

西別府廃寺は、以前から瓦(軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦)、瓦塔が鬱蒼と茂った林の場所で拾われていたことから寺院跡の存在が推定されていたところである。そして、その瓦は、熊谷市指定文化財の考古資料として昭和30年に指定をうけている。その林も近年の開発の波にのまれ、とうとう発掘調査という手段で記録保存されることとなった。第一次調査は、取り付け道路部分の発掘調査で、寺院関連の遺構としては大溝1条、溝跡1条、住居跡が確認され、第二次調査は、建物建設箇所部分の発掘調査で、第一次調査の続きの溝跡、基壇跡、瓦溜り状遺構、住居跡等が確認された。第一・二次とも残念ながら以前に攪乱を受けており、残り部分は少なかったが、限られた範囲での記録に努めた(第81図)。

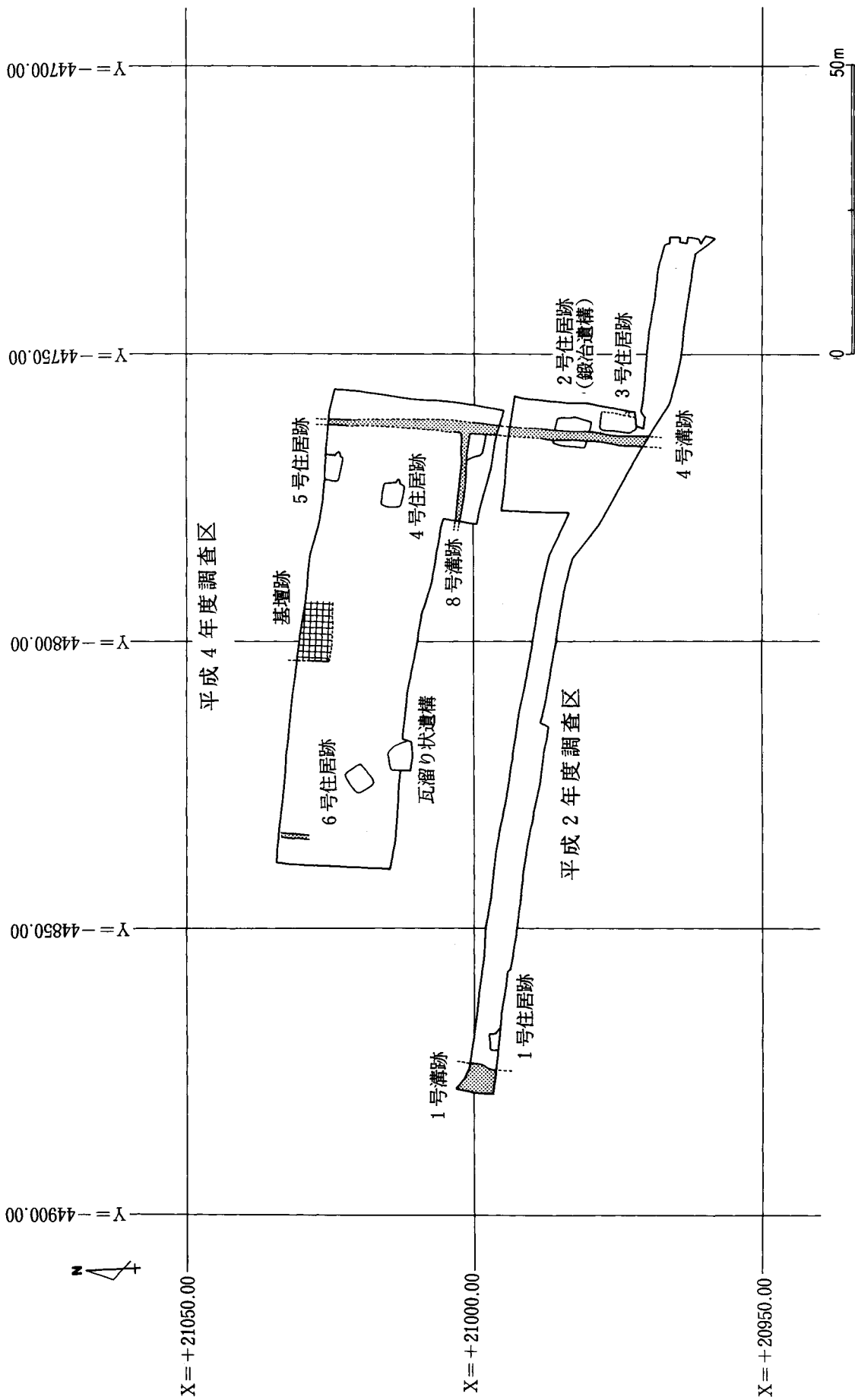
寺は、大きく分けて寺地・寺域・伽藍に地区分けできる。

寺地は、寺の宗教活動を司る機関と施設、寺の運営・維持を司る機関と施設を含む寺の敷地全体であるが、この範囲は定かではない。

寺域は、寺地の中で宗教活動を主にし、寺地の中心に位置する場合の多い地区であるが、瓦の採取される範囲や現在の道路等から東西150m、南北200mと推定され、第一次調査の際に、寺地西辺と推定されている道路の東側で幅5m、深さ1mの南北に走る区画溝(第1号溝跡)が検出された。また、第二次調査区の東部に最大幅1.6mを測る溝跡(第4号溝跡)が検出されている。この溝は、調査区南部で第8号溝跡と接続している。この溝に関しては、寺域の東辺と推定される区画溝と考えることもできるが、第1号溝跡と規模が違いすぎるので、東辺を区画する溝は、もっと東に存在すると考えたほうがよいと思われる。

伽藍配置は、発掘調査において確認できず不明であるが、調査区中央の北端に基壇跡が検出された。これは、第4号溝跡と第6号溝跡?との中間に検出されたが、若干の掘り込み地業を行なった版築基壇で、版築の下部のみ残存していたに過ぎなかった。版築土中からは、川原石や複弁8葉蓮華文・単弁12葉蓮華文軒丸瓦、三重弧文・四重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦が破片の状態で出土した。これらは、基壇構築時に混在したものと推定される。この基壇は、版築土中に前述の軒丸瓦が含まれることから、少なくとも8世紀第3四半期以降のものと考えられる。仮にこの基壇が寺院創建時から存在していたとすれば、この時期に何らかの理由で再構築されたと考えられる。

発掘調査からは、以上の事実が確認されたに過ぎないが、少しながらも寺の実態が明らかになってきたと思う。瓦から時期を判断すると、8世紀第1四半期の複弁9葉蓮華文軒丸瓦から9世紀第3四半期の単弁8葉蓮華文軒丸瓦が、8世紀第1四半期の型挽き三重弧文軒平瓦から8世紀末~9世紀初頭の均正唐草文軒平瓦がそれぞれ出土していることから、8世紀初頭の創建寺院である可能性が考えられる。



第81図 寺院関連遺構配置図

2 瓦について

西別府廃寺からは、軒丸瓦6種類、軒平瓦4種類、丸瓦が玉縁式と行基式の2種類、平瓦は、凸面の成形・調整により大別して格子・縄・平行・ナデの4種類が出土している。また、道具瓦の隅切り瓦が8点出土している。

出土した瓦は、コンテナ数にして204箱(大きさ55×39×14cm)、約3×3cm以上の破片の総点数にして17,476点余りに及ぶ。瓦の出土した地点は、主に瓦溜り状遺構と呼称した遺構で、次に調査区の約60%を占める土坑群である。全遺構に、ほぼまんべんなく瓦が出土している(瓦の各々の数量比率に関しては第4表にて図示する)。

瓦の出土状態としては、遺構を覆う表土中、堅穴状遺構・堅穴住居跡・土坑・溝跡・井戸跡等の埋土中など様々である。住居跡においては、カマドの補強材として使用されている例もある。この内、完形もしくは完形に近いものは、住居跡のカマド補強材として再利用されたもの及び埋土中のものがほとんどである。主流は、破片の状態で出土したものである。

今回の発掘調査により出土した瓦は前述したとおりだが、詳しく述べると、軒丸瓦では複弁9葉蓮華文軒丸瓦複弁8葉蓮華文軒丸瓦(2種類)、単弁12葉蓮華文軒丸瓦、単弁9葉蓮華文軒丸瓦、単弁8葉蓮華文軒丸瓦が軒平瓦では粘土紐桶巻造りの二重弧文軒平瓦、粘土紐・粘土板桶巻造りの三重弧文軒平瓦、粘土紐・粘土板桶巻造りの四重弧文軒平瓦、粘土板一枚造りの均正唐草文軒平瓦が出土している。丸瓦では玉縁式と行基式があるが、この内ほとんどが行基式であり、玉縁式は僅かに12点のみである。丸瓦・平瓦とも凸面の成形・調整の相違により細分することができる。以下詳しく記述する。

(1) 軒丸瓦

軒丸瓦は、瓦当文様よりⅠ類：複弁9葉蓮華文軒丸瓦、Ⅱa類：交叉鋸齒文縁複弁8葉蓮華文軒丸瓦、Ⅱb類：複弁8葉蓮華文軒丸瓦、Ⅲ類：単弁12葉蓮華文軒丸瓦、Ⅳ類：単弁9葉蓮華文軒丸瓦、Ⅴ類：単弁8葉蓮華文軒丸瓦の6種類に分類することができる。以下各類ごとに記述してみる。

Ⅰ類：複弁9葉蓮華文軒丸瓦である。瓦当面の完存する資料はないが、2点出土している。范型が及ぶのは内区までで、外区は無文である。蓮弁が細隆線によって区画され、比較的肉薄である。間弁は省略されていて、花卉を分割する界線となっている。直径4.2cmやや小さめの中房には、蓮子が1+4と1個中央で4個均等に配置されている。外区は周縁が直立し、端面がほぼ平坦に調整されていて幅1.6~1.7cmである。側面はヘラケズリが施され、瓦当裏面はナデが施されている。直径19.0cmと推定され、瓦当厚は中房部分で3.3cmを測る。中房部分に若干の范傷が認められた。丸瓦部との接合方法は、瓦当部裏面の上半に瓦当部を掘凹めて丸瓦を接合し、丸瓦の凹面に粘土を補強している。いわゆる印籠つぎ法である。焼成は還元焰と酸化焰のものが認められる。胎土はやや粗雑で、中粒砂・白色粒子などの粗粒砂・少しの細礫を含む。【第7-33図、第80-1図】

Ⅱa類：複弁8葉蓮華文軒丸瓦である。外区は周縁が三角縁で、交叉鋸齒文が施されている。内区は、蓮弁が細隆線によって区画されやや肉厚である。間弁は省略されていて、花卉を分割する界線となっている。直径5.7cmを測るやや大きめの中房には、大小の蓮子がやや不規則に1+5+8と1個を中央にして配置されている。外区幅は2.2~2.4cmを測る。側面は、瓦当面から約1.0cmの所にひれ状突起があり枷型の使用が想定できる。瓦当面から約0.5~2.5cmの幅でヘラケズリが施されており、丸瓦部のない部分は、ひれ状突起を取るためにヘラケズリを施しているように見受けられる。瓦当裏面はナデが施されており、接合方法はⅠ類のものと同様に印籠つぎ法で、丸瓦の凹面に粘土を補強している。丸瓦凹部のナデは、瓦当裏面から約9.0cmの範囲までで、それ以外は布目痕が残っている。また、粘土の補強は丸瓦部両端部まで及んでいる。直径は18.0~18.6cmを測り、瓦当厚は中房部分で2.5cmを測る。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土はやや粗雑で、中粒砂と粗粒砂の他、0.2cmから大き

いものでは1.0cm程の石英粒を含む。【第7-37図】

Ⅱb類：複弁8葉蓮華文軒丸瓦である。外区は、周縁が直立あるいはやや外傾し、丸みを帯びる。そして内壁には線鋸歯文が施されている。内区は、蓮弁が細隆線によって区画され肉厚である。間弁は省略されていて、花卉を分割する界線となっている。直径5.2～5.5cmを測るやや大きめの中房には、大小の蓮子をやや不規則に1+5+8と配置している。外区側面及び瓦当裏面はナデが施されている。側面は、約1.0cmまで范型が及んでいる。直径は18.0cm、瓦当厚は中房部分で2.5～3.9cm、外区幅は0.9～2.1cmと一定していない。蓮弁の先端2ヶ所に小豆粒程度の范傷が、蓮弁を区画する細隆線が2ヶ所切れている范傷がある。また、瓦当面全体に縞状に木目痕状の范傷が認められる。接合方法はⅡa類と同様印籠つぎ法である。焼成は還元焰と酸化焰のものがある。胎土はやや粗雑で、中粒砂・粗粒砂を含み、0.2～1.9cm大の石英粒を含む。【第7-34・35・36図、第28-1図、第43-13図】

Ⅲ類：単弁12葉蓮華文軒丸瓦である。一番出土量の多い瓦である。外区は、周縁が直立し、端面は平坦にナデが施されている。内区は、蓮弁が細隆線によって区画され、やや肉厚で断面が三角形に近いシャープな感じの花弁である。また、台形に近い形状を示すものもある。間弁は、Y字状で文様の割り付けが乱れている箇所がある。パターンとしては2パターンあり、a：間弁なし花卉中央で区画線がつく、b：間弁なし、c：間弁が花卉中央まで、d：間弁が花卉全長中房まで、e：間弁が花卉先端までとすると、①/a・b・c・c・d・c・d・e・e・d・e・eと②/a・b・c・c・c・c・c・e・e・b・e・eの2パターンである。①が16例で、②が4例ある。中房は直径4.2～5.0cmのやや大きめのもので、蓮子は1+6+10と17個がやや不規則に配置されている。直径は16.2～18.2cmで、瓦当厚は中央部分で1.6～3.0cmである。外区幅はほぼ一定しているが、1.5～2.5cmと一定していないものも見られる。また、周縁の端部の一部に小さい斜格子叩き目痕を残すものも見られる。側面は小さな斜格子叩き目の残るものが主流で丸瓦部まで施されているが、瓦当面から幅5.0～7.0cmのみ叩きが施されている以外はナデられているものが1例、大きい斜格子叩きが施されているものが2例見られた。瓦当裏面には布紋り痕が明瞭に認められ、丸瓦部凹部にも布目痕が残し、一本造りによるものである。焼成は還元焰と酸化焰のものがあり、還元焰焼成がほとんどである。胎土はやや粗雑で、白色粒子・黒色粒子・石英粒の中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。【①：第7-38図、第8-40・41図、第9-43・45・46図、第28-2・3図、第80-2図、②：第8-39・42図、第9-44図】

Ⅳ類：単弁9葉蓮華文軒丸瓦である。外区と内区は細線を主体とした瓦当面の表現により接続している形をとる。蓮弁は、細い凸線で区画されやや肉厚の花弁である。間弁はV字型であるが、V字がくっついていない箇所が3箇所ある。中房は細い凸線で区画するだけで、四隅がややはる正形状を呈し、直径は4.3～4.4cmを測る。蓮子は1+8+11と不規則にやや横に傾斜して20個が配置されている。瓦当部上部で蓮弁を区画する凸細線が接続する形の范傷が、3箇所認められる。また、間弁も上部1箇所凸細線に接続する形の范傷が認められる。直径は16.0～17.0cmで、瓦当厚は中房部分で3.7～4.3cmを測る。外区幅はほぼ一定で0.8～1.2cmを測り、周縁端部はヘラケズリが施され平坦である。側面は、一周縦方向にヘラケズリされたものと上半は縦方向のヘラケズリで下半は横方向のヘラケズリが施されたものとがある。瓦当裏面は、裏面全体をナデしているものとナデの他に下部付近のみヘラケズリを施しているものが認められた。接合方法は印籠つぎ法である。僅かに残る丸瓦部は、凸面は縦方向のヘラケズリで、凹面は接続箇所部分のナデを除けば布目痕が残る。焼成は還元焰と酸化焰で、酸化焰のものは黒色を呈している。胎土は比較的きめが細かく、黒色粒子・白色粒子・赤褐色粒子・若干の石英粒等の中粒砂、粗粒砂と少しの細礫を含む。【第9-47図、第10-48図、第31-22図、第80-3図】

V類：単弁8葉蓮華文軒丸瓦である。瓦当面の完存する資料がなく内区の一部のみである。蓮弁は細線で区画され、ごく肉薄の花弁である。中房も同じく細線で表現され、蓮弁の区画線と接続している。推定直径は4.5 cmで、蓮子は1+4になる配置と推定される。熊谷市西別府安楽寺所蔵の古瓦（瓦当面半分残存）にも同じものが見られ、この瓦から外区幅は2.8 cmで、周縁は直立し端面はやや内傾する。界線が細線で表現されている。間弁はない。側面はナデられ、瓦当裏面は周辺が丸瓦部にそってナデられ、中央部は横方向にナデられている。丸瓦部凸面は、瓦当部と接する部分が横方向にナデられ、他は半分まで縦方向にナデられている。丸瓦部凹面は、瓦当部と接する部分が横方向にナデられている他は布目痕を残している。推定直径は16.8 cmで、瓦当厚は中房部分で1.3 cmを測る。外区幅はほぼ一定で約1.0 cmである。接合方法は印籠つぎ法と考えられる。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土は比較的密で、中粒砂・細粒砂と0.8 cm大の細礫、0.1～0.2 cmの石英粒を含む。【第63-32図】

(2) 軒平瓦

軒平瓦は、瓦当文様からI類：二重弧文軒平瓦、II類：三重弧文軒平瓦(IIa, IIb, IIc₁, IIc₂, II d)、III類：四重弧文軒平瓦(IIIa₁, IIIa₂, IIIb, IIIc)、IV類：均正唐草文軒平瓦(IVa, IVb)の4種類に大きく分類することができる。以下各類ごとに記述する。

I類：二重弧文軒平瓦である。粘土紐巻き上げ桶巻造りのものである。瓦当面は彫りの深い型挽きであり、厚さは2.5～3.3 cmの範囲である。顎は粘土板貼り付け成形の段顎で、幅10.0 cmを測る。弧の上端部には型挽きの際に付いた段が残る。凹面は模骨痕及び布目痕を残す。凸面は横方向に丁寧にナデられており、段顎の粘土板接着部もよくナデられている。側面は平滑に整形されている。全長及び幅は不明である。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土はやや粗く、白色粒子多量・黒色粒子などの粗粒砂・中粒砂、0.7 cm大の石英粒を含む。【第52-2図】

II a類：三重弧文軒平瓦である。粘土紐巻き上げ桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りの深い断面三角形のものと、彫りのやや深い断面隅丸台形のものとがある。厚さは2.9～4.3 cmの範囲に収まる。顎は粘土板貼り付け成形の段顎で、幅は12.5～18.0 cmの範囲に収まる。一部弧の上端部に型挽きの際に付いた段が残るものがある。凹面は丁寧に横方向の指ナデを施す。凸面は小さい斜格子叩きを施し、顎の粘土板接着部分のみよくナデられている。側面はヘラ状の工具で切り離しのものが主流で、ヘラ状工具切り離し後ヘラケズリを施すものや平滑にナデを施しているものも見られる。全長は不明だが、幅は31.4 cmを測るものがあつた。焼成は還元焰のものと酸化焰のものがある。胎土はやや粗く、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・石英粒・雲母粒などの中粒砂・粗粒砂・細礫を含む。【第15-67図、第16-70・71・72・73・74図】

II b類：三重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は彫りの浅い型挽きで、厚さは4.4～4.6 cmの範囲に収まる。顎は粘土板貼り付け成形の段顎で、幅は6.5～7.0 cmを測る。弧の断面は隅丸の台形を呈し、上端部・下端部の一部に型挽きの際についた段が残っている。凹面は縦方向にヘラケズリの後横方向のヘラケズリを一部に施している。凸面はナデにより平滑にした後ヘラケズリを一部に施し、布目痕を残す箇所があるものと大きい斜格子叩き目の残るものがある。また、端部にヘラケズリによる面取りを行なっているものがある。側面は、ヘラ状工具により切り離し後一部ヘラケズリにより面取りを行なっている。全長及び幅は不明である。焼成は酸化焰で褐灰色を呈す。胎土は比較的密で、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・石英粒などの中粒砂と少しの細礫を含む。【第17-80図】

II c₁類：三重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りの深い断面三角形のものと、彫りのやや深い断面隅丸台形のものとがある。厚さは2.7～4.7 cmの範囲に収まる。顎は粘

土板貼り付け成形の段顎で、幅は6.7～9.3cmと狭い。弧の上端部及び下端部に型挽きの際についた段が残るものがある。凹面は模骨痕及び布目痕を残す。また糸切りでの粘土板造りの痕跡を残すものも見られた。凸面は丁寧に横方向にナデが施されている。一部に若干布目痕が残るものが見られた。側面は平滑にナデもしくはヘラケズリが施されている。全長は不明だが、幅は32.0cmを測るものがあった。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土はやや粗く、白色粒子・黒色粒子・1.0cm大の石英粒などの中粒砂・粗粒砂・少しの細礫を含むものと、やや密で白色粒子・黒色粒子・石英粒・雲母粒などの中粒砂と少しの粗粒砂を含むものがある。【第16-68・75図、第17-76図】

II c. 類: 三重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りのやや深い断面隅丸台形のものである。厚さは2.7～3.7cmの範囲に収まる。顎は粘土板貼り付け成形の段顎で、幅は10.5～14.0cmを測り広い。弧の上端部・下端部に型挽きの際についた段が残るものが多いが、ヘラケズリによる面取りで削りとしてあるものが見られる。凹面は模骨痕及び布目痕が残り、瓦当部の一部と側端部付近をヘラケズリによる面取りを施している。凸面は丁寧に横方向にナデが施されていて、前述した様に瓦当部を3.0～5.0cmの幅でヘラケズリを施している例も見られた。側面はヘラケズリによる面取りを行なっている。このヘラケズリ後に平滑にしている例も見られた。全長は不明だが、幅は31.5cmを測るものがあった。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土は密で、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・若干の石英粒などの中粒砂・粗粒砂・少しの細礫を含む。【第15-69図、第17-77・78・79・81図】

II d. 類: 三重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りのやや浅い断面隅丸台形のものである。厚さは3.4～4.2cmを測る。顎は直線顎（無顎）である。弧の上端部・下端部に型挽きの際についた段が若干残る。凹面は模骨痕と布目痕を残す。凸面は大きな斜格子叩きを施した後横方向のナデを施している。瓦当部及び側端部はヘラケズリによる面取りを行なっている。側面はヘラケズリによる面取りを行なっている。全長・幅とも不明である。焼成は酸化焰でおい橙色を呈す。胎土は密で、白色粒子などの中粒砂と少しの細礫を含む。【第18-82・85図】

III a. 類: 四重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りのやや深い断面が台形のものである。厚さは3.4～4.6cmの範囲に収まる。各々の弧の太さはほぼ同じで、瓦の厚みの関係で三重弧になっている箇所が見られる。顎は直線顎（無顎）である。凹面は模骨痕と布目痕が残る。粘土板糸切り痕の残るものも見受けられる。凸面は大きな斜格子叩きを施しており、この格子が一部ナデ消されているものも見られる。また瓦当部で厚みを整えるためかヘラケズリを施しているものも見られる。側面はヘラケズリによる面取りがなされ平滑である。全長は42.5cm、幅は瓦当部側で32.5cm、狭端部で23.0cmを測るものと瓦当部側で29.0cmを測るものがある。焼成は還元焰で灰黄色を呈す。胎土はやや密で、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子などの中粒砂・粗粒砂・少しの細礫を含む。【第18-84図、第32-26図、第52-1図】

III a. 類: 四重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きで彫りのやや深い断面がやや三角形に近い台形を呈すものである。4本の弧の内上下2本は太く、中2本が細くて断面が三角形に近い形をしている。厚さは2.8～4.1cmの範囲に収まる。瓦の厚みの関係で弧の端が三重弧になっている例もある。顎は直線顎（無顎）である。凹面は模骨痕と布目痕が残る。凸面は大きな斜格子叩きを施している。側面はヘラケズリによる面取りがなされ、平滑である。全長は34.5cm、幅は瓦当部側で30.0cmを測るものがある。焼成は還元焰で灰白色を呈すものと浅黄色を呈すものがある。胎土

はやや密であるが、白色粒子・赤褐色粒子・黒色粒子などの中粒砂・粗粒砂と約1.0cm大の細礫を含む。【第19-87・89図、第44-16図】

Ⅲb類：四重弧文軒平瓦である。粘土紐巻き上げ桶巻造りと思われる。瓦当面は彫りの浅い型挽きである。弧の上部から2番目の沈線が浅いものである。厚さは3.2～3.9cmの範囲に収まる。顎の形態は破片のため不明である。凹面は模骨痕と布目痕が残る。瓦当部をヘラケズリによる面取りをしている例も見られる。凸面は丁寧にナデられている。側面はヘラケズリによる面取りを施し平滑になっている。全長・幅とも不明である。焼成は還元焰と酸化焰である。胎土はやや粗く、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子・石英粒などの中粒砂・粗粒砂・細礫を含む。【第18-83・86図】

Ⅲc類：四重弧文軒平瓦である。粘土板巻き付け桶巻造りである。瓦当面は型挽きでⅢa₂類としたものとほぼ同じだが、4本の弧の上下2本の太さが1.0～1.8cmと太い。また、重弧文が側面まで達しておらず幅約1.0cmを残して止まっている。これは、瓦当面端をナデることによって面取りを行なっていることによる。厚さは4.4～5.1cmを測る。顎の形態は破片のため不明である。凹面は模骨痕と布目痕残り、粘土板糸切り痕が一部に見られる。凸面は大きな斜格子叩きを施している。側面はヘラケズリによる面取りがなされ、平滑である。全長・幅とも不明である。焼成は酸化焰で黄橙色を呈す。胎土はやや密で、赤褐色粒子・黒色粒子・石英粒などの中粒砂・粗粒砂と少しの細礫を含む。【第28-4図】

Ⅳa類：均正唐草文軒平瓦である。粘土板巻き付け一枚造りと思われる。内区には牛角状の中心飾りをもつ。主葉の唐草の蔓は、中心飾りの中央付近下から延び初め、下・上と二展開して、直線的で硬化した感じで両端に至る。均正に展開する左右の蔓からは唐草が中間で上へ1つ、両端で上下へ派生している。さらに唐草の支葉1つと棒状の支葉1つを主葉の下に、棒状の支葉2つを主葉の上に配する。文様を作る隆線及び界線は断面三角形ないし台形の細い線である。上・下外区とも珠文を11個(推定)、両脇区にも珠文を中央に1個配する。顎は粘土板貼り付け成形で、断面が三角形の頂点を欠いた狭い段顎で、幅7.2cmを測る。瓦当面中央幅7.4cm、上下界線幅は中央で3.7cm、両端で4.7cm、上弦幅29.2cm(推定)、下弦幅31.2cm(推定)である。平瓦部凹面は布目痕を残し、瓦当面付近はヘラケズリを施している。端部はヘラケズリによる面取りを行なう。平瓦部凸面は縦方向にヘラケズリを施し、顎部分は横方向のヘラケズリと一部に縦方向のヘラケズリを施している。段顎の粘土板接着部分はナデられている。側面はヘラケズリを施している。焼成は還元焰と酸化焰のものがある。胎土はやや粗く、黒色粒子・白色粒子・石英粒・黒雲母粒などの中粒砂・粗粒砂と少しの細礫を含む。【第19-88図】

Ⅳb類：均正唐草文軒平瓦である。粘土板巻き付け一枚造りと思われる。内区には牛角状の中心飾りをもつ。主葉の唐草の蔓は、中心飾りの中央付近下から延び始め、下・上と二展開して、曲線で両端に至る。均正に展開する左右の蔓からは唐草が中間で上へ1つ、両端で上下へ派生している。さらに唐草の支葉1つと棒状の支葉1つを主葉の下に、棒状の支葉2つを主葉の上に配する。文様は全体的にⅣa類に比べて優雅な感じである。文様を作る隆線及び界線は断面三角形ないし台形の細い線である。上・下外区とも珠文を11個(推定)、両脇区にも珠文を中央に1個配する。上部の周縁がほとんど突出していないものも見られる。顎は粘土板貼り付け成形で、断面が三角形の頂点を欠いた狭い段顎で、幅7.0～7.6cmを測る。瓦当面中央幅7.1cm、上下界線幅は中央で4.4cm、上弦幅30.6cm(推定)、下弦幅31.2cm(推定)である。平瓦部凹面は布目痕を残し、瓦当面付近は横方向のヘラケズリと縦方向のヘラケズリを施している。端部はヘラケズリによる面取りを行なう。平瓦部凸面は縦方向のナデを施し、

頸部及びその接着部分は横方向のナデが施されている。側面はヘラケズリによる面取りを行なった後、丁寧にナデが施されている。焼成は還元焰で灰色及び灰褐色を呈す。胎土はやや粗く、白色粒子・黒色粒子・石英粒などの中粒砂・粗粒砂と少しの細礫を含む。【第38-9図、第49-1図】

(3) 丸瓦

丸瓦は、玉縁式丸瓦と行基式丸瓦とが出土している。両者の判別は破片では困難である。判別できた玉縁式丸瓦は僅か12点のみで、他はすべて行基式丸瓦である。

第1次成形では、「粘土紐丸木造り」ものと「粘土板丸木造り」のものと2種類がある。玉縁式丸瓦は、「粘土紐丸木造り」のみ確認されている。凹面は布目痕を残しているものが大半だが、横方向のナデつけをしているものも見られる。行基式丸瓦の「粘土紐丸木造り」は、凸面調整で、以下の通り9種類の調整が見られた。ただし、ナデつけに関しては、叩きが施された可能性もあるが、表面上には確認できない。また、「粘土板丸木造り」は糸切り痕が残ることから、おそらく粘土板であろうと推定できる。その凸面調整は、ナデつけと回転状の横方向のナデの2種類が見られ、凹面に関しては布目痕が残るものに限られるようである。

形態	素材・型	凸面調整	凹面	図版番号
I 玉縁式	a 粘土紐丸木造り	1 回転状横方向ナデ	布目痕	14-65
		2 縦方向ナデつけ	布目痕	12-55・57・58、13-60・62、31-24、37-8、43-14、63-33・35
			ナデつけ	14-64・66
		3 斜格子小叩き及び狭端部付近ナデ	布目痕	12-53、31-23、80-5
			布目痕及び带状のナデ	11-52
			横方向ナデ	13-61、37-6・7、43-15、63-34
		4 斜格子大叩き	布目痕	31-25
			布目痕及び縦方向ナデ	10-49・50
		5 斜格子小叩き及び一部に斜格子大叩き	布目痕	82-1
		6 斜格子大叩き及び一部に斜格子小叩き	布目痕	11-51
II 行基式	a 粘土紐丸木造り	7 長格子叩き	布目痕	82-8
		8 縄叩き	布目痕	82-2
		9 平行叩き	ナデつけ	12-54
		10 ナデつけ	布目痕	13-59・63
		1 回転状横方向ナデ	布目痕	12-56、82-7
	b 粘土板丸木造り			

(4) 平瓦

平瓦の第一次成形は、「粘土紐桶巻造り」、「粘土板桶巻造り」、「粘土紐一枚造り」、「粘土板一枚造り」の4種類である。「粘土紐桶巻造り」は、凹面が布目痕を残しているものが大半だが、凸面の調整が斜格子の叩きを施しているものに限って横方向にナデ消しているものが大半を占める。また、凸面にナデを施しているものの中には、凹面の模骨痕の凹凸をヘラケズリによって平らにしているものが見受けられる。「粘土板桶巻造り」は凹面に布目痕を残し、凸面調整が5種類ある。「粘土板一枚造り」は凸面調整が小さい斜格子叩きで格子目の間隔が広いものとナデを施しているものに限って、凹面に全面ヘラケズリを施しているものが見られた。他は布目痕を残すものである。「粘土紐一枚造り」と思われるものは、凹面に布目痕を残し、凸面に不明瞭な斜格子叩きを施しているものである。

素材・型	凸面調整	凹面	図版番号
a 粘土紐桶巻造り	1 斜格子小叩き	布目痕 横方向ナデ	21-98、34-30、44-17、45-18 20-93・94・95、21-96
	2 斜格子大叩き	布目痕	20-90
	3 斜格子大叩き及び 斜格子小叩き（幅狭） 及び狭端部ナデ	横方向ナデ	32-27、38-10
	4 斜格子大叩き及び 斜格子小叩き	横方向ナデ	20-91、21-97、34-32、38-12・13
	5 斜格子小（格子間広い） 叩き	布目痕及び 一部ヘラケズリ	82-3
	8 長格子叩き	布目痕 ナデ	63-40 82-5
	10 ナデ	布目痕 模骨痕を ヘラケズリ	22-103、24-119、25-124 25-123
b 粘土板桶巻造り	2 斜格子大叩き	布目痕	20-92、33-29
	5 斜格子小（格子間広い） 叩き	布目痕	21-101、22-107、23-108・110
	6 斜格子中叩き	布目痕	82-4
	9 縄叩き	布目痕	21-99、22-102・104・106、33-28
	10 ナデ	布目痕 ヘラケズリ	23-109・113、24-116・117・118・121、 25-122・125、45-19、63-36・38、 80-4 80-6

c	粘土紐一枚造り	7	斜格子（不明瞭）叩き	布目痕	82-6
		5	斜格子小（格子間広い）叩き	ヘラケズリ	34-31
d	粘土板一枚造り	9	縄叩き	布目痕	21-100、63-41
		10	ナデ	布目痕	22-105、23-111?・114?・115、63-37・39
				ヘラケズリ	25-126

(5) 道具瓦

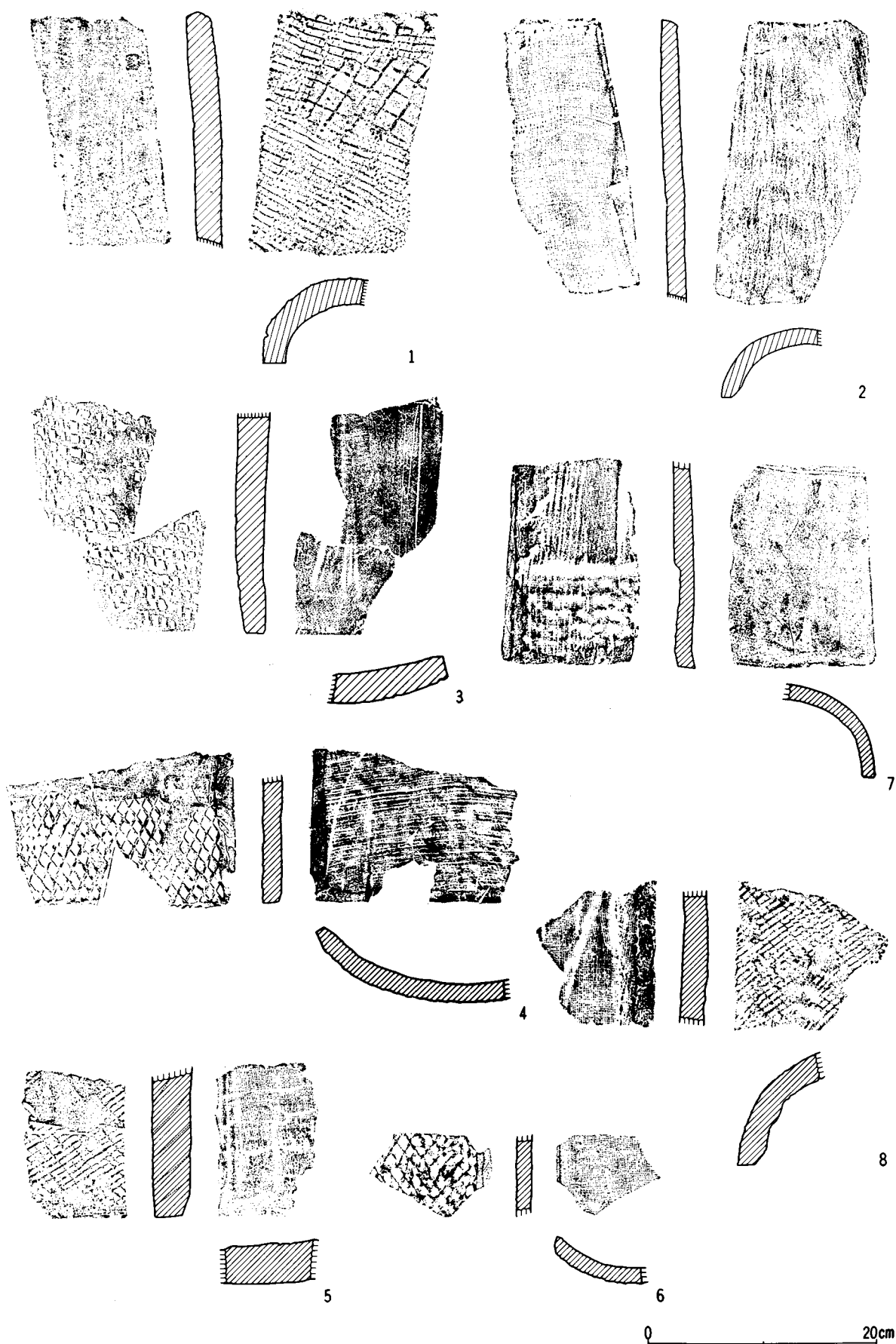
道具瓦は、隅切り瓦が出土した。

隅切り瓦は、8点検出されたに過ぎない。第一次成形は、「粘土紐桶巻造り」（1点）、「粘土板桶巻造り」（7点）と思われる。凹面は、「粘土紐桶巻造り」のものは横方向にナデ消して、「粘土板桶巻造り」のものは布目痕を残しており、糸切り痕を一部残すものがある。凸面調整は、前者が小さい斜格子叩き【第25-128図】が施されており、端部は幅約2.0cmのナデが施されている。一方、後者は縄叩き【第25-127図】とナデ【第38-11図】が施されているものがある。側面は、隅切り部を含めてヘラ切りを行なっている。面取りは、凸面調整に小さい斜格子叩きを施しているものは行なわれていないが、他の2種類のものに関しては、凹面の側面部及び隅切り部には行なっているが、端部には行なっていないようである。また、凸面隅切り部及び端部は、面取りを行なっていないが、側面は面取りを行なっているものが1例あった。焼成は還元焰で、灰色及び灰黄色を呈す。胎土はやや密で、白色粒子・黒色粒子・赤褐色粒子などの中粒砂・粗粒砂と少しの細礫を含む。

(6) 埴

埴は、瓦溜り状遺構から1点【第26-129図】が出土している。

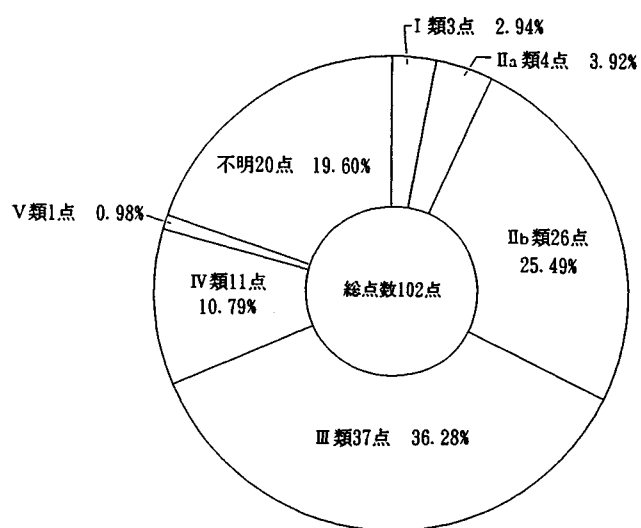
破片であるが、形状は概ね方形（推定）である。厚さは、1.9～3.9cmで、隅が一番薄くて中央にいくにしたがって厚くなる。表裏面は文様が施されておらず、多少凹凸はあるがヘラケズリにより平滑に仕上げられている。側面もヘラケズリにより平滑になっている。焼成は還元焰で灰色を呈す。胎土はやや粗雑で、白色粒子・黒色粒子の中粒砂・粗粒砂を多量に含み、少しの細礫を含む。



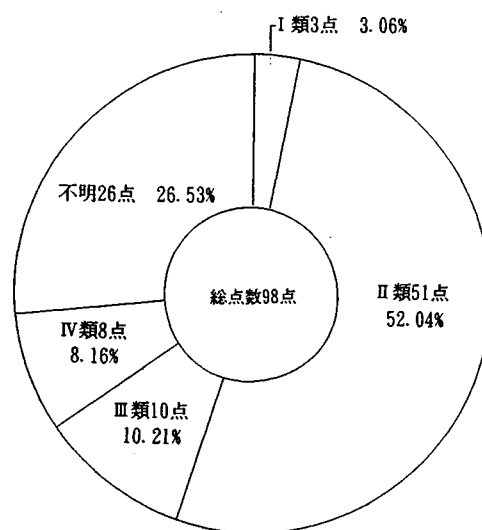
第82圖 出土瓦

第4表 出土瓦数量比

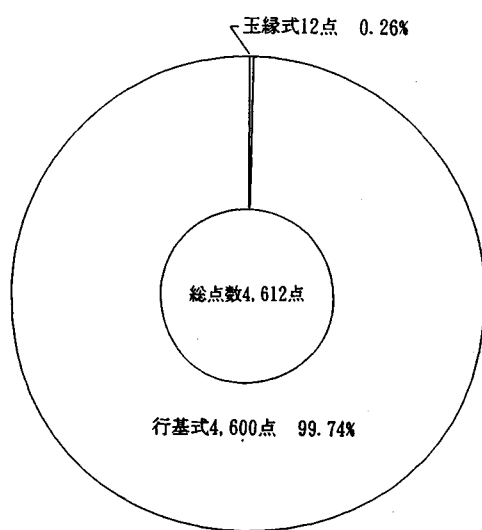
軒丸瓦



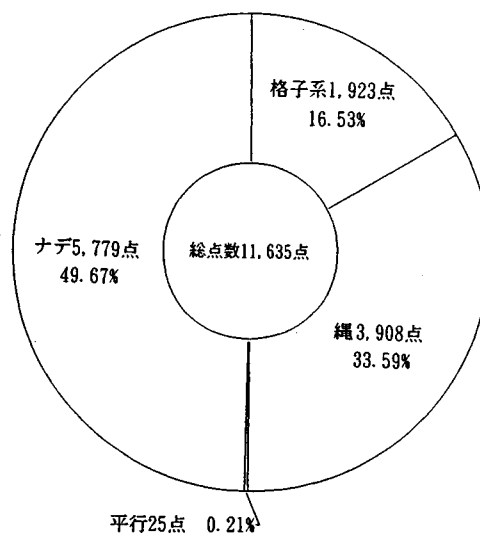
軒平瓦



丸瓦



平瓦



3 瓦塔について

今回の調査では、瓦塔片が25点出土している。内訳は屋蓋部が15点、軸部が10点である。出土位置は大半が土坑群の土坑埋土中からであるが、その他に瓦溜り状遺構・第1号堅穴状遺構の埋土及びグリッド出土のものがある。これらの瓦塔は胎土・焼成・調整技法などの違いから、屋蓋部は大きく分けて須恵質（1点）、土師質（14点）の2種類に、土師質のものは少なくともさらに6種類に分けられる。また、軸部も屋蓋部同様須恵質（1点）、土師質（9点）に分けられ、土師質のものはさらに2種類に分けられると考えられる。

図83-1は、灰色を呈し須恵質の屋蓋部で、半截竹管状工具により幅1.0cmの丸瓦のみ表現されている。垂木は地垂木・飛檐垂木の両方を表現し、最初にヘラで垂木幅に切り取り線を入れ、削り出して作っている。地垂木は長さ約3.5cmで、飛檐垂木は約2.0cmと短い。地垂木・飛檐垂木ともあまり顕著に表現されていない。

図6-28は、灰色を呈し須恵質の軸部で、逆凸字型の斗拱が表現されている。面はヘラケズリにより平滑に処理されている。胎土・焼成が図83-1によく似ており、同一種のものと考えられる。

屋蓋部の図61-16・17、図83-2～12は、土師質焼成のものである（他に1点あるが欠損部多いため図示していない）。丸瓦の表現から幅0.6cmのもの【図61-17、図83-4・8・11】と幅0.8cmのもの【図61-16、図83-2・3・5～7・9・10・12】に分けられる。いずれも半截竹管状工具により、丸瓦のみ表現されている。幅0.6cmの丸瓦のものは、垂木表現の違いで、さらに2種類に分けられる。図61-17の垂木間の広いもの（a）と図83-4の垂木間の狭いもの（b）である。（a）・（b）ともヘラにより削り出されているが、（a）はヘラにより切り取り線を入れてから垂木を作り出しているのが分かる。

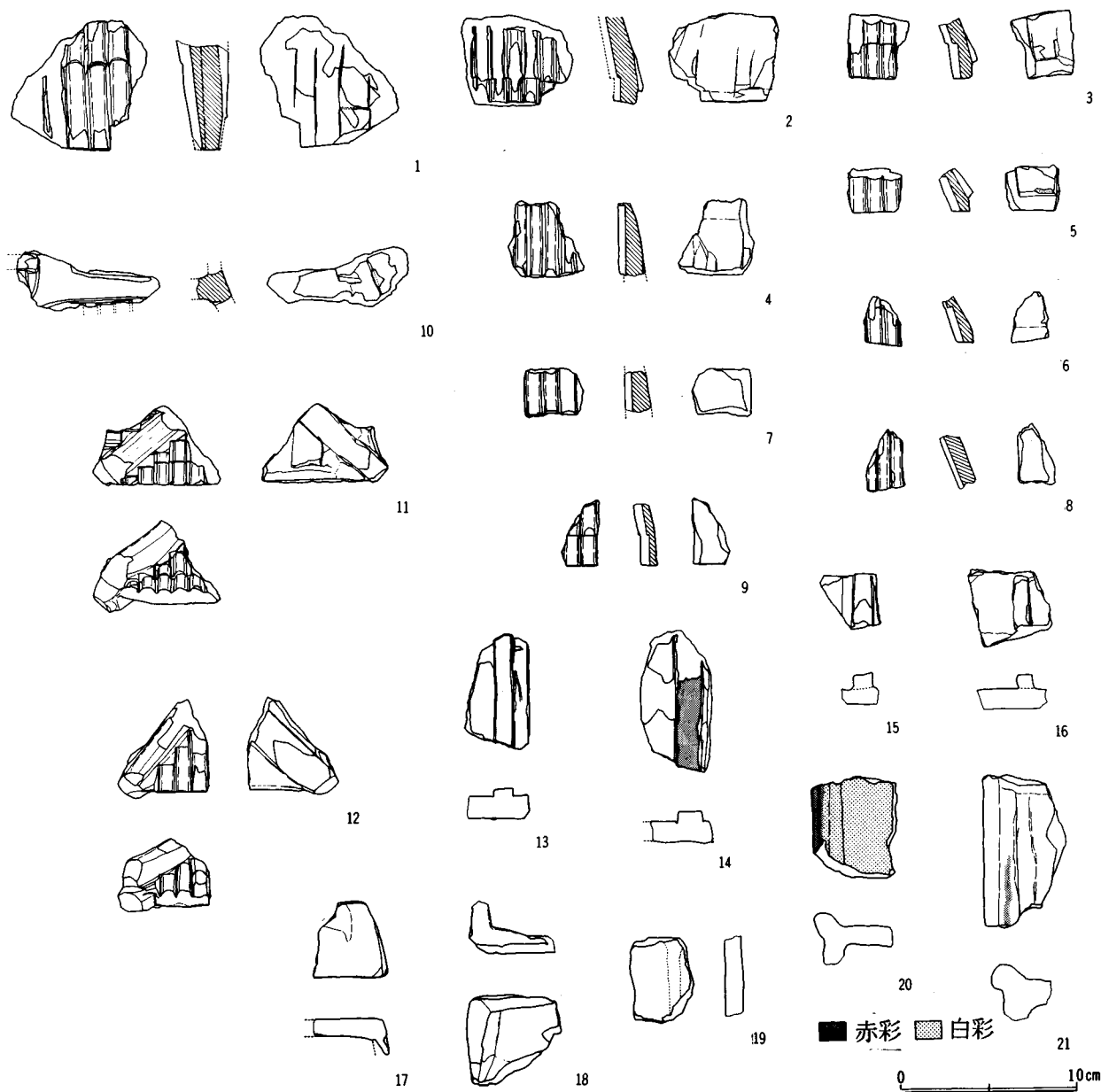
一方、幅0.8cmの丸瓦のものは、丸瓦の軒先から一番目の継目までの長さと垂木表現で、少なくともさらに4種類に分けられる。図83-2は、継目までの長さが1.3～1.6cmと短いもの（c）である。垂木は最初切り取り線を入れ、削り出されている。図83-5は、継目までの長さが約2.0cmのもの（d）である。垂木はしっかりしたもので、やはり最初に切り取り線を入れ、削り出されている。また、軒先の面に赤彩した痕跡がある。図83-3は、（d）と同様に継目までの長さが1.9～2.0cmのものだが、垂木の表現が（d）と比べると幅の狭い（（d）の約1/2）垂木である（e）。これもまた最初に切り取り線を入れ、削り出されている。図示はしなかったが、継目までの長さが2.5cmと長いもの（f）がある。垂木表現は（b）と似ている。

図61-16と図83-10～12は、隅棟の部位である。図83-11は、丸瓦の表現が幅0.6cmのもので、隅棟は断面が隅丸方形を呈し、幅約1.5cmの隅垂木が削り出されて表現されている。図61-16と図83-10・12は、丸瓦の表現が幅0.8cmのもので、図61-16は、隅棟が比較的高く、断面が三角形に近い形状を呈し、図83-12は、隅棟が細い隅丸方形を呈す。隅垂木は、図61-16が約1.7cmで、図83-12は約2.0cmと広い。

軸部の図83-13～21は土師質焼成のものである。成形によって粘土板作り【図83-13・15～17・19】と粘土紐作り【図83-14・18・20・21】の2種類に分けられる。図83-20は、軸部の隅柱の部位である（a）。隅柱に赤彩の痕跡が残っている。外部はナデられているが、内部はヘラケズリが施されている。図83-21も隅柱付近のものである（b）が、隅柱に赤彩が、壁に白彩が認められる。外部は非常に平滑にされているが、内部は未調整に近い感じのナデが施されているだけである。隅柱は、（a）が半円状の断面を呈しているのに対して、（b）はかなり直線的に突出した断面を呈している。図83-17は二軸より上部の軸部で、内・外部ともヘラケズリにより平滑にされている。図83-18も軸部であるが、組物（斗拱）の部分が欠損している。内・外部ともナデられているが、内部は粘土紐痕が残っている。図83-13・14は、初軸の開口部側が残存している部位で、柱である粘土帯が削り出されて作られているようである。図83-14は、

柱の部分に赤彩痕が薄く残っている。一方、図83-16は台輪付近と推定される部位で、柱の粘土帯は貼り付けられている。また、図83-15も柱の粘土帯が残る部位で、粘土帯はやはり貼り付けられている。いずれの粘土帯も方形の断面を呈すが、前者は長方形で、後者は正方形に近い形である。図83-19は、上記以外のもので一番薄い（厚さ約1.0cm）粘土板作りである。粘土帯が脱落した痕跡を残している。

土師質焼成のものは、屋蓋部と軸部とのセット関係の判断が難しいが、胎土・焼成・色調から図83-4と図83-13・16、屋蓋部（f）と図83-21、図61-17と図83-20、図83-2と図83-15、図83-12と図83-18がよく似ているようである。



第83図 西別府廃寺出土瓦塔

以上、寺・瓦・瓦塔に関して事実関係のみをまとめとして記述してみた。今後これらの資料を活用し、西別府
廃寺の実態に迫れればと考える。

参考・引用文献

- 『熊谷の文化財』熊谷市文化連合 1978
- 新井 端「武蔵・寺内廃寺」の発掘調査』『渡来人と仏教文化 武蔵国寺内廃寺をめぐる』柳田敏司・森田
梯編 雄山閣 1994
- 『埼玉県古代寺院跡調査報告書』埼玉県県史編さん室 1982
- 高橋一夫他「シンポジウム『北武蔵の古代寺院と瓦』」『埼玉考古』第22号 埼玉考古学会 1984
- 『埼玉のかわら』埼玉県民俗工芸調査報告書第4集 埼玉県立民俗文化センター 1986
- 昼間孝志他「北武蔵における古瓦の基礎的研究Ⅰ」『研究紀要』（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1986
- 昼間孝志他「北武蔵における古瓦の基礎的研究Ⅱ」『研究紀要』第4号 （財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団
1988
- 宮昌之「埼玉県における古代瓦の諸問題（1）」『研究紀要』第14号 埼玉県立歴史資料館 1993
- 高橋一夫「北武蔵における古代寺院の成立と展開」『埼玉の考古学』柳田敏司先生還暦記念論文集刊行委員会編
新人物往来社 1987
- 酒井清治「窯・郡寺・郡家－勝呂廃寺の歴史的背景の検討－」『埼玉の考古学』柳田敏司先生還暦記念論文集刊
行委員会編 新人物往来社 1987
- 篠崎潔『巨樹原・檜下遺跡Ⅱ 奈良・平安時代編1－朝日工業㈱児玉工場関係埋蔵文化財発掘調査報告－』巨樹
原・檜下遺跡調査会 1990
- 前沢和之他『史跡上野国分寺跡発掘調査報告書』群馬県教育委員会 1988
- 田熊清彦『下野国府跡Ⅸ 瓦類調査報告』栃木県埋蔵文化財調査報告第100集 （財）栃木県文化振興事業団
1990
- 星野猷二「鍍瓦製作と分割型」『考古学雑誌』第67巻第2号 日本考古学会 1981
- 毛利光俊彦「軒丸瓦の製作技術に関する一考察－范型と枷型－」『畿内と東国の瓦』京都国立博物館編 真陽社
1990
- 高崎光司「瓦塔小考」『考古学雑誌』第74巻第3号 日本考古学会 1989
- 石村喜英「勝呂廃寺の創建をめぐる諸問題」『埼玉の考古学』柳田敏司先生還暦記念論文集刊行委員会編 新人
物往来社 1987
- 高崎光司「瓦塔瞥見」『研究紀要』第7号 （財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団 1990

西 別 府 廃 寺 （ 第 2 次 ）

写 真 図 版



西别府庵航空写真



1 調査区西部遺構（土坑群）



2 調査区東部遺構（土坑群）



1 瓦溜り状遺構遺物出土状態 (1)



2 瓦溜り状遺構遺物出土状態 (2)



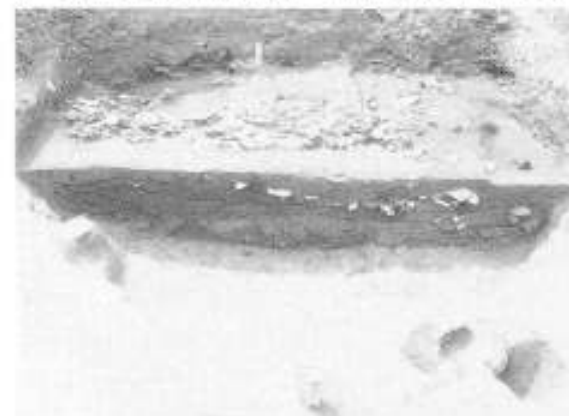
3 瓦溜り状遺構軒丸瓦・軒平瓦出土状態 (1)



4 瓦溜り状遺構軒丸瓦・軒平瓦出土状態 (2)



5 瓦溜り状遺構高坏出土状態



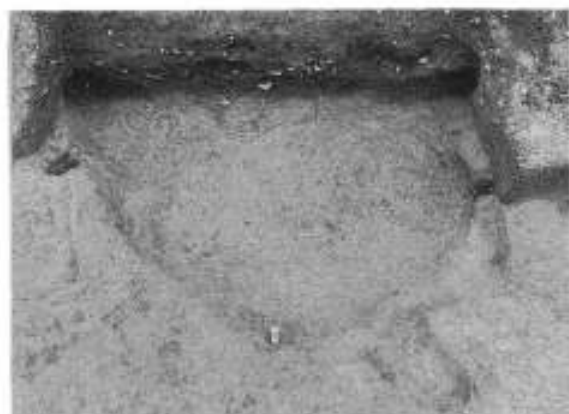
6 瓦溜り状遺構土層断面 (東西)



7 瓦溜り状遺構土層断面 (南北1)



8 瓦溜り状遺構土層断面 (南北2)



1 瓦溜り状遺構



2 基壇跡検出状態



3 基壇跡版築(1)



4 基壇跡版築(2)



5 基壇跡



6 第4号住居跡遺物出土状態



7 第4号住居跡軒丸瓦出土状態



8 第4号住居跡軒平瓦出土状態



1 第4号住居跡平瓦出土状態



2 第4号住居跡



3 第5号住居跡遺物出土状態



4 第5号住居跡カマド付近遺物出土状態



5 第5号住居跡カマド遺物出土状態



6 第5号住居跡



1 第6号住居跡坏・甕出土状态



2 第6号住居跡



3 第1号竖穴状遺構遺物出土状态



4 第2号竖穴状遺構遺物出土状态



5 第24号土坑甕出土状态



6 第85号土坑遺物出土状态



7 第98号土坑板石塔婆出土状态



8 第218号土坑備蓄銭壺出土状态



5-17



5-20



6-29



5-19



5-23



25-128

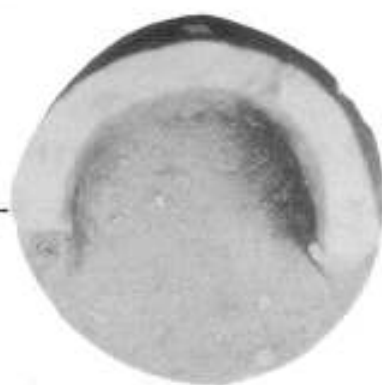


7-33



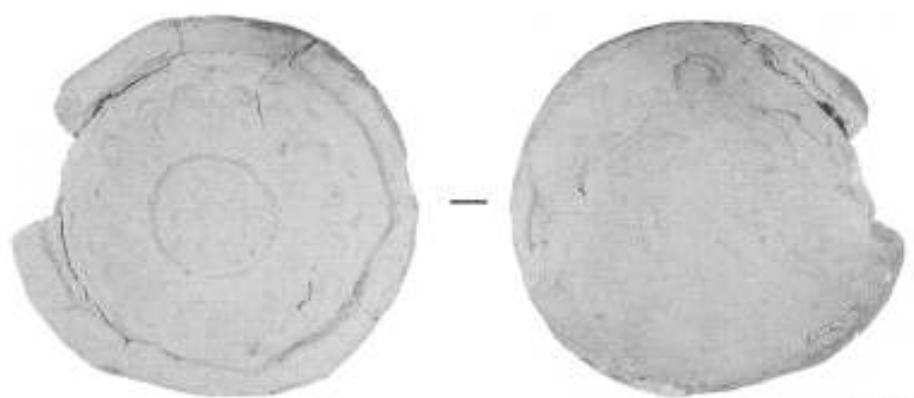
6-31

6-30



7-37

图版 7



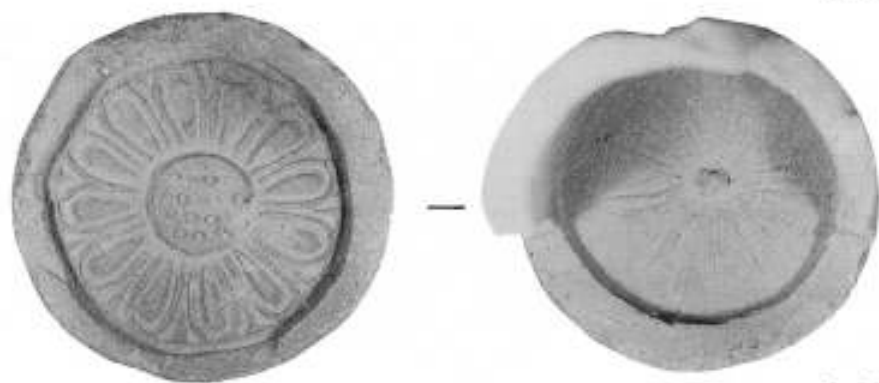
7-34



7-35



7-38



8-39



9-47



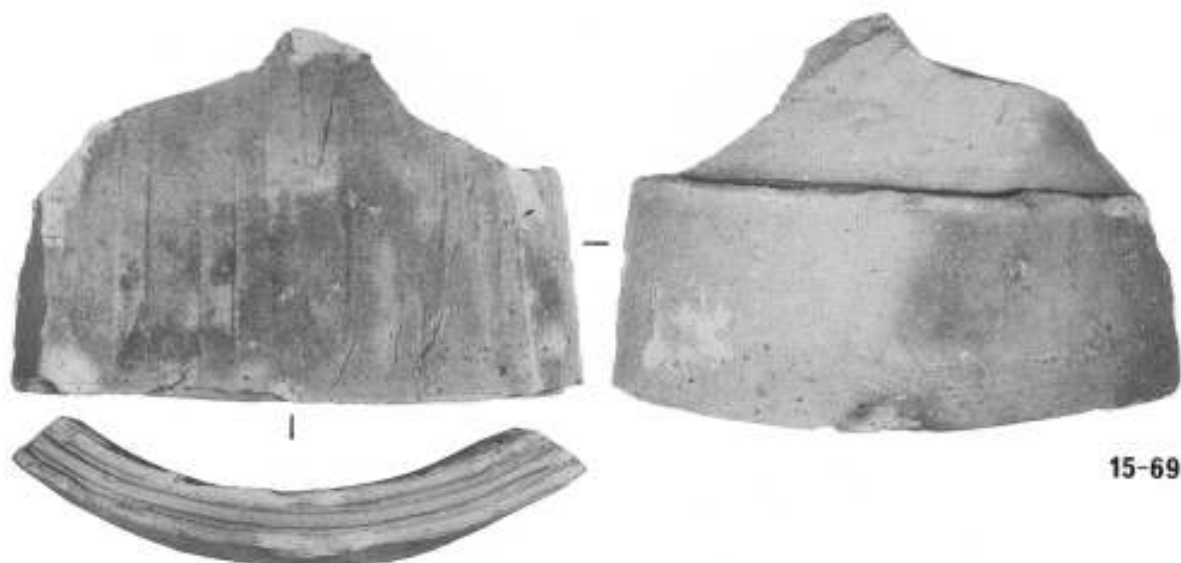
10-48



15-67



图版 9



15-69



18-82



19-88



27-3



27-5



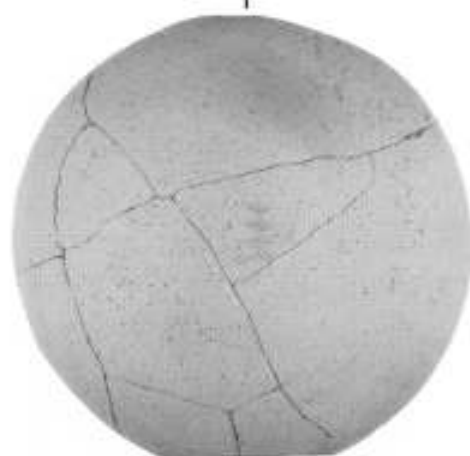
29-3



29-4



29-6



29-9



29-17



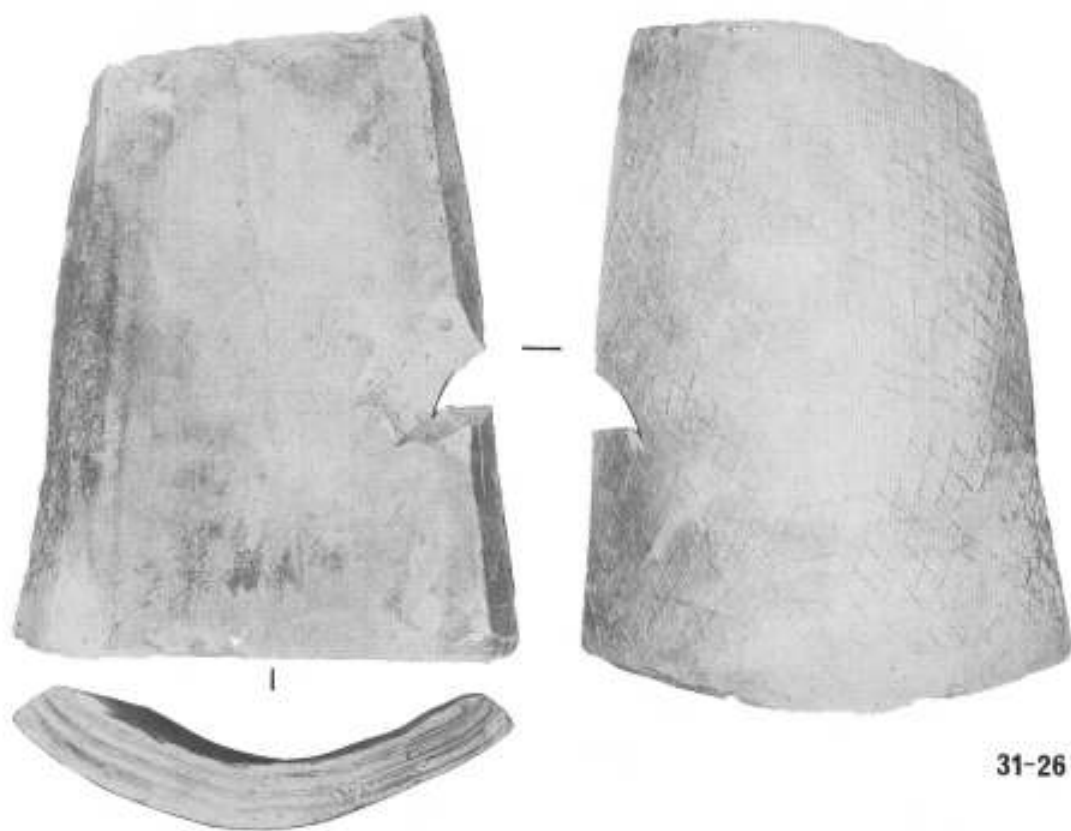
29-11



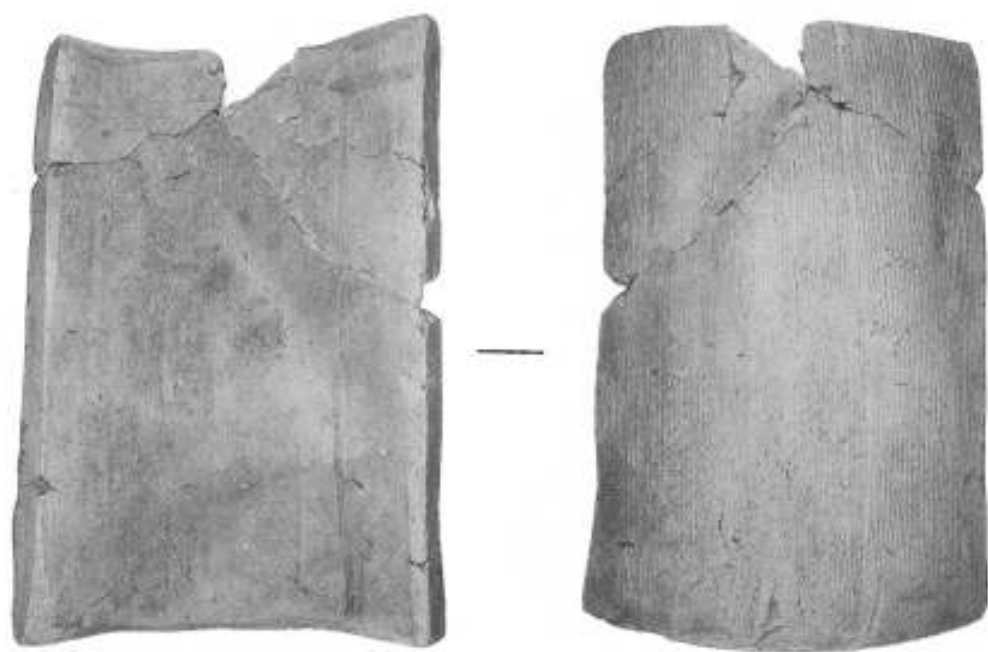
29-12



30-22



31-26



32-28



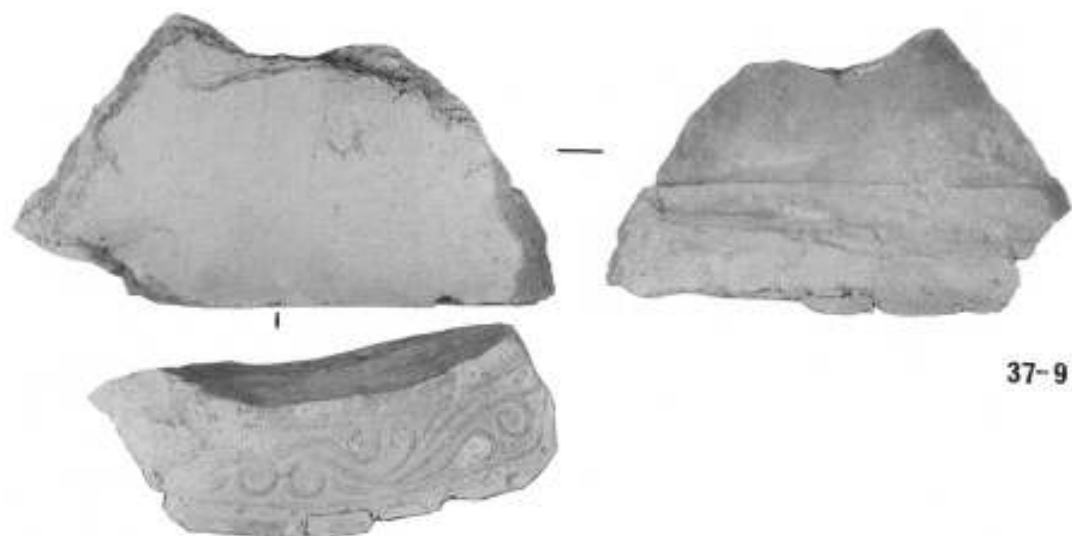
31-27



32-29



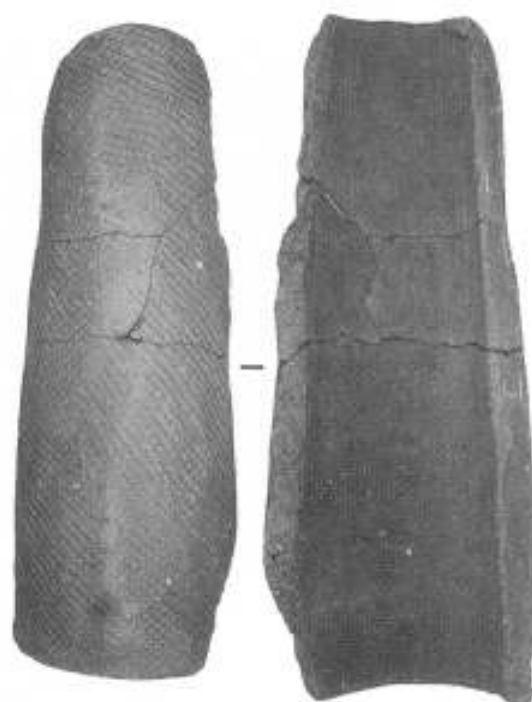
35-4



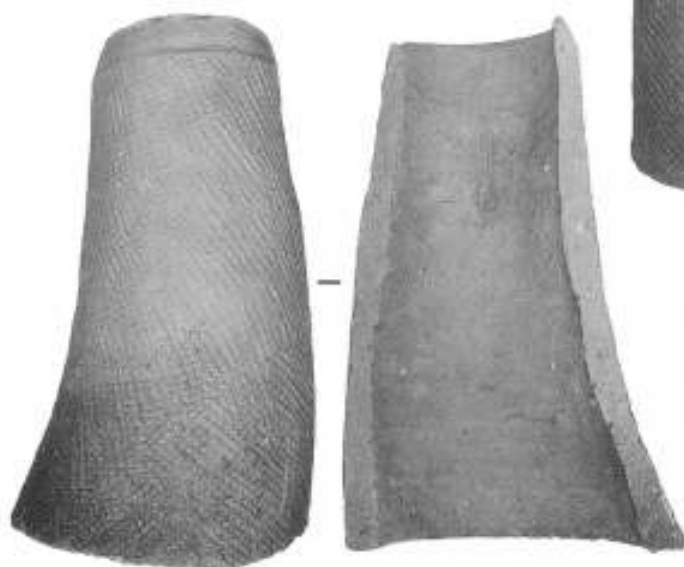
37-9



36-8



36-6



36-7



39-2



37-10



41-2



41-7



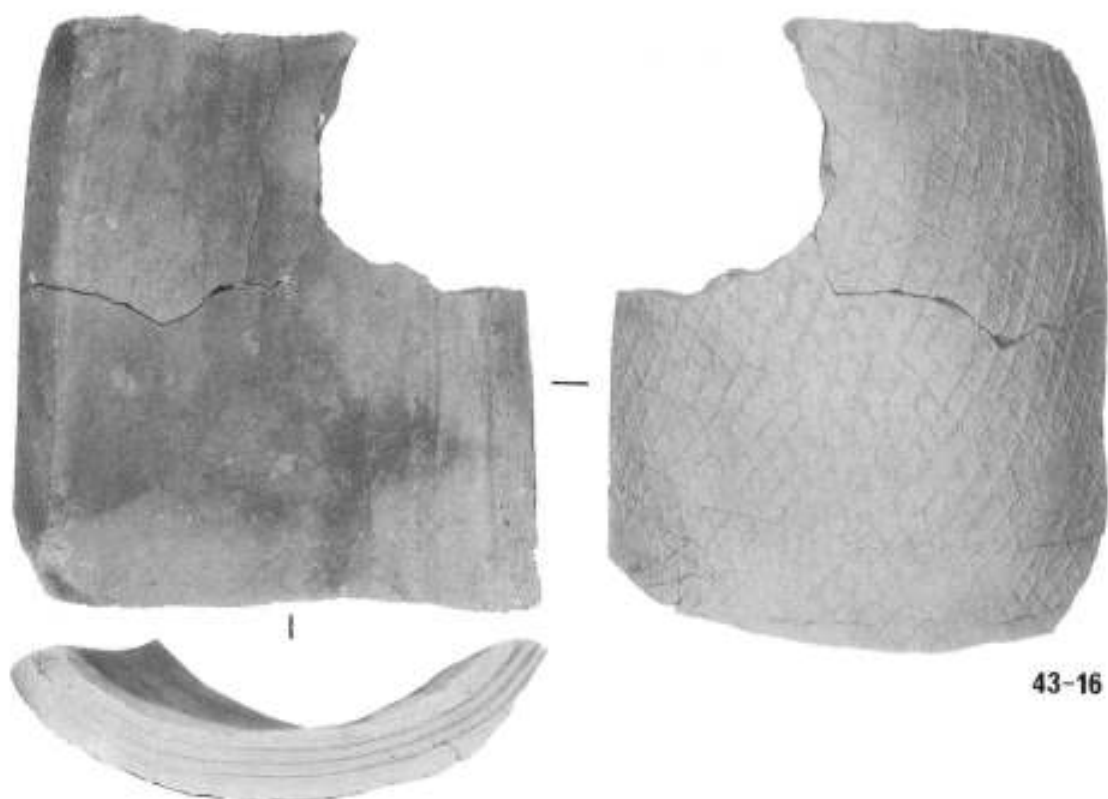
41-3



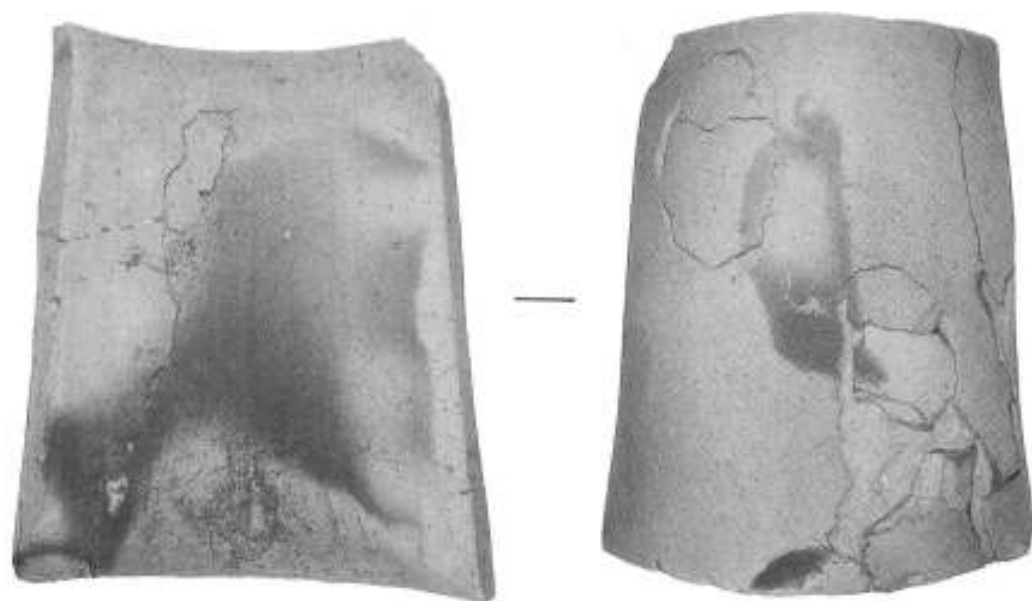
41-6



42-13



43-16



43-17



46-6



48-1



51-1



60-10

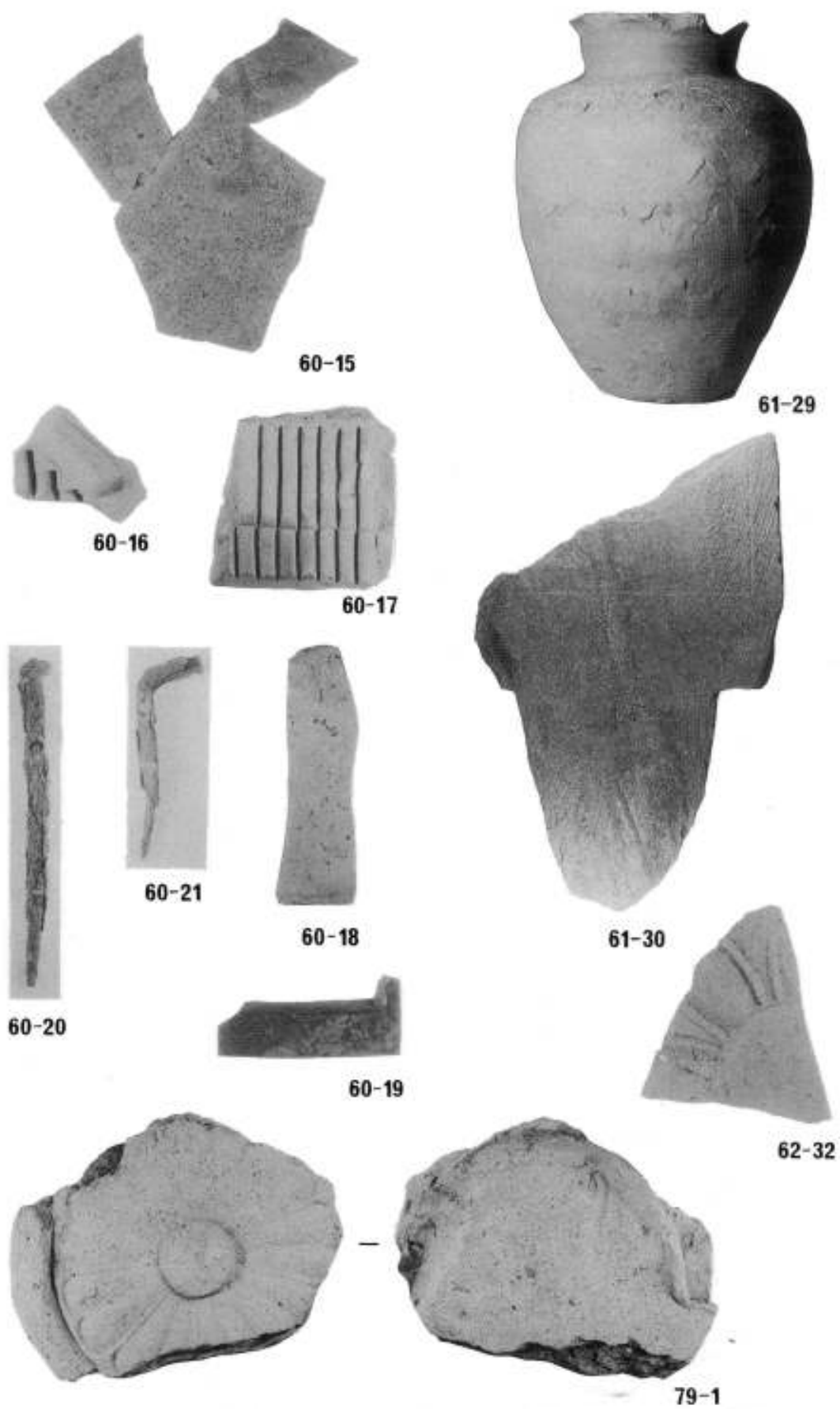


60-6



61-31

图版 17





1 備蓄錢



2 発掘調査風景

平成6年3月31日発行

平成5年度 熊谷市埋蔵文化財調査報告書

西 別 府 廃 寺 (第2次)

編集発行 埼玉県熊谷市教育委員会

印刷 株式会社 博文社
